=	業所名	Mary 151 A. L. T. A. L. Lagor MARY (15 A)	1				
P :	未別石	グローバルキッズメソッド009 桜通り店(パーク)			公表日		
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
	1	利用之員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	際能に合わせたプロアをご用意しております。		
環境	2	#何定費やごともの状態等に対して、職員の配告試は適切であるか。	100%	0%	務員や保育主責務のある職員を必要して、人員継承を満たしております。		
(# (B)	3	生活空間は、ごどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の影楽が通 切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
報	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる場所になっているか。また、こども途の活動に会わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、高降を行っております。塩味放立に関しても小まめな話し会いを行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部理や場所を使用することが認められる場場になっているか。	100%	0%	世紀に応じてグループで個種を分ける等の対応をしており戻す。		
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(四様設定と振り返り)に、広く閲覧が参加しているか。	100%	0%	東期に合議を開催して話し合いを行っております。		
_	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改画につなけているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから攻策者さまのお声を誇載し、改善できるように努めていきたいと思います。		
務改	8	職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を業務改高につなけているか。	100%	0%	支援的に会議を開催して試し合いを行っております。		
×	9	第三者による外部呼吸を行い、呼吸結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	や場材がしていまたいと思います。		
	10	職員の資気の向上を指るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が機体されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動機の関係による知識内上に力を入れております。		
	11	謝坊に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	放したいのと、効能プログラムを花定し込表しております。		
	12	個々のごどもに対してアセスメントを選切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント物能だけでなく、保護者で変からのご意見やお子さまの様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。		
	13	・ 売監免議支援計議を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	こともの支援に関わる職員所士で情報を共有し、日々検討しております。		
	14	元本のよう 元本発達支援計画が構造物に共称され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎月四時、児童発達支援計画に沿った支援を心倒けております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	100%	0%	信効等資料の記録を取り、次以等資外容を立てる際に落用しており戻す。		
油切	16	報節しているか。 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	児童院連支援計画には、必要以降肛が側切に高行され、そのシスで、具体的以支援外容が指定されております。		
な女	17	25い及び支援外降を認定之ながら、ごどもの支援に必要な適口が選切に設定され、その上で、具体的な支援外溶が設定されているか。 支急プログラムの位置をテームで行っているか。	100%	0%	高い点小のた。増齢プログラムを発定しております。		
援の提	17	活動プログラムが国家をチームで行っているか。 活動プログラムが国家化しないよう工夫しているか。	100%	0%	80/WW-VVL、480/J1/24世代成して60/8年7。 治療が必要な合、内容を発露して否領が参加されたにております。		
gt		議覧・レジウムが指定されていまった。 こどもの状況に応じて、保険活動と無性活動を適性能力をわけて児童発達を維持無を作成し、支援が行われているか、			388の1999で開ル・アポでも発出した場合の企のからした。これによっては、1887年19月1日 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日		
	19		100%	0%			
	20	支援側始新には韓間間でのず打合なを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出版的版が青なることが多い場。 京教機関を中心に渤海共和国をおよう。 反語や口頭によるコミュニケーション等で確認に別のております。		
	21	支援教育後には、職員間で必ず打合せを行い、その目行われた支援の限り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	適時間を内側に関めることが多い場。同様に用動電具を中心に情報片相当をさよう。記録や口機によるコミュニケーション等で機関に関めております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改高につなけているか。	100%	0%	総物物資料の配給を取り、次回物剤が存在立てる際に活用しております。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さ書の状況や必要性に応じて確切な場面しを行っております。		
	24	海害児和談交援事場所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参重しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより磨解している種類が参加性をみよっに禁めております。		
	25	市場の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う件制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。		
	26	朝行邦町や称行に向けた支援を行うなど、インクルーション接通の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や昭定ごども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援が指导の情報共有と保証理解を開っているか。	100%	0%	必要に応じて、適需する必修器や保存器の類談の方との消除共和を行なっております。		
	27	数学等の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学器)との間で、支援内容等の情報共有と模互理解を図っているか。	100%	0%	例設する放逐機等デイサービス事業との情報共和を認りながら、ご要認があれば学校との情報共和に取りてよいります。		
係	28	(28~30は、センターのみ関係)					
開けて		地域の他の児童発達支援センターや障害児害所支援事業所等と連携を図り、地域全体の何の向上に資する歌組等を行っているか。	(センターではないたの部落せん)				
保護	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助査を受けたり、職員を外部特徴に参加させているか。	(センターではない北京保険など)				
8	30	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助高等を受ける報金を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)			
推	31	(31は、事務所のみ回答)					
		地域の地量発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや衛素等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	必要に応じて連携し、研修にも小正めた例如しております。		
	32	保育所や認定こども隔、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝えない、こどもの発達の状況や探聴について共通境解を持っているか。	100%	0%	電子の連制機を用いたケア記録の延付や、直接の申し高りにより伝達を行って、共選機能を集めております。		
	34	事項の対応かかの月上を図る観点から、専項に対して専項支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や専該等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	ごらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発情し、ご家庭での支援にご信用いただけるよう様かくお伝えしております。		
	35	灌漑規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご物語に応じて、対応させていただいております。		
	36	光盤発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の特益の優先考集の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 るか。	100%	0%	ご整理に応じて、対応させていただいており来す。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の設明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか、	100%	0%	基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援が指が返納を行い、 保護者とまから児童発達支援計画の何意を得ております。		
保	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、鑑談や必要な効果と支援を行っているか。	100%	0%	ご整菌に応じて、対応させていただいでおります。		
報	39		100%	0%	ご類似におして、対応させていただいでおります。		
o R	40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に原知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 か、	100%	0%	ご類談がありました際には、池港かつ湖切に対応しています。		
19	41	で関いて、 で関いて、 で関いて、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	100%	0%	月ごとに名称子才を有限しております。また、物医毎日にプログを作成し、名称の様子をご確認いただける取り能みを行っております。		
	42	個人情報の収扱いに十分細胞しているか、	100%	0%	入社時に施約商にて機関は、個人情能の複雑や関係所に力を入れております。		
	43	南高のあることも竹保護者との意思の疎通や情報伝達のための配達をしているか。	100%	0%	個々の状況に応じて配簿を行っております。		
	44	事業所の対策に燃塩性無を招待する等、地域に開かれた事業連携を削っているか。	100%	50%	ご整確に応じて、対応させていただいでおり来す。		
	45	李故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、移居マニュアル、移居マニュアル等を施定し、職員や家族等に関矩するとともに、発生を想定した訓練を実施して	100%	0%	報本2回点が開発を実施しております。 -		
	46	いるか。 電路組織計画 (BCP) を施定するとともに、开売災害の発生に偏え、定期的に選集、仮出その他を要な訓練を行っているか。	100%	0%	GC常変あり→ 服務機能計算 (GC) を放変し、定期的な関係を行っております。		
	47	無効性のは、	100%	0%	福朗州土でも共和し、把郷に別めております。		
#	48	(事態) 、 期間アナが取職、くんが人が作者のよことが立て大を開起しているが、 食物アレルギーのあることもについて、復額の限労而に基づく外心がされているか。	100%	0%	個別人で任何化、例では、からいからいからい。 ・		
70 85 89			100%	0%	「		
の 対	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で開練、その他の要な問題を構立る等、安全管理サイラされた中で支援が行われているか。			福岡江で在内は、伊郎・努の、7のしくおります。 福政時亡では内は、保護者と本への機能に知っております。		
15	50	こどもの安全権保に関して、家族等との連携が関与れるよう。安全計画に整づく販売内容について、事族等へ開始しているか。	100%	0%	福岡州工でも元件は、6項間できべの間的に、3時でもかります。 参加機能ではありませんが、他般なことでもむえもし、毎期代でヒヤリバットを選択共和しております。また、他等等所の指揮者とも共有する体制を指立ております。		
	51	ヒヤリハットを事業所的で共有し、再発防止に向けた方面について荷封をしているか。	100%	0%			
	52	歯符を防止するため、職員の研修組合を確保する等、適切な対応をしているか。 どのような場合にやむを寄す合体的来を行うかについて、制理的に決定し、ことやや保護者に事前に十分に契明して解を得た上で、児童発達支援計画に起棄している。	100%	0%	森明所に参照合を設置するとともに、実際的な企業研修を行ない、最初所立に知っております。		
	53	か	100%	0%	切迫性・手代敵性・一時性を選たしている場合とし、身体内束を行った場合には起豚を行っております。また、計画書にも放映しております		

事	業所名	グローバルキッズメソッド011 小山駅東店(パーク)			公表日 2025年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が発達支援宣等のスペースとの際係で適切であるか。	30%	70%	両途に合わせたプログをご開催しております。
環境	2	利用定員やこともの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	60%	40%	核点や複常上資格のある機関を整置して、人具態要を測たしております。曜日によってお子さまの人数が多い日が多り、機関が出始日を変更などしてが応しております。
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	3	生活空間は、ごどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、背景の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の設度が適 切になされているか。	30%	70%	必要に応じて職員がフォローを行任っております。
50 68	4	生活活剤は、清潔で、心地よく過ごせる場所になっているか、また、こども途の活動に合わせた容問となっているか。	30%	60%	毎日、清解を行っております。 環境設定に関しても小本のな話し合いを行っており、正気清浄機なども活用しております。
	5	必要に応じて、こどもが解析の領害や場所を使用することが認められる環境になっているか。	60%	40%	状況に応じてグループで感覚を分ける等の対応をしております。
	6	展務改済を進めるための PDCA サイクル(四種数変と振り返り)に、広く機関が参加しているか。	90%	10%	定期的に会議を開催して彼しないを行っております。
	7	保護者所が持備表により、保護者等の意内等を把握する機会を設けており、その内容を業務改議につなげているか。	70%	30%	アンケート延果や、前参のコミュニケーションから保護者とその対声を消費し、改善できるように努めていきたいと思います。
88 20	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を重務改高につなげているか。	100%	0%	部度能が職員の信見をしつかり取くら野を持っています。職員会論で際部共和されています。グループラインを活用し、職員間で情報を共有し、業務と高点につなけております。 非常齢職員をいっしょにより良いが向、方法を設し合い、同じ方向を向いて行告するようにしております。定期的に職員会議が行い、職員の話を超く性会を設けております。
a	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改議につ切げているか。	50%	50%	今朝朝していきたいと思います。
	10	職員の資気の向上を指さために、研修を受講する報会や法人内等で研修を開催する報会が確保されているか。	90%	10%	全特研機の信かに、研修動機の関係による短期内上に力を入れております。
	11	適切に支援プログラムが作成、公債されているか。	70%	30%	会議員が、外回機能できるよう情報共存されております。
	12	似々のこともに対してアセスメントを適切に行い、こともと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	90%	10%	保護者さまへ、決められた時間以外にも返送時で他の得事で電話があった時などにも声吸けをおこない、国りごとがないかなどを聞くようにしております。
	13	光型発達支援計画を作成する際には、光型発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最易の利益を考慮した検討が行われ ているか。	90%	10%	こともの支援に関わる種類列士で情報を共称し、日々検討しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%	電機関で情報を共有し、同じ方向をひいた支援に努めております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 種間しているか、	70%	30%	総別機関等の配謝を取り、次国機関内容を立てる際に改用しております。
切な	16	児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原内すべき支援」の「未入支援」、「常務支援」、「将符支援」及び「地域支援・地域連携」の 20らい及び支援内容も副志えながら、ごどもの支援に必要な場口が選切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	90%	10%	平年開稿にお子さまの体売を確認し、今後の具体的な支援計画を立てております。
支援の	17	混動プログラムの位案をチームで行っているか。	80%	20%	故し命べの上、効能プログラムを決定しております。
提供	18	認動プログラムが衝変化しないよう工夫しているか。	90%	10%	改進が必要は考定、内容を見越して政治会を総か込むようにしております。
	19	こともの状況に応じて、個別活動と無信活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を存成し、支援が行われているか。	80%	20%	報知活動は、お子さまの状況に合わせて行っております。職性活動は、全体に合わせ、その中で傷々のお子さまがどつ活動に夢加払客るかを考えて支援しております。
	20	支援開始部には職員類で必ず打会せを行い、その日行われる支援の内容や役割が際について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	応適関係を中心に、行っております。
	21	支援教了条には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の限り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	70%	30%	応答すべき点。見かった点を確認し、支加に流かせるように電路間で共鳴しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の特証・改善につなけているか。	90%	10%	hugやLiNeで任務な気づきでも全ての職員が記録でとり、次回の充調に繋がるようにしております。
	23	芝類的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	係々の形子を正にとって、必要な支援を測心に貼み入れているか、日都が高すぎないかなどを考慮しております。
	24	園畜 形型談支援事事所のサービス服当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	90%	10%	お子さまの状況をより増加している機能が学加出をよって努のております。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害器は、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	70%	30%	必要に応じて適能理例しております。
	26	例行列用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション接連の概点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定ことも際、幼稚園、特別支援学的(幼稚園)等との間で、支援が招等の開設共有と毎日提携を指っているか。	70%	30%	必要に応じて、適需する均衡室や保育室の情景の方との情報共和を行なっております。
	27	就学時の終行の際には、小学校で物別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共和と報知準務を関っているか。	70%	30%	物設する放譲後等デイサービス事業との情報共有を誤りながら、ご客望があれば学校との情報共和に別けて高いります。
係機	28	(28~30は、センターのみ間音)			
III P		市場の他の児童発達支援センターや降電児園所支援事業所等と連携を関り、市場全体の長の向上に貢する取締等を行っているか。	(センターではない	(Cutatu nbamiliatu)	
技術	29	第の向上を開るため、積極的に専門家や専門機関等から助賞を受けたり、職員を外部時候に参加させているか。	(センターではない	いため間答なし)	
をの連	30	型域の児童発達支援センターとの連携を限り、必要に応じてスーパーパイズや物景等を受ける報合を設けているか。	(センターではない	いため回答なし)	
辨	31	(31は、事業所のみ間前)			
		市場の児童発達支援センターとの連携を限り、必要に応じてスーパーパイズや勃然等を受ける場合を設けているか。	63%	38%	必要において書館は、粉修にも少まるに外加しております。
	32	報前所や認定こども編、幼権関等との交流や、地域の中で他のこどもと返勤する機会があるか。	20%	80%	が認むとて交流の機会がある場合がございます。 他回路との交流を始けております。 電子の機能等を加いたプア空間の送付や、間的の単によりによりに乗を行って、共選等等を集めております。
	33	田道からごどもの状況を保護者と仮え会い、ごどもの発達の状況や課題について共産理解を持っているか。	100%		
	34	家族の対応がか向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	30%	70%	こからての対応方法等を「独自の権力」として日々機能発展し、ご覧官での支援にご禁禁しただけるよう権力とが仮えしております。
	35	選問期後、支援プログラム、お子さま負別等について丁寧な説明を行っているか。 ・ 児童発達支援計画を介成する際には、こともや党議者の意思の尊重。こともの海系の利益の優先考慮の報点を指定えて、こともや家族の意内を模容する場合を設けてい	100%	20%	ご関係に応じて、対応させていただいております。 ご関係に応じて、対応させていただいております。
	36	80.	100%		こを増加したして、外心のなくいとだいとなります。 ・ 悪事におった「児童内養を傾計機」を示しながら支援が存む技術を行い、保護者とよから児童内養を得ております。
	-	「児童発達支援計画」を示しながら支援外院の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の何意を得ているか、	80%	20%	版本によった「人権の成人の制制」というから、人人は大きないなっています。 (本権的によっと) 人権の成人を利用 (中心の) からい マーケット (本権的 人) 大権的 (大権的 人) 大権的 (大権的 人) 大権的 (大権的 人) 大権的 (大権的 人) 大権の (大権的 人) (大能力 人) (大権的 人) (大権的 人) (大権的 人) (大権的 人) (大権的 人) (大能力 人) (大権的 人) (大能力
保護者	38	定期的に、事務等からの子育での信み等に対する相談に適切に応じ、直談や必要な動産と支援を行っているか。 父母の会の収動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者向士で交流する場合を設ける等の支援をしているか、また、きょっだい等士で交流する場合	10%	90%	の場合のファールのアルス (大阪のでする) である なんしかかり (大阪のでする) である (大阪のでする) ではなる (大阪のでする) である (大阪のでする) である (大阪のでする) ではなる (大阪のでする) ではなる (大阪ので
へ の 説	40	を放ける等の支援をしているか。 こともや保護者からの相談や中入れについて、対応の仲前を整備するとともに、こともや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している		0%	ご機能がありました際には、迅速から機能がありました。
10) 10)	41	か。	80%	20%	ルンとに効かずを発倒しております。また、物質部目にプログを作成し、効能の様子をご確認いただける意り組みを行っております。
	42	及用が上側がかておけずひととい、中で3内が充め中すのこととよう、必要関係はけますえ、透射が利性が削減をこともいう検索をよりしく実施しているが、 個人指数が顕微いに十分検察しているか。	100%	0%	入社物に旨作業にて確認し、個人流動の確議や遊戏的企士から入れております。
	43	関系のあることもや保護者との標準の終達や情報伝達のための影響をしているか。	100%	0%	俗々の状況に応じて影響を行っております。
	44	事業所の行事に包括性を包括する等、地域に関かれた事業書質を招っているか。	100%	90%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。
	45	李世弥止マニュアル、緊急時対応マニュアル、移形マニュアル、移向症対応マニュアル等を策定し、鑑賞や承珠等に用知するとともに、発生を想定した訓練を実施して	90%	10%	一般学知の開発を実施しております。
	46	いるか。 	100%	0%	GC常定あり→ 業務機能計画 (GC) を放定し、定期的は回線を行っております。なし→ 定期的は回線に加え、業務機能計画 (GC) の固定を材がいたします。
	47	事態に、施書や予約修缮、 てんかん液作等のこともの状況を確認しているか。	100%	0%	福岡時上でも共和し、把側に努めております。
#	48	参称し、原像リアの影像。 くんがんのおかいとことがなれて問題していない。 食物アルルギーのあることもについて、原像の像児童に基づく対応がされているか。	100%	0%	福港をよからのご連絡に振うさ、必要は別はの子福港市と本への用格官や、会称について確認をするほとのが応をしております。福島間で連絡の共和に知るております。
700 105 105	49	安全計画を作成し、安全領域に必要な研修や領域、その他必要な問題を描こる等、安全領域が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	周周時亡で共和し、把側に対め、対応しております。
対応	50	こともの安全権保に関して、家庭等との連携が限られるよう、安全計画に基づく取扱内容について、家庭等へ衝向しているか。	100%	0%	福岡門士で七井川、保護者さそへの際位に持めております。
~	51	ヒヤツハットを専業所的で共和し、再発粉点に向けた万様について検討をしているか。	100%	0%	野物物ではおりませんが、他継なごとでも犯入をし、事業所でヒヤゾハットを選起共和しております。また、名等業所の指導者と七共有する体制を整文でおります。
	52	虐待を防止するため、職員の相待報会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	衛門点を開催するとともに、実際的企会特殊を行ない。 衛門系に関めております。
	53	どのようい場合にかむを得す身体持束を行うかについて、知識的に改定し、こともや保護者に参称に予け、ためのは7所を得た上で、光豊発達支援計画に記載しているか。 か、	100%	0%	切出性・研修性・一般性を満たしている場合とし、身材所変を行った場合には起源を行っております。また、計画家でも放映しております

題	業所名	グローバルキッズメソッド013 真岡東店(パーク)			公表日 2025年2月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	í	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	25%	75%	用他に合わせたプロアをご用他しております。	
環網		利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	教践で解析主角核のある機関を配置して、人員秘事を指定しております。	
- 4	3	生活活動は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、参展所の設備等は、跨高の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配業が適 切になされているか。	75%	25%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
51 51	4		75%	50%	毎日、清解を行っております。 環境設定に関してセツまめぬ話し合いを行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが傾倒の破壊や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで誤應を分ける特のが応をしており戻す。	
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く福貢が参加しているか。	100%	0%	東那 的に会議を特権して私し会いを行っております。	
	7		100%	0%	アンケート結果や、遊師のコミュニケーションから採集をさるのが声を搭載し、改賞できるように等のていきたいと思います。	
30 83	-	福間の意見等を影響する場合を設けており、その内容を重視改算につなけているか。	100%	0%	支援的に会議を開催して私し会いを行っております。	
8		第三者による外部評価を行い、評価延延を業界改派につなげているか。	100%	0%	今後替けていきたいと思います。	
			100%	0%	全会研修の点から、研修整備の課題による知識向上に力を入れております。	
	10	職員の責務の向上を抱るために、研修を受講する機会や法人外等で研修を開催する機会が機能されているか。			型が高いない。 一番を取りています。	
	11	潜切に支援プログラムが作成、公告されているか。	100%	0%	####################################	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを感切に行い、こどもと関係者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童保達支援計画を作成しているか。 児童保達支援計画を作成する際には、児童保達支援部等所有報告でななく、こどもの支援に関わる職員が指導性所でて、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ	100%	0%		
	13	ているか、	100%	0%	こともの支援に関わる職員所立て情報を共有し、日々特別しております。	
	14	型盤製造支援計畫が職員間に共有され、計画に迫った支援が行われているか。 こどもの適応行動が状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動装御なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	100%	0%	毎年時期、光盤発達支援計画におった支援を心酔けております。	
28	15	「開催しているか」 「開催しているか」 「産業発達支援計画には、児童発達支援カイトラインの「児童発達支援の提明すべ等支援」の「本人支援」、「実施支援」、「保行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	銀物資料の配換を取り、次回等剤が終を立てる際に満用しております。	
tr ta		次面が地域が制用には、元面が地域がパイテブランの「元面が地域が必要がなって対象」の「本人文献」、「様的な意識」、「様行文献」が、「他の地文教・他の地学別」の おらい及び支援内容も顕示表えながら、こともの支護に必要な消却が通りに設定され、その上で、具体的な支援内部が設定されているか。	100%	0%	党権権を開始的には、必要の場合が確認に避免され、そのクスで、具体的な支援的指が認定されております。	
98 (C)	17	活動プログラムの位案をチームで行っているか。	100%	0%	版した。 定義プログラムを決定しております。	
91		活動プログラムが御変化しないようエチしているか。	100%	0%	改善が必要が考点、内容を見直して改省点を総か込むようにしております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜能み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況において、値間活動と機能活動を適用能力会わけて光整発達支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず行合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	近極時間が異なることが多い場。 不物理員を中心に情報共和巡察るよう。 記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	退動網盤も開催に異なることが多い為、同様に取物機関を中心に情勢共有出来るよう。記録や口頭によるコミュニケーション等で機能に努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の神経・改高についけているか。	100%	0%	他的物資料の起源を取り、次回物資外研を立てる際に活用しております。	
	23	芝類的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの代決や必要性に応じて確切な発慮しを行っております。	
	24	南害児俗談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が伊重しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより増殖している職員が参加出来るように努めております。	
	25	型域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。	
	26	例行利用や終行に向けた支援を行うなど、イングルージョン構造の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や可定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚 部)等との間で、支援が容等の情報対象へ情報が無く信息で振りているか。	100%	0%	必要に応じて、適度する必需要や材料限の機関の方との情報共再を付なっております。	
	27	批学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と報知機解を図っているか。	100%	0%	情級する後頭維持デイサービス事業との情報共和を削りながら、ご事論があれば学校との情報共和に繋げて表いります。	
12		(28~30は、センターのみ関係)				
66 FE		地域の他の児童発達支援センターや障害児害所支援事業所等と連携を図り、地域全体の何の内上に貢する取組等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)		
保護	29	男の向上を掴るため、延陽的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部所領に参加させているか。	(センターではないため回答なし)		TROINE MARKET ()	
# E	30	型域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助言等を受ける報会を扱けているか。	(センターではない	ため回答なし)		
进		(31は、事場所のみ回答)				
	31	型域の児童覧達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助回等を受ける程命を設けているか。	100%	0%	必要に応じて連携し、研修にも小走めに参加しております。	
	32	保育所や印定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する場合があるか。	75%	25%	ご養殖に応じて、対応させていただいております。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連続機を用いたケア記録の延付や、面房の中し返りにより伝達を行って、共通機能を認めております。	
	34	事態の対応かかの内上を捌る機点から、準額に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご常度での支援にご念用いただけるよう様かくお伝えしております。	
	35		100%	0%	ご要能に応じて、対応させていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや存储者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考集の城点を請まえて、こどもや承珠の意向を構図する機会を扱けている。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
	37	るか。 - 「児童育達支援計画」を示しながら支援が終わる時間を行い、保護数から児童発達支援計画の問題を得ているか。	100%	0%		
	38	「実施内性」を終しまし、その心がなからのと思うないのかがないます。 Managary シュルボルタ よっぱい いっぱい いっぱい マンス できまから アイス でんか アイス でん アイス	100%	0%	ご際望に応じて、対応させていただいでおります。	
(X 28 41	-	公司の合の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会	100%	0%	ご際間に応じて、対応させていた出いております。	
ο σ	-	を設ける等の支援をしているか。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に原因し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	ご始からりました際には、浪漫から時代に対なしています。	
10 10 10		b.			カニとこ選手学変を発現しております。また、物質製品にプログを作成し、活動の様子をご覧取りただける取り組みを行っております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPP-SIS等を活用することにより、活動概要や行李予定、連絡体制等の開修をこどもや故護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	42	個人情報の歌歌いに十分細胞しているか。	100%	0%	入社等に届付置にて確認し、個人情報の保護や認識的止こかを入れております。	
	43	関係のあることもや保護者との標準の経過の比較の影響をしているか。 - 100 日本の表現では、100 日本の影響をしているか。	100%	0%	傷をの状況に応じて記載を行っております。	
	44	事業所の対象に影域性更を紹介する等、地域に関かれた事業運営を飼っているか。 	100%	25%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。	
	45	等級的広マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、防犯マニュアル等を開催し、職員や審議等に周知するとともに、発生を思定した訓練を実施しているか。 いるか、	100%	0%	毎年3回の回接を実施しております。	
	46	要務組結計機(BCP)を策定することもに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	829度支約→ 暴発機能計画(8C9)を発定し、定期的公開機を行っております。なし→ 定期的公開機に加え、業務機能計画(8C9)の構定を検がいたします。	
	47	李蔚に、原軍や予防侵害、てんかん発作等のこともの状況を確認しているか。	100%	0%	福岡時士で長井に、伊藤に知めております。	
27 70 85	48	食物アレルギーのあることもについて、医師の他子書に終づく対応がされているか。	100%	0%	商品時上でも共有し、把握に別め、対応しております。	
99	_	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を描しる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職員時亡で長寿し、肥難に別め、対応しております。	
対応		こどもの安全機能に関して、家族等との連携が開られるよう。安全計画に整づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	園周門士でセ共利し、保護者さ至への原知に努めております。	
	51	とヤリハットを事業所作で共有し、再発所止に向けた方確について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではおりませんが、形態なことでも記入をし、等等所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、他事業所の認理者とセ共有する体制を加えております。	
	52	南岸を防止するため、職員の研修機会を確保する時、激切な対応をしているか。	100%	0%	南部所と委員会を設置するとともに、定期的な会員が優を行ない、南州所立に別めております。	
	53	そのような場合にやむを得す身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明して解を得た上で、児童発達支援計画に記載している か。	100%	0%	切記性・肝代酸性・一時性を増たしている場合とし、身体界度を行った場合には記録を行っております。また、計画家にも放映しております	

I	事業所名	グローバルキッズメソッド017 中戸祭店(パーク)			公表日 2025年2月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	1	利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	用他に合わせたプロアをご用他しております。	
, x		利用支責やこどもの状態等に対して、職員の配置換は適切であるか。	100%	0%	教践で解析主角核のある機関を配置して、人員秘事を指定しております。	
	3	・	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
9	4	************************************	100%	0%	毎日、清解を行っております。 環境設定に関してセツまめぬ話し合いを行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが傾倒の痕迹や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで誤應を分ける特のが応をしており戻す。	
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標的定と層り返り)に、広く福間が参加しているか。	100%	0%	東那 的に会議を特権して私し会いを行っております。	
	7	保護 他向け持備表により、保護者等の意向等を把握する場合を設けており、その内容を裏表改議につなけているか。	100%	0%	アンケート結果や、遊師のコミュニケーションから採集をさるのが声を搭載し、改賞できるように等のていきたいと思います。	
3	-	職員の意見得を把置する場合を設けており、その内容を裏拠改議につなけているか。	100%	0%	支援的に会議を開催して私し会いを行っております。	
ě		第三者による外部呼吸を行い、呼吸結構を業務改議につなけているか。	100%	0%	今後替けていきたいと思います。	
	-		100%	0%	全会研修の点から、研修整備の課題による知識向上に力を入れております。	
	10	職員の員長の向人を抱るために、研修を覚護する機会で法人内等で研修を開催する機会が確認されているか。			型が高いない。 一番を取りています。	
	11	選切に支援プログラムが作成、公賞されているか。	100%	0%	####################################	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや資源を名破的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援指導責任者だけではく、こどもの支援に関わる機員が基準操め下で、こどもの最高の利益を考慮した機材が行われ	100%	0%		
	13	ているか、	100%	0%	こともの支援に関わる職員所立て情報を共有し、日々特別しております。	
	14	東盤発達支援計畫が職具際に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動検察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により。	100%	0%	毎年時期、光盤発達支援計画におった支援を心酔けております。	
3	15	では、	100%	0%	銀物資料の配換を取り、次回等剤が終を立てる際に満用しております。	
t		ア高声地を交換目前には、元高中地を対象がイドラインの「元高中地と成の契約(マイロス版)」(中へス版)、「中のス版)、「中行文集)が「中の地文集(中は北版)」 おらい及び支援内容も顕示えながら、こともの支属に必要は当はが通りに設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	党権権を開始的には、必要の場合が確認に避免され、そのクスで、具体的な支援的指が認定されております。	
8	17	港動プログラムの位準をチームで行っているか。	100%	0%	版した。 定義プログラムを決定しております。	
4		3動プログラムが閲覧化しないようエテしているか。	100%	0%	改善が必要が考点、内容を見直して改省点を総か込むようにしております。	
	19	こともの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況に応じて、領別活動と場間活動を通習組み合わせて児童発達支援計画を存成しております。	
	20	支援開始前には韓周間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について権限し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	近極時間が異なることが多い場。不能概義を中心に情能共有巡察るよう。記録や江湖によるコミュニケーション等で機関に努めております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	遊動機器も同様に異ねることが多い場。同様に定数機関を中心に関係共和企をみよう。記録や口頭によるコミュニケーション等で機関に努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の特証・改高につなけているか。	100%	0%	個別等等時心起発を取り、次辺等影响符を立てる際に沈用しております。	
	23	芝用的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状状や必要性に応じて破功以発慮しを行っております。	
	24	薄害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した復が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出をるように努めております。	
	25	型域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を施えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しており戻す。	
	26	例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン海通の際点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援が将等の情報共有と似互理解を限っているか。	100%	0%	必要に応じて、適需する幼稚園や保育園の開発の方との情報共和を行なっております。	
	27	裁学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学箱)との館で、支援外路等の情報共有と報品機能を図っているか。	100%	0%	例数する故障機等デイサービス事業との情報共再を担りながら、ご覧望があれば学校との情報共和に加げて高いります。	
		(28~30は、センターのみ関係)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を限り、地域全体の長の向上に責する取組等を行っているか。	(センターではない	ため間折なし)		
4	29	毎の向上を抑るため、結婚的に専門家や専門機関等から助表を受けたり、職員を外部所修に参加させているか。	(センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし)		1831元を開幕(L)	
4	30	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーバイズや物度等を受ける機会を扱けているか。			ラーではないたの間等なし)	
3		(31は、事場所のみ回答)				
	31	型域の定盤発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助誘等を受ける報会を設けているか。	100%	0%	必要に応じて推測し、研修にも小本のに参加しております。	
	32	な育所や年まごとも題、幼稚園等との交流や、物域の中で他のこどもと活動する場合があるか。	100%	0%	ご要値に応じて、対応させていただいでおります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの完建の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を率いたケア配線の延付や、直線の中し近りにより伝達を行って、共通機能を案のております。	
	34	家族の対応かの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	こりらての的な方法等を「AHOMF7」として日々情報発信し、ご常在での支援にご返用いただけるよう組かく的伝えしております。	
	35	運営規矩、支援プログラム、お子さま負担等について丁事な説明を行っているか。	100%	0%	ご養殖に応じて、対応させていただいております。	
	36	・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	100%	0%	ご要感に応じて、対応させていただいており来す。	
	37	「児童界達支援計画」を示しながら支援内容の影明を行い、保護者から児童発達支援計画の阿敷を得ているか。	100%	0%	第章に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の成明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の明章を得ております。	
	38	支期的に、液体等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、国談や必要な結束と支援を行っているか。	100%	0%	ご際値になりて、対応させていただいております。	
3	39	公用の合の活動を支援することで、 保護者合等を開催する等により、 保護者附上で交流する場合を設ける等の支援をしているか。 また、 きょうだい等土で交流する場合 を設ける等の支援をしているか、	100%	0%	ご要値に応じて、対応させていただいております。	
		で扱いらかいた状をしていない。 ごどもや保護者からの似版や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、根談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	ご物部がありました際には、迅速がつ適切に対応しています。	
	·	か。 芝類的「連携等を発行することや、HPPSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ガニとに活動予定を発信しております。 走た、物質者曰にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。	
	42	個人情報の影響いに十分修覧しているか。	100%	0%	入計物に届行器にて確認し、個人情報の複雑や遊覧的止こかを入れております。	
	43	第三のあることもや複雑なの様態の経過や情報伝達のための影響をしているか。	100%	0%	俗々の状況に応じて影響を行っております。	
					ご意識に応じて、村成会せていただいております。	
	44	事業所の対象に他総社を包持する等、地域に関かけた事業運営を到っているか。 - - - - - - - - - -	100%	0%		
	45	いるか。	100%	0%	毎年2回の開催を期除しております。	
	46	審務継続計画 (BCP) を増立するとともに、詳帯災害の発生に備え、定期的に避難、依当その他の要な訓練を行っているか。	100%	0%	©の発定あり〜 幕原制統計論(GO)を推定し、支際的は回線を行っております。ない→ 支際的は回線に加え、幕原制統計論(GO)の施定を検討いたします。	
	47	事務に、 原業や予約接種。 てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	電銀所士で44年に、児童に別のております。	
2	48	食物アレルギーのあることもについて、関係の指示者に基づく対応がされているか。	100%	0%	電視所士で共将し、見難に別め、対応しております。	
9	_	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や領域、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職題時上で也共有し、把側に別め、対応しております。	
		こともの安全権務に関して、薬店等との連携が限られるよう、安全計画に接づく販売内容について、薬店等へ周知しているか。	100%	0%	周囲所立ても共和し、保護者とよべの機能に努かております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発的企に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	李物権ではありませんが、無限なごとても記入をし、李尊所でヒヤゾハットを選択的しております。また、他李尊所の祖徳者とセスキする体制を呈えております。	
	52	虚神を弥正するため、電鉄の研修機会を機能する等、謝切な対応をしているか。	100%	0%	森特所上発展会社設置するとともに、定期的な主角研修を行ない、森特所立に努めております。	
	53	どのような場合にやむを得す身体内未を行うかについて、相違的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切合性・肝代験性・一時性を満たしている場合とし、身体内変を行った場合には起腺を行っております。また、計画器に心反映しております	

3	F業所名	グローバルキッズメソッド018 今泉新町店(パーク)				
	1		toks .		公表日	
	1	チェック項目 対応支持が発達支援等等のスペースとの原格で適応であるか。	(はい	いいえ		
×		対策を受け、利用を対象である。 へんしの時間と思めるのがあり、 利用を買りこどものが影響を対して、電影の配置数は適可であるか。	92%	8%	新典中保育上資格のから機関を配置して、人員秘事を混たしております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の股傷等は、降害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配度が適	92%	8%	制能化はつきりらせる。単に無パゼ三所とシートやドアノブストッパーを設置する以と継続にも安全集にながけております。	
1		切になされているか。 生活支援は、非常で、心地よく第二世を専用になっているか。 また、ことも連の活動に合わせた空間となっているか。	92%	17%	毎日、清掃を行っております。 娘娘、清掃を毎日しております。兵に物社どを置かず、加にすっきりとさせております。	
1	5	② は、 から、 から、 なっと、 なっと、 なっと、 なっと、 なっと、 なっと、 なっと、 なっと	100%	0%	機能の展型が消滅あらのであらゆる機能では同しております。機能の機能があるので、単二的経験できり組またい子でも対応列能です。	
	6	の学に切けて、ことのが無限が実施で呼吸性を対応することが認められる場所になっているか。 電視改議を進めるための PDCA サイクルは機能学と振り返りに、広く電路が参加しているか。	83%	17%	本の日の世世代を後期間で情報を持しております。1985年の最初とこれをいまった。 本の日の世世代を後期間で情報を持しております。1985年の最初とて改進し、職員等で情報の共和できております。	
	-		83%		ないのから、他の時には、1985年に対しています。 とれたこの様では、他の時に、1985年に対しています。 「日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	
3	7	塩業和向け背側を上り、保護者等の意向等を把握する組合を設けており、その内容を業務改画につなげているか。		17%	38歳のこれに必要がいる。 芝用明に証明者との意思があり、最早を伝えることができております。最早を授官できる場合です。	
ě	-	電具の意見等を把握する場合を設けており、その内容を暴発改派につなけているか。	100%	0%		
	9	東三者による外部評価を行い、評価結果を専務改善につせげているか。	67%	33%	ウ強権がしていきたいと思います。	
	10	職員の責義の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	実際が正确を行っております。	
	11	制切に支援プログラムが作成、公教されているか。	100%	0%	間に高いめた。海動プログラムを表定し公開しております。	
	12	個々のこともに対してアセスメントを選切に行い、こともと復興者のニーズや資際を名談的に分析した上で、児童保達支援計画を作成しているか。 児童保護支援計画を作成する際には、児童保護支援協等責任者だけではく、こともの支援に関わる概算が指導性解の下で、こともの最高の利益を考慮した検討が行われ	100%	0%	アセスメント間線だけではく、保護者さまからのご意見やお子もおの様子をお呼いし、計画を作成出来るように努めております。	
	13	TUSH.	83%	17%	こともの支援に関わる職員時亡で情報を共得し、日々勢がしております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎年期間、児童商産支援計画に沿った支援を心酔けております。	
3	15	こともの部の行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども会むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 種類しているか。	75%	25%	銀物等類的の記憶を取り、次間等別が存在立てる際に活用しております。	
t	16	「開発発表的計画には、児童発達支援がドラインの「児童発達支援の原料で不得支援」の「赤人支援」、「将来支援」、「将手支援」及び「地域支援・地域連携」の おちいなび支援内容を請求えながら、ことの支援に必要な場面が増切に設定され、その上で、具体的交援所容が設定されているか。	92%	8%	党権発表別計画には、必要必須は分割がに選択され、そのうスで、具体的な支援的信が設定されております。	
8	-	活動プログラムの位準をチームで行っているか。	92%	8%	活動計画をする際に、職員間で報節、意見交換の上、発定しております。活動指導を割り振り、脱指になった機関は事前に活動が指を考え、他の機関と概節、機関しながらお子さまに会った活動が指の決定をしております。	
4	18	活動プログラムが鑑定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改集が必要な場合、外容を発露して改善点を能分込むことしております。	
	19	こともの状況に応じて、個別活動と適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況に応じて、個別活動と機能活動を適用扱わ会わせて児童発達を提出機を作成しております。	
	20	支援開始前には韓国間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分別について韓間し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%	出物開放が異なることが多い場。 常物鑑賞を中心に情報共和出来るよう。 記録や口頭によるコミュニケーション等で構図に努めております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の服り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	58%	42%	遺動開発が開催に貢むることが多い場、同様に常動職員を守むに情報共和巡察るよう。記録や口様によるコミュニケーション等で機関に努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の特殊・改高につなけているか。	100%	0%	個別等目時の起送を取り、次別等用内容を立てる際に次用しております。	
	23	支票的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切以月直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況やお野性に応じて敷切れ見直しを行っております。	
	24	等害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した戦が影響しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより機関している職員が参加出来るように努めております。	
	25	型塩の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	92%	8%	心薬に応じて適応差別しております。	
	26	例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン構造の戦点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼稚 部)等との間で、支援外容等の情報共有と概互理解を限っているか、	100%	0%	希望する保育期等には、保護者さまを適じて情報共和しております。	
	27	就学時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学期)との際で、支援小路等の情報共有と概以機能を加っているか。	100%	8%	希望する小学的特には、保護者さまを選じて情報共有しております。	
5	28	(28~30は、センターのみ関係)				
1		型域の他の児童発達支援センターや商害児達所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	(センターではないたの箇所はし)			
3		質の向上を描るため、 基礎的に専門家や専門機関等から助素を受けたり、職員を外部所修に参加させているか。	(センターではない	ため回答なし)		
4	30	型域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助高等を受ける報会を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)		
1	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の貯蔵発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助意等を受ける報金を設けているか。	33%	67%	外途時に他の理論との交流の確全がございます。	
	32	毎月所や昨走ことも隠。幼稚園等との交流や、地域の中で他のこともと活動する機会があるか。	100%	0%	党権の減り時に応え合つことができております。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	75%	25%	電子の連絡機を用いたクプ犯罪の設計や、遺骸の申し送りにより伝達を行って、共通堕骸を定めております。	
	34	事談の対応力の向上を図る観点から、家族に対して事族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や事態等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での克根にご認知、Vにだけるより組かくお伝えしております。	
	35	遷居境程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な影响を行っているか。	100%	0%	ご物感に応じて、対応させていただいております。	
	36	光盤発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先考達の傾点を請まえて、こどもや家族の懲円を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご要能に応じて、対応させていただいております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の问意を得ているか。	100%	0%	版事に知った「伊皇 別 達克護計画」を示しながら支援外部の説明を行い、保護者さまから茂皇別達克護計画の明章を何ております。	
4	38	支期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、国談や必要な結束と支援を行っているか。	50%	50%	ご物語に切じて、対応させていただいております。	
4	39	公明の命の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者附立で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい時主で交流する機会 を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ご物語に切じて、対応させていただいております。	
	40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に開始し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 か、	100%	0%	ご関節がありました際には、迅速かつ側切に対応しています。	
-		支際的に連続等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに落動予定を発情しております。また、物質専日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける歌り組みを行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分ែ要しているか。	100%	0%	入社時に届行義にて確認し、個人情報の保護や認識的企とかを入れております。	
	43	際裏のあるこどもや保護者との意思の辞述や情報伝達のための配差をしているか、	33%	67%	傷々の状況に応じて勧進を行っております。	
	44	事業所の行事に地域社民を紹介する等、地域に関かれた事業適苦を図っているか。	33%	0%	ご事態に応じて、対応させていただいております。	
	45	・ 車成的にマニュアル、緊急時対応マニュアル、粉形マニュアル、協会症対応マニュアル等を策定し、鑑賞や家族等に関加するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか。	92%	8%	毎年2回の原練を実施しております。	
	46	電易機能計画 (GCP) を策定するとともに、并来災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	(Cグ物変あり→ 幕原総計画 (GOP) を常定し、支際的な回線を行っております。なし→ 支際的な回線に加え、業務総計画 (GOP) の過ぎを検がいたします。	
	47	事前に、 原業や予約抜種。 てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	電温時上でも共和し、児間に別のております。	
3	48	食物アレルギーのあることもについて、複雑の像示器に基づく対応がされているか。	100%	0%	電風時立でも共有し、児童に努め、外切しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を描じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	92%	8%	間周明さでは月し、把側に別め、対応しております。	
3		こともの交生機能に関して、等等等との連携が関与れるよう。安全計画に基づく影響内等について、事態等へ衝発しているか。	100%	0%	環境所式でも共和し、保護者を各人の際犯に努めております。	
	51	ヒヤリハットを事業所介で共有し、再発的企工向けた方法について検討をしているか。	100%	0%	李列権ではありませんが、三組なことでも犯入をし、李孝所でヒヤツハットを確認共有しております。また、他李某所の信理者とも共有する体制を包含ております。	
	52	虚博を弥正するため、閲覧の研修機会を機能する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虚物防止委員会を設置するとともに、定期可な会保持を行ない、虚物防止に努めております。	
	53	どのような場合にやむを得す身体内束を行うかについて、結婚的に決定し、こどもや投資者に事用に十分に設明し了解を得た上で、光盤発達支援計画に記載している。	100%	0%	場合性・肝代動性・一時をを満たしている場合とし、身体物変を行った場合には記録を行っております。 また、計画前にも放映しております	
				1		

ij	業所名	グローバルキッズメソッド019 新間々田店(パーク)			公表日 2025年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用支援が発達支援重等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	用途に合わせたフロアをご用意しております。
100	2	利用支援やこどもの状態等に対して、職員の配置数は絶対であるか。	100%	0%	別式や解析主義格のある機関を必要して、人具軽重を消にしております。
- 体	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、参展所の股傷等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配達が通	100%	0%	必要に応じて機能がフォローを行ねっております。
\$1 50 69		切になされているか。 生活変数は、溶雑で、心地よく感ごせる等等になっているか、定た、ことも連の地獄に合わせた窓間となっているか。	100%	0%	毎日、清解を行っております。電場設定に関してか今まめ公路し会いを行っております。
	5	必要に応じて、こさもが個別の部盤で場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状态に応じてグループで感覚を分ける等の対応をしております。
	6	単純改調を進めるための POCA サイクル(世際設定と振り高り)に、広く電気が参加しているか。	100%	0%	変動に合成を開催して私したいを行っております。
	7	####################################	100%	0%	アンケート協実や、直接のコミュニケーションから保護者とそのお声を指揮し、改賞できるように知めていきたいと思います。
華 粉	8	(城南州の7月後級により、 城南南寺の南川寺を世滅する権力を取りており、その刊号を集積は臨にしなけているか。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	100%	0%	プラブ・「物味・・・ 出版のような」 グラブ・シの様式 いあいなか かった かかく では、 こうか かり ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま
255			100%	0%	今歳時がしていきたいと思います。
	9	東三朝による外部評価を行い、貯穀延業を要務改施につなけているか。			
	10	間間の資務の向上を掴るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	会番号の信かで、影響影響の閲覧による短期引上たかを入れております。 取点から上、窓着アロウラムを表現し必要しております。
	11	激功に支援プログラムが作成、公装されているか。	100%	0%	
	12	報々のごともに対してアセスメントを選切に行い、こともと保護者のニーズや超数を容疑的に分析した上で、児童発達支護計画を作成しているか。 児童発達支援計画を介成する即には、児童発達支援物等責任者だけてなく、こともの支援に関わる機関が共通機能の下で、こともの最高の利益を考慮した検討が行われ	100%	0%	アセスシント階級だけでなく、滋養者を書からのご意見やお子さまの様子をお得べし、計画を作成出来るように知りております。
	13	T.V.B.D.	100%	0%	こともの支援に関わる職員明立て情報を共得し、日々特別しております。
	14	型業発表支援計機が構員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 こともの場合行動が状気を、標準化されたゲールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動機関なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により。	100%	0%	毎時期間、短数発表理計画に沿った支援を心倒けております。
10	15	こことが認められている。 物意しなけにシールを思いた。メヤーマルルトビスターマト、日マの打算機関いるできなコープメヤーマルルトビスタンドを受けまり合い。 よい 環境によっている。 「産業発表支援計画には、児童発表支援ナイドラインの「児童発表支援の使用する支援」の「永入支援」、「産業支援」、「保存支援」及び「物域支援・物域連携」の	100%	0%	銀物等等的の記録を取り、次回等等内容を立てる際に活用しております。
切な	16	ねらい及び支援内容を請求えながら、こともの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	党議権を設計論には、必要収測は分離切に選択され、そのクスで、具体的収支援的は少数定されております。
類の	17	活動プログラムの位案をチームで行っているか。	100%	0%	放し合いのと、効能プログラムを決定しております。
鉄	18	透動プログラムが需要化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改集が必要が場合、内容を見難して安省点を総か込むようにしております。
	19	こともの状況に応じて、個別活動と機団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況に応じて、個別活動と機能活動を適用組み合わせて光盤発達支援計画を作成しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打会せを行い、その日行われる支援の内容や役割分別について機関し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出物類が異なることが多い場。 宗物職員を中心に情報共和巡察るよう。 記録や口頭によるコミュニケーション等で権助に易のております。
	21	支援物子後には、環境間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の限り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	遺動機能の機に異なることが多い場。内側に無効機能を中心に情報共和巡察るよう。記録や口頭によるコミュニケーションやで機能に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改高につなけているか。	100%	0%	個別等目時の起送を取り、次別等用内容を立てる際に次用しております。
	23	支票的にモニタリングを行い、児童保護支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか、	100%	0%	お子さまの状況やお野性に応じて敷切れ見直しを行っております。
	24	物書形相談支援事場所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した復が参加しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより増殖している職員が参加出来るように努めております。
	25	助域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害強祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う仲制を加えているか。	100%	0%	必要に応じて適応差別しております。
	26	例19利用で移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン落進の能点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚 前)等との間で、支援外指等の情報共有と概互理解を限っているか、	100%	0%	必要に応じて、適面する幼稚園や資料開始の間負の方との情報共再を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学舗)との間で、支援内容等の情報共有と概互理解を図っているか。	100%	0%	例設する敗線等等デイサービス事業との情報共再を図りながら、ご算証があれば学校との情報共和に施打ておいります。
(R)	28	(28~30は、センターのみ関係)			
間で		地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事務所等と連携を関り、地域全体の長の向上に負する歌組等を行っているか。	(センターではない	小ため間答なし)	
保護		質の向上を図るため、機能的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではない	ため回答なし)	
ے ص	30	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや物震等を受ける機会を設けているか。	(センターではない	ため間答なし)	
挽	31	(31は、事場所のみ四階)			
		地域の貯蔵発達支援センターとの連携を調り、必要に応じてスーパーパイズや物高等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	必要に応じて連携し、研修にも小卓的にでおります。
	32	保育所や研定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	ご整備に切りて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共選性解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を抑いたケア犯罪の延付や、激散の中し返りにより伝達を行って、共適機能を定めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	ごちての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発情し、ご家庭での支援にご法用いただけるよう確かくお伝えしております。
	35	連高周度、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な放明を行っているか。	100%	0%	ご物感に応じて、対応させていただいております。
	36	型整発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の後先考慮の総点を請求えて、こどもや家族の意向を権能する総合を設けているか。	100%	0%	ご要素に応じて、対応させていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の影响を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	※基本におった「児童内達克維計画」を示しながら支援が信の説明を行い、保護者とよから児童内達支援計画の明意を得ております。
保	38	芝期的に、家族等からの子育での悩み等に対する相談に適切に応じ、推談や必要な物質と支援を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。
複名へ	39	父明の命の活動を支援することや、保護者合等を開催する等により、保護者時士で交流する場合を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい時士で交流する機会 を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ご要談におして、対応させていただいております。
の 取 期	40	こどもや探護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に限切し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している か、	100%	0%	ご問題があり戻した際には、迅速かつ激切に対応しています。
19	41	定期的に連携等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発情しております。また、物質毎日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける歌り組みを行っております。
	42	個人情報の販搬いに十分ែ度しているか。	100%	0%	入社時に振的書にて確認し、個人情報の保護や認識所にこかを入れております。
	43	際書のあることもや保護者との意思の接通や情報伝達のための配導をしているか。	100%	0%	傷令の状況に応じて勧励率を行っております。
	44	事業所の行事に地域性更を招待する等、地域に関かれた事業連貫を図っているか。	100%	0%	ご養殖に応じて、対応させていただいております。
	45	事政所はマニュアル、緊急時対応マニュアル、初犯マニュアル、移足マニュアル等を策定し、職員や審議等に利加するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか、	100%	0%	毎年200の開発を実施しております。
	46	1-10-07。 軍務機能計画 (BCP) を策定するとともに、升架災害の発生に構え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BC外変表が)→ 業務機能計画(BCD)を指定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、業務機能計画(BCD)の策定を検がいたします。
	47	事前に、原薬や予防診療、てんか人及作等のこどもの状況を確認しているか、	100%	0%	周周明 士でも将行し、把握で別めております。
# #	48	食物アレルギーのあるこどもについて、実際の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	周週 月之で世界し、把側に対め、対応しております。
85 99	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や回線、その他必要以際面を描しる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	周週 月上でセドドし、把側に対め、対応しております。
対応	50	こどもの安全権保に関して、事務等との連携が振られるよう。安全計画に集づく取扱内容について、単語等へ周知しているか。	100%	0%	間間門士でも共有し、保護者さぶへの間知に関わております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	学物質ではありませんが、 無限なごとでも記入をし、 事業所でヒヤリハットを確認共有しております。また、 物学業所の指揮者とセル有する体制を包えております。
	52	虚清を防止するため、塩間の研修組合を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	森特所に発展会を設置するとともに、定期的な会場時後を行ない、森博所立に努めております。
	52	どのような場合にやむを得ず身体的未を行っかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了所を得た上で、児童鬼達支援計画に記載している。		046	協団・再代館性・一時性を推たしている場合とし、自株内変を行った場合には記算を行っております。 また、計画家でも効果しております

Ŧ	業所名	グローバルキッズメソッド021 新宮の内店(パーク)			公表日 2025年2月1日
F		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が発達支援密等のスペースとの開催で適切であるか。	90%	10%	用能に合わせたフロアをご用意しております。
堰	2	利用支貨やごどもの状態等に対して、環境の配置的は適切であるか。	80%	20%	物質や材料上資格のある物質を配置して、人員態等を満たしております。
- 体	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、参纂所の股傷等は、降害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配達が通	80%	20%	必要に応じて確認がフォローを行任っております。
21 52 59	4	切になされているか。 生活支援は、溶革で、心地よく派ごせる毎年になっているか、走た、ことも連の地獄に合わせた短期となっているか。	80%	20%	毎日、温解を行っております。環境放立に関しても小正を心切し合いを行っております。
26	5	◆事に応して、こどもが報酬の範疇や場所を表示することが認められる環境になっているか。	100%	0%	技能に応じてグループで報酬を付ける等の対応をしております。
	6	電表改画を含めるための POCA サイクル(内容放文と振り高り)に、広く電気が参加しているか。	90%	10%	ウ ビルル支援が必要かを機能的で扱いないしております。
	7	************************************	80%	20%	佐護教で達分与の計画務を知用しております。
寨	8	機関の原見等を利用する場合を設けており、その時を基準改善につなけているか。	100%	0%	支際的に企成を開催して結したいを行っております。
25	9	第三者による外部が他を行い、評価協議を要務改議につなけているか。	80%	20%	今後移れていまたいと影響す。
	10	第二年によるの7年8月1日では、計画開発を重要的以前に、24以 しいのか。 種類の資質の向上を招きために、研想を受賞する場合では人が特で研修を開催する場合が構改されているか。	100%	0%	全体研修のほか、一部整整部の複雑による短期向上にかを入れております。
	11	電具の理解の対点を認めたがし、 的様を支援する機能である。 適能に支援プログラムが作品、 分離を対象する機能である。 適能に支援プログラムが作品、 分表されているか。	100%	0%	生産性が必要なが、100mmの企業を使用しています。 ・
			100%		では、
	12	個々のこともに対してアセスメントを選切に行い、こともと傾離者のニーズや提問を名破行に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援物等責任者担けてなく、こともの支援に関わる機関が共通機能の下で、こともの最高の利益を考慮した検討が行われ	100%	0%	アビルシアドロ地によりない、独議的においづかに、他がやけてもからいた。計画を対象は作みように対象し、とうとます。 こともの主義に関わる問題を士で信頼を共和し、日々特別しております。
	13	ているか、		0%	したのシスターボルでのMAMPA」と、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では
	14	型盤発達支援計画が個貨幣に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 こともの適応行動が状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルはアセスメントや、日々の行動装削収とも含むインフォーマルはアセスメントを要用する等により	100%	0%	
38	15	機関しているか。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	90%	10%	銀物等時の企路を取り、近期等所が存在でくる時に活用しております。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
切な支	16	ねらい及び支援内容や請求えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	
類の理	17	活動プログラムの収案をチームで行っているか。	100%	0%	間(点)(の)上 効能プログラムを決定しております。
gt	18	活動プログラムが確定化しないようエ夫しているか。	100%	0%	透散が多数な場合、内容を見違して改善点を能か込むようにしております。 -
	19	こともの状況に応じて、個別活動と専団活動を適互駆み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子されの状況に応じて、傾間活動と連貫階級か合わけて別意発達支援計画を作成しております。
	20	支援開始所には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について帰郷し、チームで連携して支援を行っているか。	90%	10%	出物域が異なることが多い項、系物鑑賞を中心に情報が料金をおかり、見替では強によるコミュニケーション等で構造に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず行合せを行い、その日行われた支援の服り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	90%	10%	適助時間と同様に異なることが外、項、同様に指数機関を中心に情報共和社をおよう。 配算や口様によるコミュニケーション等で構成に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改高につなげているか。	90%	10%	報酬等等的の記録を包ク、次回等的が最全立てる際に活用しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童保護支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて確認は発慮しを行っております。
	24	商書形配款支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのごどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより機能している職員が参加があるように募めております。
	25	地域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害保証、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	90%	10%	必要に応じて衛務連携しております。
	26	明行利用や終行に向けた支援を行うなど、インクルージョン接着の関点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定ことも際、幼稚園、特別支援学校(幼稚 前等との間で、支援外容等の情報共再と報互理解を振っているか。	90%	10%	必要に応じて、適需する幼稚園や解園の房との情報共和を行ねっております。
	27	数学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学前)との館で、支援内容等の情報共有と模互増解を図っているか。	90%	10%	報数でも仮算条等デイサービス事業との情報共有を誤りながら、ご覧望があれば学校との情報共有に繋がてまいります。 ■ 1 日本 1 日
係機	28	(28~30は、センターのみ回答)			
印年		売組の他の児童発達支援センターや障害児過所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の長の向上に貢する取組等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)	
技術	29	長の向上を踏るため、積極的に専門家の専門機関等から動業を受けたり、職員を外部時様に参加させているか。	(センターではない	小ため回答なし)	
との連	30	地域の貯蔵発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動業等を受ける報合を設けているか。	(センターではない	いため回答なし)	
98	31	(31は、事業所のみ回路)			
		地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動業等を受ける機会を設けているか。	89%	11%	必要にむじて連携し、研修にも少卓めに参加しております。
	32	(収算所や昭定こども隔、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	70%	30%	ご要値に応じて、対応させていただっております。
	33	日本からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や保慰について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を抱いたケアを膝の強付や、動物の中に通りにより伝達を行って、共通機能を指めております。
	34	家族の対応かかの月上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の場合や情報提供等を行っているか。	80%	20%	こちらての対応方法等を「本日の権子」として日の情報発信し、ご覧定での支援にご活用いただけるよう権かくお伝えしております。
	35	連展現態、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要感に応じて、対応させていただいております。
	36	党監察者支援計画を作成する際には、こどもや保護権の意思の問題。こどもの最高の利益の優先与導の報点を加まえて、こどもや家族の意向を確認する場合を設けているか。 なか。	100%	0%	ご問題に応じて、対応させていただいております。
	37	「児童院達支援計画」を示しながら支援内容の影响を行い、保護者から児童院達支援計画の何意を得ているか、	100%	0%	要象に沿った (労業を高支援計画) を示しながら支援が命の説明を行い、保護者をよから党業発達支援計画の何意を得ております。
保護	38	定期的に、英族等からの子育ての経み等に対する相談に適切に応じ、推談や必要な物质と支援を行っているか。	100%	0%	ご管臓に応じて、対応させていただいております。
者 へ の	39	公場の命の恋動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者的士で交流する報会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい時士で交流する報会 を設ける等の支援をしているか。	60%	40%	ご客間に応じて、対応させていただいております。
29: 10)	40	ごどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を登録するとともに、ごどもや保護者に施知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 か、	90%	10%	ご物語がありました際には、迅速から維切に対応しています。
99	41	芝類的に通信等を発行することや、HPPSNS等を返用することにより、返動概要や行事予定、通信体制等の情報をごどもP体調査に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信しております。また、物質報目にプログを作成し、活動の様子をご物理いただける歌り組みを行っております。
	42	個人情報の取扱いに十分能差しているか。	100%	0%	入社等に振的器にて確認し、個人情格の保護や認識所定にかを入れております。
	43	物質のあることもや保護者との意思の辞遺や情報伝達のための配導をしているか。	100%	0%	傷への状況に応じて勧進を行っております。
	44	事業所の対象に他域性更を紹介する等、地域に関かれた事業連貫を関っているか。	100%	50%	ご整備に応じて、対応させていただいております。
	45	事政防止マニュアル、禁急時対応マニュアル、防形マニュアル、感染症対応マニュアル券を推定し、職員や意識等に用加するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか。	100%	0%	毎年2回の部隊を実施しております。
	46	電務機能計画 (GCP) を策定するとともに、芬英贝斯の発生に備え、定期的に避難、依出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	GCが成支あり→ 専務組織計画(GCが)を地定し、支際的な訓練を行っております。なし→ 支際的な訓練に加え、集務組結計画(GCが)の規定を検討したします。
	47	事務に、振興や手効候種、てんかん発作等のこともの状況を確認しているか。	100%	0%	電視時上でも共和し、見能に努めております。
#	48	食物アレルギーのあることもについて、医療の他示害に基づく対応がされているか。	100%	0%	電場所上で包括何し、見間に努め、対応しております。
89 の	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な時報や回線、その他必要な問題を構じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	電理時上で包括何し、見間に努め、対応しております。
功応	50	こともの安全機能に関して、薬薬等との連携が限られるよう。安全計画に振づく取扱内容について、薬薬等へ規矩しているか。	90%	10%	製剤性さら共和し、保護者ささへの間似に知らております。
	51	ヒヤリハットを事業所付て共有し、再発防止に向けた万策について検討をしているか。	100%	0%	事物権ではありませんが、形態なごとても犯入をし、事業所でヒヤゾハットを選択共和しております。また、信事業所の指揮者とセ共有する体験を指えております。
	52	歯体を防止するため、職員の研修報会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	南郊所と教教会を披露するととかに、支際的な会員報を行ない、南郊所とに努かております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体内束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	切迹性・呼性を構たしている場合とし、身体内変を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております

事業所名 グローバルキッズメソッド027 ゆいの杜店(パーク) 公表日 2025年2月1日 改善目標、工夫している点など チェック項目 いいえ 用途に合わせたフロアをご用意しております。 利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 100% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 生活を設定。こともにわかりやすく構造化された準明になっているか、また、参導所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、準理上の起達 切になされているか。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 83% 0% 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 状況に応じてグループで部屋を分ける等の対応をしております。 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 83% 17% ウケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を消載し、改善できるように努めていきたいと思います。 取業者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 100% 0% 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 話し合いのよ、活動プログラムを決定し公舎しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 100% 0% セスメント用紙だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ こどもの支援に関わる職員阿士で情報を共有し、日々検討しております。 利用時、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けております 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等によ 場際にアンスか |練育時の記録を取り、次回検育内容を立てる際に活用しております 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 100% 0% P. 盤発達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 改善が必要な場合、内容を見直して反省点を組み込むようにしております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 病質が異なることが多い為、常動性員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 67% 33% 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時間も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 33% 67% **川坡育時の記録を取り、次回坡育内容を立てる際に活用しております。** 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 100% お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 100% 0% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 33% 例行列車や紹行に向けた支援を行うなど、インクルージョン構造の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定ことも属、幼稚園、特別支援学校(1 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互理解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小束めに参加しております。 宮育所や認定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 5らでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 100% 0% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 0% 100% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 月ごとに活動予定を発信しております。また、毎回幕日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 17% 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 毎年2回の訓練を実施しております。 45 BCP第定あり→ 業務極続計画 (BCP) を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、業務極続計画 (BCP) の策定を検討いたします。 実務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 事前に、脳巣や予防修構、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 100% 0% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 職員阿士でも共有し、把握に努め、対応しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 0% 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 100% 0% 例集ではありませんが、 些細なことでも尼入をし、 事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。 また、 他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 **首待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。** のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して 切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております 53

53

利用児童なしのため結果なし 事業所名 グローバルキッズメソッド028下栗店(パーク) 公表日 2025年2月1日 改善目標、工夫している点など チェック項目 はい いいえ 利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 全活気能は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の股陽等は、降害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配達か 切になされているか。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども連の活動に合わせた空間となっているか。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 R膜着向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討 Tいるか、 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等によ 機能しているか。 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「原称支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容を翻译えながら、こともの支援に必要な項目が開切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分階について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 随害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 改成の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 例行列中10時行に同けた支援を行うなど、インクルージョン構造の組成から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定ことも間、幼稚園、特別支援学校(部)等との間で、支援が容等の情報共有と根互理解を図っているか。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との数で、支援外容等の情報共有と相互理解を誤っているか。 (28~30は、センターのみ回答) 城の他の児童発達支援センターや障害児遇所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する歌相等を行っているか。 高の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 宮育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 児童名達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ 36 37 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、南談や必要な助言と支援を行っているか こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応して、 定期的に連携等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 陪害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業運営を図っているか。 李成的にマニュアル、緊急向対応マニュアル、核形マニュアル、核心症対応マニュアル等を確定し、機関や李族等に用知するとともに、発生を想定した訓練を実施いるか。 45 事務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して

事業所における自己評価結果

事業所名 グローバルキッズメソッド032 下高間木店(パーク) 公表日 2025年2月1日 改善目標、工夫している点など チェック項目 いいえ 用途に合わせたフロアをご用意しております。 利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 100% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 生活を設定。こともにわかりやすく構造化された準明になっているか、また、参導所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、準理上の起達 切になされているか。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 100% 0% 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 状況に応じてグループで部屋を分ける等の対応をしております。 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 100% アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を消載し、改善できるように努めていきたいと思います。 取業者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 100% 0% 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 禁し合いの上、活動プログラムを決定し公舎しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 100% 0% セスメント用紙だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ こどもの支援に関わる職員阿士で情報を共有し、日々検討しております。 利用時、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けております 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動鏡際なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により WRIT Trists 別僚育時の記録を取り、次回僚育内容を立てる際に活用しております 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 100% 0% P. 盤発達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 改善が必要な場合、内容を見直して反省点を組み込むようにしております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 病質が異なることが多い為、常動性員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 100% 0% 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時間も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 100% 0% **川坡育時の記録を取り、次回坡育内容を立てる際に活用しております。** 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 100% お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 100% 0% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション落連の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互受解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小束めに参加しております。 100% 宮育所や認定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 5らでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 100% 0% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 50% 50% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 月ごとに活動予定を発信しております。また、毎回幕日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 45 毎年2回の訓練を実施しております。 実務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 BCP能定あり→ 業務継続計画 (BCP) を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、業務継続計画 (BCP) の策定を検討いたします。 事前に、脳巣や予防修構、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 100% 0% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 職員阿士でも共有し、把握に努め、対応しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 0% 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 100% 0% 例集ではありませんが、 些細なことでも尼入をし、 事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。 また、 他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 **首待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。** のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して

切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております

53

事業所名 グローバルキッズメソッド034 西茂呂店(パーク) 公表日 2025年2月1日 改善目標、工夫している点など チェック項目 いいえ 用途に合わせたフロアをご用意しております。 利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 100% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 生活を設定。こともにわかりやすく構造化された準明になっているか、また、参導所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、準理上の起達 切になされているか。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 100% 0% 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 状況に応じてグループで部屋を分ける等の対応をしております。 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 100% アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を消載し、改善できるように努めていきたいと思います。 取業者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 100% 0% 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 禁し合いの上、活動プログラムを決定し公舎しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 100% 0% セスメント用紙だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ こどもの支援に関わる職員阿士で情報を共有し、日々検討しております。 利用時、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けております 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動鏡際なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により WRIT Trists 別僚育時の記録を取り、次回僚育内容を立てる際に活用しております 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 100% 0% P. 盤発達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 改善が必要な場合、内容を見直して反省点を組み込むようにしております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 病質が異なることが多い為、常動性員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 100% 0% 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時間も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 100% 0% **川坡育時の記録を取り、次回坡育内容を立てる際に活用しております。** 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 100% お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 100% 0% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション落連の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互受解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小束めに参加しております。 100% 宮育所や認定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 5らでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 100% 0% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 100% 0% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 月ごとに活動予定を発信しております。また、毎回幕日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 毎年2回の訓練を実施しております。 45 BCP能定あり→ 業務継続計画 (BCP) を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、業務継続計画 (BCP) の策定を検討いたします。 実務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 事前に、脳巣や予防修構、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 100% 0% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 職員阿士でも共有し、把握に努め、対応しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 0% 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 100% 0% 例集ではありませんが、 些細なことでも尼入をし、 事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。 また、 他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 **首待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。** のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して 切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております 53

事	業所名	グローバルキッズメソッド035 新さくら店(パーク)			
					公表日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が発達支援態等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	用途に合わせたプロアをご用意しております。
填填	2	利用支貨やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	製造や保育主責格心ある階間を配置して、人員被害を満たしております。
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	3	生活空間は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配達が適 切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
報	4	生活空間は、清潔で、心地よく通ごせる専門になっているか、また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	物日、消降を行っております。電機設定に関しても小束めな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部連や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状形に応じてグループで関連を分ける等の対応をしております。
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く福島が参画しているか。	100%	0%	支援的に会議を解雇して防止会いを行っております。
	7		0%	100%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者とそのが声を強奪し、改善できるように努めているだいと思います。
棄務					支那的に会議を開催して扱い合いを行っております。
热	8	職員の意見等を見贈する場合を設けており、その内容を集務改画につなけているか。	100%	0%	
	9	東三朝による外部昨日を行い、呼音結果を集務改高につなげているか。	0%	100%	今後終けしていそのとほす。
	10	職員の責任の向上を抱るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が機体されているか。	100%	0%	全体可能のほかに、研修動館の視聴による知識内上に力を入れております。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	禁し合いのと、活動プログラムを決定し公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を苦酸的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント用紙だけでなく、保護者と変からのご意見やお子さまの様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	型盤発達支援計画を作成する際には、児童発達支援影響責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通機械の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	こどもの支援に関わる極度同士で情報を共有し、日々検討しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎料物等、児童発達支援対応に沿った支援を心酔けております。
	15	こともの感だ計動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 機能しているか。	100%	0%	銀物検育時の起酵を取り、次回検育内容を立てる際に活用しております。
抽切	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「稼行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	児童院連支援計画には、必要な場面が被抗に退役され、そのラスで、具体的な支援的指が設定されております。
な支	17	ねらい及び支援的宿や指導されながら、こどもの支援に必要な項目が関切に設定され、その上で、具体的な支援的宿が設定されているか。 効象プログラムの立策をチームで行っているか。	100%	0%	協し合いのと、活動プログラムを発送しております。
類の類					
gt	18	3動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が多数な場合、内容を発露して改善点を組み込むようにしております。
	19	こともの状況に応じて、個別活動と単回活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況に応じて、個別知動と集団和動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず行合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	近野時間が異なることが多い為、常粉離員を中心に情報共和出来るよう。 記録や口頭によるコミュニケーション等で機関に努めております。
	21	支援終了後には、鑑賞間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の傷り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%	退動時間も同様に異なることが多い場。同様に宗劫間間を中心に情報共有巡安るよう、記録や口間によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改満につなげているか。	100%	0%	銀別等男時の起酵を取り、次回等男内容を立てる際に活用しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて確切な見楽しを行っております。
	24	即憲形配設支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が伊سしているか。	100%	0%	お子さ来の状況をより理解している機関が参加出来るように努めております。
	25	型域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保算、慎賞等の原体機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて複数差別しており戻す。
	26	例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン搭進の観点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚	50%	50%	必要に応じて、適需する公権部で経済期の複数の方との情報共再を行なっております。
		副等との間で、支援が容等の情報共有と相互理解を励っているか。	50%		例記する他国務等デイヤービス事業との情報共和を関ウは分与、ご覧証があれば学校との情報共和に施げて高いります。
_	27	銀子時の終行の際には、小子校で特別支援学校(小子前)との第で、支援小容等の情報共有と模型機を捌っているか。	50%	50%	対応すら記録等サフリンドレス学者という様式がグルグウ、、 矢側が参与した大くという情報がある。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで
係機	28	(28~30は、センターのみ関係)			
INI CT		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の祭の向上に貢する取組等を行っているか。	(センターではない	ため図答なし)	
保護者	29	発の向上を図るため、特殊的に専門家や専門機関等から助変を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではない	ため回答なし)	
0	30	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助高等を受ける報会を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)	
携	31	(31は、事業所のみ回答)			
	"	地域の児童発達支援センターとの差別を誤り、必要に応じてスーパーパイズや物言等を受ける報会を設けているか。	50%	50%	必要に応じて連携し、研修にセケ支おに労加しております。
	32	保育所や匈支こども風、幼稚園等との交流や、物域の中で他のこどもと活動する場合があるか。	0%	100%	ご泰隆に応じて、対応させていただいて参り来す。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの泉連の状況や課題について共選連解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を用いたケアを認め近付り、直診の申し送りにより伝達を行って、共進機能に認めております。
	34	事態の対応力が向上を招き観点から、準値に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%	こちらでの対応方法等を「神日の様子」として日々情報発信し、ご察察での支援にご思想いただけるより極かくお信えしております。
	+		4000	001	ご際端に応じて、対応させていただいでおり戻す。
	35	選問期後、支援プログラム、お子さま負別等について丁寧な説明を行っているか。 ・ 児童発達支援計画を介成する際には、こともや党議者の意思の尊重。こともの海系の利益の優先考慮の報点を指定えて、こともや家族の意内を模容する場合を設けてい	100%	0%	
	36	80.	100%	0%	ご開催に応じて、対応させていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の明意を得ているか。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	100%	0%	新事におった「欠款商連支援計画」を示しながら支援内部の改明を作い、保護者とまから改業商連支援計画の明確を得ております。 -
保護	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する樹族に適切に応じ、幽談や必要な動策と支援を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいであります。
**	39	父母の命の恣動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者附立で交流する概念を設ける等の支援をしているか。また、きょっだい明立で交流する概念 を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご整度に応じて、対応させていただいております。
の説	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	ご問題が多りました際には、迅速かつ適切に対応しています。
99	41	芝用的に連携等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこともや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに滋動学支を発倒しております。また、物質薬目にプログを作成し、滋動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	42	個人情報の取扱いに十分回意しているか。	100%	0%	入社時に留的唐にて模様は、個人情報の保険や確認所止に力を入れております。
	43	南高のあるこどもヤ保護者との意思の政治や情報伝達のための配達をしているか。	100%	0%	傷々の状況になって配慮を行っております。
	44	事業所が対策に地域社技を招待する等、地域に開かれた事業運営を譲っているか。	100%	100%	ご家庭に応じて、対応させていただいでおります。
	-	李世がルマニュアル、短急時対心マニュアル、終烈マニュアル、終発を対応マニュアル等を策定し、機関や策略等に開発するとともに、発生を想定した訓練を実施して			毎年2回の回聴を事業して対ります。
	45	いるか。	100%	0%	
	46	業務額総計画 (BCP) を推定するとともに、非常災害の発生に偏え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCP能支あり→ 暴務機能計画 (BCP) を策支し、定期的公開機を行っております。なし→ 定期的公開機に加え、緊務機能計画 (BCP) の策支を検がいたします。
	47	幸前に、原業や予防侵襲、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	職員時主でも共有し、把籍に別めております。
非常	48	食物アレルギーのあることもについて、医師の傷守着に魅づく対応がされているか。	100%	0%	機能所とでも共有し、把握に努め、対応しております。
時 99 の	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や回線、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職員時亡でも共称し、授権に関め、対応しております。
98 15	50	こどもの安全権保に関して、準務等との連携が開られるよう。安全計画に基づく取扱内容について、準務等へ周知しているか。	100%	0%	職員所立ても共利し、保護者さまへの原知に努めております。
	51	ヒヤリハットを事業所介で共有し、再発防止に向けた方頭について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではおりませんが、形臓なことでも起入をし、事業所でヒヤツハットを選取片利しております。また、他事業所の選集者とも共有する体験を狙えております。
	52	虚博を防止するため、推奨の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	森物院上委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、森物院上に努っております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明して解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	100%	0%	協会性・研究教性・一切性を推定している場合とし、身材物等を行った場合には記算を行っております。 また、計画家にも放発しております

a	W REAT]				
事	業所名	グローバルキッズメソッド037 鶴田店ブラス(バーク)			公表日		
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
	1	利用定員が旁達支援翌等のスペースとの関係で剥引であるか。	100%	0%	際能に合わせたプロアをご用意しております。		
環境	2	#何定費やごどもの状態等に対して、職員の配告試は適切であるか。	100%	0%	務員や保育主責務のある職員を必要して、人員継承を満たしております。		
(# (B)	3	生活空間は、ごどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の影楽が通 切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
報	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる場所になっているか。また、こども途の活動に会わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、高脚を行っております。塩焼放在に関しても小まめな話し合いを行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の保護や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	見待ちを落ち進かせる研覧の理測はお子さま連の表情からもよいスペースだと思われます。		
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と無り返り)に、広く鑑賞が参画しているか。	100%	0%	職類数の声を開き、無り渡り、次の間標を試し合えております。		
	7	保護者向け評価書により、保護者等の意向等を把握する機会を掛けており、その内容を果積改高につなけているか。	100%	0%	克護者の論を通して奴隷者さまの他向を影响・思ります。		
務改	8	職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を集務改画につなげているか。	100%	0%	職間でが強なく意見を交換し、改善を結し合っております。		
ä	9	東三衛による外部貯価を行い、貯価結果を業務改満につなけているか。	67%	33%	今後検討していきたいと思います。		
	10	職員の責任の向上を図るために、研修を受講する機会や法人の等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動機の複数による知識内上に力を入れております。学びの多い研修です。		
	11	選切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	放したいのと、活動プログラムを決定した者の正す。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したとで、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	支援対策をもとに職員数でよく払しかい、支援に取り扱っております。		
	13	光重発達支援計画を作成する際には、光重発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通更解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	機関数でお子さまの情報を求めた共和し、変化にも対応して支援させていただいでおります。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎時間時、児童発達支援計画に沿った支援を心倒けており戻す。		
	15	こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 確認しているか。	100%	0%	他別等資料の記録を取り、次回等資料店を立てる際に活用しております。		
湖切	16	、 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の提供する言支援」の「本人支援」、「等級支援」、「等行支援」及び「地域支援・地域連携」の ならい及び支援所用や翻塞えながら、こともの支援に参数な場合が電射に設定され、その上で、具体的な支援所指が設定されているか。	100%	0%	児童発達支援計画には、必要な場合が定差的でき、そのうえて、具体的な支援や確立修定されております。		
な支援	17	窓動プログラムの収案をチームで行っているか。	83%	17%	部し合いのと、効能プログラムを発定しております。		
の規	18	活動プログラムが固定化しないようエ夫しているか。	100%	0%	間周間でアイテアで発象し、日発能のアドバイスのもと様々な工夫に努めております。		
	19	こどもの状況に応じて、仮別活動と無阻活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さきの状況に応じて、個別改験と毎回記録を適宜配か合わせて児童発達支援計画を作成しております。		
	20	支援開始制には機関間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や夜割分削について種間し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	機器間で毎日丁寧にその日の支援を説明し合いはす。		
	21	支援核子楽には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の帰り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	透射物質も再感に異なることが多い場。 内側に実動機員を中心に情報共和巡告をよう。 記跡や口側によるコミュニケーション等で機関に努めております。		
	22	日々の支援に関して配貨をとることを徹底し、支援の検証・改高につなげているか、	100%	0%	物団線やかに記録しております。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切以昇直しを行っているか。	100%	0%	お子さきの状況や必要性に応じて被防攻発症しを行っております。		
	24	南西光和版支援事業所のサービス和当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	100%	0%	お子さ高の状況をより増殖している階級が参加性をよった別のでおります。		
	25	型域の保健、医療(生出医や協力度等機関等)、用高端は、保算、教育等の原体機関と連携して支援を行っ体制を整えているか。	100%	0%	の際に応じて復居を持じております。		
	26	例行列中で移行に向けた支援を行うなど、イングルージョン搭進の輸品から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定ごども際、幼稚園、特別支援学校(3種	100%	0%	※単二点して、適関する幼稚園や保育園の施設の方との情報料料を行なっており戻す。		
	27	部)等との間で、支援が高等の情報が具を施工を対しているか。 該学時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との意で、支援小路等の情報共和と相互等解を譲っているか。	100%	0%	例数する物理機等デイケービス事業との情報共和を認りながら、ご思望があれば学校との情報共和に繋げておいります。		
(A)	-	(28~30は、センターのが開発)					
保機関	28	地域の他の児童院建変接でメラーや陪審児場所支援事業所等と連携を指り、地域全体の長の向上に高する機関を行っているか。	(センターではSV. RAME (4.)				
ヤタ	29	係の向上を振るため、積極的に寄門家で専門機関等から動意を受けたり、鑑賞を外部時候に参加させているか。	(t:>9-Tuto:\textbooks\text				
複名と	30	またのでは、1980年のように対しませた。 1980年の	(センターではないたの間等なし) (センターではないたの間等なし)				
の連		(31は、事業所のみ間治)	(42.7 (44.0)				
	31	地域の児童祭練を選忙ンターとの連携を振り、必要に応じてスーパーパイズや効果等を受ける場合を扱けているか。	100%	0%	の際に応じて連携し、時間にかり率めに「効能しております。		
	32	(中国に大阪開発主張レンター)といか生物を添か、砂砂においくハーハーハーハーの目の考えている場合を示しいない。 (中国・日本の中では、中国・日本の中では、中国の中で他のこともと活動する機会があるか。	17%	83%	ご意識に応じて、対応させていたがく思ります。		
	33	第4月17年以上して10歳、初年間からになりた。均能ルチリッカルとしても必要する物品があるか。 日道からこともの状況を位置者と伝え会い、こともの指導の状況や経過について共通事業を持っているか。	100%	0%	巻子の連絡を用いたプラロ語の近付か、遊飲の申込者のにより広義を行って、共進策略を認めております。		
			67%	33%	を いっぱきがいたが、		
	34	事該の対応力の向上を振る軽点から、事態に対して事態支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や事該等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			この後に応じて、対応させていただっております。		
	35	薄原規則、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な提明を行っているか、 ・ 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	100%	0%	ご場所したく、別のなていただいとおります。 ご場所に応じて、別念なせていただいております。		
	36	80.			・ 本部と同じ、7月0日はいせたい人のかます。 悪事に引って「伊皇宗義を設計書」を示くはゲラ五郎が郭の弘明を行い、保護者さまからが豊宗義であります。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護数から児童発達支援計画の明書を得ているか。	100%	0%			
保護	38	定期的に、寒風等からの子育ての悩み等に付する相談に適切に応じ、臨談や必要な動席と支援を行っているか。 公場の合の活動を支援することや、保護者会等を指揮する等により、保護者的士で交流する場合を設ける等の支援をしているか、また、赤ょっだい等士で交流する場合を 対応の合の活動を支援することや、保護者会等を指揮する等により、保護者的士で交流する場合を設ける等の支援をしているか、また、赤ょっだい等士で交流する場合を	100%	0%	ご問題に応じて、対応させていたがくためり戻す。		
^ 0	39	を設ける物の実施しているか。 こどもや保護者からの相談や中入れたついて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に施知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	33%	67%	ご物語に応じて、対応させていただいております。		
200 101 000	40	<i>t</i> r.	100%	0%	ご問題がありました際には、拒絶から書切に対応しています。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を採用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとご前野子変を発像しております。また、物芸雑目にプログを作成し、高齢の様子をご確認いただける取り能みを行っております。		
	42	個人情報の取扱いに十分指意しているか。	100%	0%	入社等に振行業にて機可し、個人情報の構理や認識特別にこかを入れております。 		
	43	関語のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための影響をしているか。 	100%	0%	個々の状況に応じて勧誘を行っております。		
	44	事業所の打事に地域社界を招待する等、地域に関かれた事業適所を誤っているか。	100%	50%	で確認に応じて、対応させていただいております。		
	45	製造版士マニュアル、緊急時対のマニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を施定し、職員や寒珠等に発放するとともに、発生を思定した訓練を実施して いるか。	100%	0%	毎年2回の間種を実施しております。		
	46	業務組続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	83%	17%	GC物定表の→ 単原線統計集(GC))を地定し、定期的は到線を行っております。なし→ 定期的は回線に加え、単原線統計業(GC)の変定を検討いたします。		
	47	事前に、無辜や予防症機、てんかん飛作等のこどもの状況を機能しているか。	100%	0%	福朗財主でも共有し、把側に対めております。		
常時	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の像示書に魅つく対応がされているか。	100%	0%	職間対土でも共有し、把側に別め、対心しております。		
89	49	安全計画を作成し、安全管理に必要公研修で訓練、その他必要公開高を描じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	福朗財主でも共有し、把側に対め、対応しております。		
ガル	50	こともの安全機能に関して、実践等との連携が闘られるよう、安全計画に遂づく取扱内容について、実践等へ開始しているか。	100%	0%	福島時亡でも共将し、復議者さ深への際和に努めております。		
	51	ヒヤリハットを事業所的で共有し、再発防止に向けた方面について検討をしているか。	100%	0%	即何敬ではありませんが、他能なごとでも起入をし、事業所でヒヤリハットを選択共和しております。また、他事業所の能理者とも共有する体制を整文でおります。		
	52	虚待を防止するため、職員の帰稼機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	森納所に委員会を設置するとともに、定期的な全体的様を行ない、虚何所とに努めております。		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	83%	17%	切込性・矛代線性・一時性を満たしている場合とし、身体内変を行った場合には起源を行っております。 また、計画書にも双映しております		

8	事業所名	グローバルキッズメソッド038 中今泉店(パーク)			公表日 2025年2月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	1	利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	用他に合わせたプロアをご用他しております。	
17		利用支責やこどもの状態等に対して、職員の配面鉄は適切であるか。	88%	13%	前側で解算主角部のある階間を配置して、人具懸重を指定しております。	
	3	・	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
5	4	************************************	100%	13%	毎日、清解を行っております。 環境設定に関してセツまめぬ話し合いを行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが傾倒の痕迹や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで高度を分ける等の対応をしております。	
	6	車務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く福島が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を発揮して話したいを行っております。	
	7		100%	0%	アンケート結果や、意味のコミュニケーションから保護者がよるのが声を目倒し、改善できるように努めているだいと思います。	
76 8		職員の意見等を把握する機合を扱けており、その内容を業務改員につなけているか。	100%	0%	支那所に高速を開催して試し合いを行っております。	
8		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改議につなげているか。	88%	13%	今後替けていきたいと思います。	
	10	職員の責任の向上を指るために、研修を受賞する機会や法人の特で研修を開催する機会が構築されているか。	100%	0%	全体所能の行かに、研修施施の機能による知識的上に力を入れております。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公販されているか。	100%	0%	あしたいのと、活動プログラムを交叉し込着しております。	
	12	個々のこともに対してアセスメントを選切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を名談がに分析したとで、児童完建支援計画を内域しているか。	100%	0%	アセスメント用紙だけでなく、 保護者 さまからのご意見やお子さまの様子をお呼いし、計画を作成出来るように関のております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ	100%	0%	こだもの支援に関わる程度時上で情報を共有し、日々動材しております。	
	14	ているか。 光盤発達支援計能が構造物に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	参与同時、光整発達支援計画におった支援を心的けております。	
	15	/ 本語の意义(2011 MRV MRX(MRX へいかい	100%	0%	他が参拝時心記録を取り、次加等用が併を立てる際に流用しております。	
a t	-	機能しているか。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	100%	0%	労働発達発酵(株には、必要な項目が確認に選択され、そのつスで、具体的な支援的信が設定されております。	
4	-	25い20び支援内容も請求又ながら、こともの支援に必要は項目が選切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	が、点がのと、水散プログラムを含ましております。	
51 0	17	本数プログラムの企業をチームで行っているか。 本数プログラムが選手がしないようごましているか。			が成立しています。 の選挙が必要な場合、内部を見直して収益を始め込むようにしております。	
g			100%	0%	から、	
	19	こともの状況に応じて、銀幣活動と無信活動を適宜場か合わけて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	※1 しゅうかりのしまして、 manasant-manasant の立立のがっている いっぱった いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん	
	20	支援側始新には職員間で必ず打合せを行い、その目行われる支援の内容や役割分類について機能し、チームで差別して支援を行っているか。				
	21	支援終了楽には、職員間で必ず打合せを行い、その目行われた支援の服り差りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	適時間を分解に異なることが多い。 内側に高齢質異を中心に関格性用金をよう。 記録や口部によるコミュニケーションやで確認に限めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改画につなげているか。	100%	0%	他の時期内心が発生の、次回時期外級を立てる際に活用しております。	
	23	芝規的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を神師し、適切な月直しを行っているか。 	100%	0%	お子されの状況や多質性に応じて確認な利益しを行っております。	
	24	海害児秘族支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した教が委員しているか。 -	100%	0%	お子さまの状況をより機能している機能が参加出来るように別のております。	
	25	型延の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を加えているか。 	100%	0%	必要に応じて衝散連携しております。	
	26	相行項目や終行に向けた支援を行うなど、インクルージョン構造の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や指定ごとも施、幼稚園、特別支援学校(幼稚 期)等との間で、支援が指等の情報共有と処理機を扱っているか。	100%	0%	の際にないて、適需する必帰版や資料能の機能の方との情報片料を行なっております。	
	27	銀子時の終刊の際には、小子校で特別支援学校(小子前)との際で、支援小指等の情報共有と規工機能を図っているか。	100%	0%	(物数子の放棄等サイサービス事業との情報共称を削りながら、ご等望があれば学校との情報共称に施力で表いります。 ■	
9		(28~30は、センターのみ回答)				
T C		地域の他の児童発達支援センターや商書児場所支援事業所等と連携を図り、地域全体の何の内上に資する取組等を行っているか。 	(センターではないため関係なし) (センターではないため関係なし)			
2	29	第69日上を図るため、機能的に専門家や専門機関等から動業を受けたり、職員を外部将様に参加させているか。				
2	30	市域の児童発達支援センターとの連携を限り、必要に応じてスーパーパイズや助高等を受ける組合を設けているか。	(センターではない	小ため回答なし)		
91	31	(31は、事務所のみ間前)				
		型域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助高等を受ける報介を設けているか。 	100%	0%	の際にもして連携し、研修にも小家のたか加しております。	
	32	毎月所や毎定こども風、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	38%	63%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の接続機を加いたクア記録の記付や、徹底の中し送りにより信息を行って、共通機解を認めております。	
	34	事態の対応力の向上を図る観点から、事態に対して事族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や事族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	ごちちてのが応引法等を 2年日の椰子」として日々情報発信し、ご覧証での支援にご認用いただけるよう能がくお信えしております。	
	35	港原規性、支援プログラム、お子さま発用等について丁幸な説明を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
	36	定盤発達支援計画を外流する際には、こども中保護教の意思の根据。こどもの最高の特益の優先考慮の報信を設定えて、こどもや家族の都内を確認する場合を設けているか。 あか、	100%	0%	ご響感に応じて、対応させていただいであります。	
	37	「児童院達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童院達支援計画の明意を得ているか。	100%	0%	第事に知った「欠業発表を践打側」を示しながら支援内容の放明を行い、保護者とよから児童発達支援打機の同意を得ております。	
9	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、関談や必要な助賞と支援を行っているか。	100%	0%	ご響感に応じて、対応させていただいであります。	
-	. 39	2月の命の効果を必要することや、保護者会等を開催する等により、保護者阿士で交流する場合を設ける等の支援をしているか。また、きょっだい阿士で交流する場合 を設ける等の支援をしているか。	38%	63%	後子イと会開ルクを行い、兄弟の交流を行せっております。また、寒原交流についてもご覧望があれば外切させていただきます。	
2	·	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、ごどもや保護者に限知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 か。	100%	0%	ご機がありました際には、迅速かつ時切に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPPSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや収集者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに対象が充を発倒しております。また、物質単日にプログを作成し、活象の様子をご確認いただける前り組みを行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分能意しているか。	100%	0%	入社時に届行道にて得望し、個人情報の保護や認克防止に力を入れております。 -	
	43	海高のあることも中保護者との意思の政法や情報伝達のための配導をしているか。	100%	0%	傷々の状況に応じて勧誘を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を協向する等、地域に関かれた事業運営を捌っているか。	100%	50%	ご要請に応じて、対応させていただいております。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対ちマニュアル、移形マニュアル、移船を対応マニュアル号を禁定し、職員や家族等に廃垣するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	13%	毎年2回の側線を実際しております。	
	46	部務級統計版 (GCP) を策定するとともに、井菜災務の発生に備え、定期的に避難、依当その他必要な訓練を行っているか。	88%	13%	GC分類芸みり→ 暴発機能計画 (GCP) を策定し、支際的な影響を行っております。なし→ 支際的な影響に加え、薬剤機能計画 (GCP) の施定を検討いたします。	
	47	事前に、振順や予防接種、てんかん発作等のこともの状況を機能しているか。	100%	0%	職員時亡では将し、把意に努めております。	
7	48	食物アルルギーのあることもについて、医療の傷示器に基づく対応がされているか。	100%	0%	南畠時士でも共有し、把郷に努め、対応しております。	
9	_	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	南庭時亡では将し、把意に努め、対応しております。	
9.50		こともの安全機能に関して、等該等との連携が振られるよう。安全計画に終づく影励内容について、等該等へ開始しているか。	100%	0%	株園科上でも共和し、保護者ささへの開発に別めております。	
	51	とヤリハットを事業所がで共有し、再発防点に向けた万策について検討をしているか。	88%	13%	事的集ではありませんが、形態なごとても紀入をし、事業所でヒヤゾバットを適宜共和しております。また、他事業所の認理者とも共有する体制を指えております。	
	52	園寺を形立するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	卓相所に長期のを設置するとともに、支援的な企業等を行むい、卓相所止に努めております。	
	53	どのような場合にやむを得す身体内変を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計劃に記載しているか。 か、	88%	13%	切合性・肝代酸性・一時性を満たしている場合とし、身体内変を行った場合には起節を行っており戻す。また、計画家にも反映しております	

事業所名		グローバルキッズメソッド040 東城南店プラス(パーク)			公表日 2025年2月1日		
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
	1	利用定員が保建支援支等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	フローリングのほぼ全旗にプレイマットを敷く似と、安全旗に考慮しております。		
環境	2	利用支貨やこどもの状態等に対して、職員の配差数は適切であるか。	67%	33%	教員や保育士員報のある機員を配置して、人員秘事を確定しております。		
*	3	生活を開せ、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の影響が適切になされているか。	100%	0%	筋御や衛河防止など、安全側に考慮しており戻す。		
製鋼	4	************************************	100%	0%	物目の清算・排毒を徹底しております。		
	5	必要に応じて、こともが個別の部間や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	クールグウンや午後、おやつなど薄昇だけでなく、個別が応したい時に使用始末名よりになっております。		
	6	業務改済を進めるための PDCA サイクル(口標的さと間り返り)に、広く福豊が参加しているか。	100%	0%	次例のに職員公議を除いております。会議に参加に受ない人もいろので、会議隊をグループLINEにおけて情報共有を行っております。 重要以ことは直接収入ることもございます。		
	7	保護者向け持備表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を募集改議につなげているか。	100%	0%	保護者とおからの意見や他分を伝えられた場合は、全職数が複数返来るようにブループLINEにおけたり、直修1人ずつにわかりやすく伝えております。		
麻籽	8	「	100%	0%	機能からの表現や機分を払えられた場合は、全種部が衝突拡張をよったベクループLINEにおけたり、影響1人ギンにわかりやすく仏えております。		
改善	9	第二者による外部物を行い、評価協業を養務改画につなけているか。	83%	17%	高三数からの意見や着内を在えられた場合は、全盤面が現取出をおよったプループJMECおけたり、直信 1 人ずつにわかりやすく伝えております。		
	-		83%	17%	他の他の一般を行っていません。 工場の場合の場合を使うない。		
	10	職員の前員の向上を図るために、研修を覚護する機会や法人内等で研修を開催する機会が機能されているか。			がないまた。というよう。 本人、 日間からない のうかっない ロンドン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	11	潜切に支援プログラムが作成、企業されているか。	100%	0%	Addition to Transact い。 立場中心のはかくないよう。 本語、Transact Addition たいことを持ちませた。 Transact Addition Ad		
	12	個々のこともに対してアセスメントを選切に行い、こともと媒識者の二一ズで課題を客観的に分析したとで、児童発達支援計画を作成しているか。 児童発達支援計画を介成する際には、児童発達支援管理任義だけでなく、こともの支援に関わる概算が指導性終り下で、こともの最高の利益を考慮した検討が行われ		0%			
	13	ているか.	100%	0%	京財計画管や作成する際には、金電路の教育や棚内を開き取り、結ら会ってから作成するようにしている。		
	14	児童宗達支援計画が職員際に共有され、計画に沿った支援が行むれているか。 こどもの適応行動の状況を、信事化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動域解収とも含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	100%	0%	京樹計画部の内底、実現があった場合は、金龍県への間隔を繋が、その間隔支援の仕方、支援方針を伝えております。		
28	15	確認しているか。	83%	17%	(銀物等角時の記録を取り、次間等等内容を立てる際に返用しております。		
切なっ	16	児童発展技術論には、児童発展支援サイドラインの「児童発展支援の原例は不得支援」の「本人支援」、「確保支援」、「保行支援」及び「地域支援・地域連携」の おらい200万美術内部も高されながら、こともの支援に必要な同位が他がに設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	党機関連支援計画には、必要必須口が適切に選択され、そのうスで、具体的な支援的信が設定されており高す。		
類の	17	活動プログラムの位案をチームで行っているか 。	83%	17%	ウ、どんなごとをに興味を持っていて、どんなごとをしたら酷ぶか等、窓にお子さまの間縁に立って考えております。		
供供	18	溶動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	1人の意見に振らないなった色々な閲覧やお子さまの意見を取り入れております。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と無国活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	製造での活動が難しい場合は、銀粉の間度で対応したり、P外に出る等対応しております。		
	20	支援開始前には韓国間で必ず行会せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%	お子さまの対応や対策について禁止合っております。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	対応の仕方等、政省や意見を話し合うようにしております。 活売社どの開催で当日には情報共有ができないこともあるため問題を確保しております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改薬につなけているか。	100%	0%	毎日の記録はもちろん。塩件等、値別に記録した方が良いと思われる場合は、値別に記録を残しております。		
	23	支期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見慮しの必要性を判断し、適切な見慮しを行っているか。	100%	0%	辛年に採のモニタリングはもちろんのこと、利期間間等何らかの変更があった場合は、迅速に対応するように心倒けております。また、情報の共有もしっかりと行っております。		
	24	南吉児和談支援参専所のサービス担当者会議や招待機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が伊難しているか。	100%	0%	児衛能が対応している。		
	25	地域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	児内管を中心に行っております。迅速時にはお話しする時間をとり情報共和に心がけております。		
	26	例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン構造の機点から支援を行っているか。また、その際、保育所や時定ごども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚 部)等との際で、支援が招等の開始共和と相互開発を誇っているか。	100%	0%	活頭則はもちろんのこと、必要に応じて担当者合譲に参加するなど行っております。		
	27	能学等の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と概ね理解を図っているか。	100%	33%	茂楽器を中心に行っております。ご客望があれば学校との情報共和に挙げてまいります。		
网络		(28~30は、センターのみ関係)					
機関	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児害所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の質の向上に賞する取組等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)			
や保護	29	第の向上を調るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部時候に参加させているか。	(センターではないため回答なし)		ıı)		
# ¿	30	地域の児童発達支援センターとの連携を振り、必要に応じてスーパーパイズや助回等を受ける機会を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)			
連携		(31は、事業所のみ回答)					
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を限り、必要に応じてスーパーバイズや物質等を受ける機会を励けているか。	60%	40%	必要に応じて連携し、研修にセクルまめに参加しております。		
	32	保育所や認定こども隠、幼稚薬等との交流や、物域の中で他のこどもと活動する場合があるか。	33%	67%	他等権所との関わる報合は少ないですが同等権所、他品種との交流を行っております。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や模態について共通理解を持っているか。	100%	0%	毎日の連絡ゲールの他、活送時との合統を大切にしております。		
	34	事項の対応力の向上を図る観点から、事項に対して事項支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や意味等の参加できる研修の組合や情報提供等を行っているか。	67%	33%	こちらそのが応方法等を「本日の様子」として日々情報発情し、ご客座での支援にご然用いただけるより報かくお伝えしております。		
	35	- 連携規則、支援プログラム、お子さぎ負担等について丁華な説明を行っているか。	100%	0%	ご家庭に応じて、対応させていただいでおります。		
	36	ア豊富隆支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先考集の報点を請まれて、こどもや家族の意内を確認する機会を設けてい	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。		
	37	るか。 「漢書発達支援計画」を示しながら支援が終の影明を行い、体質者から光響発達支援計画の明章を得ているか。	100%	0%	基準に出った「労働免疫を残け面」を示しながら支援が落め扱い、保護者さまから児童発達支援計画の問意を確ております。		
			100%	0%	ご物語に応じて、対応させていただいております。		
保護者	38	定期的に、寒返等からの子育での悩み物に対する相似に適切に近い、無談や必要な効果と支援を行っているか。 公司の企の必能を支援することや、保護者の学を発展する等により、保護者的よこで次まする場合を設ける等の支援をしているか、また、きょうだい何士で次次する場合			ご要素に応じて、対応させていただいをかます。		
^ 0	39	を設ける等の支援をしているか。 こともや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こともや保護者に原知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ連切に対応している。	33%	67%			
100 101 109	40	tr.	100%	0%	ご問題があり直した際には、逃避かつ確切に対応しています。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等をជ用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ことに高齢予定を発酵しております。また、物意楽日にプログを作成し、温熱の様子をご職取いただける歌り組みを行っております。		
	42	銀人情報の取扱いに十分服意しているか。	100%	0%	入社場に援約書にて機可し、個人情報の複雑や需視時立にかを入れております。 		
	43	用高のあることもや保護者との意思の改選や情報伝達のための記事をしているか。	100%	0%	傷々の状況に応じて影響を行っております。		
	44	事場所の打事に地域社民を契約する等、地域に関かれた事業連貫を倒っているか。	100%	83%	ご物間に応じて、対応させていただいであります。		
	45	李鼓郎はマニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に開始するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか。	100%	0%	得年2回の回線を実施しております。		
	46	審務組続計画(BCP)を策定することもに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	GCYR芝あり→ 暴怒励祉計画(GCP)を栄支し、芝物的公開後を行っております。なし→ 芝加的公開線と加え、暴怒励祉計画(GCP)の保支を検がいたします。		
	47	事務に、振奏や予防侵種、てんかん発作等のこともの状況を構図しているか。	100%	0%	臨時時亡でも共有し、民間に別のております。		
非常	48	食物アレルギーのあることもについて、医師の指示者に終づく対応がされているか。	100%	0%	電流対土でも共和し、民間に努め、対応しております。		
等の	49	安全計画を作成し、安全管理に必要以明確や訓練、その他必要以問題を構じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職員時亡でも共年し、肥難に努め、外切しております。		
対応	50	こどもの安全機能に関して、事務等との連携が振られるよう。安全計画に接づく影響内容について、事務等へ開発しているか。	100%	0%	職期所上でも共和し、保護者さきへの地位に別めております。		
	51	ヒヤリハットを事業所介で共有し、再発防止に向けた方面について検討をしているか。	100%	0%	事例後ではありませんが、 無限なことでも犯入をし、 事業所でヒヤリハットを適宜共和しております。 また、 他事業所の指揮者とも共存する体制を狙えております。		
	52	虚荷を防止するため、職員の研修機会を機体する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虚物所止委員会を設置するとともに、支援的な金券等格を行ない、虚物所止に別めております。		
	53	どのような場合にやむを得す身体内束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 か。	83%	17%	協議性・研修教徒・一時性を満たしている場合とし、身体物変を行った場合には記録を行っております。また、計画家にも放映しております		

ē,	業所名	グローバルキッズメソッド046 簗瀬店(パーク)				
				=	公表日	
	+	チェック項目 利用正直が発達支援を等のスペースとの原格で創立であるか。	(はい	いいえ	改善目標、工夫している点など 用紙に合わせたフロフをご用着しております。	
10	<u> </u>		50%	50%	関連で検索主義のある機能を選じて、人間標準を測たしております。	
- 4	2	利用支持やこともの状態等に対して、職員の配置数は締切であるか。 生活定数は、こともにわかりやすく概念化された電場になっているか、また、季素所の設備等は、発素の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配定が滑			別は「1984」。 日本の 1984年 日本の	
20	3	切になされているか。	100%	0%	サロス 「	
96	4	生活回教は、清潔で、心地よく適ごせる理例になっているか。また、こども適の活動に会わせた原教となっているか。				
	5	必要に応じて、こともが個別の確定や場所を使用することが認められる場場になっているか。	100%	0%	お認識をしたいも子様がすぐに傾抗のお認識を使えるようにしております。	
	6	審務改善を進めるための PDCA サイクル(口傳設定と無り返り)に、広く構設が参画しているか。	75%	25%	支期 がた会議を開催して組ん会いを行っております。	
10 10	7	保護者向け評価表により、保護者等の他向等を把握する機会を設けており、その内容を裏荷改画につなけているか。	50%	50%	アンケート協業や、自然のコミュニケーションから保護者さぎのむ声を別権し、改賞できるように関わていきたいと思います。	
25 86		職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を維務改善につなけているか。	100%	0%	定期の公益を開催して私し合いを行っております。	
	9	第三者による外部呼吸を行い、呼吸結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	今後的していきたいと思います。	
	10	職員の責任の向上を図るために、研修を受講する報合や法人内等で研修を開催する報合が確保されているか。	100%	0%	梅別師を受けたせていただいております。	
	11	潮切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	版したいのと、遺動プログラムを夜辺(小海リスおります。 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント開催だけでなく、復議者とまからのご意見やお子さ正の様子をお得いし、計画を作成出来るように努めております。	
	13	児童発達支軽計画を作成する際には、児童発達支援管理責任権だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検針が行われているか。	100%	0%	こどもの天脈に関わる階間所士で情報を共有し、日々検討しております。	
	14	党権発達支援計画が職員間に共称され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎年四時、児童発達支援計画に沿った支援を心酔けております。	
38	15	こどもの部の行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 開助しているか。	75%	25%	銀物等等的の記録を取り、次加等界外部を立て必得に活用しております。	
tr.	16	光整路建支部計画には、光整角接支援がドラインの「光整路建支援の原料すべる支援」の「各人支援」、「等等支援」、「将予支援」及び「地域支援・地域連携」の おらい及び支援が溶や翻漏スながら、ごともの支援に必要な場面が適切に設定され、その上で、具体的な支援が溶が設定されているか。	100%	0%	党皇院連列維制には、必要な専政が撤切に避免され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されております。	
変数	17	活動プログラムの収率をテームで行っているか。	75%	25%	思し合いのと、活動プログラムを改定しております。	
91	18	活動プログラムが御変化しないようエ夫しているか。	100%	0%	改議が必要以場合、内容を見置して収留点を総か込むようにしております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と美国活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況に応じて、個別本数と集団活動を適宜総分合わせて児童発達支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には韓興間で必ず打合せを行い、その目行われる支援の内容や役割分担こついて確認し、チームで連携して支援を行っているか。	75%	25%	出動物域が異々ることが多い項、実物機関を中心に情報共和坐をおより、記録や口頭によるコミュニケーション等で機能に努めております。	
	21	支援教子後には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	遺動時間も同様に異なることが多い場。同様に関動機関を中心に開始共和当をおよう。記録や口様によるコミュニケーション等で構図に努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改高につなけているか。	75%	25%	個別等有等の記録を取り、次回等有外容を立てる際に追用しております。	
	23	芝開的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切な月直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて確切な発慮しを行っております。	
	24	南南沢松談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が伊服しているか。	100%	0%	お子を正の対抗をより増削している機関が参加に収るように努わております。	
	25	地域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を加えているか。	75%	25%	必要に応じて複数差別しております。	
	26	例行列用や移行に向けた支援を行うなど、イングルーション整道の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども圏、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との物で、支援が容等の情報共称と似江里解を限っているか。	75%	25%	必要に応じて、適需する幼稚園や保育園の間具の方との情報共和を行なっております。	
	27	数学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学幕)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を誤っているか。	75%	25%	樹設する放棄機等デイサービス事業との情報共和を関りながら、ご事能があれば学校との情報共和に加すて表いります。	
(S)		(28~30は、センターのみ関係)				
66 50	28	地域の他の児童発達支援センターや階高児達所支援事業所等と連携を図り、地域全体の長の向上に資する際組等を行っているか。	(センターではないため間寄せい)			
\$2 28	29	発の向上を描るため、 極極的に専門薬や専門種類等から助素を受けたり、 職員を外部研修に参加させているか。	(センターではない	ため回答なし)		
者 と の	30	型域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや物質等を受ける報会を説けているか。	(センターではない	ため回答なし)		
38 59		(31は、事事所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーバイズや物度等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	必要に応じて連携し、根核にも介まめに参加しております。	
	32	保育所で確定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する報告があるか。	25%	75%	ご要領に応じて、対応させていただいております。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの廃連の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を用いたケアを認め込付や、自然の申し送りにより伝統を行って、共通機能を認めております。	
	34	享扱の対応力の向上を指る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	25%	75%	こからてのが応方法等を「昨日の様子」として日々情報発揮し、ご客店での支援にご活用いただけるよう様かく約在えしております。	
	35	運営現程、支援プログラム、お子さま負担等について丁等な説明を行っているか。	100%	0%	ご要値に応じて、対応させていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の較品を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する検会を設けているか。	100%	0%	ご要値に応じて、対応させていただいております。	
	37	「児童常達支援計画」を示しながら支援内容の設明を行い、保護者から児童発達支援計画の明春を得ているか。	75%	25%	概率に沿った「/理索達支援計画」を示しながら支援外路の設明を行い、保護者さまから/理察達支援計画の利息を得ております。	
- CF	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、環談や必要な動電と支援を行っているか。	75%	25%	ご要強に応じて、対応させていただいでおります。	
25	39	公用の合の活動を支援することで、保護権合等を開催する等により、保護権用士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょっだい同士で交流する機会 を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	ご要値に切じて、対応させていただっております。	
00	40	こどもや複葉者からの相談や中入れについて、対応の併制を整備するとともに、こどもや複葉者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。 か、	100%	0%	ご問題がありました際には、迅速がつ適切に対応しています。	
99	41	で、 定期的に通信等を発行することや、HPPSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連結体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに効動予定を発信しております。また、物質毎日にプログを作成し、効動の様子をご確認いただける部り組みを行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分細胞しているか、	100%	0%	入社内に振り直にて確認し、個人物能の保険や認識的にたわを入れております。	
	43	南高のあるこどもヤ保護者との意思の政治や情報伝達のための配達をしているか。	100%	0%	像々の状況に応じて粉練を行っております。	
	44	事業所の行事に地域性見を招待する等、地域に関かれた事業連貫を假っているか。	100%	100%	ご要値にないて、対応させていただいでおります。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、移居マニュアル、移品を対応マニュアル等を検定し、職員や家族等に関知するとともに、発生を想定した訓練を実施して	100%	0%	梅平温め如陽を実施しております。	
	46	いるか。 	100%	0%	GC等定あり→ 業務機能計画 (GC9) を架定し、支用的な訓練を行っております。なし→ 支用的な訓練に加え、業務機能計画 (GC9) の規定を紛れてします。	
	47	事態に、施業や予例修缮、 てんかん液作等のこともの状況を確認しているか。	75%	25%	福岡明士でも月刊し、把意に対めております。	
31	48	●制し、抽象や予約取職、くんがん場合等のよこを必可なを確認しくいらか。 食物アルルギーのあることもごついて、複数の指示器に基づく対応がされているか。	75%	25%	場合は、いかかり、 ためからないからす。 構造例よでも月料し、授献に対め、 があいております。	
76 85 99	49	展型アンシャー・ジャラにこのに、かい、、原地の地外面に整く入力のジウにしいらい。 安全指揮を作成し、安全領導に必要な研修や領域、その他の要は簡単を描しる等、安全領導が十分された中で支援が行われているが、	75%	25%	職員時亡で仕昇し、形態に別の、対応しております。	
Ø		女主計画を行成し、女主談等しの安な時間で訓練、その他の安な問題を関しる等、女主談等か十分された中で支援が行われているか。 こともの安全権権に関して、実践等との連携が振られるよう、安全計画に載って取扱内等について、実践等も開始しているか。	100%	0%	電磁性なくいですが、ために大力が、からいしかいます。 電磁性でも出対し、低温性などへの地位に努めております。	
Æ	51	こともの決定等項に関して、参加等との想定が明われるよう、全主目職に参うて取扱門制について、参加等へ専知しているか。 とセリバットを事業所的で共有し、再発的点に向けた万額について検討をしているか、	75%	25%	□ 回転打した いっけつし、 回転打しまい 小のの回した かいりゅう かいます また 一 参加 東 でいます また 一 参加 東 でいます といます といます できます できます こと ・ 参加 東 でいます といます こと ・ 参加 東 でいます といます こと ・ 参加 東 でいます こと ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	-		100%	25%	参加権によるが定められた。芸術化したくでありただ。 参加でしてジバッグで表現されてしまった。 だい、物学等の心を性をくなみがするが特別をなった。 では、 最初的と参加させませんとかに、実際的な合称機を行ない、最初的とに知っております。	
	52	自尊を防止するため、職員の研修組合を確保する等、適切な対応をしているか。 どのような場合にやむを寄す身体列来を行うかについて、制備的に決定し、ごともや保護者に事事に十分に終明して報を得たまで、児童発達支援計画に配配している。				
	53	# Annual	100%	0%	坊役性・再代替性・一時性を満たしている場合とし、身体内変を行った場合には起酵を行っております。また、計画書にも反映しております	

ē	事業所名	グローバルキッズメソッド049 加須店(パーク)			公表日 2025年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。	89%	11%	用他に合わせたプロアをご用他しております。
12		利用支責やこどもの状態等に対して、職員の配置換は適切であるか。	56%	44%	教践や解析主角核のある機関を配置して、人員秘事を指定しております。
4	3	・	89%	11%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
5 5	4	************************************	89%	22%	毎日、清解を行っております。 環境設定に関してセツまめぬ話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが傾倒の痕迹や場所を使用することが認められる環境になっているか。	89%	11%	状況に応じてグループで誤應を分ける特のが応をしており戻す。
	6	業務改済を進めるための POCA サイクル(は微数さと振り返り)に、広く電流が参加しているか。	78%	22%	東朝的 た高速を開催して話したいを行っております。
	7		89%	11%	モニタリングやお電板などで世がた時代は観音会響で共和しる展示法を検討しております。
30 85	-	職員の意見得を把置する場合を設けており、その内容を裏拠改議につなけているか。	78%	22%	支援的に会議を開催して私し会いを行っております。
36		第三者による外部呼吸を行い、呼吸結構を業務改議につなけているか。	67%	33%	今後替けていきたいと思います。
	-		78%	22%	全会研修の点かに、研修施術の課題による知識向上に力を入れております。
	10	職員の員長の向人を抱るために、研修を覚護する機会で法人内等で研修を開催する機会が確認されているか。			型が高いない。 一番を取りています。
	11	選切に支援プログラムが作成、公賞されているか。	78%	22%	####################################
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや資源を名破的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援指導責任者だけではく、こどもの支援に関わる機員が基準操め下で、こどもの最高の利益を考慮した機材が行われ	100%	0%	
	13	ているか、	89%	11%	こともの支援に関わる職員所立て情報を共有し、日々特別しております。
	14	東盤発達支援計畫が職具際に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動検察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により。	78%	22%	毎年時期、光盤発達支援計画におった支援を心酔けております。
38	15	では、	78%	22%	銀物資料の配換を取り、次回等剤が終を立てる際に活用しております。
ت د		ア高州地区北部 I 南山は、元高州地区北部・イドフリール・元高州地区地の駅中マー市区地 1 の 体入区は 1 、 (市外区地 2 、 (市外区地 3 、 (市外区地 3)、できて東京 2 から地区が支援内容も顕示さればら、こともの支援に必要は当年が選出が選出しませた。 こともの支援に必要は当年が小説をされて、その上で、具体的な支援内部が設定されているか。	89%	11%	党権権を開始的には、必要の場合が確認に避免され、そのクスで、具体的な支援的指が認定されております。
59	17	港動プログラムの位準をチームで行っているか。	78%	22%	版した。 定義プログラムを決定しております。
9		3動プログラムが閲覧化しないようエテしているか。	89%	11%	改善が必要が考点、内容を見直して改省点を総か込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜能み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	89%	11%	お子さまの状況において、値間活動と機能活動を適用能力会わけて光整発達支援計画を作成しております。
	20	支援開始部には韓周間で必ず打合せを行い、その目行われる支援の内容や役割分階について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	89%	11%	近極時間が異なることが多い場。 不物理員を中心に情報共和巡察るよう。 記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	逐動時間も同様に異なることが多い為、同様に関数機関を中心に関節共有出来るよう。記録や口機によるコミュニケーション等で機能に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改楽につなけているか。	78%	22%	他的物資料の起源を取り、次回物資外研を立てる際に活用しております。
	23	芝期的にモニタリングを行い、児童客連支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの代決や必要性に応じて確切な発慮しを行っております。
	24	南吉児和談支援事業所のサービス担当者会議や環体機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	25	世域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているが、	89%	11%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	例行利用や終行に向けた支援を行うなど、イングルージョン構造の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や可定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援が容等の情報は再く指見等解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、適度する必需要や材料限の機関の方との情報共再を付なっております。
	27	数学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学等)との間で、支援外容等の情報共有と相互機解を図っているか。	100%	11%	情級する後頭維持デイサービス事業との情報共和を削りながら、ご事論があれば学校との情報共和に繋げて表いります。
12		(28~30は、センターのみ関係)			
12		地域の他の児童発達支援センターや商客児連所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の何の向上に資する取組等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)	
**************************************	29	発の向上を指るため、 基礎的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、 職員を外部所修に参加させているか。	(センターではない	ため回答なし)	
* 2	30	型域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや物面等を受ける報合を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)	
35		(31は、事業所のみ回答)			
	31	型域の児童発達支援センターとの連携を調り、必要に応じてスーパーパイズや物質等を受ける機会を扱けているか。	80%	20%	必要に応じて連携し、研修にも小走めに参加しております。
	32	佐育所や印定ことも限、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこともと活動する機会があるか。	67%	33%	実践センターなどに遊びた行き、他事業所のお子さまと技能の場合を抜けております。
	33	日本からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの完建の状況や課題について共通連解を持っているか。	100%	0%	電子の連続機を用いたケア記録の延付や、面房の中し返りにより伝達を行って、共通機能を認めております。
	34	家族の対応かの向上を開る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	78%	22%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご常底での支援にご念用いただけるよう様かくお伝えしております。
	35	- 連貫関係、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な松明を行っているか。	100%	0%	ご要能に応じて、対応させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや存储者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先考慮の報点を請求えて、こどもや家族の意向を確認する機会を扱けてい	89%	11%	ご整備に応じて、対応させていただいております。
	37	るか。 「児童発達支援計画」を示しながら支援小院の原明を行い、保護者から児童発達支援計画の明章を得ているか、	89%	11%	基準に沿った「伊重教権支援計画」を示しながら支援が前の投資を行い、 収 算者さまから伊重教権支援計画の規模を有ております。
	38	「大阪市の生人に対する」 でいくからい じょうに かいっかい (American Contract Cont	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。
50 28 40	<u> </u>	公司の合の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会	67%	33%	ご整備に応じて、対応させていただいております。
of 15	-	を設ける等の支援をしているか。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に原因し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	89%	11%	ご始からりました際には、浪漫から時代に対なしています。
10 10 10	-	20.			この他のグランとの中心は、心息などの様に入りなくできょう。 カニとに選手学を発剤しております。また、物質製品にプログを作成し、活動の様子をご覧取りただける取り組みを行っております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPP-9NS等を認用することにより、認動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや故議者に対して発養しているか。	100%	0%	
	42	個人情報の歌歌いに十分編集しているか。	100%	0%	入社等に届付置にて確認し、個人情報の保護や認識的止こかを入れております。
	43	商客のあることもや保護者との意思の経過では特別を達めための影響をしているか。	89%	11%	傷をの状況に応じて記載を行っております。
	44	事業所の行事に地域社民を招待する等、地域に関かれた事業運営を図っているか。	89%	56%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。
	45	事故的たマニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル号を推定し、職員や審議等に飛知するとともに、発生を思支した訓練を実施して いるか。	100%	0%	毎年3回の回接を実施しております。
	46	専務組結計集 (REP) を策定するとともに、非常災害の発生に保え、定期的に退難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	829度支約→ 暴発機能計画(8C9)を発定し、定期的以前権を行っております。なし→ 定期的以前権に加え、業務機能計画(8C9)の推定を検がいたします。
	47	幸高に、原薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	福岡時士で長井に、伊藤に知めております。
71 72 81	48	食物アレルギーのあるこどもについて、関節の傷害者に魅づく対応がされているか。	100%	0%	商品時上でも共有し、把握に別め、対応しております。
89	_	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な標面を購じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職員時亡でも共有し、把握に努め、対応しております。
泉		こともの安全機構に関して、事務等との連携が関られるよう、安全計画に整づく影館内容について、事務等へ周知しているか。	100%	0%	園周門士でセ共利し、保護者さ至への原知に努めております。
	51	ヒヤリハットを事業所向で共有し、再発的企工的けた方面について検討をしているか。	89%	11%	事例集ではおりませんが、形態なことでも記入をし、等等所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、他事業所の認理者とセ共有する体制を加えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を増保する等、適切な対応をしているか。	89%	11%	南部所と委員会を設置するとともに、定期的な会員が優を行ない、南州所立に別めております。
	53	どのような場合にやむを得す身体特殊を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明して解を得た上で、児童発達支援計画に記載している か。	89%	11%	切記性・肝代酸性・一時性を増たしている場合とし、身体的変を行った場合には記録を行っております。また、計画家にも反映しております

- 8									
	事業所	听名	グローバルキッズメソッド051 ひたち野うしく店(パーク)			公表日 2025年2月1日			
Ē	T		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など			
	+	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	用途に合わせたフロアをご用意しております。			
		2	村田定費やこどもの状態等に対して、職員の配置指は適切であるか。	77%	23%	物点や保育主角体のある場合を選して、人員基準を消たしております。			
	増 .		が州上昇レーとでかりたかりし、毎月の北京県は北京のじかわか。 生活支援は、ごどもにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の設備等は、跨南の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配置が通						
1	朝	3	が、 できないできない。 できないできない。 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できないできない。 できない できない できない できない こうかん こうかん こうかん こうかん こうかん こうかん こうかん こうかん	92%	8%	お子さ楽速がのびらびと楽ごしています。メインプロアを中心として理論プロア、いくつかの情要が富て強かっており、構造が分かりやすいです。			
	59	4	生活空間は、清潔で、心地よく適ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。	92%	8%	すべてパリアフリーで承も順かないようにしております。毎日財意して書室にしております。			
		5	必要に応じて、こともが振動の部間や場所を使用することが認められる環境になっているか。	92%	8%	勢 かな所でお子さま連が個別信息を受けられるようにしております。			
		6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り送り)に、広く職員が参加しているか。	77%	23%	職員全員が問題点を共将して改善をしております。なにかあった時に置ぐに放しあう様に努めております。			
	ľ	7	保護権向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を募集改高につなけているか。	100%	0%	保護者と送扱い信息が信を関いて改善しています。保護者さまからのご要望や伝徳は臨間禁て共有しております。			
	業 担 務 改	8	福貢の意見等を把握する場合を設けており、その内容を維務改画につなけているか。	92%	8%	職員の意見を助いて改善をして全職員で共有しております。			
	*	9	第三側による外部診断を行い、診断延累を審察改議につなげているか。	92%	8%	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
	-								
		10	職員の責任の向上を認るために、研修を覚護する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	職員全責が特価の意見を巡し合って内上に務めております。			
	-	11	潮切に支援プログラムが作成、公表されているか。	92%	8%	謝切にプログラムを作成し、職員で共有しております。			
		12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや保護を客談的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	保護者と正のニーズや保護は将により計画を作成しております。			
		13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	職員企員が共和しております。			
		14	児童発達支援計画が概員際に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎時期時、児童発達支援計画に沿った支援を心倒けております。			
	r	15	こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 機関しているか。	100%	0%	日今種類しております。			
ä	通切	16	児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「稼行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	保護者とまで物域住民の指さまとのコミニケーションを行っております。			
3	女	17	25い辺び支援内容を請求えながら、こともの支援に必要な明白が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 第20プラムのの第4字ームで行っているか。	92%	8%	どの職員も他々なレクリエーションを招替できるように原品を抱んでおります。職員全員で問題しながらレクリエーションの外容を考えております。			
	類の一種								
4	gt _	18	活動プログラムが衝突化しないよう工夫しているか。	100%	0%	激素のプログラムを見ながら何じにならない様に工夫しております。お子さま連の様子を反映した内容を考え、生活から上するようにとこにアプローチするか考えて他んでおります。			
		19	こともの状況に応じて、個別活動と無信活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況に応じて、個別な動と無対常動を適宜組み合わせて理念発達支援計画を作成しております。			
		20	支援開始部には職闘間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	92%	8%	金質で共有し修正する所は修正して彼で連想しております。			
		21	支援核子後には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	92%	8%	湖田の旅省をして職費全員で共存して翌日に郊かしております。			
	ı	22	日々の支援に関して記録をとることを撤逐し、支援の検証・改善につなけているか。	92%	8%	日々物域をして記録し込みにつなけております。			
	F	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月回しの必要性を判断し、適切以昇回しを行っているか。	100%	0%	日や傾尾して対慮しながら進めております。			
	+	24	障害児和証支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく規則した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより増建している職員が参加派をみよっに別めております。			
	ŀ								
	-	25	市域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害指征、保算、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	参加に応じて適能連携しております。			
	-	26	例的発用や解析に向いた支援を行うなど、インのルージョン連進の輸品が与支援を行っているか。また、その際、保育所や認定ことも際、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援が指導の信頼共存と似思想所を振っているか。	92%	8%	必要に応じて、適需する幼稚園や保育器の関節の方との情報共有を行なっております。			
		27	就学時の終行の際には、小学校や特別支援学校(小学師)との間で、支護内容等の情報共再と相互理解を問っているか。	92%	8%	例似する処理条号デイサービス事業との情報共有を限りながら、ご覧望があれば学校との情報共有に繋がて扱いります。			
1	体	28	(28~30は、センターのみ関係)						
	間や	-	地域の核の児童発達支援センターや陸震児連所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に負する取組等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)				
	保護	29	第の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助変を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではないたの間等なし)					
4	者 と	30	地域の児童発達支援センターとの連携を関り、必要に応じてスーパーパイズや効素等を受ける機会を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)				
3	連携		(3164. 李朝州のみ田苗)						
		31	地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーパイズや物質等を受ける報会を回けているか。	86%	14%	か軍に広じて連続し、特徴にも小老かに参加しており走て。			
	ŀ					TRACTICAL MATERIAL PROPERTY.			
	-	32	保育所や認定ことも届、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこともと活動する機会があるか。	38%	62%	ご等級に応じて、対応させていただいております。			
		33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や探聴について共産専務を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を加いたグア記録の社付や、直接の中し近りにより伝達を行って、共通機能を定めております。			
		34	事族の対応かの向上を図る観点から、豪族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や豪族等の参加できる研修の概念や情報提供等を行っているか。	46%	54%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご実践での支援にご活用いただけるよう様かくお伝えしております。			
		35	港高規程 、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご弊感に応じて、対応させていただいております。			
		36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先考達の統領を指定えて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 るか。	100%	0%	ご事態に応じて、対応させていただいております。			
		37	[児童発達支援計画]を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の明整を得ているか。	92%	8%	著事に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援外部の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の明意を得ております。			
		38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、国談や必要な効果と支援を行っているか。	100%	-				
	技者	39			0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。			
	0 18		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会	31%					
4	明明		を設ける等の支援をしているか。		69%	CMMCGOT, MGGSTINERITEDET.			
4	Ĭ	40		100%		ご審論に応じて、持めるせていただいであります。 ご電話がありました際には、指述が通常に対応しています。			
4		40	を設ける等の支援をしているか。		69%	CMMCGOT, MGGSTINERITEDET.			
4			を設ける時の支援をしているか。 ことも小保護者からの保証や早入れたついて、対応の併制を監督するとともに、ことも小保護者に見知し、根証や早入れがあった場合に迅速かつ原切に対応しているか。 か、	100%	69%	ご審論に応じて、持めるせていただいであります。 ご電話がありました際には、指述が通常に対応しています。			
4		41	を取ける所の支援化しているか。 ことかり需要をからの起送中の人れたついて、対応の情報を整備するとともに、こともか複雑者に用なし、相談や中人れがあった場合に迅速かつ場切にが応しているか。 文理的に通信等を発行することや、HPP346等を活信することとより、活動機関や行事学史、連続情報やが簡繁をこともか複雑者に対して発信しているか。	100%	69% 0% 8%	工製版に応じて、対応させていただいております。 工機能がありました際には、迅速から関心に対応しています。 対応とに温度する者を発展しております。また、物質器はにプログを作成し、温熱の様子をご機能いただける者の部分を行っております。			
4		41	を取りま物で近難しているか。 ごとか予認業からの認知や中入れたついて、対応の特別を整備するとともに、ことも予修課業に期間し、報訊や中入れがあった場合に迅速から確認しないもの。 支援的に適価等を発行することや、HPやOMS等を返用することとより、支援機関や行き予定、通信体制等の指揮をことも予修課業に対して発動しているか。 個人情報の機能・に十分機能しているか。	100% 92% 100%	69% 0% 8%	ご知識に応じて、対応させていただいております。 ご知識がありました際には、洗液がつ間的に対応しています。 れたことに満掛け支も負担しております。また、物質部にプログを作成し、効節の様子もご問題いただける祭り組みを行っております。 入述的に契約者にて提出し、私人物格の鑑者の認識的によったもれております。			
4		41 42 43	を取り事の支援をしているか。 こともや保護者に対しているか、 こともで保護者に対しているか。 正されているから、 は、	100% 92% 100%	69% 0% 8% 0%	ご問題に応じて、対応させていただいております。 ご問題がありました際には、総裁かつ前的に対応しています。 れたとして効象するを発現しております。また、物質器にプログを作成し、活動の様子をご問題いただける裏の扱みを行っております。 入記がこ初かまで年間は、個人物態の情報を確認的はどかを入れております。 あらの状況に近く記録を行っております。			
4		41 42 43 44	を取りまめて必要しているか。 ことも予算機を対けているか、 ことも予算機を対けているか、 正さらで対象が中入れたついて、対応の仲間を登録するとともに、ことも予算機をに関わし、根抗や甲入れがあった場合に迅速がつ減的に対しているか。 正規則に過剰等を発けすることや、ドかや905等を活用することとより、支急機関や行き予定、連絡体制等の間報をこともや発達者に対して発動しているか。 根人機能の膨胀に一分振動しているか。 理解心あることも予算機を心理を必要は不可能が進かでは必要をしているか。 理解心あることも予算機を心理を必要はでは、 には、大きないでは、 には、いきないでは、 には、大きないでは、 には、いきな	100% 92% 100% 100%	69% 0% 8% 0% 0% 62%	工業部に応じて、対応させていただいであります。 ご問題がありました際には、迅速から関心に対応しています。 用ごとに選集学支管機能しております。また、物質機能にプログを作成し、迷惑の様子をご問題いただける前り組みを行っております。 入試所に任何能にて得知し、個人情報の機能が認及所に力を入れております。 命らの状況に応じて発起されております。 ご解説に応じて、対応させていただいであります。			
4		41 42 43 44 45	を取りまかなご思せていなか。 ことも予報業をの必要が予していて、対応の仲間を整備するとともに、ことも予報業をご問じ、報告や申入れがあった場合に急速かつ場合に対しているか。 文庫的に最後等を発行することや、HPOSIG等を活用することとより、支数機器や行事する、連絡体制等の指摘をこども予報業をごせた保護者に対して発信しているか。 個人情能の意味、に十分搭載しているか。 明素のあることも予報業との標準の確認で情報に適かための返客しているか。 事業所の作字に可能は充失知時するが、物体に関かれた事業高を担っているか。 事業所の作字に可能は充失知時するが、物体に関かれた事業高を担っているか。 事業所の作字に可能は充失知時するが、物体に関かれた事業高を担っているか。 事業所の作字に可能は充失知時するが、物体に関かれた事業高を担っているか。 事業所の作字に可能は充失知時するとともに、表示知識の発生に発えてエンアル等を表定し、職員や事業等に関することもに、発生を思定した訓練を実施しているか。 事務解析的 (RCP) を変更するとともに、非常知識の発生に発え、定期的に関係。他はその他の質は訓練を行っているか。	100% 92% 100% 100% 100%	69% 0% 8% 0% 0% 62% 8%	ご製造に応じて、対応させていただいております。 ご製造に応じて、対応させていただいております。 れ だことに選手する名前側に大切ります。また、物質側にプログを作成し、対象の体すもで開致いただける祭り組みを行っております。 入 だがに高前側にで開び、個人物格の機能や機能が正さたわれております。 場合のが就に応じて起発すっております。 中学型のの順を実施しております。 中学型のの順を実施しております。 最高対点を終そめて開催を行っております。			
4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		41 42 43 44 45 46	を取りまからの意思しているか。 ことも中国議由から総数や申入れについて、対応の仲制を管理するとともに、ことも中国議由に規則し、総談や申入れがあった場合に高速かつ場切に対応しているか。 文庫的に最待を発力することか、MPONG等を活用することとなり、支配信息や79字が、連絡体制等の開催をことも中国議由に対して発想しているか。 個人情能の概念により機能しているか。 個人情能の概念により機能しているか。 関係の命ちことも中国議由との意志の連結や情能に進心ための語志したいるか。 単版の69字に同様は大を設けする等、影体に関かれた事業展を担っているか。 単版の69字に同様は大を設けする等、影体に関かれた事業展を担っているか。 単版の69字に同様は大を設けする等、影体に関かれた事業展を担っているか。 単版の69字に同様は大を設けする等、影体に関かれた事業展を担っているか。 単版の69字に同様は大を設けすると、参加で記念をしているが、 単版を終われているが、 単版を表現しているが、 単版を表現しているか。 単版を表現しているか。 単版を表現しているか。 単版を表現しているが、 単版を表現しているか。 単版を表現しているか。 単版を表現しているか。 単版を表現しているか。 単版を表現しているか。 単版を表現しているか。 ・ 「	100% 92% 100% 100% 100% 100%	69% 0% 8% 0% 0% 62% 8% 0%	ご問題に応じて、対応させていただいております。 ご問題がありました際には、洗剤がつ間的に対応しています。 れたとして効象するを発見しております。また、物質管目にプログを作成し、効能の使するご問題いただける思り組みを行っております。 入計時に質問題にで確認し、個人物能の機能や機能制成とから入れております。 本さらが見たことでも効果すっております。 本さらが見たことでも効果すっております。 本学型の回路を実現しております。 ・ 機能を表示と対象を持っております。 ・ 機能を表示と対象を表示しております。 ・ 機能を表示といると述えないます。 ・ 機能を表示といると述えないます。 ・ 機能を表示といると述えないます。 ・ 機能を表示といると述えないます。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	并常時	41 42 43 44 45	を取りまかなご思せていなか。 ことも予報業をの必要が予していて、対応の仲間を整備するとともに、ことも予報業をご問じ、報告や申入れがあった場合に急速かつ場合に対しているか。 文庫的に最後等を発行することや、HPOSIG等を活用することとより、支数機器や行事する、連絡体制等の指摘をこども予報業をごせた保護者に対して発信しているか。 個人情能の意味、に十分搭載しているか。 明素のあることも予報業との標準の確認で情報に適かための返客しているか。 事業所の作字に可能は充失知時するが、物体に関かれた事業高を担っているか。 事業所の作字に可能は充失知時するが、物体に関かれた事業高を担っているか。 事業所の作字に可能は充失知時するが、物体に関かれた事業高を担っているか。 事業所の作字に可能は充失知時するが、物体に関かれた事業高を担っているか。 事業所の作字に可能は充失知時するとともに、表示知識の発生に発えてエンアル等を表定し、職員や事業等に関することもに、発生を思定した訓練を実施しているか。 事務解析的 (RCP) を変更するとともに、非常知識の発生に発え、定期的に関係。他はその他の質は訓練を行っているか。	100% 92% 100% 100% 100% 100%	69% 0% 8% 0% 0% 62% 8%	ご問題に応じて、対応させていただいております。 ご問題がありました際には、迅速から側にでは応じています。 れたこと記載するを発達しております。また、特別機能にプログを作成し、活動の者子をご問題いただける前の組みを行っております。 私が私に任何的にて問題し、個人機能の機能や機能がたかも入れております。 動われた状态にて記載を行っております。 一定確認に応じて、対応させていただいております。 特別知の影響を実施しております。 職権対しの報告表して記載を行っております。 ・ 機能者とあると認識しております。 ・ 機能者とあると認識というとの変ます。 ・ 機能者とあると認識というとの変ます。 ・ 機能者とあると認識とで記載されいようと問題しています。 ・ を必要素を必要素とないようと問題しています。 ・ を必要素を必要素とないようと思想といます。 ・ を必要素を必要素とないようと思想といます。 ・ を必要素を必要素とないます。 ・ を必要素を必要素とないます。 ・ を必要素を必要素とないます。 ・ を必要素を必要素を必要素を必要素を必要素を必要素を必要素を必要素を必要素を必要素			
4 / C C E E E E E E E E E E E E E E E E E	期時の	41 42 43 44 45 46	を取りまからの意思しているか。 ことも中国議由から総数や申入れについて、対応の仲制を管理するとともに、ことも中国議由に規則し、総談や申入れがあった場合に高速かつ場切に対応しているか。 文庫的に最待を発力することか、MPONG等を活用することとなり、支配信息や79字が、連絡体制等の開催をことも中国議由に対して発想しているか。 個人情能の概念により機能しているか。 個人情能の概念により機能しているか。 関係の命ちことも中国議由との意志の連結や情能に進心ための語志したいるか。 単版の69字に同様は大を設けする等、影体に関かれた事業展を担っているか。 単版の69字に同様は大を設けする等、影体に関かれた事業展を担っているか。 単版の69字に同様は大を設けする等、影体に関かれた事業展を担っているか。 単版の69字に同様は大を設けする等、影体に関かれた事業展を担っているか。 単版の69字に同様は大を設けすると、参加で記念をしているが、 単版を終われているが、 単版を表現しているが、 単版を表現しているか。 単版を表現しているか。 単版を表現しているか。 単版を表現しているが、 単版を表現しているか。 単版を表現しているか。 単版を表現しているか。 単版を表現しているか。 単版を表現しているか。 単版を表現しているか。 ・ 「	100% 92% 100% 100% 100% 100%	69% 0% 8% 0% 0% 62% 8% 0%	ご問題に応じて、対応させていただいております。 ご問題がありました際には、洗剤がつ間的に対応しています。 れたとして効象するを発見しております。また、物質管目にプログを作成し、効能の使するご問題いただける思り組みを行っております。 入計時に質問題にで確認し、個人物能の機能や機能制成とから入れております。 本さらが見たことでも効果すっております。 本さらが見たことでも効果すっております。 本学型の回路を実現しております。 ・ 機能を表示と対象を持っております。 ・ 機能を表示と対象を表示しております。 ・ 機能を表示といると述えないます。 ・ 機能を表示といると述えないます。 ・ 機能を表示といると述えないます。 ・ 機能を表示といると述えないます。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	時時	41 42 43 44 45 46 47	を取りまからの意味しているか。 ことも中枢関係から超数や中入れてついて、対応の仲割を整備するとともに、ことも中枢関係に関切し、概要や中入れがあった場合に高速かつ確認に対応しているか。 定期のに高値等を飛行することや、10や906等を活用することにより、直動程度や17多字を、連動機関等の関係をこどもや旋環をに対して発信しているか。 個人関係の概念によりが開催しているか。 関連のあることもや旋環者との概念の確認で関係が進心ための感染をしているか。 関連のあることもや旋環者との概念の確認で関係が通常にあったから感染としているか。 関係のおうことが自然性が実施的するが、影響に関かれた事業業を担づているか。 関係のはマニカル、影響が対応でよったが、形容でニュアル、形容で出っているか。 関係を経済を指摘するが、影響に関かれた事業業を担づているか。 関係を経済を指摘するが、影響に関係するとももに、発気を含まったが影響を実施しているか。 関係を経済を指摘すると、表現である発生に関え、定期が正規を実施しているか。 関係を経済を指摘するとこともに、発気を含まる発生に関え、定期が正規を実施しているか。 関係を経済を表現しているか。	100% 92% 100% 100% 100% 100%	69% 0% 8% 0% 0% 62% 8% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0	ご問題に応じて、対応させていただいております。 ご問題がありました際には、迅速から側にでは応じています。 れたこと記載するを発達しております。また、特別機能にプログを作成し、活動の者子をご問題いただける前の組みを行っております。 私が私に任何的にて問題し、個人機能の機能や機能がたかも入れております。 動われた状态にて記載を行っております。 一定確認に応じて、対応させていただいております。 特別知の影響を実施しております。 職権対しの報告表して記載を行っております。 ・ 機能者とあると認識しております。 ・ 機能者とあると認識というとの変ます。 ・ 機能者とあると認識というとの変ます。 ・ 機能者とあると認識とで記載されいようと問題しています。 ・ を必要素を必要素とないようと問題しています。 ・ を必要素を必要素とないようと思想といます。 ・ を必要素を必要素とないようと思想といます。 ・ を必要素を必要素とないます。 ・ を必要素を必要素とないます。 ・ を必要素を必要素とないます。 ・ を必要素を必要素を必要素を必要素を必要素を必要素を必要素を必要素を必要素を必要素			
4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	期時時の対	41 42 43 44 45 46 47 48	を取りまめて必要しているか。 ことも予修課業の予める以下中人がより、対応の仲間を登録するとともに、ことも予修課業に期間し、報訊や申入れがあった場合に表達から課的に対しているか。 正規則に最適等を発向することや、PPや955等を活用することとより、支急機関や行事する、通信体制等の情報をことも予修課業に対して発信しているか。 個人情報の関係いて十分情報しているか。 個人情報の関係いて十分情報しているか。 の場合のあることも予定機能との意思が経済で開催に進むためる影響をしているか。 即義のかけるに可能性性を知识するが、例如でコンプル、研究でユンブル、の必要がおマニンブル等を実定し、概念や要求が正規以することもに、発生を要定した訓練を実施しているか。 即義の批セマニンブル、緊急が対応でニンブル、例如マニンブル、の必要が応でよってルるかの。 即義の批セマニンブル、緊急が対応でよってよった。例如でエンブル、必必必必定の対策を行っているか。 事業に、国家予予が誘揮、てんか人命行等のことものが以後報酬しているか。 参考にアルルギーのあることもに、共変の参加を第二章(74位がされているか、 参考アルルギーのあることもに、実施の参加を第二章(74位がされているか、 を含計算を作成し、安全関係に必要な必要が開発では、その他の姿の問題を描しているか。 を含計算を存成し、安全関係に必要な必要な問題を認識を考しませませませませました。 を含まれたいるか、 を含まれたいるが、 を含まれたいるが、	100% 92% 100% 100% 100% 100% 100%	69% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0%	工製館に応じて、特の合せていただいております。 「機能がありました際には、迅速かつ間的に対応しています。 たことに随き方をを発明しております。また、特別報告にプログを作成し、対象の値子をご覧取いただける取り組みを行っております。 入社的に影響ででで開び、個人情報の機能の機能が出た力を入れております。 会のが表に応じて記録を行っております。 「関連に応じて、対応させていただいであります。 特別知の関係を実施しております。 ・ 機能性とあり起来であります。 ・ 機能性とあり起来であっております。 ・ 機能性とあり起来であります。 ・ 機能性とあり起来であります。 ・ 機能性とあり起来であります。 ・ 機能性とあり起来であります。 ・ 機能性とあり起来でありなどとなります。 ・ 機能性とあり起来であり、必じております。 ・ 機能性とあり起来であり、必じております。 ・ 機能性でもの情報、であります。 ・ 機能性でもの情報、であります。 ・ 機能性でもの情報、であります。 ・ 機能性でもの情報、であります。 ・ 機能性でもの情報、であります。 ・ 機能性でもの情報、必じております。 ・ 機能性でもの情報、必じております。 ・ 機能性でもの情報、であります。 ・ 機能性でもの情報、必じております。 ・ 機能性でもの情報、であります。 ・ 機能性でもの情報、であります。 ・ 機能性でもの情報、であります。 ・ 機能性でもの情報、であります。 ・ 機能性でもの情報、であります。 ・ 機能性であります。 ・ 機能性であります。 ・ 機能性であります。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	期時時の対	41 42 43 44 45 46 47 48 49	を取りまからの意味しているか。 ことも予報業を必用しているか、 ことも予報業を必用しているか、 ことも予報業を必用しているか、 ことも予報業を受けているか、 工規則に最待等を発行することか、対応の仲間を整備するとともた。ことも予報業をに関し、概算や争入打があった場合と思慮かつ場合に対しているか。 現施した場合を発行することか、 IMPOSOS等を活用することとより、支配機器や付きする。 連絡体制等の情報をこども予報業をごけして発信しているか。 組入機能の意味、に十分課意しているか。 場所のあることも予報業との標準の確認への意思を認識で開発にあったの必要をしているか。 事業所の作字に明確に見を指導するが表示の確認で情報に適かための必要をしているか。 事業所の作字に明確に見ています。 明確に関かれた事業議を提出しているか。 事業所の作字に明確に見ては同するが、明確に関かれた事業議を提出しているか。 事業所の作字に明確に見ているか。 事業所の作字に明確に見ているか。 事業所の作字に見いまするとともに、非常別面の発生に載え、定期がに関係、依然その他の異な訓練を行っているか。 事業に関係するとともして、大力、展別の影響を選出しているか。 事業に、履業や予測が使、たんか人保持等のことものが文を確認しているか。 会計画を作成し、安全管理に必要と即該で訓練、その他の影の問題を見しる等、安全管理が十分されたのでを提が行われているか。 とされません。 を全計画を作成し、安全管理に必要との連絡で訓練、その他の影の問題を見しる等、安全管理が十分されたのでを提が行われているか。 ことものを全権がに関し、・・ を会管理に必要といるというなどれているか。 ことものを全権がに関し、・・ ことものを全権がに関しているか、 ことものを全権がに関しているか、 ことものを全権がに関しているか。 ことものを全権がに関しているか、 ことものを全権がに関しているか、 ことものを全権がに関しているか、 ことものを全権がに関しているか。 ことものを全権がに関しているか、 ことものでは、 こ	100% 92% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%	69% 67% 67% 67% 67% 67% 67% 67% 67% 67% 67	ご製造に応じて、対応させていただいでおります。 この機能がありました際には、混合が可能的に対応しています。 れたことで高齢するを負債しております。また、物質能はこプログを負債し、効能の値するで機能いただける祭り組みを行っております。 入だ時に高的際にで確認し、個人情報の機能や機能的にプログを負債し、対能の値するで機能いただける祭り組みを行っております。 その成形に応じて必要を行っております。 ・ で解析に応じて、対応させていただいております。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	期時時の対	41 42 43 44 45 46 47 48 49 50	を設立場所で必要しているか。 ことも中国電影から超数中等入れたついて、対応の情報を整備するとともに、ことも中国電影に期望し、概要や学入れがあった場合に高速から増加したいるか。 沈郎のに高等等を飛行することか、MPO90等を活用することとなり、支急機器や付きする、連絡体験等の開発をことの中国機能に対して発想しているか。 個人機能の機能により機能しているか。 個人機能の機能により機能しているか。 職務の場合こととの中国機能と必要を連携で機能に進われた事業業を扱っているか。 事業所の特定に関始的まで、即体に関かれた事業業を扱っているか。 事業所の特定に関始的まで、即体に関かれた事業業を扱っているか。 職務機能技術(RCD)を実定するともも、非常が表の発生に含え、実施的に関係、指述さる他心等な対解を行っているか。 最終を対しているからこともして、不足が必ら発生に含え、支援的に関係、指述さる他心等な対解を行っているか。 の場所が対応に、原能や予防信能、そんか人発行等のこともの必然を確認しているか。 を対し、原能・予防信能、そんか人発行等のことものが気を構造しているか。 を対け、その場合を必然高を確しるが、を支援等が十分されたやで支援が行われているか。 ことものを支援をに関し、実施等に必要な時間の構造、その他心等の誘動を提出されているか。 ことものを支援をに関し、実施等に必要な時間の構造、その他心等の誘動を提出されているか。 ことものを支援をに関し、実施等に必要な時間の構造、その他心等の誘動を提出されているか。 ことものを支援をに関し、実施等に必要な時間の構造、その他心等の誘動を提出されているか。 ことものを支援をに関して、実施等との連携が限めらある。 ことものを支援をに関して、実施等との連携が限めらある。 ことものを支援をに関して、実施等へ機能しているか。 ことがいると	100% 92% 100% 100% 100% 100% 100% 100%	60% 0% 8% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0%				

200	w=r.~		1				
事	業所名	グローバルキッズメソッド052 幸手店(パーク)			公表日		
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
	1	利用定員が旁達支援翌等のスペースとの関係で剥引であるか。	100%	0%	際能に合わせたプロアをご用意しております。		
境	2	利用定員やこともの状態等に対して、職員の配価数は適切であるか。	100%	0%	核資や解析上向格のある機関を必須にしております。		
(# (B)	3	生活空間は、ごどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の影楽が通 切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
9	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる場所になっているか。また、こども途の活動に会わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、高脚を行っております。塩焼放在に関しても小まめな話し合いを行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の保護や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで制度を分ける等の対応をしております。		
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と無り返り)に、広く鑑賞が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を発揮して話し会いを行っております。		
	7	保護者向け評価書により、保護者等の意向等を把握する機会を掛けており、その内容を果積改高につなけているか。	100%	0%	アンケート結果や、意味のコミュニケーションから保護者さまの松声を消滅し、改善できるように努めていきたいと思います。		
務改	8	職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を集務改画につなげているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して結したいを行っております。		
A	9	東三衛による外部貯価を行い、貯価協業を業務改満につなけているか。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。		
	10	職員の責任の向上を図るために、研修を受講する機会や法人の等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動機の複数による短端内上に力を入れております。		
	11	港切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	放したいのと、活動プログラムを決定し込痕しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや復題を各級的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント用紙だけでなく。保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお抑いし、計画を作成出来るように見めております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	こどもの支援に関わる機関例士で情報を共有し、日々権がしております。		
	14	児童発達支援計画が構造間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎時期時、児童院建設等計画に沿った支援を心倒けております。		
	15	こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 様態しているか。	100%	0%	他別等前時の記録を取り、辺辺等前が何を立てる際に活用しております。		
地切	16	、 売盈気確支期計画には、児童気確支援カイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「未入支援」、「専练支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の ならい及び支援所称や動産スながら、ことの支援に参考な場合が通信に設定され、その上で、具体的な支援所指が設定されているか。	100%	0%	児童院達支援計画には、必要な場口が選択に適択され、そのうえて、具体的な支援的様が設定されております。		
な支援	17	活動プログラムの位案をチームで行っているか。	100%	0%	以上点いの上、活動プログラムを決定しております。		
の機	18	活動プログラムが開変化しないようエ夫しているか。	100%	0%	透描が必要な場合、内容を見直して改造点を貼か込むようにしております。		
gt	19	こどもの状況に応じて、仮図活動と無回活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況に応じて、個別活動を機能活動を複胞組み合わせて把盤角達克健計画を作成しております。		
	20	支援開始前には福見間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分型について構図し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	送物開放が異なることが多い場。 実際機関を中心に情報共和訟をおよう。 記録やご頭によるコミュニケーション等で機関に努めております。		
	21	支援終了後には、職員間であず打合せを行い、その日行われた支援の限り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	透動物発も内核に買なることが多い場。内核に完物機関を中心に消機は将近来をよう。記録や口緒によるコミュニケーション等で構成に努めております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の神経・改高につなげているか。	100%	0%	信効等資料の記録を取り、次以等資外容を立てる際に落用しており戻す。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を利能し、適切収昇直しを行っているか。	100%	0%	お子さきの状況や必要性に応じて被防攻場直しを行っております。		
	24	南高売和販支援事業所のサービス担当者会議や商品権間との会議に、そのこどもの状況をよく理解した数が参加しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより開発している種類が参加性をように関かております。		
	25	ではない。 一般なの保護、運搬(企治室や協力・開発機能等)、開発権法、保育、発育等の関係機能と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	心原に広じて直形達用してがります。		
	26	の場合が発発し、政策(主点はやMarita (1987年)、阿吉田県は、1987年、1987年の1987年により、1987年によりにより、1987年により、1987	100%	0%	→ ののである。		
		部)等との間で、支援が指導の情報共和と様因準制を振っているか。 接手的の終行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援が指導の情報共和と様因準細を抑っているか。	100%	0%	びからし、 高水 1 (Marian * Anna *		
	27						
係機	28	(28~30は、センターのみ間報)	(センターではないため間落な人)				
日ヤ保	_	物域の他の児童発達支援センターや物害児者所支援事業所等と連携を指り、地域全体の背の向上に責する取組等を行っているか。					
報報	29	第の向上を図るため、積極的に専門第で専門機関等から助意を更けたり、鑑賞を外部時報に参加させているか。	(センターではない				
の連	30	市域の児童発達支援センターとの連携を殴り、必要に応じてスーパーパイズや助賞等を受ける場合を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)			
携	31	(31は、事業所のみ間前)					
		町域の児童穿達支援センターとの連携を限り、必要に応じてスーパーパイズや助黒等を受ける報合を設けているか。	100%		必要に応じて推倒し、研修にも小承めに参加しております。		
	32	保育所や認定ことも展、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこともと悲劇する機会があるか。	100%	0%	ご問題に応じて、対応させていただいております。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と似え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を用いたケア溶除の延付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通管験を認めております。		
	34	事態の対応力の向上を図る観点から、事態に対して事態支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や事態等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	こちらての外応が活得を「本日の相子」として日々情報発情し、ご楽取での支援にご活用いただけるより報かくお応えしております。		
	35	書放照後、支援プログラム。お子さま発酵等について丁幸な物明を行っているか。 P監察法支援計画を作成する際には、こどもや経済的心意思の信息、こどもの議長の利益の優秀考慮の概点を請求えて、こどもや事故の影响を確認する場合を設けてい	100%	0%	ご要感に応じて、対応させていただいできります。		
	36	児童協会支援計画を作成する際には、ごともや保護者の意思の尊重。こともの最高の利品の使先考達の報点を認まえて、こともや客談の趣向を確認する機会を設けているか。 るか。	100%	0%	ご整備に応じて、対象させていただいでおります。		
	37	「児童知達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童知達支援計画の円息を得ているか。	100%	0%	部部に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内部の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を存ております。		
保護	38	定期的に、単議等からの子育ての届み等に対する相談に適切に応じ、閣談や必要な動策と支援を行っているか。	100%	0%	ご養殖に応じて、対応させていただいであります。		
名 へ の	39	父母の合成改動を支援することや、保護者合等を開催する等により、保護者附立で欠高する場合を設ける等の支援をしているか、また、きょうだい明立で交高する場合 を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ご要感に応じて、対応させていただいており戻す。		
29. 101	40	こどもや保護者からの閲覧や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に規則し、掲載や中入れがあった場合に迅速かつ連切に対応しているか。 か、	100%	0%	ご機がありました際には、迅速かつ機切に対応しています。		
99	41	定期的に連領等を発行することや、HPやSMS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに滋動予定を発使しております。また、物質輩目にプログを作成し、滋動の様子をご確認いただける歌り能みを行っております。		
	42	個人情報の歌俊いに十分極意しているか。	100%	0%	入社時に脳的悪にて構図し、個人情報の複雑や環境防止にかを入れております。		
	43	際高のあることもや保護者との意思の政連や情報伝達のための配準をしているか。	100%	0%	係々の状況に応じて勧進を行っております。		
	44	事業所の付事に地域性更を招待する等。地域に関かれた事業議務を捌っているか。	100%	0%	ご物価に応じて、対応させていただいております。		
	45	泰姓所はマニュアル、緊急時対応マニュアル、移形マニュアル、移発を対応マニュアル等を策定し、機関や策謀等に廃始するとともに、発生を想定した誤練を実施して いるか。	100%	0%	毎年2回の開催を実施しております。		
	46	要務期級計画 (GCP) を策定するとともに、并第27者の発生に備え、定期的に遊襲、依当その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	SCYRIZあり→ 幕原線統計書(SCP)を原文し、支援的公訓練を行っております。なし→ 支援的公訓練と加え、幕原線統計書(SCP)の確定を検討へたします。		
	47	事前に、 原薬や予防原種、 てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	職員時去でも共有し、民間に努めております。		
# #	48	食物プレルギーのあることもについて、医師の像示察に基づく対応がされているか。	100%	0%	龍Д時亡でも共年し、肥難に努め、外切しております。		
15 15	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や領域、その他必要な問題を構じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職制時亡でも共行し、肥難に対め、対応しております。		
31 応	50	ごどもの安全機体に関して、液体等との連携が弱られるよう、安全計画に接づく影響内容について、薬体等へ勝知しているか。	100%	0%	職員所主ても共有し、保護者さ多への際位に努めております。		
	51	ヒヤリハットを事業所りで共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	prideではありませんが、無限なことでも応えをし、参挙所でヒヤソハットを選出共有しております。また、他参案所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52	虚符を挤止するため、職員の研修機会を機関する等、測切な対応をしているか。	100%	0%	虚例的に参照会を設置するとともに、定期的な会検的様を行ない、虚例的とに別のております。		
	53	どのような場合にやむを得す身体内をを行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事務に十分に放明し了解を得た上で、光量発達支援計画に配載している か。	100%	0%	切出性・肝代動性・一時性を満たしている場合とし、自体内変を行った場合には記録を行っております。また、計画書でも放映しております		

事業所名 グローバルキッズメソッド053 鶴田店ファン(パーク) 公表日 2025年2月1日 改善目標、工夫している点など いいえ チェック項目 目が行き届く広さだと思います。 利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 100% 0% 職員間で声を掛け合って役割を確認しております。 生活を設定。こともにわかりやすく構造化された準明になっているか、また、参導所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、準理上の起達 切になされているか。 ・型砲具はお子さまにとって魅力である一方で児童の特質上、常に設置されてる砲具は集中の妨げになる一面もあるため、工夫や改善を検討いたします。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども連の活動に合わせた空間となっているか。 100% 0% 毎日、清拝を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。 気持ちを落ち着かせる部屋の環境はこども途の表情からもよいスペースだと思われます。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 従業員の声を聞き振り返り次の目標を話し合えております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 100% 取業者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 100% 0% きたんなく意見を交換し改善を話し合えております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 研修で学べた事がたくさんあります。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 話し合いのよ、活動プログラムを決定し公舎しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 100% 0% 支援計画をもとに職員間でよく話し合い支援に取り組めております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ 職員間でこどもの情報を求めに共有し変化にも対応して支援出来でおります。 利用時、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けております 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動鏡際なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により WRIT Trists 別検育時の記録を取り、次回検育内容を立てる際に活用しております 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 Pl盤発達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 100% 0% 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 職員のアイデアで発棄し、自発管のアドバイスのもと工夫しております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 100% 0% |機員が丁寧にその日の支援を説明しております。 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時替も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 67% 33% 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 100% 個々に必要な事を見極め計画出来でおります。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 100% 0% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション落連の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互受解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小束めに参加しております。 100% 宮育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 5らでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 100% 0% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 33% 67% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 月ごとに活動予定を発信しております。また、毎回幕日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。 定期的に連携等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 毎年2回の訓練を実施しております。 45 実務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 BCP能定あり→ 業務継続計画 (BCP) を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、業務継続計画 (BCP) の策定を検討いたします。 事前に、脳巣や予防修構、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 100% 0% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 0% 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 100% 0% **- 例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。** 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 虚待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。 のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して 切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております 53 17%

事業所名 グローバルキッズメソッド055 加須店プラス(パーク) 公表日 2025年2月1日 改善目標、工夫している点など いいえ チェック項目 個別練育、活動時での部屋の使い分けを工夫できております。室内のデッドスペースを利用しての収納作りなどの工夫しております。 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 生活空間は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の股傷等は、降客の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の影楽 切になされているか 日によって電路の人件予定のため月物などがその日に対わらない日もありますが、漫場を密じし出日が「てきております。ロッカーのとこは物を進かないよう。視覚に入らないよう見えない機を設置しております。結カードを使って1日の流れを指す でおります。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 80% 20% 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 状況に応じてグループで部屋を分ける等の対応をしております。 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 60% アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。 取業者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 100% 0% 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 禁し合いの上、活動プログラムを決定し公舎しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 100% 0% セスメント用紙だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ ラインやノートを使っての情報共有を行っております。 時間内に全てを共有する時間がないため、各々hugを見て確認しております。 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動鏡際なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により WRIT Trists 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 100% 0% ・監察達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 前月や曜日など固定お子さまの活動が重ならないよう配慮しております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 100% 0% 5インを使用し前日には当日の活動内容を、詳細に提示しております。朝にはそれを元に更なる詳細を周知しております。 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時間も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 40% 60% 別検育時の記録を取り、次回検育内容を立てる際に活用しております。 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 100% 0% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション落連の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互受解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小正めに参加しております。 宮育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 5らでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 100% 0% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 20% 80% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 定期的に連携等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 その日の活動内容をプログで発信しております。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 45 毎年2回の訓練を実施しております。 BCP第定あり→ 業務極続計画 (BCP) を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、業務極続計画 (BCP) の策定を検討いたします。 実務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 事前に、脳巣や予防修構、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 100% 0% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 保険者さまの意向に基づいた報告のみのアレルギー対応をしております。 AEDの使用方法や蘇生法など実際の訓練を検討しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 20% 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 100% 0% 例集ではありませんが、 些細なことでも尼入をし、 事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。 また、 他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 虚待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。 のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して 切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております 53

事業所名 グローバルキッズメソッド057 喜沢店(バーク) 公表日 2025年2月1日 チェック項目 改善目標、工夫している点など いいえ 用途に合わせたフロアをご用意しております。 利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 100% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 生活を設定。こともにわかりやすく構造化された準明になっているか、また、参導所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、準理上の起達 切になされているか。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 100% 0% 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 状況に応じてグループで部屋を分ける等の対応をしております。 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 100% アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を消載し、改善できるように努めていきたいと思います。 取業者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 100% 0% 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 禁し合いの上、活動プログラムを決定し公舎しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 67% 33% 児童発達支援管理責任者適当の様で、他の職員が支援計画書の訂正をしております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ こどもの支援に関わる職員同士で情報を共有し、日々検討しております。 利用時、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けております 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. 67% こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等によ 場際にアンスか 別僚育時の記録を取り、次回僚育内容を立てる際に活用しております 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 33% 67% P. 盤発達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 改善が必要な場合、内容を見直して反省点を組み込むようにしております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 33% お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 病質が異なることが多い為、常動性員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 67% 33% 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時間も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 33% 67% **川坡育時の記録を取り、次回坡育内容を立てる際に活用しております。** 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 67% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 33% 例行列車や紹行に向けた支援を行うなど、インクルージョン構造の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定ことも属、幼稚園、特別支援学校(1 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互理解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小まめに参加しております。 宮育所や認定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 5らでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 67% 33% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 33% 67% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 月ごとに活動予定を発信しております。また、毎回幕日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 45 毎年2回の訓練を実施しております。 BCP第定あり→ 業務極続計画 (BCP) を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、業務極続計画 (BCP) の策定を検討いたします。 実務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 事前に、脳巣や予防修構、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 100% 0% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 100% 0% 例集ではありませんが、 些細なことでも尼入をし、 事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。 また、 他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 書待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。 のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して 切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております 53 33%

=	業所名	Man (file f.) to logo lawer() f. h)	1				
P :	料別石	グローバルキッズメソッド058 城東店(バーク)			公表日		
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
	1	利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	おもちゃごとにそれぞれスペースを作っているところです。		
境	2	利用支貨やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるが、	100%	0%	務員や保育士貞秘のある職員を必要して、人員継承を楽にしております。		
休 別	3	生活空間は、ごどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、特害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の記憶が適 切になされているか。	100%	0%	やることを関係。簡素が与情報を入れております。入便してからの流れが決めるなどの工夫をしております。		
55 68	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる場所になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日開発を欠かさず行っております。おもちゃの湾南を観覚にしております。		
	5	必要に応じて、こどもが機関の部間で場所を使用することが認められる電場になっているか。	100%	0%	落や着く時間が必要な物は構造と物感覚に入り、結を描いております。		
	6	業務改善を進めるための POCA サイクル(目標設定と無り返り)に、広く構真が参画しているか。	100%	0%	食くなかった点は翌日午前中に対策を考えております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改高につなけているか。	100%	0%	モニタリングなどで保護者でまからの事情は翌日には全体に閲覧しております。		
務改	8	職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を集務改高につながているか。	100%	0%	午節中に職員ミーティングを行っております。		
×	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなけているか。	50%	50%	や場検討しているたいと思います。		
	10	職員の責貨の向上を掴るために、研修を受講する機会で法人が等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	動態所様、感想を起入しております。		
	11	激切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	個別交通計画書を築に日々の支援。個別専用を行っており戻す。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を各級的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	事場所、保育期、ご仰宅での様子をそれぞれ嫌いてお子さまに合ったものを作成しております。		
	13	、 売盤発達支援計画を作成する際には、光度発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる問題が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。 でいるか、	100%	0%	モニタリング和にお子さきの事業所での様子をお詰ししております。		
	14	児童発達支援計画が構造物に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎月四時、児童院建支援打画に沿った支援を心倒けております。		
	15	こどもの途所行動が状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 構図しているか、	100%	0%	銀河等資料の記録を取り、次以等資外的を立てる際に効用しております。		
38 tŋ	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「稼行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	児童発達支援計画には、必要な項目が表現に選択され、そのラスで、具体的な支援が指揮が起されております。		
な支	17	25い及び支援外降を認定之ながら、ごどもの支援に必要な適口が選切に設定され、その上で、具体的な支援外溶が設定されているか。 支急プログラムの位置をテームで行っているか。	100%	0%	話したいのと、活動プログラムを決定しております。		
仮の提	18	温勢プログラムが密定化しないよう工夫しているか、	100%	0%	改進が必要以降点、内容を見渡して常備を始か込むとうにしております。		
gt	19	(1885) こと プロロ (1885) (1895)	100%	0%	お子さその状況にぶして、個別点動と他们点動を選択的か合わけて受験の妻子健計動を介成しております。		
			100%	0%	出動物性が押心さことがから、実際機具を中心へ活動は再催棄をよう。 把握りで調によるコミュニケーション等で機能に努めております。		
	20	支援側地断には臨間間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで差別して支援を行っているか。			品面的同談が明らたことが、44、ARMANEでもし、物質APM立をよう。た高いに加えるウェデュニン・ジョグで、電報とかりとうとす。 退動物質と呼吸に見なることが多い為、内側に定数性間を守むこで簡素に再設を含える。 記録では話によるコニュニケーショグで確認に知ることがある。		
	21	支援教育後には、職員間で必ず打合せを行い、その目行われた支援の限り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の機証・改高につなけているか。	100%	0%	銀物等資料の配給を取り、次回等等外格を立てる際に活用しております。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お学さまの状況や必要性に応じて確切な場面しを行っております。		
	24	関害が掲載支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した教が参画しているか。	100%	0%	お子さ来の状況をより理解している職員が参加出来るように別のております。		
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%	必要に応じて適宜連携しております。		
	26	例が実際である。 特別は国内を持て向けた支援を行うなど、イングルージョン接着の関係が与支援を行っているか。また、その際、保育所や認定ことも層、幼園園、特別支援学校(幼園 部)等との間で、支援が指等の情報共将と周立理所を譲っているか。	50%	50%	必要に応じて、適需する幼稚園や賃貸の間間の所見から情報共移を行なっております。		
	27	該学時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との館で、支援小容等の情報共再と相互理解を図っているか。	50%	0%	物数する技術機等デイサービス事業との情報共称を限りながら、ご要請があれば学校との情報共称に勤けてまいります。		
係機	28	(28~30は、センターのみ関係)					
III CT		地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を図り、地域全体の長の向上に資する型能等を行っているか。	(センターではない	(センターではないため間等なし) (センターではないため間等なし)			
保護者	29	袋の向上を倒るため、植態的に専門薬や専門雑期等から助金を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではない				
0	30	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや前席等を受ける報会を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)			
男	31	(31は、事業所のみ関係)					
		市域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助高等を受ける場合を設けているか。	50%	50%	必要に応じて連携し、研修にも今後かに学館しております。		
	32	保育所や認定こども隔。 幼稚園等との交流や、 地域の中で巻のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	ご整備に応じて、対応させていただいております。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝えない、こどもの完建の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を用いたケア記録の近付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通機能を集めております。		
	34	家族の対応力の向上を図る機点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	ごちての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発情し、ご家庭での支援にご案用いただけるより組分くお伝えしております。		
	35	瀬高泉境を、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご整理に応じて、対応させていただいており来す。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の意識、こどもの場所の利益の優先考慮の報点を指定えて、こどもや家族の意向を構造する場合を設けているか。 るか。	50%	50%	ご物能に応じて、対応させていただいであります。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の設明を行い、 保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか、	100%	0%	※単に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援が得る説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。		
保	38	支期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な効果と支援を行っているか。	100%	0%	ご類似に応じて、対応させていただいております。		
被	39	父用の合の遺跡を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者所士で交流する場合を設ける等の支援をしているが、また、きょっだい所士で交流する場合を設ける等の支援をしているが、また、きょっだい所士で交流する場合を設ける等の支援をしているが、	50%	50%	ご審査に応じて、対応させていただいております。		
o R	40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に原知し、模談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	ご問題がありました際には、迅速かつ剥切に対応しています。		
10)	41	が、 定期的に透視等を発行することや、HPPSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	50%	50%	月ごとに効動予定を発情しております。また、物質専目にプログを作成し、効動の様子をご確認いただける歌り能みを行っております。		
	42	個人情報の地談いに十分信息しているか。	100%	0%	入江地に版刊機にて確認し、個人情報の確認や認識的にたかを入れております。		
	43	南高のあることも中保護者との意思の設備や情報伝達のための配差をしているか、	100%	0%	俗々の状況に応じて影響を行っております。		
	44	・ 関係がありましても「地域自立が表示が表現であります。」 ・ 事業所の付款に地域社長を招呼する等、地域に関かれた事業業務を関っているか。	100%	50%	ご整確に応じて、対応させていただいております。		
	45	李故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、移居マニュアル、移居マニュアル等を施定し、職員や家族等に関矩するとともに、発生を想定した訓練を実施して	100%	0%	サンス からい しょうかい しょうかい しょうか サイド かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい		
		Uidith.	100%	0%	19-202/000年を表明しくのシネット		
	46	業務組結計機 (BCP) を施支するとともに、非常災害の発生に傷え、支援的に避難、救出その他の妻な訓練を行っているか。					
35	47	事柄に、無事や予例症機。てんかん飛作等のこともの状況を機能しているか。	100%	0%	機関性でも共和し、影響であったが1924で		
76 169	48	食物アルルギーのあることもについて、関係の他宗書に基づく対応がされているか。	100%	0%	福岡村上でも共有し、世際に努め、外のしております。		
の対	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を描しる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	趣趣性させぬ時に、世間に努め、外切しております。		
15	50	こともの安全機能に関して、家族等との連携が関与れるよう。安全計画に魅づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	塩間 性とでも共和し、保護者さぶへの境にに知っております。		
	51	とヤリハットを事業所介で共有し、再覧防止に向けた方面について検討をしているか。	100%	0%	即列策ではあり返せんが、無機なごとでも犯入をし、事業所でヒヤリハットを逃避共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を指えております。		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を機体する等、激切な対応をしているか。	100%	0%	富物所と委員会を設置するとともに、支援的な全体等級を行ない、虚物所立に努めております。		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している か。	100%	0%	切記性・肝代敵性・時性を携たしている場合とし、身体拘束を行った場合には応募を行っております。また、計画家にも反映しております		

8	F業所名	グローバルキッズメソッド060 鴻巣店(パーク)		公表日 2025年2月1日			
		TATEC	toks .	=	公表日		
	1	チェック項目 利用項目が発達支援等やAスペースとの原格で書名であるか。	(はい	いいえ	以高口味、上大している点がところに表しております。		
15	-	************************************	33%	67%	新典中保育上海輸のから機関を配差して、人具修事を混たしております。		
18 -	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、参幕所の股揚等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配達が通	44%	56%	必要に歩いて観点ゲフィローを行なっております。		
8	-	切になされているか。 単項回知は、清潔で、心地よく地では各場所になっているか、また、ことも連の地獄に合わせた窓間となっているか。	44%	67%	毎日、高裕を行っております。 塩物放金に関してかりまめん話したいを行っております。		
9	-				状況に応じてがループで顕複を付ける等のが応見しております。		
	5	必要に応じて、こどもが傾倒の監管や場所を使用することが認められる場場になっているか。	100%	0%			
	6	事務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く電質が参加しているか。	56%	44%	月に間の部しかいをするようこしております。		
10	7	保護者向け評価表により、保護者等の原向等を形理する機会を設けており、その内容を裏積改高につなけているか。	78%	22%	アンケート結果や、直像のコミュニケーションから帰還者さぶのお声を測載し、改善できるように努めているたいと思います。		
e a	8	間貫の鹿見等を見難する場合を設けており、そのが俗を業務改善につなげているか。	89%	11%	常れている人や特別が多い人には無理をしないように声かけをし、実務の事で関抗があった際は一緒に考え、接続の対的から外れない特別でおびをしております。定期的なニーディングで加く合っております。		
	9	第三者による外部呼吸を行い、呼吸結果を維持改善につなけているか。	44%	56%	今後終していきたいと思います。		
	10	職員の責任の向上を図るために、研修を受講する機会や法人均等で研修を開催する機会が確保されているか。	89%	11%	全種種様のほかに、研修動機の凝整による知識向上に力を入れております。		
	11	激切に支援プログラムが作成、公表されているか。	89%	11%	できるだけ機能の特徴、保護者さ者からのニーズに沿ったかりキュラムも極み、実行するように心がけております。モニタリングをもとに支援計画を作成しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと似策者のニーズや課題を苦酸的に分析した上で、児童発達支援計器を持成しているか。	100%	0%	実験計画を立て、お客様のニーズに加えるように努力しています。 児常官と職員の間で情報交換を行っております。		
	13	が登路発表が顕計画を作成する際には、光重発達支援管理責任者だけでなく、こともの支援に関わる環境が共通機械の下で、こともの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	事務に情報共有を行い、モニタリング等の相に正確以前級の収集、課題の設定を意識しております。日々情報交換を行っております。直接の結し合いてはなく、直前にメモにて共有を行なっております。		
	14	児鹿発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	67%	33%	毎初時、児童発達支援計画に沿った支援を心酔けております。		
26	15	こともの地域行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 構図しているか。	67%	33%	銀物等身時の起送を抱り、次回等身内容を立てる際に活用しております。		
4	16	別監察議吏銀計画には、別監察接支援カイドラインの「児監察接支援の即引すべき支援」の「本人支援」、「常将支援」、「保行支援」及び「地域支援・地域連携」の 沿らい200万億内限を請求えなから、こともの支援に必要な同国が関切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	89%	11%	児童発達支援計画には、必要な項目が関切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。		
3 88	17	活動プログラムの位策をチームで行っているか。	78%	22%	思し合いのと、現象プログラムを決定しております。		
9	18	活動プログラムが概定化しないよう工夫しているか。	89%	11%	月毎に高りが出ないよう考えてプログラムを作成しており戻す。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と機関活動を適度組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	67%	33%	お子さまの状況に応じて、個的名数と無比な数を適宜組み合わせて児童発達を提計機を作成しております。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分別について構築し、チームで連携して支援を行っているか。	67%	33%	活動柄に必ずニーティングを行っております。		
	21	支援物子後には、職員間で必ず打会せを行い、その目行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	44%	56%	連動制度がそれぞれ異なるため、脳田の三一ティングで語し合っております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改高につなけているか。	56%	44%	個別等資料の記録を取り、次回等資料店を立てる際に次用しております。		
	23	支期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切な月直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状状や必要性に応じて制力が発症しを行っております。		
	24	海害光和放支援事場所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	78%	22%	お子さその状況をより機能している職員が参加出来るように努めております。		
	25	地域の保健、医療(生治医や協力医療機能等)、障害指征、保算、教育等の関係機能と連携して支援を行う仲間を整えているか。	78%	22%	必要に応じて衛務連携しております。		
	26	特行利用や将行に向けた支援を行うなど、インクルージョン指連の製点から支援を行っているか、また、その際、保育所や確定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援が指等の効能材料と信息機能を図っているか、	78%	22%	必要に応じて、適需する幼稚園や解育機の開発の方との情報共有を行なっております。		
	27	## 2000 (1997)	78%	33%	例設する放課機等デイサービス事業との情報共再を担りながら、ご要望があれば学校との情報共和に加げて求いります。		
THE		(28~30は、センターのみ関節)					
60	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を関り、地域全体の長の向上に資する助相等を行っているか。	変援センターや障害死者が支援事業所等と選択を認力、物域全体の長の向上に育する範囲等を行っているか。 (センターではないため回答なし)				
T 50		毎の向上を図るため、積積的に専門施や専門機関等から動変を受けたり、職義を外部研修に参加させているか。	(センターではない				
8	30	売場の児童発達支援センターとの連携を譲り、必要に応じてスーパーパイズや効果等を受ける場合を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)	この間寄むし)		
38 58		(31は、事業所の外間質)					
	31	地域の児童気油支援センターとの途界を誤り、必算に応じてスーパーパイズや効果等を受ける組合を設けているか。	57%	43%	の際に応じて連携し、研修にや小者のご問題しております。		
	32	毎月所や認定こども限、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11%	89%	ご際端に応じて、対応させていただいでおり戻す。		
	33	日油からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や確認について共通機解を持っているか。	89%	11%	電子の連絡機を用いたクア記録の基付や、首節の中し送りにより伝達を行って、共通機構を採めております。		
	34		33%	67%	であっての対応方法等を [本日の様子] として日や情報発動し、ご覧官での支援にご活用いただけるよう様かくお何よりです。		
		実践の対応が6時上を図る観点から、筆琢に対して事族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる時後の機会や情報提供等を行っているか。			こうないがありたかで、さらながます。ことにも「特殊が高い、これないなかとことがなった。 で確認にあいて、対応させていただいでおります。		
	35	電影機能、実践プログラム、お子さま負債等について丁草以降時を行っているか。 ・ 型盤発達支援計画を作成する毎には、ごとも中保護権の意思の信息、こともの指展の利益の優先考慮の報点を讃まえて、こどもや薬尿の部分を確認する場合を招けてい	89%	11%			
	36	නිර .	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。		
	37	「児童院達克維計画」を示しながら支援内容の欧明を行い、保護者から児童院達克維計画の明意を得ているか。	89%	11%	第第11日) (対象関連支援計画) を示しながら支援内容の改明を作い、保護者を求から対象を確ております。		
9	38	定期的に、 等度等からの子育ての福み等に対する相談に適切に応じ、 面談や必要な物質と支援を行っているか。	89%	11%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。		
* a	. 39	公司の命の改動を支援することや、保護者会等を開始する等により、保護者明士で欠当する場合を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい明士で交出する場合 を設ける等の支援をしているか。	22%	78%	ご整備に応じて、対応させていただいであります。		
15	·	こともや保護者からの間談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に問知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 か、	100%	0%	ご機がありました際には、迅速かつ機がに対応しています。		
pi	41	支援的に連携等を発行することや、HPPSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をごどもや保護者に対して発情しているか。	100%	0%	月ごとに対象が支を発情しております。また、物質専目にプログを作成し、対象の様子をご確認いただける思り組みを行っております。		
	42	個人情報の取扱いに十分細糖しているか。	100%	0%	入社時に延砂菌にて確認し、個人情報の保護や販売的止に力を入れております。		
	43	薄素のあることもや保護者との意思の評議や情報伝達のための配導をしているか。	89%	11%	傷々の状況に応じて勧誘を行っております。		
	44	事業所の行事に地域住民を傾向する等、地域に関かれた事業連貫を誤っているか。	89%	89%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。		
	45	李成伤上マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、係染度対応マニュアル等を策定し、機関や承珠等に飛抜するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか。	67%	33%	毎年2回の部隊を実施しております。		
	46	■長額総計画 (BCF) を第定するとともに、井本災害の身生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	GC開変あり→ 業務機能計画 (BC9) を抱変し、支限的な訓練を行っております。なし→ 支限的な訓練に加え、業務機能計画 (BC9) の模定を検討いたします。		
	47	李結に、原薬や予約修修、てんかん発作等のこどもの状況を機団しているか。	100%	0%	職間所立ても共有し、把側に関めております。		
#	48	食物アレルギーのあるこどもについて、風跡の施示者に基づく対応がされているか。	100%	0%	職間所士でも共有し、民間に別め、対応しております。		
85 86 67	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を描しる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	89%	11%	機器例立ても共有し、把握に関心、対応しております。		
20		こどもの安全機関に関して、寒珠等との連携が抑られるよう、安全計画に第づく取組外容について、寒珠等へ崩矩しているか。	78%	22%	職員時亡でも共利し、保護者さ多への機能に努めております。		
	51	ヒヤリハットを事場所がで共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	78%	22%	事が策ではありませんが、 無端なことでも応えをし、 事業所でヒヤツハットを被抗共和しております。 また、 物事業所の指揮者とも共有する体制を整えております。		
	52	虚符を形立するため、機関の研修機会を増保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虚物的上昇角合物度するとともに、定期的な金貨用格を行ない、虚物的上江邦のております。		
	53	どのような場合にやむを得す身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得たよで、児童発達支援計画に記載している か。	100%	0%	切倒性・肝性動性・一時性を推定している場合とし、身体物理を行った場合には記録を行っております。 正元、計画部でも放映しております		
		<u>"</u>		1			

1	業所名	グローバルキッズメソッド061 つくば店(パーク)			公表日 2025年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。	75%	25%	用他に合わせたプロアをご用他しております。
		利用支責やこどもの状態等に対して、職員の配置換は適切であるか。	75%	25%	教践や解析主角核のある階間を配置して、人具秘事を指定しております。
*	3	・	75%	25%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
9	4	************************************	75%	25%	毎日、清解を行っております。 環境設定に関してセツまめぬ話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが傾倒の痕迹や場所を使用することが認められる環境になっているか。	75%	25%	状況に応じてグループで誤應を分ける特のが応をしており戻す。
	6	業務改済を進めるための POCA サイクル(は微数さと振り返り)に、広く電流が参加しているか。	75%	25%	東期的 た点温を開催して話したいを行っております。
	7		75%	25%	アンケート結果や、遊師のコミュニケーションから採集をさるのが声を搭載し、改賞できるように等のていきたいと思います。
3		電質の意見等を担害する場合を設けており、その内容を裏配達につなけているか。	75%	25%	京朝的に会話を開催して話し合いを行っております。
ě		第三和による外部が極を行い、評価協変を要務改議についているか。	75%	25%	今後終がしていきたいと思います。
			100%	0%	TRUTHOR.
	10	職員の員長の向人を抱るために、研修を覚護する機会で法人内等で研修を開催する機会が確認されているか。			高に売いた。 郷田プログラムを決定した際しております。
	11	選切に支援プログラムが作成、公賞されているか。	75%	0%	####################################
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや資源を名破的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援指導責任者だけではく、こどもの支援に関わる機員が基準操め下で、こどもの最高の利益を考慮した機材が行われ		25%	
	13	ているか、	75%	25%	こともの支援に関わる職員所立て情報を共有し、日々特別しております。
	14	東盤発達支援計畫が職具際に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動検察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により。	75%	25%	毎年時期、光盤発達支援計画におった支援を心酔けております。
3	15	では、	75%	25%	銀物資料の配換を取り、次回等剤が終を立てる際に満用しております。
t		ア高声地を交換目前には、元高中地を対象がイドラインの「元高中地と成の契約(マイロス版)」(中へス版)、「中のス版)、「中行文集)が「中の地文集(中は北版)」 おらい及び支援内容も顕示えながら、こともの支援に必要は当はが通りに設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	党権権を開始的には、必要の場合が確認に避免され、そのクスで、具体的な支援的指が認定されております。
8	17	港動プログラムの位準をチームで行っているか。	75%	25%	版した。 定義プログラムを決定しております。
4		3動プログラムが閲覧化しないようエテしているか。	100%	0%	改善が必要が考点、内容を見直して改省点を総か込むようにしております。
	19	こともの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	お子さまの状況に応じて、領別活動と場間活動を通習組み合わせて児童発達支援計画を存成しております。
	20	支援開始前には韓周間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について権限し、チームで連携して支援を行っているか。	75%	25%	近極時間が異なることが多い場。不能概義を中心に情能共有巡察るよう。記録や江湖によるコミュニケーション等で機関に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	遊動機器も同様に異ねることが多い場。同様に定数機関を中心に関係共和企をみよう。記録や口頭によるコミュニケーション等で機関に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の特証・改高につなけているか。	100%	0%	個別等等時心起発を取り、次辺等影响符を立てる際に沈用しております。
	23	芝用的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	75%	25%	お子さまの状状や必要性に応じて破功以発慮しを行っております。
	24	薄害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した復が参画しているか。	75%	25%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出をるように努めております。
	25	型域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を施えているか。	75%	25%	必要に応じて適宜連携しており戻す。
	26	例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン海通の際点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援が将等の情報共有と似互理解を限っているか。	100%	0%	必要に応じて、適需する幼稚園や保育園の開発の方との情報共和を行なっております。
	27	裁学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学箱)との館で、支援外路等の情報共有と報品機能を図っているか。	100%	25%	例数する故障機等デイサービス事業との情報共再を担りながら、ご覧望があれば学校との情報共和に加げて高いります。
		(28~30は、センターのみ関係)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を限り、地域全体の長の向上に責する取組等を行っているか。	(センターではない	ため間折なし)	
4	29	毎の向上を抑るため、結婚的に専門家や専門機関等から助表を受けたり、職員を外部所修に参加させているか。	(センターではない	ため間答なし)	
4	30	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーバイズや物度等を受ける機会を扱けているか。	(センターではない	ため間答なし)	
3		(31は、事場所のみ回答)			
	31	型域の定盤発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助誘等を受ける報会を設けているか。	67%	33%	必要に応じて推測し、研修にも小本のに参加しております。
	32	な育所や年まごとも題、幼稚園等との交流や、物域の中で他のこどもと活動する場合があるか。	75%	25%	ご要値に応じて、対応させていただいでおります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの完建の状況や課題について共通理解を持っているか。	75%	25%	電子の連絡機を率いたケア配線の延付や、直線の中し近りにより伝達を行って、共通機能を案のております。
	34	家族の対応かの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	こりらての的な方法等を「AHOMF7」として日々情報発信し、ご常在での支援にご返用いただけるよう組かく的伝えしております。
	35	運営規矩、支援プログラム、お子さま負担等について丁事な説明を行っているか。	100%	0%	ご養殖に応じて、対応させていただいております。
	36	・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	75%	25%	ご要感に応じて、対応させていただいており来す。
	37	「児童界達支援計画」を示しながら支援内容の影明を行い、保護者から児童発達支援計画の阿敷を得ているか。	100%	0%	第章に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の成明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の明章を得ております。
	38	定期的に、液族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、閲談や必要な動策と支援を行っているか。	75%	25%	ご整備に応じて、対応させていただいております。
3	39	公用の合の活動を支援することで、 保護者合等を開催する等により、 保護者附上で交流する場合を設ける等の支援をしているか。 また、 きょうだい等土で交流する場合 を設ける等の支援をしているか、	75%	25%	ご要値に応じて、対応させていただいております。
		で扱いらかいた状をしていない。 ごどもや保護者からの似版や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、根談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	ご物部がありました際には、活動がつ場切に対応しています。
		か。 支援的に連絡等を投行することや、HPPSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ガニとに活動予定を発信しております。 走た、物質者日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	42	個人情報の影響いに十分修覧しているか。	75%	25%	入計物に届行器にて確認し、個人情報の複雑や遊覧的止こかを入れております。
	43	第三のあることもや複雑なの様態の経過や情報伝達のための影響をしているか。	100%	0%	俗々の状況に応じて影響を行っております。
	-				ご意識に応じて、村成会せていただいております。
	44	事業所の対象に他総社党を協称する等、地域に関かけた事業議策を譲っているか。 - - - - - - - - - -	100%	25%	
	45	いるか。	100%	0%	毎年200の開催を期除しております。
	46	審務額続計畫 (BCP) を推定することもに、非常災害の発生に構え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	©の確定あり〜 幕原制統計画 (BOP) を推定し、支際的な回線を行っております。ない→ 支際的な回線に加え、幕原制統計画 (BOP) の施定を検的いたします。
	47	事務に、振戦や予防接種、てんか人発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	塩島州上で北井切し、把郷に別めております。
2	48	食物アレルギーのあることもについて、関係の指示者に基づく対応がされているか。	75%	25%	電視所士で共将し、見難に別め、対応しております。
6		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や回線、その他必要な問意を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	75%	25%	職題所士で此共に、授権に別め、対応しております。
		こともの安全権保に関して、事務等との連携が限られるよう。安全計画に接づく取扱内容について、事務等へ周知しているか。	100%	0%	専用性大でも共和し、保護者を定べの機能に努かております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発的企に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	李物権ではありませんが、無限なごとても記入をし、李尊所でヒヤゾハットを選択的しております。また、他李尊所の祖徳者とセスキする体制を呈えております。
	52	虚神を弥正するため、電鉄の研修機会を機能する等、謝切な対応をしているか。	100%	0%	森特所上発展会社設置するとともに、定期的な主角研修を行ない、森特所上に努めております。
	53	どのような場合にやむを得す身体内未を行うかについて、相違的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迹性・肝代験性・一時性を満たしている場合とし、身体内をを行った場合には起節を行っております。また、計画器でも反映しております

ě	事業所名	グローバルキッズメソッド063 竹林店(パーク)			公表日 2025年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が発達支援空等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	用他に合わせたプロアをご用他しております。
, z		利用支責やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	前側で解算主角部のある階間を配置して、人具懸重を指定しております。
· *	3	生活空間は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、幸場所の設備等は、跨客の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配差が適 切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
9	4	************************************	100%	0%	毎日、清解を行っております。 環境設定に関してセツまめぬ話し合いを行っております。
	5	の要に応じて、こどもが報酬の報酬や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで誤應を分ける特のが応をしており戻す。
	6	専界改画を進めるための PDCA サイクル(日標設定と振り返り)に、広く電視が参加しているか。	100%	0%	東那 的に会議を特権して試し点いを行っております。
	7		100%	0%	アンケート結果や、遊師のコミュニケーションから採集をさるのが声を搭載し、改賞できるように等のていきたいと思います。
3		磁膜の意見等を把握する場合を設けており、その内容を要集改画につなけているか。	100%	0%	支援的に会議を開催して私し会いを行っております。
ě	١.	第三者による外部呼吸を行い、呼吸延延を業務改派につなげているか。	100%	0%	今後替けていきたいと思います。
	-		100%	0%	全会研修の点から、研修整備の課題による知識向上に力を入れております。
	10	職員の資保の向上を捌るために、研修を覚護する機会で法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			型が高いない。 一番を取りています。
	11	謝が正支援プログラムが作成、公教されているか。	100%	0%	####################################
	12	個々のこともに対してアセスメントを選切に行い、こともと保護者のニーズで資源を客観的に分析した上で、児童保護支援計画を内信しているか。 児童保護支援計画を外端する際には、児童保護支援指導責任者だけではく、こともの支援に関わる機員が基準規修りて、こともの最高の利益を考慮した機材が行われ	100%	0%	
	13	TUBD.	100%	0%	こともの支援に関わる職員所立て情報を共有し、日々特別しております。
	14	型盤発達支援計画が開具際に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 こともの適応行動が状況を、標準化されたゲールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	100%	0%	毎年時期、光盤発達支援計画におった支援を心酔けております。
3	15	一般の表表を掛け高には、光準路線を振力イドラインの「光差路線を振の機合すべき支援」の「永久支援」、「家族支援」、「保行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	銀物資料の配換を取り、次回等剤が終を立てる際に満用しております。
t		7に国内地域大陸計画には、大国内地域大陸が下ナッチンが、下国内地域域の設計すべき支援」、「中国大陸は、「中門大阪」が「中国大阪、中国地域別」が おらい及び支援中間を顕著えながら、こともの支援に必要な適宜が適切に設定され、その上で、具体的な支援中間が設定されているか。	100%	0%	党権権を開始的には、必要の場合が確認に避免され、そのクスで、具体的な支援的指が認定されております。
8	17	活動プログラムの位率をチームで行っているか。	100%	0%	版した。 定義プログラムを決定しております。
4		活動プログラムが鑑定化しないようエ夫しているか。	100%	0%	改善が必要が考点、内容を見直して改省点を総か込むようにしております。
	19	こともの状況に応じて、個別活動と機団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況に応じて、領別活動と場間活動を通習組み合わせて児童発達支援計画を存成しております。
	20	支援開始前には職員間であず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	近極時間が異なることが多い場。不能概義を中心に情能共有巡察るよう。記録や江湖によるコミュニケーション等で機関に努めております。
	21	支援終了後には、福興間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	遊動機器も同様に異ねることが多い場。同様に定数機関を中心に関係共和企をみよう。記録や口頭によるコミュニケーション等で機関に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の特殊・改高につなけているか。	100%	0%	個別等等時心起発を取り、次辺等影响符を立てる際に沈用しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状状や必要性に応じて破功以発慮しを行っております。
	24	等害児樹族支援事務所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出をるように努めております。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う仲制を加えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しており戻す。
	26	例行利用や終行に向いた支援を行うなど、インクルージョン海道の組点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援が指等の情報共再と假互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、適需する幼稚園や保育園の開発の方との情報共和を行なっております。
	27	数学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学語)との版で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	例数する故障機等デイサービス事業との情報共再を担りながら、ご覧望があれば学校との情報共和に加げて高いります。
		(28~30は、センターのみ関係)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を限り、地域全体の長の内上に責する取組等を行っているか。	(センターではないため回答なし)		
4	29	等の向上を描るため、積極的に専門家や専門機関等から動言を受けたり、鑑賞を外部研修に参加させているか。	(センターではない	いため回答なし)	
4	30	型域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーバイズや動態等を受ける機会を設けているか。	(センターではない	いため回答なし)	
3		(31は、事業所のみ間能)			
	31	型域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助高等を受ける報会を設けているか。	100%	0%	必要に応じて連携し、根値にも小さめに参加しております。
	32	保育所や認定ことも間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこともと活動する機会があるか。	100%	0%	ご要値に応じて、対応させていただいでおります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの指達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を率いたケア配線の延付や、直線の中し近りにより伝達を行って、共通機能を案のております。
	34	家族の対応力の向上を振る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	こりらての的な方法等を「AHOMF7」として日々情報発信し、ご常在での支援にご返用いただけるよう組かく的伝えしております。
	35	適思規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁草な説明を行っているか。	100%	0%	ご養殖に応じて、対応させていただいております。
	36	・ 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先与導の統名を請求えて、こどもや家族の他号を確認する機会を設けているか。 なか。	100%	0%	ご要感に応じて、対応させていただいており来す。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の掲載を得ているか、	100%	0%	第章に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の成明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の明章を得ております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、閲談や必要な指索と支援を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。
1	i	火場の合の活動を支援することや、保護報合等を開催する等により、保護有同士で欠点する場合を設ける等の支援をしているが、また、きょうだい何士で欠点する場合を設ける等の支援をしているが、	100%	0%	ご意識に応じて、対応させていただいできります。
		で成功の中が必定性でしていない。 こともや保護者からの関係や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こともや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	ご物部がありました際には、迅速がつ適切に対応しています。
	·	か。 支援的に連続等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連続体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ガニとに活動予定を発信しております。 走た、物質者曰にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	42	個人情報の指数に十分細数しているか。	100%	0%	入計物に届行器にて確認し、個人情報の複雑や遊覧的止こかを入れております。
	43	第一次の対象の(本) / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	100%	0%	俗々の状況に応じて影響を行っております。
					ご要認に応じて、村店させていただいております。
	44	事業所の対象に地域社更を認得する等、地域に関かれた事業運動を到っているか。 - 単地防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、係品を対応マニュアル等を策定し、職員や事務等に同知するとともに、発生を想定した訓練を業務して	100%	0%	
	45	uab.	100%	0%	毎年2回の開催を期除しております。
	46	専務組織計画 (BCP) を施定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の契心訓練を行っているか。	100%	0%	©の発定あり〜 幕原制統計論(GO)を推定し、支際的は回線を行っております。ない→ 支際的は回線に加え、幕原制統計論(GO)の施定を検討いたします。
	47	事前に、 原業や予約技能。 てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	電路所士で中将し、児童に別のでおります。
2	48	食物アレルギーのあるこどもについて、関係の指示者に基づく対応がされているか。	100%	0%	電視所士で共将し、見難に別め、対応しております。
9	. —	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職題所士で此共り、授権に別め、対応しております。
		こともの安全権保に関して、事務等との連携が扱られるよう、安全計画に接づく税組内容について、事務等へ周知しているか。	100%	0%	専用性大でも共和し、保護者を定べの機能に努かております。
	51	ヒヤリハットを事業所的で共有し、再発的企に向けた方葉について検討をしているか。	100%	0%	李明教ではありませんが、無機なごとても犯入をし、李孝州でヒヤリハットを通数共和しております。また、他李章所の物理者とも共有する体制を整えております。
	52	虚得を弥正するため、種类の特殊値会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	高物所上発揮会を設置するとともに、定期的な金物研修を行ない、高術所止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得す身体的束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に配載している か。	100%	0%	切記性・肝代謝性・一時性を構たしている場合とし、身体物象を行った場合には起路を行っております。また、計画面にも反映しております

哥	業所名	グローバルキッズメソッド064 柏の葉店(パーク)			公表日 2025年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が発達支援更等のスペースとの関係で適切であるか。	70%	30%	広いプロア収為、運動などのがのだ的なる後ろ子と遊ぶ子で顕著を分けております。
堰	2	利用支責やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	物質や解析主義を必要とは、人類基準を確定しております。
体制整備	3	生活空間は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、幸場所の穀揚等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配差が適 切になされているか。	80%	20%	必要に応じて報酬がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく適ごせる場所になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。	80%	10%	旬日、消解を行っております。 電視放支に関しても小走めな話し点いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが振動の前間や場所を使用することが認められる環境になっているか。	90%	10%	状況に応じてグループで副産を分ける等の対応をしております。
	6	車務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く電路が参画しているか。	70%	30%	実際 的な高級を開催して話したいを行っております。
	7	故議和的は評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を棄務改画につなけているか、	70%	30%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
薬 務	8	職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を審務改善につなげているか。	90%	10%	実際的に職員会議を行なっております。
26	9	第三者による外部評価を行い、評価協業を業務改集につなげているか。	50%	50%	今後替けてい場たいと思います。
	10	職員の責任の向上を招るために、研修を受講する機合や法人が寄て研修を開催する機合が増放されているか。	100%	0%	全角研修のほかに、研修施術の複態による対路内上に力を入れております。
	11	瀬切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	思し合いのと、活動プログラムを改変し公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを退切に行い、こどもと投票者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童院建支援計画を作成しているか。	90%	10%	アセスメント開発だけではく、保護者をおからご意見やか子さまの様子をお明いし、計画を存成出来るように知ることがある。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけではく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ	100%	0%	こどもの支援に関わる階層所主で情報を共和し、日々林封しております。
	14	ているか、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	100%	0%	特別期間、児童院権支援計画に沿った支援を心向けております。
	15	こどもの施応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	80%	20%	
38 t/1	16	報知しているか。 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「未人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の	90%	10%	児差別連至維計機には、必要以降は対策がに選択され、そのラスで、発体的以支援的指が設定されております。
な支	17	95い放び支援内容も請求スながら、こどの支援に必要な適宜が激切に設定され、その上て、具体的な支援内容が設定されているか。 があずログラムの定案をチームで行っているか。	70%	30%	最高間で概念や意見と独立活発に行われております。
類の	18	が	100%	0%	透過が必要な場合、内部を発露して収留点を認め込むようにしております。
gt	19	の報プレンプログ語を行いないようしよでしていない。 こともの状況に応じて、個別活動を被消滅動を適用能からわけて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	80%	20%	からそれの状況に応じて、機関が動と無知効能を適用的からかけて代差的未支援計画を作成しております。
	-		60%	40%	レクリエーション相当者を中心に行っております。
	20	支援制始前には職員首での子打会はを行い、その目的われる支援の内容や保証が思こついて構成し、チームで連携して支援を行っているか。			プラン・フェニーでは、アン・ファーでは、アン・ファーで
	21	支援終了象には、職員前で必ず打会せを行い、その目行われた支援の傷り姿りを行い、気付いた点等を共有しているか。	40%	10%	会が可能が行動となっています。 「おおから 「
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改画につなけているか。			
	23	支持的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お字さ高の結束や多質性に応じて適切な発症しを行っております。
	24	海香児和茨支援事業所のサービス担当教会議や南時機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した教が参加しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している機関が参加性等をよりに努めております。
	25	製造の保健、関策(生治技や協力振弾機関等)、用機関係と 俊介、教育等の関係機関と連携して支援を行う外部を整えているか。 例行時間や特行に向けた支援を行うねど、インクルージョン資産の組合から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定ことも振、効構施、特別支援学校(込締	90%	10%	必要に応じて運転連続しております。
	26	部)等との間で、支援内容等の情報共有と模互理解を誤っているか。	90%	10%	必要に応じて、適高する地構画や保留機の外との情報共再を行なっております。
	27	就学時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学前)との間で、支援外指等の情報共有と規划連絡を図っているか。	90%	40%	付款する放棄等デイサービス事業との開館共有を似りながら、ご客室があれば学校との情報共有に繋がてあいります。
係機	28	(28~30は、センターのみ回答)			
(A)		製塩の他の児童発達支援センターや得害児通何支援事業所等と連携を誤り、助塩全体の何の月上に責する製料等を行っているか。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(センターではない		
報	29	発の向上を掴るため、機能的に専門家や専門織関等から助賞を受けたり、職員を外部特様に参加させているか。 	(センターではない		
の連	30	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや効素等を受ける場合を続けているか。	(センターではない	ため回答なし)	
辨	31	(31は、事場所のみ回答)			
		地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必算に応じてスーパーパイズや勃言等を受ける機合を設けているか。	43%	57%	の際になりて連動し、粉修にも小家のに参加しております。
	32	毎月所や萌生ごども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のごどもと活動する場合があるか。	20%	80%	ご開催に応じて、対応させていただいできります。
	33	日本からこともの状況を保護者と伝え合い、こともの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	90%	10%	電子の連絡機を用いたケア記録の高付や、直像の中心送りにより伝達を行って、共通機能を認めております。
	34	事務の対応力の向上を図る観点から、事務に対して事務支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や事務等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	30%	70%	こちらての対応方法等を 7年日の様子」として日々情報発信し、ご客庭での支援にご認際、4ただけるよう種かくお信えりです。
	35	薄苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁華は穀明を行っているか。	90%	10%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。
	36	児童発育支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の問題。こどもの最易の特益の優先与場の報のを加まえて、こどもや家族の都内を確認する場合を設けてい るか。	100%	0%	ご理解に応じて、対応させていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の阿意を得ているか、	100%	0%	新事に扱った「欠款商連を遂計画」を示しながら支援内容の改明を作い、保護者とようが禁禁権を支援計画の明整を得ております。
保護	38	芝用的に、家族等からの子育ての悩み等に対する機能に関切に応じ、面談や必要な動産と支援を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。
名 へ の	39	以場の広の飲命を支援することか、保護者の学を発情する等により、保護者的よて交流する場合を設ける等の支援をしているか、また、3ょりだい時士で交流する場合を設ける等の支援をしているか、 定款ける等の支援をしているか、 ことや12歳券が50分間間で申えれてついて、対応の非常を管備するとともに、ことや12歳券に施加し、相談や申えれが多った場合に迅速かつ適切に対応している。	30%	70%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。
250 107 109	40	ことで「可能者が少の知识で叫んだについく、対心の体験を整備するとともに、こともで特定者に、原知し、相談で叫んだからだ場当に出途がつ地切しているか。 か。	100%	0%	ご機能がありました際には、前後かつ確切に対応しています。
77	41	支期的に適機等を発行することや、HPPSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとご窓掛予定を発信しております。また、物務単日にプログを作成し、温熱の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	42	個人情報の取扱いに十分指揮しているか。	100%	0%	入社的に任何者にて権可し、組入情報の保護や環境的止亡から入れております。
	43	商店のあるこどもや保護者との意思の経過や情報伝達のための影響をしているか。	90%	10%	傷をの状況広びて観察を行っております。
	44	事業所の付事に他域社党を知符する等、地域に関かれた事業連盟を扱っているか。	90%	80%	ご覧望に応じて、対応させていただいております。
	45	取物所はマニッアル、緊急等対応マニュアル、防形マニュアル、咳染症対応マニュアル等を検定し、職員や寒疾等に発知するとともに、発生を悲変した訓練を実施しているか。 いるか。	90%	10%	物学200の開発を開発しております。
	46	業務組結計機(DCP)を複定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に混倒、依出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCが成立あり→ 業務期税計画(BCが)を飛立し、定用的な訓練を行っております。なし→ 定用的な訓練に加え、業務期税計画(BCが)の成立を検討いたします。
	47	事柄に、振響や予所修理。 てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	南周時士でも共有し、把側に努めております。
常用	48	食物アレルギーのあるこどもについて、関節の無平高に基づく対応がされているか。	90%	10%	周囲性士で共有し、把握に努め、対応しております。
89	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を構じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	商品時上でも共有し、授権に努め、対応しております。
at ac	50	こともの安全機能に関して、事務等との連携が振られるよう、安全計画に参うく歌劇小物について、事務等へ開発しているか。	80%	20%	職員時士でも共利し、保護者さ多への間犯に努めております。
	51	ヒヤリハットを事業所可で共有し、再発防止に向けた方面について替針をしているか。	80%	20%	等的情ではありませんが、色縁なことでも応入をし、季葉何でヒヤリリットを選択共和しております。また、哲学等所の記憶者とも共有する体制を含えております。
	52	虚符を防止するため、機費の耐修輸会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	森博斯北野県会を投資するとともに、定期的な金銭等等を行ない、森博斯北に外のております。
	53	どのような場合にやむを寄す身体内変を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に放明して解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	90%	10%	切配性・肝代動性・一時性を満たしている場合とし、身体性をを行った場合には起源を行っております。また、計画書にも反映しております

3	業所名	グローバルキッズメソッド065 阿見店(バーク)	小字口 2025年2月1日				
	T	T - UNITED	toks .		公表日		
	1	チェック項目 対応直針角線を授奪等のスペースとの原格で連行であるか。	(はい	いいえ	以高口味、上大ししいの点がもこ。 高度この他、切けを工夫して898年,チームで再をかけあい複類をして898年,		
堰	2	対性に対している。 対している。 はっている。 はっといる。 はっ	40%	60%	新典中保育上資格のから機関を記載して、人員秘事を混たしております。		
境、体	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。 定た、事業所の股傷等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配度が適	60%	40%	必要に歩いて観点ゲフィローを行なっております。		
8) 52	4	切になされているか。 生活定数は、溶液で、心地よく派ごせる程明になっているか、また、ことも連心活動に合わせた空間となっているか。	60%	20%	毎日、高裕を行っております。 塩物放金に関してかりまめん話したいを行っております。		
59					状況に応じてがループで顕複を付ける等のが応見しております。		
	5	必要に応じて、ごともが解除の部間で場所を使用することが認められる環境になっているか。	80%	20%			
	6	事務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り送り)に、広く電質が参画しているか。	60%	40%	電路会議や日々の搭着で巻見又発をして返済を終わております。友がついたことは意見を出し合い、情報共有をする支配的なミーティングを行ってております。		
華田	7	保護者向い対極表により、保護者等の他向等を把握する機会を扱けており、その内容を暴損改善につなげているか。	60%	40%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから疫苗者さまのお声を汚臭し、改善できるように知めているたいと思います。		
ex m	8	職員の意見等を規障する機会を設けており、その内容を業務改善についけているか。	100%	0%	文物のこの意を相催して振し合いを行っております。		
	9	第三者による外部貯積を行い、貯価拡架を業務改高につなげているか。	60%	40%	今後的していきたいと思います。		
	10	職員の責任の向上を認るために、研修を受講する機合や法人内等で研修を開催する機合が確保されているか。	60%	40%	全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上にかを入れております。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	80%	20%	思したいのと、活動プログラムを決定し公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント階級だけでなく、保護者と定からのご復見やお子さぶの様子をお得いし、計業を作成出来るように努めております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共進更稀の下で、こどもの最高の利益を考察した検討が行われ ているか、	80%	20%	こどもの支援に関わる機関例士で情報を共用し、日々機別しております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共界され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%	毎月四時、児童発達支援計画に沿った支援を心倒けております。		
	15	こともが適応付勤の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 機能しているか。	60%	40%	個別等等時の記録を取り、次回等等内容を立てる際に活用しております。		
切如	16	児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「稼行支援」及び「地域支援・地域連携」の 25い及び支援内容も請求スながら、こともの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	児童角連支側が側には、必要な項目が側がに避死され、そのうえて、具体的な支援的信が設定されております。		
支援	17	活動プログラムの資家をチームで行っているか。	40%	60%	レクリエーション相当に一任されている場合が多いですが、内容を事前に職員を達し、アドバイスを受けることもあります。		
の機	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改議が必要な場合、内容を見直して収留点を能か込むようにしております。		
	19	こともの状況に応じて、個別活動と無信活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さ年の状況に応じて、個別本数と毎日活動を適宜紹介合わせて児童発達支援計画を作成しております。		
	20	支援開始前には職員間でのず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分割について韓雄し、チームで連携して支援を行っているか。	40%	60%	出物時間が異なることが多い場。 実験機長を中心に情報共和出来るよう。 記録や口側によるコミュニケーション等で機関に別のております。		
	21	支援核子楽には、職員間であず打会せを行い、その日行われた支援の無り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20%	80%	連動制度も同様に異なることが多い場。同様に開動機員を中心に情報共将出来るよう。記録や口様によるコミュニケーション等で機能に努めております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の神経・改善につなげているか、	40%	60%	銀物物資料の起源を取り、20回動剤が終を立てる際に効用しております。		
	23	芝類的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切以昇直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて動物以発血しを行っております。		
	24	南害児和助支援事業所のサービス担当者会議や関係権限との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	100%	0%	お子さぶの状況をより増殖している機関が参加性をみよって別っております。		
	25	地域の保健、医療(生治医や協力度等機関等)、指害指は、保育、教育等の原体機能と連携して支援を行っ体制を整えているか。	80%	20%	の際になって複雑を使っております。		
	26	例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン構造の観点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども圏、幼稚園、特別支援学校(幼稚	80%	20%	○夢に応じて、適度する必需菌や項目期の機能の方との情報共和を行なっております。		
	27	(事)等との間で、支援が経等の情報共有と概互理解を限っているか。	80%	40%	作品でも他は参与デイケービス事業との情報共和を担切ながら、ご覧望があれば学校との情報共和に動けて表いります。		
100		数学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援小路等の情報共有と報告理機を扱っているか。	00%		100 Application 1 1		
係機	28	(29-20は、センターのAの研究) (29-20は、センターのAの研究) (センターのAの研究) (センターではないため研究以) (センターではないため研究以) (センターではないため研究以)					
印年			(センター (はないに成功的なし) (センターではないた成務をし)				
100	29	第の向上を倒るため、積極的に専門家で専門機関等から助賞を受けたり、職員を外部時候に参加させているか。					
の連	30	型域の児童発達支援センターとの連携を限り、必要に応じてスーパーパイズや助黒等を受ける報合を設けているか。	(センターではない	(ため回答なし)			
596	31	(31は、事務所のみ間前)					
		市域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーパイズや助高等を受ける報会を設けているか。	60%	40%	の際にもして連携し、研修にも小卓のたか加しております。		
	32	毎月所や뗙正ごども風、幼稚園等との又流や、地域の中で他のこどもと効勢する機会があるか。	0%	100%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの完建の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を用いたケア犯師の延付や、邀款の申し送りにより伝達を行って、共通機能を認めております。		
	34	家族の対応かの向上を図る機合から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20%	80%	こちての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での克徳にご信仰いただけるより細かくお信えしております。		
	35	連門規矩、支援プログラム、お子さま負担等について丁華は説明を行っているか。	100%	0%	ご事論になりて、対めさせていただいております。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の特益の優先与導の観点を踏まれて、こどもや家庭の趣向を確認する機会を扱けているか。 るか。	100%	0%	ご要請に応じて、対応させていただいでおります。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の設明を行い、保護者から児童発達支援計画の何意を得ているか、	100%	0%	原準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援外部の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の明章を育ております。		
保	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、国談や必要は動意と支援を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。		
**	39	父母の命の活動を支援することで、保護者会等を開催する等により、保護者明士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい男士で交流する機会 を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご整備に応じて、対応させていただいております。		
の説	40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に開始し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	ご物がありました際には、迅速かつ機切に対応しています。		
19	41	芝期的に連領等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の清報をこどもや保護者に対して発復しているか。	100%	0%	月ごとに強動予定を発情しております。また、物態毎日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける歌り組みを行っております。		
	42	銀人情報の取扱いに十分服務しているか。	100%	0%	入社時に延的際にて確認し、個人情報の機能や間境防止に力を入れております。		
	43	海高のあるこどもや保護者との意思の保護や情報伝達のための記事をしているか。	100%	0%	借々の対抗に応じて動薬を行っております。		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適富を招っているか。	100%	80%	ご要領に応じて、対応させていただいております。		
	45	申請的してニュアル、緊急等対応マニュアル、訴犯マニュアル、訴訟を対応マニュアル等を策定し、職員や事法等に廃城するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	60%	40%	物等2回の訓練を実施しております。		
	46	いらか。 車務鍵結計機 (BCP) を策定するととせに、非常災害の発生に構え、定期的に遺憾、検出その他必要な訓練を行っているか。	60%	40%	BC外変表り→ 業務機計論 (BC9) を実立し、支際的な訓練を行っております。なし→ 支際的な訓練に加え、業務機計画 (BC9) の株変を検討したします。		
	47	李柄に、原薬や予約接種。てんか人発や等のこともの状況を構図しているか。	80%	20%	福泉時亡でも北利し、把郷に別めており戻す。		
非	48	************************************	80%	20%	商品明土で色片利し、把頭に別め、対応しております。		
77. 159 50	49	安全指揮を作成し、安全領導に必要な時間を関係。その他の要は開産を描える等、安全領導が十分された中で支援が行われているが、	60%	40%	周島明さでも片有し、把頭に見め、対応しております。		
の対	50		80%	20%	編集的人になられた。 構造的大でなられた。 構造的大でなられた。 を表現してなられた。 をまななられたなられた。 をまななられたなられた。 をまななられたなられたなられたなられたなられたなられたなられたなられたなられたなられ		
16		こともの安全権保に関して、事務等との連携が振られるよう、安全計画に終づく影励内容について、事務等へ際知しているか。			幅型形式での内側し、保護者できべの間側に上側のくおります。 季の機能ではありませんが、色層などとでも見えをし、季葉者でヒヤリバットを選択分札しております。また、哲学等所の哲理者とも共有する情報を整立ております。		
	51	とセソハットを事業所与で共有し、再発助点に向けた方面について他材をしているか。	80%	20%			
	52	電荷を防止するため、職員の特殊機会を確保する等、適切な対応をしているか。 があったいません。 があったいまや「からためであります」では、 があったいまや「からためであります」では、 があったいまや「からためであります」では、 があったいます。 であったいまや「からためであります」では、 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	100%		森明所式委員会を設置するとともに、実際的な金銭等等を行ない、森明所式に努めております。		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こともや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に配載しているか。	80%	20%	切役性・非代動性・一時性を満たしている場合とし、身体内支を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております		

事業所名 グローバルキッズメソッド066 上大久保店(パーク) 公表日 2025年2月1日 改善目標、工夫している点など チェック項目 いいえ はい 職員配置が十分確保されております。 川用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 20% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の起塞 切になきれているか。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 100% 20% 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。 常に倒変も使用できるように用紙しております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 朝礼等の三一ティングで共有しております。 6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 100% 0% 議者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 保護者さまの意見を伺い適切に処理ができております。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 100% 0% 朝礼等で共有されております。 意見を幅広くお何いしております。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 朝礼等で共有しております。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 100% 0% 日々話し合いを行っております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 90% 10% 児童発達管理責任者を中心に計画作成をしております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮したを ミーティング等で共有しております。 都夜話し合いをしております。 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等によ 機能しているか。 環が協力をしております。 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 90% 10% 話し合いの上実行しております。 必要に応じて話し合いをしております。 職員間で課題が同じにならないように話し合いをしております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 10% 児童発達管理責任者を中心に動けております。 朝礼等で共有をしております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 90% 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 70% 30% 軽度試し合いをしております。 都夜話し合いをしております。 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 達成度等について、必要に応じて話し合いをしております。 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 90% 10% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 30% 必要に応じて情報共有ができております。 例付利用や特付に向けた支援を行うなど。インのルージョン接通の観点から支援を行っているか、また、その際、保育所や超変ことも悪。幼稚園、特別支援学校(が 部)等との間で、支援が指等の情報共称と松耳機能を譲っているか。 必要に応じてできております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 適切に行っております。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 できております。 必要に応じて行っております。 (育所や認定こども図、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか 行っております。 R族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 80% 20% 必要に応じて行っております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ 36 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか、 保護者さまに確認を行っております。 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 10% 90% 行っております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい 対応しております。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 100% 0% 対応しております。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 行なっております。 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適苦を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 実施しております。 45 京総統計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 事前に、服薬や予防修種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 90% 10% 共有しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 対応しております。 なされております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 10% 周知しております。 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 80% 20% 適切に処理しております。ヒヤリハットに該当する事業も日々の業務で記録するよう努めております。 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して

記載しております。

53

事業所における自己評価結果 公表

事業所名 グローバルキッズメソッド067 古河店(バーク) 公表日 2025年2月1日 チェック項目 改善目標、工夫している点など いいえ ドアの開閉時、児童がケガをしないように工夫しております。 利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 33% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を消たしております。 生活を設定。こともにわかりやすく構造化された準明になっているか、また、参導所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、準理上の起達 切になされているか。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 100% 0% 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 状況に応じてグループで部屋を分ける等の対応をしております。 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 83% 17% アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を消載し、改善できるように努めていきたいと思います。 取業者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 100% 0% 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 禁し合いの上、活動プログラムを決定し公舎しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 100% 0% セスメント用紙だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ こどもの支援に関わる職員阿士で情報を共有し、日々検討しております。 利用時、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けております 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等によ 場際にアンスか 別僚育時の記録を取り、次回僚育内容を立てる際に活用しております 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 100% 0% ・監察達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 改善が必要な場合、内容を見直して反省点を組み込むようにしております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 病質が異なることが多い為、常動性員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 83% 17% 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時間も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 17% **川坡育時の記録を取り、次回坡育内容を立てる際に活用しております。** 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 100% お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 100% 0% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション落連の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互受解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小束めに参加しております。 100% (育所や認定こども図、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 5らでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 100% 0% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 17% 83% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 月ごとに活動予定を発信しております。また、毎回幕日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 毎年2回の訓練を実施しております。 45 BCP第定あり→ 業務極続計画 (BCP) を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、業務極続計画 (BCP) の策定を検討いたします。 等線統計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか. 事前に、服薬や予防修種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 100% 0% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 職員阿士でも共有し、把握に努め、対応しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 0% 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 100% 0% 例集ではありませんが、 些細なことでも尼入をし、 事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。 また、 他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 消防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。 のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して 切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております

53

事》	業所名	グローバルキッズメソッド068 伊勢崎店(パーク)			公表日 2025年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が発達支援宣等のスペースとの際係で適切であるか。	100%	0%	両途に合わせたプロアをご開意しております。
環境	2	利用定員やこともの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	物品や保育士技術のある環界を起源して、人員被害を測たしております。
- (# ##	3	生活空間は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、用書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の影響が通 切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行ねつております。
55 56	4	生活活動は、清賞で、心地よく過ごせる場所になっているか、また、こども途の活動に合わせた范間となっているか。	100%	0%	毎日、高房を行っております。環境設定に関しても小走の以前し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが低的の前輩や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで変遷を分ける得の状況をしております。
	6	業務改済を進めるための PDCA サイクル(口標数定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	100%	0%	京棚内に合道を開催して貼し合いを行っております。
_	7	位度表向が評価表により、位置者等の意向等を把握する場合を設けており、その内容を業務改画につなけているか。	100%	0%	アンケート協議や、意徳のコミュニケーションから保護者さそのお声を活戦し、改善できるように努めているだいと思います。
務改	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改高につなけているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して従い合いを行っております。
m	9	第三者による外部評価を行い、評価延延を業務改議につなけているか。	100%	0%	今島傾付しているか、後す。
	10	職員の責任の向上を招るために、研修を受講する報会や途人内等で研修を開催する報会が確保されているか。	100%	0%	全地研収のほかに、明修動像の視眈による短期内にたかもれております。
	11	選切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	部し合いのと、溶動プログラムを決定し公務しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと奴匿者のニーズや復題を名談的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント開ビだけてなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお仰いし、計画を作成出来るように見めております。
	13	光型発達支援計画を作成する際には、光型発達支援管理責任者だけてなく、こどもの支援に関わる器質が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	こともの支援に関わる間周時上で情報を共称し、日々特別しております。
	14	児童発達支援計議が職員際に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎年四時、光量発達支援計画に沿った支援を心倒けております。
	15	こともの制定行動が状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 場際しているか。	100%	0%	機関等角等の記録を取り、深度等的が終を立てる際に活用しております。
初切な	16	児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「保行支援」及び「地域支援・地域連携」の ねらい及び支援外限を指示えながら、こともの支援に必要な項目が選切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	党重発達支援計画には、必要な項目が確切に選択され、そのうえで、具体的な支援的指が設定されております。
支援	17	活動プログラムの位家をチームで行っているか。	100%	0%	部し合いのと、効果プログラムを決定しております。
類似	18	活動プログラムが衝突化しないようエ夫しているか。	100%	0%	改善が必要以降の、内容を見違して政治会を拒め込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と機能活動を適宜服み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況に応じて、個別活動と専門活動を適宜総分向わせて光燈発達支援計画を作成しております。
	20	支援開始前には鑑賞間で必ず打合せを行い、その目行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	巡路時間が異なることが多い頃、宗物祖員を中心に清朝共和出来るよう。 記録や口頭によるコミュニケーション等で様切に努めております。
	21	支援技子後には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い。気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	透動物質も明確に異なることが多い為、同様に完整機関を叩んに清積共有出来るよう。記録や口様によるコミュニケーション等で模型に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の神経・改薬についけているか。	100%	0%	個態業育時の起議を取り、次回業務中指を立て必需に改用しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童児達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や多質性に応じて視切以発症しを行っております。
	24	期害児和談交援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参照しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように別っております。
	25	型域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う仲制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適能差別しております。
	26	例行列中や得行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の組成が与支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等と心理で、支援が国等の情報は有く起互関策を加っているか。	100%	0%	必要に応じて、適需する診療器や保育器の機能の方との情報共有を行なっております。
	27	記字時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学順)との際で、支援外容等の情報共有と相互應解を関っているか。	100%	0%	他設する敗海染等デイサービス事業との情報共有を扱りながら、ご算益があれば学校との情報共和に加げておいります。
F41 456		(28~30は、センターのみ関係)			
機関	28	型域の他の児童発達支援センターや障害児園所支援事業所等と連携を関り、地域全体の長の向よに負する歌唱等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)	
保護	29	第の向上を開るため、積極的に専門家や専門機関等から助賞を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではない	ため回答なし)	
者 と の	30	型域の児童気達支援センターとの連携を限り、必要に応じてスーパーパイズや物意等を受ける機会を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)	
連携		(31は、事業所のみ関語)			
	31	型域の児童発達支援センターとの連携を限り、必要に応じてスーパーパイズや物面等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	必要に応じて連携し、母郎にも今後的に学幼にております。
	32	奴育所や匈定ことも展。幼稚園等との交流や、地域の中で他のこともと活動する場合があるか。	100%	0%	ご製品に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通機解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を用いたクア記録の延付や、電影の中し送りにより気息を行って、共通管験を認めております。
	34	事務の対応かの向上を開る観点から、事務に対して事務支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や事務等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	ごちらての何な方法等を [本日の様子] として日々情報発微し、ご覧覧での定様にご返開いただけるよう様かくお仮えしております。
	35	湯宮現在、支援プログラム、お子さま我担等について丁幸な説明を行っているか。	100%	0%	ご製薬に応じて、対応させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先考慮の報点を詰まえて、こどもや家族の意向を模算する場合を設けているか。 なか、	100%	0%	ご実施に応じて、対応させていただっております。
	37	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	100%	0%	製薬に治った「代意発達を滅計機」を示しながら支援が存む説明を行い、保護者でよから代意発達支援計機の明整を得ております。
保	38	定期的に、単族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 間談や必要な効果と支援を行っているか。	100%	0%	ご要感に応じて、対応させていただいであります。
模包	39	父母の合の活動を支援することや、保護者の等を開催する等により、保護者所士で交流する場合を設ける等の支援をしているか。また、きょっだい所士で交流する場合を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ご要素に応じて、対応させていただいております。
n BR	40	を取り合か文庫をしていない。 こどもや双葉者からの程談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや双葉者に施知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	ご掲載が各り楽した際には、迅速かつ機能に対応しています。
1/1 99	41	か。 定期的に追摘符を発行することや、HPPSNS等を返用することにより、活動概要や行き予定、連続仲制等の指数をこどもや保護者に対して発想しているか。	100%	0%	月ごとに活動予支を発度しております。また、物質毎日にプログを作成し、活動の格子をご物図いただける集り組みを行っております。
	42	個人情報の電影いに十分態度しているか。	100%	0%	入社時に毎的悪工作問は、 個人情報を保護や環境的企工かられております。
	43	均高のあるこどもヤ保護者との意思の改造や情報伝達のための配達をしているか	100%	0%	機合の状況に応じて影響を行っております。
	44	事業所の分割に地域社技を招待する時、地域に限かれた事業連貫を指っているか。	100%	0%	ご事態に応じて、対応させていただいております。
	45	李世弥止マニュアル、緊急時対応マニュアル、移形マニュアル、移向症対応マニュアル等を策定し、鑑賞や承珠等に用知するとともに、発生を想定した訓練を実施して	100%	0%	物学2回の開発を開発しております。
	46	いるか。 電路線設計庫 (GCP) を施定するとともに、井高贝斯の発生に偏え、定期的に選集、仮出その他の姿な試験を行っているか。	100%	0%	名の施定を分〜 単移原統計画 (BCが) を施定し、支那的な訓練を行っております。なし〜 支那的な訓練と加え、果務網統計画 (BCが) の施定を材付いたします。
	47	季前に、 施薬や予約症様、 てんかん液作等のこともの状況を確認しているか。	100%	0%	概点性土でも共和し、把側に対めております。
#	48	参数アルルギーのあることもについて、変換の像形態に基づく対応がされているか。	100%	0%	個類性上でも共有し、把側に対め、対応しております。
時時	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で関係。その他の要は間面を属しる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	間の対土でも共有し、把側に対め、対応しております。
の対	50	東土自南北下域は、東土政士・シテムが関いる際を、この地のテムの場であいるか、東土政士がアプライルエー(又関い打しれているか、 こともの安全権がに関して、家庭等との連携が振り引きよう、安全計画に関づく取扱内等について、家庭等へ感知しているか。	100%	0%	福却対さでも共和し、保護者をそんの施知に知っております。
~	51	としいが生活用という。 中部サンルの出から かい 大王川 前におう いんか かか でんかく いんかく しょうしょ 一名 大田 かい しゅう いんかい しょうしょ 大田 かい しゅう いんかい しょうしょ 大田 かい しゅう いんかい しゅう いんかい しゅう しゅう いんかい しゅう	100%	0%	参列客ではありませんが、色振なごとでも応えをし、事業所でヒヤリハットを選択されております。また、老事業所の密理者とセ共有する体制を整文でおります。
		本的を指定するため、職員の研修機会を検索する等、適切は対応をしているか、	100%	0%	南州所止罗昌会を設置するとともに、芝朋邦な全体研修を行ない、南州所止に別めております。
	52			1	

75.0	wer &				
事	所名	グローバルキッズメソッド069 川越店(パーク)			公表日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が発達支援医等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	環境責任者をローテーションでけつことで、各員の責任等・監視感を背まれております。また、現場が行列者に機能するようになっております。単記機能の延復にロッカーを設置するなどして広いスペースで 単記物質をできるように工夫しております。お子さまが他に登ってしまうことが多々あるため、便能に消物機、おわちか・間を収納し、環境を整えている。
環境	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配差数は適切であるか。	100%	0%	午前やから来る子、午後から来る子で電戯の窓道数を工夫しております。小部屋を特別は際しております。
· 休 割	3	生活空間は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の設備等は、降害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配業が適 切になされているか。	100%	0%	郊が、心程度によって介物について職員間で情報共再をできるように工夫しております。型上部が抜けているのでお子さまの状況を起から際に把握できます。
50 59	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる喧鳴になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	物日開除して高まで心地よい環境にするように高ごせる工夫をしております。物日開除のほか、前便の他におわちゃなどの消毒などを施修しております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の前間で場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	は別に応じてグループで調度を分ける等のが応をしております。
	6	業務改画を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く職員が学園しているか。	100%	0%	ワインのトークを通して専務改善が共有できるようにしております。
	7	保護者向け持備表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を募集改画につなけているか。	90%	10%	なるへく復議者さまの他向を把握する機会を扱けて業務改派につなけるように工夫しております。
展務	8	福森の意見等を把握する場合を設けており、その内容を事務改画につねげているか。	100%	0%	福島間でラインなどで教見を共有できる工夫をしております。
20.	9	第三者による外部呼吸を行い、貯価延要を維務改善につなげているか。	90%	10%	中海線社にいきたいと思います。
			100%	0%	個人で研修室でんたのかなどで想定されます。
	10	職員の音質の向上を招るために、研修を受講する概念や法人内等で研修を開催する概念が確認されているか。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	毎日、支援の外部をNagやプログ、口頭で低えるなど、プログラム支援を公客するなどエスをしております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を存成しているか。	100%	0%	国際間でお子さまと似勝権さまのニーズや課題を共有して別意発達支援計画を作成するよう別のております。
	13	児童発達支援計議を行成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こともの支援に関わる職員が共通理解の下で、こともの最高の利益を考慮した検討が行われているか。 ているか、	100%	0%	取しく入ってきたお子さまに対してどんな支援、考慮が必要なのかを毎日の配貸で見着できるよう工夫しております。 -
	14	光塵発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	いつでも児童院連支援計画が職員が見れるように保管し、工夫しております。
_	15	こともの適応行動的状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 構図しているか。	90%	10%	保護者さまにお子さま様人のツールを使って、日々の支援状況を伝えております。
切な	16	児童房建支援計画には、児童房建支援ガイドラインの「児童房建支援の提明すべき支援」の「本人支援」、「家珠支援」、「修行支援」及び「地域支援・地域連携」の ねらい及び支援が落む副走スながら、こどもの支援に必要な領国が適切に設定され、その上で、具体的な支援が指が設定されているか。	90%	10%	薬薬支援、地域支援で薬薬所士の交流の場を設けられるよう努めて扱いります。
支援	17	活動プログラムの位案をチームで行っているか。	100%	0%	職間でレク外部署を出し合っております。
提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	17で使べたように、それぞれに業を出し合い、間定化しないように工夫しております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況に応じて、領別活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。
	20	支援開始新には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分別について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	日報に各員の総裁が投稿されているため、翌日の自分の後期を把握したよど場場に見めております。職員が認定されていない状況でも支援の場合や担当を利日に掲載できる工夫をしております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合けを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	90%	10%	毎日支援に入る閲覧が帰っても、ラインで気がいた点を共有できるように工夫しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改画につなげているか。	100%	0%	職員関ラインで支援に関して記録をして、hugで責に記録しております。
	23	支援的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切以見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて被物以発血しを行っております。
	24	南南 形似版支援事業所のサービス経済者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した有が参加しているか。	100%	0%	お子さるの状況をより増加している問題が参加出来るように努めております。
	25	地域の容易、変象(生治度や協力度療能時勢)、障害指針、保育、教育等の原格機能と連携して支援を行っ体制を整えているか、	90%	10%	の際に応じて選款を持しております。 ・
	26	(の成の体験、水水(上山は小路が成め物の)、原産的物は、18月、別月かの時的物はと生かし、実際でロッサやを並ぶくいっか。 併行有用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション搭進の観点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定ことも際、幼稚園、特別支援学校(幼稚	90%	10%	中には情報共和党がフていないで振幅限があると思うので、もっと同じ支援ができるように同じ機能を限り、共有できるように同かのであいります。
		部)等との間で、支援が指等の情報共有と報互機所を誤っているか。	90%	0%	が必要がある。 が対しています。 がはないまする。 がはないます。 がはないます。 がはないます。 がはないます。 がはないます。 がはないます。 がはないまする。 がはないます。 がはないます。 がはないまする。 がはないないまする。 がはないないないないないないないないないないないないないないないないないないない
_	27	該学等の解行の際には、小学校で特別支援学校(小学等)との際で、支援小容等の情報共有と模型機を譲っているか。	90%	0%	7回文号の2008年977 ジーに人事者との明確中等を担けられても、上参照があれた子女とい明報中等にあり、また・ジボタ・
体機	28	(28~30は、センターのが開催)			
かな		市場の他の児童発達支援センターや障害児差所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の何の向上に貢する取組等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)	
25	29	第の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではない		
との連	30	地域の児童発達支援センターとの連携を振り、必要に応じてスーパーパイズや物景等を受ける機会を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)	
98	31	(31は、事業所のみ回路)			
		地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや物度等を受ける報点を設けているか。	89%	11%	必要に応じて連携し、研修にセクル家のに参加しております。
	32	保育所や認定こども展。幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	ご整備に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や保慰について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連勝機を用いたクアに豚の流付や、直豚の申し送りにより伝達を行って、丸通療験を定めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80%	20%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご成果いただけるよう様かくお仮えしております。
	35	運馬規能、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいであります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの募系の利益の優先考達の報点を請求えて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 るか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の問意を得ているか。	100%	0%	※単に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の原明を行い、保護者を正から児童発達支援計画の明意を得ております。
保	38	定期的に、承接等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、国談や必要な動衆と支援を行っているか。	100%	0%	ご整備になびて、対応させていただいております。
裁者へ	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者等士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい等士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	60%	40%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
Ø 18	40	こどもや複雑者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや複雑者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか、 が、	100%	0%	ご機能がありました際には、高度がつ機切に対応しています。
10) 109	41	工規約に連携等を発行することや、HPPSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連接体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	パエとに窓掛乎支を発信しております。また、物態毎日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける者り組みを行っております。
	42	個人情報の地談いに十分解意しているか。	100%	0%	入社内に協行機にて得収し、個人情報の機能を認識的企こかを入れております。
	43	南高のあることもや保護者との意思の辞述や情報伝達かための記事をしているか。	100%	0%	傷々の状況に応じて影響を行っております。
	44	事場所の行事に地域社長を紹介する等、地域に関かれた事業連携を図っているか。	100%	50%	ご際値に応じて、対応させていただいでおります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、防治を対応マニュアル等を検定し、職員や事務等に開始するとともに、発生を想定した訓練を実施して	100%	0%	毎年辺の側種を実施しております。
		LIGD.	90%	10%	○ 本本語の中国・大田(大田(大田) 大田(大田) 大
	46	等務額続計画 (BCP) を第まするとともに、非常災害の発生に偏え、定期的正確勝、救出その他の愛な訓練を行っているか。			
30	47	事柄に、施薬や予防破壊、てんかん発作等のこともの状況を確認しているか。	100%	0%	職員的よでは利用し、把意に別めております。
77	48	食物アルルギーのあることもについて、医師の傷労害に魅づく対応がされているか。	100%	0%	職員に見える場所に始り、共有できるとご太をしております。
99 (D) (R)	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を描しる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職題所士で此時に、授権に別め、対応しており至す。
15	50	こどもの安全機能に関して、東族等との連携が限られるよう。安全計画に基づく取扱内容について、東族等へ周旋しているか。	100%	0%	周囲所立ても共和し、保護者とよべの側切に努めております。
	51	ヒヤリハットを事場所内で共有し、再発粉点に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、些磁なごとでも応入をし、事業所でヒヤリハットを適良共有しております。また、他事業所の能理者とも共有する体制を整えております。
	52	虚的を発生するため、態度の研解機会を機能する等、適切な対応をしているか。 そのような場合と中心を終了条件対象を行うかかついて、振動的に対し、ことも中枢機能に専品と十分に数例して対象を称とまて、光差発達を設計機に改集している	100%	0%	卓術所にお属さを設置するとともに、芝畑町収全体研修を行ない、森橋所止に残めております。

ě	事業所名	グローバルキッズメソッド070 前橋東店(パーク)			公表日 2025年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	用他に合わせたプロアをご用他しております。
		利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教践や解析主角核のある階間を配置して、人具秘事を指定しております。
· *	3	生活活動は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、参展所の設備等は、跨高の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配業が適 切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
9	4		100%	0%	毎日、清解を行っております。 環境設定に関してセツまめぬ話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが傾倒の破壊や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで誤應を分ける特のが応をしており戻す。
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く福貢が参加しているか。	100%	0%	東那 的に会議を特権して試し点いを行っております。
	7	保護権向け持備者により、保護有等の地向等を密置する場合を設けており、その内容を高層改議につなけているか。	100%	0%	アンケート結果や、遊師のコミュニケーションから採集をさるのが声を搭載し、改賞できるように等のていきたいと思います。
3	-	福間の意見等を影響する場合を設けており、その内容を重視改算につなけているか。	100%	0%	支援的に会議を開催して私し会いを行っております。
ě		第三者による外部評価を行い、評価延延を業界改派につなげているか。	100%	0%	今後替けていきたいと思います。
	-		100%	0%	全会研修の点から、研修整備の課題による知識向上に力を入れております。
	10	職員の責務の向上を抱るために、研修を受講する機会や法人外等で研修を開催する機会が機能されているか。			型が高いない。 一番を取りています。
	11	潜切に支援プログラムが作成、公告されているか。	100%	0%	####################################
	12	個々のこどもに対してアセスメントを感切に行い、こどもと関係者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童保達支援計画を作成しているか。 児童保達支援計画を作成する際には、児童保達支援部等所有報告でななく、こどもの支援に関わる職員が指導性所でて、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ	100%	0%	
	13	ているか、	100%	0%	こともの支援に関わる職員所立て情報を共有し、日々特別しております。
	14	型盤製造支援計畫が職員際に共有され、計画に迫った支援が行われているか。 こどもの適応行動が状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動装飾なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	100%	0%	毎年時期、光盤発達支援計画におった支援を心酔けております。
3	15	「開催しているか」 「開催しているか」 「産業発達支援計画には、児童発達支援カイトラインの「児童発達支援の提明すべ等支援」の「本人支援」、「実施支援」、「保行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	銀物資料の配換を取り、次回等剤が終を立てる際に満用しております。
t		次面が地域が制用には、元面が地域がパイテブランの「元面が地域が必要がなって対象」の「本人文献」、「様的な意識」、「様行文献」が、「他の地文教・他の地学別」の おらい及び支援内容を顕著えながら、こともの支護に必要は消却が通りに設定され、その上で、具体的な支援内部が設定されているか。	100%	0%	党権権を開始的には、必要の場合が確認に避免され、そのクスで、具体的な支援的指が認定されております。
8	17	活動プログラムの位案をチームで行っているか。	100%	0%	版した。 定義プログラムを決定しております。
4		活動プログラムが御変化しないようエチしているか。	100%	0%	改善が必要が考点、内容を見直して改善点を組み込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況に応じて、領別活動と場間活動を通習組み合わせて児童発達支援計画を存成しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	近極時間が異なることが多い場。不能概義を中心に情能共有巡察るよう。記録や江湖によるコミュニケーション等で機関に努めております。
	21	支援終了際には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	遊動機器も同様に異ねることが多い場。同様に常物機具を中心に関節対角返来るよう。 記録や口頭によるコミュニケーション等で機関に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の特証・改高につなけているか。	100%	0%	個別等等時心起発を取り、次辺等影响符を立てる際に沈用しております。
	23	芝類的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見慮しの必要性を判断し、適切な見慮しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状状や必要性に応じて破功以発慮しを行っております。
	24	周吉児松談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した権が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出をるように努めております。
	25	型域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しており戻す。
	26	例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション搭進の撤点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援が指导の情報共有と相互理解を限っているか。	100%	0%	必要に応じて、適需する幼稚園や保育園の開発の方との情報共和を行なっております。
	27	数学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学器)との館で、支援小容等の情報共有と相互理解を誤っているか。	100%	0%	例数する故障機等デイサービス事業との情報共再を担りながら、ご覧望があれば学校との情報共和に加げて高いります。
		(28~30は、センターのみ関係)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を限り、地域全体の長の向上に負する取組等を行っているか。	(センターではないため回答なし)		
4	29	第の向上を描るため、結婚的に専門家や専門機関等から助素を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではない	ため回答なし)	
4	30	地域の児童発達支援センターとの連携を開り、必要に応じてスーパーパイズや物言等を受ける報合を設けているか。	(センターではない	ため間答なし)	
3		(31は、事場所のみ間語)			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を振り、必要に応じてスーパーバイズや助演等を受ける報会を設けているか。	100%	0%	必要に応じて推測し、研修にも小本のに参加しております。
	32	彼育所や郊芝こども隠、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する場合があるか。	100%	0%	ご要値に応じて、対応させていただいでおります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を率いたケア配線の延付や、直線の中し近りにより伝達を行って、共通機能を案のております。
	34	家族の対応力の向上を指る機合から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	こりらての的な方法等を「AEDの様子」として日々情報発信し、ご常在での支援にご然用いただけるよう組かく的伝えしております。
	35	運営現態、支援プログラム、お子さま負担等について丁事な説明を行っているか。	100%	0%	ご養殖に応じて、対応させていただいております。
	36	・ 型盤発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の意思。こどもの番系の利益の優先考集の報点を請まえて、こどもや事族の懲刑を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご要感に応じて、対応させていただいており来す。
	37	でい。 「児鹿発生支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、奴隷者から児童発達支援計画の明章を得ているか。	100%	0%	第単に沿った「行業を選択折削」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者とよから行業を進支額計画の明章を何でおります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 閲談や必要な動策と支援を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。
1	-	公用の企の運動を支援することで、 保護者会等を開催する等により、 保護者所士で交流する場合を設ける等の支援をしているか、 また、 きょっだい 明士で交流する場合を設ける等の支援をしているか、 また、 きょっだい 明士で交流する場合を設ける等の支援をしているか、	67%	33%	ご意識に応じて、対応させていただいできります。
		を扱いらかりの大阪をしていない。 こどもや保護者からの程談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、根談や中入れが多った場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	ご物部がありました際には、迅速がつ適切に対応しています。
	·	か。 定期的に連携等を投行することや、HPPSMS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ガニとに活動予定を発信しております。 走た、物質者曰にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	42	個人情報の影響いに十分縮離しているか。	100%	0%	入計物に届行器にて確認し、個人情報の複雑や遊覧的止こかを入れております。
	43	関係のあることやり複雑者との概要の政権を付債等伝達のための記事をしているか。	100%	0%	俗々の状況に応じて影響を行っております。
					ご要認に応じて、村店させていただいております。
	44	事業所の対象に影域社党を認済する等、影域に関かりた事業連算を借っているか。 - - - - - - - - - -	100%	33%	
	45	いるか、	100%	0%	毎年2回の開催を期除しております。
	46	継続機能計画 (BCP) を関定するとともに、非高災害の発生に備え、実際的に避難、核出その他必要な調味を行っているか。	100%	0%	©の発定あり〜 幕原制統計論(GO)を推定し、支際的は回線を行っております。ない→ 支際的は回線に加え、幕原制統計論(GO)の施定を検討いたします。
	47	事前に、原業や予祈稼糧、てんか人発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	電銀所士で44年に、児童に別のております。
2	48	食物アレルギーのあることもについて、医師の指示器に基づく対応がされているか。	100%	0%	電視所士で共将し、見難に別め、対応しております。
6		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で回線、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職題所士で此共に、授権に別め、対応しております。
		こともの安全情報に関して、事務等との連携が限られるよう。安全計画に基づく取扱内容について、事務等へ周知しているか。	100%	0%	専用性大でも共和し、保護者を定べの機能に努かております。
	51	ヒヤリハットを事業所介で共和し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	李物権ではありませんが、無限なごとても記入をし、李尊所でヒヤリハットを選択的しております。また、他李尊所の祖徳者とセスキする体制を呈えております。
	52	歯符を防止するため、職員の特殊機会を機能する等、測切な対応をしているか。	100%	0%	森特所上発展会社設置するとともに、定期的な主角を保存化い、森特所上に努めております。
	53	どのような場合にやむを得す身体的束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迹性・肝代験性・一時性を満たしている場合とし、身体内をを行った場合には起節を行っております。また、計画器でも反映しております

事業所名 グローバルキッズメソッド071 南浦和店(パーク) 公表日 2025年2月1日 チェック項目 改善目標、工夫している点など いいえ はい 用途に合わせたフロアをご用意しております。 利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 75% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 生活空間は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の股傷等は、降客の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の影楽 切になされているか 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 25% 50% 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 状況に応じてグループで部屋を分ける等の対応をしております。 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 25% アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を消載し、改善できるように努めていきたいと思います。 取業者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 25% 75% 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 25% 禁し合いの上、活動プログラムを決定し公舎しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 100% 0% セスメント用紙だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ こどもの支援に関わる職員同士で情報を共有し、日々検討しております。 利用時、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けております 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等によ 場際にアンスか 別僚育時の記録を取り、次回僚育内容を立てる際に活用しております 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 75% 25% P. 盤発達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 改善が必要な場合、内容を見直して反省点を組み込むようにしております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 病質が異なることが多い為、常動性員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 50% 50% 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時間も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 50% 50% 別検育時の記録を取り、次回検育内容を立てる際に活用しております。 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 50% 例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション落連の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互受解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小正めに参加しております。 宮育所や認定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 ちらでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 50% 50% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 25% 75% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 月ごとに活動予定を発信しております。また、毎回幕日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 75% 25% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 毎年2回の訓練を実施しております。 45 BCP第定あり→ 業務極続計画 (BCP) を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、業務極続計画 (BCP) の策定を検討いたします。 実務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 事前に、脳巣や予防修構、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 75% 25% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 75% 25% 事例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 虚待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。 のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して 切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております 53

事業所名		グローバルキッズメソッド073 本庄店(パーク)			
	1	T=4/GD	(+)	1112	公表日
	1	チェック項目 料用支担が発達支援要等のスペースとの関係で確立であるか。	(はい	いいえ	以高口味、上大している点がもことがある。 連取スースとおちゃで意志報だれて行う策を分けております。
,	-	利用支資のこともの状態等に対して、機関の影響器は連切であるか。	82%	18%	運動して存体をシェアシしてからレクをする42の工夫をしており走す。
	. 3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、非単所の設備等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配表が適	100%	0%	下数額やロッカー、泉る場所を用じ番号にするなどの工火をしております。
1	1 4	切になされているか。 全温空間は、南宮で、心物よく過ごせる場所になっているか、また、ことも連の連動に合わせた容積となっているか。	100%	0%	運動地スペースとおわちゃで歌べるスペースをわけるなどの工夫をしております。
	5	◆季に応じて、こともが複数が回答や場所を使用することが認められる準備になっているか。	91%	9%	個別期の他が強が入ってもわかりやすく復紀されてるなどの工夫をしております。
	6	業務改善を進めるための POCA サイクル(四様設定と振り返り)に、広く電気が参楽しているか。	91%	9%	志物 的に三一ディングを行ったり、物質能表を行っております。
	7	保護権向け持備表により、保護者等の患の等を把握する機合を設けており、その内容を業務改高につなけているか。	91%	9%	務系や機能などをもず蒸しあっております。
	8 8	職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を暴発改滅につなけているか。	91%	9%	実際の合意識を解析して誠したいを行っております。
	9	第三者によろ外部呼吸を行い、沖機結果を看着改善につなけているか。	91%	9%	今後替けていきたいと思います。
	10	職員の資料の向上を削るために、研修を受講する機会や法人が等で研修を発揮する機会が機能されているか。	91%	9%	全体研修のほかに、研修整備の複数による処理内上に力を入れております。
	11	潮切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	禁したいのと、対象プログラムを決定し公舎しております。
	12	個々のこともに対してアセスメントを選切に行い、こどもと保護者のニーズや保護を客観的に分析した上で、児童院連支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント市域だけでなく、保護者をさからのご意見やお子さぶの様子をお称いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を存成する際には、児童発達支援指導責任者だけでなく、こともの支援に関わる職員が共通等級の下で、こともの最終の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	こどもの支援に関わる電視時式で情報を共有し、日々検討しております。
	14	児童発達支援計画が職員際に共存され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	物物等等、光素発表支援計画に合った支援を心倒けております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 機能しているか。	100%	0%	個別等荷味の記録を取り、次回等荷外径を立てる際に活用しております。
	n n 16	光電発達支援計画には、児電発達支援カイドラインの「児電発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「存存支援」及び「地域支援・地域連携」の ねらい以び支援が指令指導えながら、こともの支援に必要な指数が適比に設定され、その上で、具体的な支援的指が設定されているか。	100%	0%	児童院達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうスで、具体的な支援外部が設定されております。
	E 17	活動プログラムの位準をチームで行っているか。	82%	18%	協し会心を機関に行っております。 限期制にして、必要な時に協し会いをしております。
1	18	活動プログラムが閲定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改議が必要以降会、内容を見超して改省のを組み込むようにしております。
	19	こともの状況に応じて、個別活動と単位活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	他効果育別品と特性支援用品とわかれて行っております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分別について機関し、チームで連携して支援を行っているか。	82%	18%	得時に施が場所に入るかわかりやすいように紙に高いて辿っております。
	21	支援物子後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	64%	36%	遺動物類や同様に異なることが多い為、同様に常動機長を中心に開始共和治をるよう。記録や口機によるコミュニケーション等で構成に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなけているか。	91%	9%	個別等荷朴の記録を思り、次回等荷が店を立てる際に活用しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さ者の核状や必要性に応じて確認な発慮しを行っております。
	24	即高児松及支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参属しているか。	100%	0%	お子さをの状況をより薄頼している職員が参加出来るように努めております。
	25	市場の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	の事に応じて衛務連携しております。
	26	例刊利用で移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン構造の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼稚 部)等との間で、支援が指称の情報共和く相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、適需する幼稚園や解育機の開発の方との情報共有を行なっております。
関係機関や保護者との	27	数学時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援小部等の情報共有と概互理解を図っているか。	100%	18%	例似する処理条件デイサービス事業との情報共和を限りながら、ご要望があれば学校との情報共和に繋げて家いります。
		(28~30は、センターのみ回答)			
	28	市場の他の児童発達支援センターや障害児者所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の長の向上に負する取組等を行っているか。	(センターではないため間帯ない)		
		第の向上を得るため、発悟のに専門客や専門機関等が会放すを対けたり、概要を外部研修に参加させているか。 (センターではないため間寄せし)			
	30	物域の授業発達支援センターとの連携を譲り、必要に応じてスーパーバイズや物点等を受ける場合を扱けているか。 (センターではがいため間等なし)			
1		(31は、事業所のみ回答)			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや物度等を受ける組合を設けているか。	75%	25%	心際に応じて連携し、研修にや小本めた参加しております。
	32	保育所や認定こども個、幼稚園等との欠流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	64%	36%	外山交通を行っております。
	33	日頃からこともの状況を保護者と伝え合い、こともの発達の状況や保護について共通情報を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を用いたケア区間の送付や、意味の中し送りにより伝統を行って、共通機能を認めております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の組合や情報提供等を行っているか。	73%	27%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発像し、ご常度での支援にご法問いただけるよう様かくお布名しております。
	35	適居規模、支援プログラム、お子さき負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	36	党権発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の問題。こどもの最高の利益の優先考慮の能点を踏まえて、こどもや承珠の影向を確認する機会を扱けているか。 るか。	100%	0%	ご整理に応じて、対応させていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の問意を得ているか。	100%	0%	基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援的指の政策を行い、保護者と言から児童発達支援計画の同意を得ております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助告と支援を行っているか。	100%	0%	ご事態に応じて、対応させていただいております。
	1 39	文明の介の高勤を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい何士で交流する機会 を設ける等の支援をしているか。	36%	64%	ご要領に応じて、対応させていただいております。
	R 40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に限知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 か、	100%	0%	ご機能があり渡した際には、迅速かつ機切に対なしています。
		支援的に連携等を発行することや、HPやSNS等を進用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信しております。また、物質専日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける感り組みを行っております。
	42	個人情報の取扱いに十分譲載しているか。	100%	0%	入社時に毎行商工で確認し、個人情略の保護や確認防止亡力を入れております。
	43	物高のあることもや保護者との意思の経過や情報伝達のための影楽をしているか。	100%	0%	わかりやすくお話ししております。
	44	事場所の行事に地域住民を紹祚する等、地域に開かれた事業適恵図っているか。	100%	64%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。
	45	事故的はマニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協品度対応マニュアル等を施定し、職員や家族等に周知するとことに、発生を想定した訓練を実施して いるか。	91%	9%	毎年2回の回聴を実施しております。
	46		100%	0%	意動を決めて行っております。
	47	事柄に、原薬や予防使種、てんかん発作等のこともの状況を確認しているか。	100%	0%	第75をお子さまがい うつしゃる場合は、名前の州に裏マークを拾るなどの対策をしております。
	48	食物アルルギーのあることもについて、医療の搬示器に基づく対応がされているか。	100%	0%	園園時立で見用用し、肥際に努めております。
	9 49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や関連、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	間周明さでは月し、把間に別め、対応しております。
3	,		91%	9%	周期付きで共同し、把側に別め、対応しております。
	51		100%	0%	間間門士でも共行し、保護者さそへの際なに持めております。
	52	- 虚情を指止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	学物権ではありませんが、無限なことでも記入をし、等等所でヒヤリハットを選出共有しております。また、他等業所の管理者とも以有する体制を整えております。
	53	VALUE AND A PARTICULAR METALLING A PARTICULAR TO A PARTICULA	100%	0%	虚物所止委員会を設置するとともに、支期可な会殊時後行ない、虚物所止に別めております。
				1	

事業所名 グローバルキッズメソッド075 柏店(パーク) 公表日 2025年2月1日 改善目標、工夫している点など いいえ チェック項目 利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。 コッカーの配置を工夫し、お子さまが広々と活動していただいております。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 18% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 生活を設定。こともにわかりやすく構造化された準明になっているか、また、参導所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、準理上の起達 切になされているか。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 100% 9% 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 状況に応じてグループで部屋を分ける等の対応をしております。 職員で業務の分担が出来ております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 100% アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。 取業者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 100% 0% 毎朝、三一ティングで共有しております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 話し合いのよ、活動プログラムを決定し公舎しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 100% 0% セスメント用紙だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ こどもの支援に関わる職員阿士で情報を共有し、日々検討しております。 利用時、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けております 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動鏡際なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により WRIT Trists 別僚育時の記録を取り、次回僚育内容を立てる際に活用しております 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 100% 0% P. 盤発達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 改善が必要な場合、内容を見直して反省点を組み込むようにしております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 病質が異なることが多い為、常動性員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 100% 0% 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時間も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 91% 9% **川坡育時の記録を取り、次回坡育内容を立てる際に活用しております。** 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 100% お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 100% 0% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション落連の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互受解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小束めに参加しております。 (育所や認定こども図、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 5らでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 100% 0% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 91% 9% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 月ごとに活動予定を発信しております。また、毎回幕日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 45 毎年2回の訓練を実施しております。 BCP南定あり→ 業務組続計画(BCP)を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、業務組続計画(BCP)の策定を検討いたします。 等線統計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか. 事前に、脳巣や予防修構、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 100% 0% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 職員阿士でも共有し、把握に努め、対応しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 0% 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 100% 0% 例集ではありませんが、 些細なことでも尼入をし、 事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。 また、 他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 消防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。 のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して 切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております 53

事業所名		グローバルキッズメソッド076 西城南店プラス(バーク)			公表日 2025年2月1日		
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
	1	利用定員が発達支援を等のスペースとの関係で適付であるか。	100%	0%	用途に合わせたプロアをご用意しております。		
,	2	#何定義やこどもの状態等に対して、職員の配置数は謝むであるか。	75%	25%	物質や解す血液のある機質を配面して、人具基準を導定しております。		
,	3	生活支援は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、参募所の投稿等は、拘害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配達が透 切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4	生活変数は、清潔で、心地よく過ごせる場場になっているか、また、こども途の活動に会わせた変質となっているか。	100%	0%	毎日、消降を行っております。 塩味放定に関しても小まかな部し合いを行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の前間や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで高速を分ける等の対応をしております。		
	6	専務改善を進めるための POCA サイクル(包標設定と振り返り)に、広く機関が参照しているか。	100%	0%	実際的 に合議を特備して結らぬいを行っております。		
	7		88%	13%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さぶのが声を目倒し、改善できるように努めているだいと思います。		
	8 8	臨員の意見等を把算する場合を設けており、その内容を軍務改画につなけているか。	100%	0%	支那所に会議を開催して払いた行っております。 -		
	,	第三者による外部評価を行い、評価拡展を業務改領につなげているか。	63%	38%	今後付けていきたいと思います。		
	10	職員の責任の向上を招るために、研修を受講する報合や法人内等で研修を開催する報合が確保されているか。	88%	13%	全体所能の行かに、所収整備の関係による知識内上に力を入れております。		
	11	瀬切に支援プログラムが作成。公寓されているか。	100%	0%	あしたいのと、活動プログラムを交叉し込着しております。		
	12	個々のこともに対してアセスメントを通知に行い、こどもと保護者のニーズや課題を名談的に分析したとで、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント用紙だけではく、保護者を正からのご教見やか子を走の様子をお得いし、計画を存成記录をよって努めております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけではく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ	100%	0%	こどもの支援に関わる階級対土で情報を共和し、日々林封しております。		
	14	ているか。 光電発達支援計画が隔着間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	参与同時、光整発達支援計画におった支援を心向けております。		
	15	/ Amandax. Application - Mandax - Amandax -	100%	0%	個別等目的心間を削り、2回等用が好を立て本部に満世しております。		
	.	報節しているか。 光電発達支援計画には、光電発達支援ガイドラインの「光電発達支援の提供すべき支援」の「未入支援」、「常族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	労働権基項指揮には、必要な項目が運動で運動を行、そのつえて、資料的な運動や指字数字を打ており戻す。 ・		
	-	ねらい及び支援内容も請求えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	88%	13%	型に合いのと、効果プログラムを記すしております。		
	17	活動プログラムの立葉をテームで行っているか。					
	18	激動プログラムが確定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	の部が必要な場合、所有を見意して取得点を認み込むとことしております。 おするまの状況に応じて、機能が起きる実施を含まれます。 おするまの状況に応じて、機能が起きる実施をみ合わせて代差的表示を指揮を介格しております。		
	19	ごさもの状況に応じて、個別協動と集団協動を適照部み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%			
	20	支援開始前には職員間で必ず行会せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	13%	出物的技が異なることが多い場。 実際機関をやらく信頼は共産金をおより、起酵や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
	21	支援物子等には、福具間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	63%	38%	遺跡報告内積に異なることが多い場、同様に常動電員を中心に情報片料出来るよう。記録や口機によるコミュニケーション等で機能に努めております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改高につなけているか。	100%	0%	銀物資料の配換を取り、次回等剤が終を立てる際に満用しております。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて破物の発慮しを行っております。		
	24	市吉児松阪支援事業所のサービス担当者合議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した教が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより薄頼している種類が参加が考えたと、禁めております。		
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を能えているか。	88%	13%	必要に応じて衛星連携しており戻す。		
	26	朝行利用や終行に向けた支援を行うなど、イングルージョン装置の構成が与支援を行っているか。また、その際、保育所や認定ことも際、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との物で、支援外部等の情報共将と模型機を振っているか。	88%	13%	必要に応じて、通信する幼稚園や解園の問題の方との情報共年を行なっております。		
	27	就学時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との館で、支援小路等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	25%	例数する故障機等デイサービス事業との情報共再を担りながら、ご弊望があれば学校との情報共和に助けてよいります。		
	28	(28~30は、センターのみ関係)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を限り、地域全体の長の向上に貢する歌館等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)			
1	29	祭の向上を捌るため、積極的に専門家や専門機関等から助素を受けたり、電真を外部所様に参加させているか。	(tc)-9-ではSVRを開催なし)				
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動声等を受ける機会を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)			
	31	(31は、事業所のみ間落)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける報会を設けているか。	71%	29%	必要に応じて連携し、研修にセクネめに参加しております。		
	32	保育所や総定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	63%	38%	ご整備に応じて、対応させていただいております。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連携機を取りたクア記録の試付や、直接の中し送りにより伝達を行って、共通機能を定めております。		
	34	家族の対応力の向上を顕る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	88%	13%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発便し、ご家庭での支援にご念事いただけるよう極かくお告えしております。		
	35	瀬西県原・支援プログラム、お子さを負担等について丁事な説明を行っているか。	100%	0%	ご要請に応じて、対応させていただいております。		
	36	党童発達支援計画を作成する際には、こどもや複雑数の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先有達の概点を詰まえて、こどもや原派の意向を確認する機会を扱けているか。 なか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の阿泰を得ているか、	100%	0%	高事に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援外部の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の明意を得ております。		
1	38	芝規的に、東族等からの子育ての協分等に対する相談に遊切に応じ、 面談や必要な動産と支援を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。		
	39	父明の命の活動を支援することで、保護者会等を開催する等により、保護者附土で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい明土で交流する機会 を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご整備に応じて、対応させていただいております。		
	R 40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の外部を整備するとともに、こどもや保護者に原知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している か。	100%	0%	ご物味があり楽した際には、迅速かつ敵切に対応しています。		
	41	定期的に確保等を発行することで、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発強しているか。	100%	0%			
	42	個人情報の取扱いに十分能奪しているか。	100%	0%	入社時に留的高にて確認し、個人情報の保護や認識所定とかを入れております。		
	43	商高のあることも中保護者との意思の政道や情報伝達のための配達をしているか。	100%	0%	個々の状況に応じて動権を行っております。		
	44	事業所の行事に地域住民を紹介する等、地域に関かれた事業連携を図っているか。	100%	50%	ご要能に応じて、対応させていただいております。		
	45	幸祉所止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、誘急症対応マニュアル等を繁定し、職員や家族等に飛知するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか。	88%	13%	毎年2回の開発を実施しております。		
	46	専長継続計画 (BCP) を開定するとともに、非常災害の発生に催え、定期的に避難、按出その他の要な訓練を行っているか。	88%	13%	実現近くに放棄物の類似を触続デー報を選いている工夫がされております。		
	47	事務に、脳関や予例が種。 てんかん発作等のごどもの状況を確認しているか。	88%	13%	職間時亡でも共有し、把握に努めております。		
:	48	食物アレルギーのあることもについて、医師の根示面に基づく対応がされているか。	100%	0%	何を食べたかわかるようになっております。		
	9 49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を構じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	商品財立でも共有し、把握に努め、対応しております。		
3	5 50	こどもの安全機能に関して、寒豚等との連携が振られるよう、安全計画に振うく取扱外容について、寒豚等へ感覚しているか。	100%	0%	職員時亡でも共利し、保護者ささへの機能に努めております。		
	51	ヒヤリハットを事場所りて共和し、両角防止に向けた万瀬について特計をしているか。	100%	0%	事例象ではありませんが、担催なごとでも起入をし、事業何でヒヤリバットを選択共和しております。また、他事業所が困难者とセ共有する体制を整えております。		
	52	南待を防止するため、職員の時態機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	衛門所止券属合を設置するとともに、定期的な金銭料理を行ない、衛門所止に努めております。		
	53	どのような場合にやむを得ず身体内象を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事務に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に起棄している か、	100%	0%	切合性・肝代動性・一時性を満たしている場合とし、身体物象を行った場合には記録を行っております。また、計画裏でも放映しております		
					1		

事業所における自己評価結果

事業所名 グローバルキッズメソッド077 新伊勢崎店(パーク) 公表日 2025年2月1日 改善目標、工夫している点など チェック項目 いいえ 用途に合わせたフロアをご用意しております。 利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 25% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 生活を設定。こともにわかりやすく構造化された準明になっているか、また、参導所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、準理上の起達 切になされているか。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 100% 0% 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 状況に応じてグループで部屋を分ける等の対応をしております。 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 100% アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を消載し、改善できるように努めていきたいと思います。 取業者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 100% 0% 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 13% 話し合いのよ、活動プログラムを決定し公舎しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 100% 0% セスメント用紙だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ こどもの支援に関わる職員阿士で情報を共有し、日々検討しております。 利用時、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けております 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等によ 場際にアンスか |練育時の記録を取り、次回検育内容を立てる際に活用しております 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 100% 0% P. 盤発達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 改善が必要な場合、内容を見直して反省点を組み込むようにしております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 病質が異なることが多い為、常動性員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 13% 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時替も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 38% **川坡育時の記録を取り、次回坡育内容を立てる際に活用しております。** 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 100% お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 100% 0% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション落連の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互受解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小束めに参加しております。 (育所や認定こども関、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 5らでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 100% 0% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 50% 50% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 月ごとに活動予定を発信しております。また、毎回幕日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 毎年2回の訓練を実施しております。 45 BCP第定あり→ 業務極続計画 (BCP) を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、業務極続計画 (BCP) の策定を検討いたします。 実務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 事前に、脳巣や予防修構、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 88% 13% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 職員阿士でも共有し、把握に努め、対応しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 100% 0% 例集ではありませんが、 些細なことでも尼入をし、 事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。 また、 他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 消防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。 のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して

切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております

53

8	事業所名	グローバルキッズメソッド078 土浦店(パーク)				
			toks .	=	公表日	
	1	チェック項目 対応支持が発達支援等等のスペースとの原格で適応であるか。	(はい	いいえ	以高口味、上大ししいの点がと 悪能なわけたフロアをご開催しております。	
10	-	************************************	100%	0%	新典中保育上海輸のから機関を配差して、人具修事を混たしております。	
	3	かけによないことのからからガレン、 MMARVのにあれる知りにあらい。 生活交換は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、李書所の投稿等は、海書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配達が通	100%	0%	必要に歩いて観点ゲフィローを行なっております。	
8	-	切になされているか。 生活支助は、非常で、心地よく第二世を専用になっているか。また、ことも連の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、高裕を行っております。 塩物放金に関してかりまめん話したいを行っております。	
9	\vdash				状況に応じてがループで顕複を付ける等のが応見しております。	
	5	の異に応じて、こともが個別の認意で場所を使用することが認められる場場になっているか。	100%	0%		
	6	事務改善を進めるための PDCA サイクル(口信敦定と振り送り)に、広く職員が参画しているか。	88%	13%	定期庁の台連を帰収して私し合いを行っております。	
30	7	保護教例が評価表により、保護教等の意向等を把握する報会を設けており、その内容を募債改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直像のコミュニケーションから帰還者さぶのお声を測載し、改善できるように努めているたいと思います。	
3	8	職員の意見等を把握する報会を設けており、その内容を単務改画につなけているか。	88%	13%	文物の二角を発揮して扱いたけっております。	
	9	第三者による外部呼音を行い、呼音延素を重務改善につなげているか。	100%	0%	今後的はていきたいと思います。	
	10	職員の責任の向上を認るために、研修を受講する機合や法人的等で研修を開催する機合が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動脈の視聴による知識向上にかを入れております。	
	11	適切に支援プログラムが有威、公表されているか。	100%	0%	思したいのと、理動プログラムを決定し公廃しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや保護を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を持续しているか。	100%	0%	アセスメント開発だけでなく、保護者と変からのご意見やお子さ素の様子をお称いし、計画を作成出来るように努めております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ ているか。	100%	0%	こどもの支援に取わる機関例士で清除を共和し、日々検討しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共界され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎野四時、児童発達支援計画に沿った支援を心倒けております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 機能しているか。	100%	0%	他別等資料の記録を取り、次回等資外符を立てる際に活用しております。	
t t	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「事族支援」、「等将支援」など「地域支援・地域連携」の ねらいなび支援外間も請定えながら、こどもの支援に参数な調宜が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	児童発達支援計画には、必要な際はが選択に選択され、そのうえて、具体的な支援的指定されております。	
3	17	想動プログラムの位率をチームで行っているか。	100%	0%	苗したいのと、恐動プログラムを決定しております。	
9	18	活動プログラムが撤走化しないようエメしているか。	100%	0%	改進が必要は考点、内容を見違して収留点を認か込むようにしております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	88%	13%	お子さまの状況に応じて、値間活動と機能活動を通用品か合わせて児童発達支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には臨្間間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について構図し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	近極時間が異なることが多い場、実際機関を中心に情報共和企をおよう。記録や江西によるコミュニケーション等で構造に努めております。	
	21	支援終了後には、福興間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の服り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	63%	38%	透動網禁や回標に買なることが多い場。同様に関節機関を中心に情報共和記をよう。記録で口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改高につなけているか。	88%	13%	個別等資料の記録を取り、辺辺等資外資を立てる際に活用しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童保護支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまのが染や心質性に応じて確切な発血しを行っております。	
	24	商害児和談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した教が伊سしているか。	88%	13%	お子さまの状況をより薄頼している階級が参加版学るように努めております。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害指針、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う仲制を加えているか。	88%	13%	必要に応じて適能を想しております。	
	26	・ 特行制中や特行に向けた支援を行うなど、インクルージョン権連の傾向から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども間、幼稚園、特別支援学校(均格 周)等との間で、支援が関係の情報が再く配理機能(扱)ているか、	100%	0%	必要に応じて、適需する幼稚園や保育園の間負の方との情能共有を付なっております。	
	27	(申)やこのは、、又取り合きのの確保内でもなら生態である。これのよう。 設学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学前)との題で、支援内容等の情報共再と相互理解を関っているか。	100%	0%	 假設する後頭薬等デイサービス事業との情報共和を限りながら、ご覧望があれば学校との情報共和に加すておいります。	
図 (28-30は、センターの利用)						
8	23 地域の他の管理機能を対してシートの機能を制度と使用を使用し、物域全体の所の引に向する範疇を行っているか。 (センターではないたの間所ない)					
9		祭の内上を描るため、植物的に専門家や専門権間等から助賞を受けたり、職員を外部時候に参加させているか。	(センターではない			
4	30	地域の労業発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーパイズや効果等を受ける組合を設けているか。	(センターではない他の関係はし)			
3	<u> </u>	(31は、事業所のみ間的)				
	31	地域の理察及達支替センターとの連携を握り、必要に応じてスーパーパイズや効度等を受ける組合を設けているか。	75%	25%	の際に応じて連携し、研修にやり走めた労励しております。	
	32	なのでは、	25%		TWINGLOUT, MODING NO DET.	
	-			73.0	高子の連絡機を用いたクプロ豚の近付か、遊飲の申し送りにより伝達を行って、共進機能に関われます。	
	33	日油からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や保護について共通性解を持っているか。	100%	0%	電子の運動物では、にクラス機能があり、回転が中に成り上へと発酵が下出めくらります。 ごからての対応方法等を(8410条子)として日々機能発展し、ご覧官での支援にご認用しただけるよう権がくが伝えしております。	
	34	寒寒の対応力の向上を掴る観点から、寒咳に対して寒咳支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や寒珠等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	88%	13%		
	35	国際関係、支援プログラム、お子さ手負別等について丁寧な説明を行っているか。 ・ 光章及達支援計画を作成する際には、ごともや収護者の意思の問題。 ごとの周囲の程外等の機巧を指導スて、ごともや家族の意向を確認する場合を設けてい	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。	
	36	ア国際地域大阪計画で行われずの時には、ことでいる機能が必要が必要が、ことでいる機能が対象が対象が関係では原本人で、ことでいる機能が可能ができます。 あか、。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。	
	37	「児童発達支援計劃」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の円息を得ているか。	100%	0%	制事に扱った「欠款商連を遂計画」を示しながら支援内容の改明を作い、保護者をおから欠款商連を遂計画の対象を得ております。	
9	38	定期的に、策集等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、国談や必要な動衆と支援を行っているか。	100%	0%	ご整盛に応じて、対応させていただいております。	
0	. 39	公場の点の活動を支援することで、保護者会等を開催する等により、保護者向士で欠高する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい何士で欠高する機会 を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
2	40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に開始し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 か、	100%	0%	保護者とまからの妄葉等は、四時間見間で情報に用を行っております。	
	41	支薄的に連携等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をごどもや保護者に対して発信しているか。	88%	13%	月ごとに落動が支を発機しております。また、物質器日にプログを作成し、落動の様子をご確認いただける歌り組みを行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分能意しているか。	100%	0%	入社時に誓的書にて確認し、個人情報の保護や認識的正とかを入れております。 	
	43	際高のあることも中保護者との意思の政連や情報伝達のための記事をしているか。	100%	0%	傷やの状況に応じて勧募を行っております。	
	44	事業所の行事に地域往民を紹介する等、地域に開かれた事業連貫を図っているか。	100%	75%	ご物質に応じて、対応させていただいております。	
	45	物域所はマニュアル、緊急等対応マニュアル、防尼マニュアル、係命使対応マニュアル等を策定し、職員や事務等に発拡するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか。	88%	13%	毎年2回の回動を実施しております。	
	46	車務補続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に構え、定期的に避難、按出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	807年文あり〜 果務機材計画(8CO)を指定し、定期的公司時を行っております。なし〜 定期的公司場合協立、果務機材計画(8CO)の規定を検討いたします。	
	47	事局に、施薬や予例接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	鹿島別士でも共有し、把握に別めております。	
3	48	食物アレルギーのあることもについて、関節の指示者に基づく対応がされているか。	100%	0%	電流的社でも共有し、把側に努め、対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を描しる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	電視時去でも共和し、把握に関め、対応しております。	
9.		こどもの安全機能に関して、実施等との連携が振られるよう。安全計画に推ざく影響内容について、実施等へ順知しているか。	88%	13%	機関所士で長井町に、保護者さぶへの際犯に別めております。	
	51	ヒヤリハットを事業所介で共有し、再発的企工向けた方法について検討をしているか。	100%	0%	李列権ではありませんが、三組なことでも犯入をし、李孝所でヒヤツハットを確認共有しております。また、他李某所の信理者とも共有する体制を包含ております。	
	52	虚博を弥正するため、複数の時様報会を機能する等、適切な対応をしているか。	88%	13%	場内的上昇資金投資するとともに、定期の企業時間を行ない、場所的に別のております。	
	53	※ できない。	100%	0%	協会性・研究機能・一般性を選定している場合とし、胸椎内変を行った場合には記録を行っております。 非無罪でも放映しております	
	1	D's		1		

ē	業所名	グローバルキッズメソッド079 東大宮店(パーク)			公表日 2025年2月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	用他に合わせたプロアをご用他しております。	
相相	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	前側で解算主角部のある階間を配置して、人員懸事を指定しております。	
4	3	生活活動は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、参展所の設備等は、跨高の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配業が適 切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
5 5	4		100%	0%	毎日、清解を行っております。 環境設定に関してセツまめぬ話し合いを行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが傾倒の破壊や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで誤應を分ける特のが応をしており戻す。	
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く福貢が参加しているか。	89%	11%	東那 的に会議を特権して試し点いを行っております。	
	7		100%	0%	アンケート結果や、遊師のコミュニケーションから採集をさるのが声を搭載し、改賞できるように等のていきたいと思います。	
30 85	-	福間の意見等を影響する場合を設けており、その内容を重視改算につなけているか。	89%	11%	支援的に会議を開催して私し会いを行っております。	
36	9	第三者による外部評価を行い、評価延延を業界改派につなげているか。	100%	0%	今後替けていきたいと思います。	
	-		100%	0%	全会研修の点かに、研修施術の課題による知識向上に力を入れております。	
	10	職員の責務の向上を抱るために、研修を受講する機会や法人外等で研修を開催する機会が機能されているか。			型が高いない。 一番を取りています。	
	11	潜切に支援プログラムが作成、公告されているか。	100%	0%	####################################	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを感切に行い、こどもと関係者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童保達支援計画を作成しているか。 児童保達支援計画を作成する際には、児童保達支援部等所有報告がでなく、こどもの支援に関わる職員が指導性終わてて、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ	100%	0%		
	13	ているか、	100%	0%	こともの支援に関わる職員所立て情報を共有し、日々特別しております。	
	14	型盤製造支援計畫が職員間に共有され、計画に迫った支援が行われているか。 こどもの適応行動が状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動装御なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	100%	0%	毎年時期、光盤発達支援計画におった支援を心酔けております。	
38	15	「開催しているか」 「開催しているか」 「産業発達支援計画には、児童発達支援カイトラインの「児童発達支援の提明すべ等支援」の「本人支援」、「実施支援」、「保行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	銀物資料の配換を取り、次回等剤が終を立てる際に活用しております。	
ت د		次面が地域が制用には、元面が地域がパイテブランの「元面が地域が必要がなって対象」の「本人文献」、「様的な意味」、「様行文献」が、「他の地文教・他の地学的」の おらい及び支援内容も顕示表ながら、こともの支護に必要は消耗が通知に設定され、その上で、具体的な支援内部が設定されているか。	100%	0%	党権権を開始的には、必要の場合が確認に避免され、そのクスで、具体的な支援的指が認定されております。	
59	17	活動プログラムの位案をチームで行っているか。	100%	0%	版した。	
9	18	活動プログラムが御変化しないようエチしているか。	100%	0%	改善が必要が考点、内容を見直して改省点を総か込むようにしております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜能み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	89%	11%	お子さまの状況において、値間活動と機能活動を適用能力会わけて光整発達支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず行合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	近極時間が異なることが多い場。 不物理員を中心に情報共和巡察るよう。 記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	逐動時間も同様に異なることが多い為、同様に関節間長を中心に関節共有巡察るよう。記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の神経・改高についけているか。	89%	11%	他的物資料の起源を取り、次回物資外研を立てる際に活用しております。	
	23	芝類的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの代決や必要性に応じて確切な発慮しを行っております。	
	24	南吉沢松談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が伊重しているか。	89%	11%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。	
	25	型域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	89%	11%	必要に応じて適宜連携しております。	
	26	例行利用や終行に向けた支援を行うなど、イングルージョン構造の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や可定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚 部)等との間で、支援が容等の情報対象へ情報が無く信息で振りているか。	100%	0%	必要に応じて、適度する必需要や材料限の機関の方との情報共再を付なっております。	
	27	批学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と報知機解を図っているか。	100%	0%	情級する後頭維持デイサービス事業との情報共和を削りながら、ご事論があれば学校との情報共和に繋げて表いります。	
12		(28~30は、センターのみ関係)				
12	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児害所支援事業所等と連携を図り、地域全体の何の内上に貢する取組等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)		
7 50 28	29	男の向上を掴るため、補稿的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部所領に参加させているか。	(センターではないため回答なし)		ではないため間帯なし)	
* 2	30	型域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助回等を受ける報会を扱けているか。	(センターではない	ため回答なし)		
35		(31は、事場所のみ回答)				
	31	型域の児童覧達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助回等を受ける程命を扱けているか。	80%	20%	必要に応じて連携し、研修にも小走めに参加しております。	
	32	保育所や印定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する場合があるか。	33%	67%	ご養殖に応じて、対応させていただいております。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連続機を用いたケア記録の延付や、面房の中し返りにより伝達を行って、共通機能を認めております。	
	34	事態の対応かかの内上を捌る機点から、準額に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	89%	11%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご常底での支援にご念用いただけるよう様かくお伝えしております。	
	35		100%	0%	ご要能に応じて、対応させていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや存储者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考集の城点を請まえて、こどもや承珠の意向を構図する機会を扱けている。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
	37	るか。 - 「児童育達支援計画」を示しながら支援が紹介の影響を行い、保護数から児童発達支援計画の問題を得ているか。	100%	0%		
	38	「実施内性」を終しまし、その心がなからのと思うなからなからいた。 は他性からない かんまい かんまい かんまい かんまい かんまい かんまい かんまい かんま	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
50 28 40	-	公司の合の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会	33%	67%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
á	-	を設ける等の支援をしているか。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に原因し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。			ご始からりました際には、浪漫から時代に対なしています。	
25 10 10	40	29.	100%	0%	この他のグラントの中心は、2000~2000~2000~2000~2000~2000~2000~200	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPP-SIS等を活用することにより、活動概要や行李予定、連絡体制等の開修をこどもや故護者に対して発信しているか。	89%	11%		
	42	銀人情報の取扱いに十分報復しているか。	100%	0%	入社等に届付置にて確認し、個人情報の保護や認識的止こかを入れております。	
	43	関係のあることもや保護者との標準の経過の比較の影響をしているか。 - 100 日本の表現では、100 日本の影響をしているか。	100%	0%	傷をの状況に応じて記載を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適苦を図っているか。	100%	67%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。	
	45	等級的広マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、防犯マニュアル等を開催し、職員や審議等に周知するとともに、発生を思定した訓練を実施しているか。 いるか、	89%	11%	毎年3回の回接を実施しております。	
	46	要務組結計機(BCP)を策定することもに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	829度支約→ 暴発機能計画(8C9)を発定し、定期的以前権を行っております。なし→ 定期的以前権に加え、業務機能計画(8C9)の推定を検がいたします。	
	47	李蔚に、原軍や予防侵害、てんかん発作等のこともの状況を確認しているか。	100%	0%	福岡時士で長井に、伊藤に知めております。	
71 72 81	48	食物アレルギーのあることもについて、医師の他子書に終づく対応がされているか。	100%	0%	商品時上でも共有し、把握に別め、対応しております。	
89	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を描しる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職員時亡でも共有し、把握に努め、対応しております。	
泉	50	こどもの安全機能に関して、家族等との連携が開られるよう。安全計画に整づく影館内容について、家族等へ開始しているか。	89%	11%	園周門士でセ共利し、保護者さ至への原知に努めております。	
	51	とヤリハットを事業所作で共有し、再発所止に向けた方面について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではおりませんが、形態なことでも記入をし、等等所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、他事業所の認理者とセ共有する体制を加えております。	
	52	南岸を防止するため、職員の研修機会を確保する時、激切な対応をしているか。	89%	11%	南部所と委員会を設置するとともに、定期的な会員が優を行ない、南州所立に別めております。	
	53	そのような場合にやむを得す身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明して解を得た上で、児童発達支援計画に記載している か。	100%	0%	切記性・肝代酸性・一時性を増たしている場合とし、身体界度を行った場合には記録を行っております。また、計画家にも放映しております	

		<u>公衣</u> 事業			
事	業所名	グローバルキッズメソッド080 学園の森店(バーク)			公表日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が発達支援空等のスペースとの順信で適切であるか。	56%	44%	高級の広さは児童に口が描きやすく、コミュニケーションが取りやすい環境にあります。また、意外にも恵まれているため、意外意外の活動を使い分けなが与承しんで安心して過ごしていただけるよう日々努めています。
環境	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	33%	67%	収貨で保育工資格のある機関を配差して、人員経事を準にしております。
(A (B)	3	生活活動は、ごどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の影響が適 切になされているか。	67%	33%	安全、特性に影響した環境改革を職員と共和し参いながらら続けております。 専用設定は妨害関係しております。
50 50	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。	67%	33%	毎日、清解を行っております。 塩味放文に関しても少まかな話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが銀幣の保管や場所を使用することが認められる環境になっているか。	89%	11%	気が動うないような意識となっております。個別時法やお経務等、いつても使用できる場合づくりに関めております。
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と限り返り)に、広く職員が伊無しているか。	78%	22%	コミュニケーションを大事に人物に共有しあっております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する最合を扱けており、その内容を募積改善につなげているか。	89%	11%	お超視スペースの機体、延期の位職権とのコミュニケーションを大事にしております。
務改	8	職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を業務改高につなけているか。	89%	11%	構造とのコニュニケーションをとり放しやすい場合りを心倒けるようにしております。改まって拡す機合は多くありませんが、展現側が気さくて捻しやすい人物なので、日期的以コミュニケーションの中で意見を 幼儿やすいと旅じております。機能会後を不る場合を設けており、占領に関めております。
26	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改施につなげているか。	67%	33%	今後替けていきたいと思います。
	10	職員の資揺の向上を招るために、研修を受講する機会や点人内等で研修を開催する機会が機能されているか。	78%	22%	金伸帯のほかに、研修動脈の複数による短端内上にカを入れております。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	思しかいのと、活動プログラムを決定し込ましております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを選切に行い、こどもと保護者のニーズや構題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	送り見え、送売等する保護者とまとのコミュニケーションを大事にしながらお子さまの様子をお伝えしたり聞いたり、保護者とまが過考なく禁していただけるような問わりを大事にしております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ	100%	0%	こともの支援に関わる機能向上で情報を共有し、日々機材しております。
	14	ているが、 元本の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の	100%	0%	特別期、労働発産支援計画に沿った支援を心向けております。
		へ出来がある。MAN MANUSE PROTOCOL 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	78%	22%	総別等有時の必該を取り、次回等等が終を立てる際に流用しております。
38	15	報節しているか。 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「休人支援」、「常原支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の			が、 が選挙を支援性権には、必要は適比が選びに避分され、そのクスで、具体的な支援外部が認定されております。
切な支	16	ねらい及び支援内容も請求えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	78%	22%	Zanda Zimima Liu. の後に参加しておい、TW/A/L、MMP(M/Zim/mb/型及ぐけしなります。 それぞれに分類を持ち行っております。
類の契	17	滋動プログラムの以来をチームで行っているか。	89%	11%	
gt	18	着動プログラムが開変化しないよう工夫しているか。	100%	0%	党歴が楽しい!と感じながら活動、成長巡察る後、工夫しております。電馬向士衛見を巡し合い、工夫しております。
	19	こともの状況に応じて、個別活動と専団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	89%	11%	お学さ志の状況に応じて、傾回滅動と専団部から向わせて児童発達を検討機を作成しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その目行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	67%	33%	近時時度が異なることが多い時、常時度員を中心に情報共和巡察をよう。 記録や口機によるコミュニケーションやで権間に別めております。
	21	支援的了保には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	44%	56%	お子さまの職態に向き立い支援しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改高につなげているか。	78%	22%	信物物情等の記憶を取り、次面物物が音を立てる際に活用しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、光量発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切以昇直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて確認な利益しを行っております。
	24	薄害児和談交援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した権が参照しているか。	89%	11%	お子さまの状況をより磨解している階度が参加出来るように禁めております。
	25	地域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	89%	11%	必要に応じて南原連携しております。
	26	例打探門や終行に向けた支援を行うなど、インのルージョン連進の雑点が与支援を行っているか。また、その際、保育所や認定ことも際、幼園區、特別支援学校(幼園 部)等との間で、支援外部等の情報共将と処理機を削っているか。	89%	11%	必要に応じて、適需する幼稚園や賃料園の環境の万との情報共移を行なっております。
	27	該学時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との際で、支援外容等の情報共有と報知理解を関っているか。	89%	44%	毎間高、幼稚園、松談支援寺門県、市役所とやり取りさせていただいております。
体	28	(28~30は、センターのみ回答)			
(F)		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を闘り、地域全体の飛の向上に資する影響等を行っているか。	(センターではない	ため間答なし)	
模報	29	質の向上を描るため、結婚的に専門家や専門機関等から助置を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではない	ため回答なし)	
との連	30	地域の児童発達支援センターとの連携を謂り、必要に応じてスーパーパイズや助賞等を受ける報合を助けているか。	(センターではない	ため回答なし)	
98	31	(31は、事業所のみ回答)			
		地域の児童発達支援センターとの連携を謂り、必要に応じてスーパーパイズや助言等を受ける報合を助けているか。	43%	57%	必要に応じて連携し、研修にセク走めに参加しており戻す。
	32	保育所や認定こども隠。幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	22%	78%	ご整備に応じて、対応させていただいており戻す。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	89%	11%	お子さまの出来たことや楽しんでいた様子をお招えする様にしています。その中で保護者さまから協力が出た際には課題として職員への共有を行うようにしております。またしていただけさよう職員にも厳知共有しております。
	34	第底の対応かか向上を図る概点から、算底に対して実施支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や実践等の貯値できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	56%	44%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発徴し、ご常庭での走域にご法用いただけるよう極かくお伝えしております。
	35	瀬宮境修、支援プログラム、お子さま負担等について丁華な総略を行っているか。	89%	11%	ご審査に応じて、対応させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こともや保護者の意思の尊重。こともの最高の利益の優先考慮の観点を加まれて、こともや専队の意向を模容する場合を扱けているか。 るか。	100%	0%	ご類型に応じて、対応させていただいております。
	37	「児童院達支援計画」を示しながら支援が認の影明を行い、保護者から児童院達支援計画の阿意を得ているか、	100%	0%	基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援が前の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の研修を何ております。
保護	38	定期的に、家族等からの子育での悩み等に対する相談に適切に応じ、微談や必要な動意と支援を行っているか、	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。
* ^ o	39	公司の会の必動を支援することで、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい何士で交流する機会 を設ける等の支援をしているか。	44%	56%	高等複数子られおいを行いまし、今後も行えるよう考えております。
250 100	40	こどもや保護者からの個数や中入れについて、対応の仲制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 か、	89%	11%	ご問題がありました際には、洗徳かつ時切に対応しています。
19	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	89%	11%	力ごとに対象が充を発信しております。また、物質単日にプログを作成し、対象の様子をご確認いただける歌り組みを行っております。
	42	個人情報の意欲いに十分極意しているか。	100%	0%	入社時に脳的層にて構塑し、個人情報の複雑や環境形式にかを入れております。
	43	南高のあるこどもや保護者との意思の改造や情報伝達のための記事をしているか。	100%	0%	傷への状況に応じて勧奪を行っております。
	44	事業所の行事に包組住民を招待する等。 地域に開かれた事業適苦を誤っているか。	100%	56%	ご物語に応じて、対応させていただいであります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時外のマニュアル、移形マニュアル、感染症が応マニュアル等を策定し、鑑賞や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか。	100%	0%	毎年2回の原理を実施しております。
	46	業務総経計画(BCP)を施定するとともに、非常災害の発生に偏え、定期的に避難、救出その他の妻な訓練を行っているか。	100%	0%	GC常定あり→ 業務機能計算 (GCP) を策定し、支際的な訓練を行っております。GL→ 支際的な訓練に加え、業務機能計算 (GCP) の施定を締約いたします。
	47	事前に、極寒や予防侵種、てんかん発作等のこともの状況を確認しているか。	89%	11%	機関対立でも共有し、把握に努めております。
常期	48	食物アレルギーのあることもについて、夜豚の物宗書に基づく対応がされているか。	100%	0%	周期性士七共将心、把側に対心、対応しております。
99 (D	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を描しる等、安全管理が十分された中で支援が行われているが、	100%	0%	周期性士七共将心、把側に対心、対応しております。
万	50	こどもの安全韓保に関して、家族等との連携が限られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ開発しているか。	100%	0%	職員時亡でも共有し、保護者と派への際征に努めております。
	51	ヒヤリハットを事業所的で共有し、再発所企に向けた方類について検討をしているか。	78%	22%	等的数ではありませんが、色微なことでも応入をし、季葉杯でヒヤリハットを透射、用しております。また、他多葉所の密度者とも共有する体制を整文でおります。
	52	虚体を抗止するため、職員の研修機会を機関する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虚物所に委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虚物所止に努めております。

設性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体内束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

事業所名		グローバルキッズメソッド081 筑西店(パーク)			公表日 2025年2月1日		
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
	1	利用支責が発達支援空等のスペースとの関係で適切であるか。	67%	33%	長具等の差点場所が子供達のすから成るべく繋が払い間に工夫しております。 一級間で発達しが良いので国が集合やすいです。		
15		料用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は謝むであるか。	83%	17%	教賞や何斉士資格のある問題を配置して、人民秘事を確定しております。		
44	3	生活回動は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の股偏等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配達が増 切になわれているか	100%	0%	フロアーが広いです。生活定数は充分な広さて発達しが良いです。		
5 5		生活空間は、清潔で、心地よく通ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に会わせた空間となっているか。	100%	25%	テーブル等率に指導者で拡くなど清潔にしております。フローリングでのお提携的には地丸路止の為にマットを抱いているなど工夫しております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の前壁や場所を使用することが認められる環境になっているか。	92%	8%	銀物物角の部間を特徴しております。		
	6	専務改議を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く機関が参属しているか。	83%	17%	全ての機関所士で払いをして意見交換をしております。		
	7		92%	8%	日々の活理所にもお話を聞くようにしております。職員全体1.Meで情報共有するほどの工夫をしております。		
38 25		閲覧の意見等を把握する場合を設けており、その内容を業務改画につなげているか。	100%	0%	常に職員同士で充分連携しております。		
a		第三章による外部評価を行い、評価結果を業務改画につなげているか。	75%	25%	今後付けていきたいと思います。		
	10	職員の責張の向上を捌るために、研修を受講する総合や法人内等で研修を開催する総合が爆放されているか。	100%	0%	全体時間の日かた、旧様取職の視聴による知識引とたかを入れております。		
	11	適切に支援プログラムが中級、公表されているか。	100%	0%	帯防にプログラムを作成しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを選切に行い、こどもと似席者のニーズで探聴を客観的に分析したよで、児童保険支援計画を作成しているか。	92%	8%	アセスメント階級だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さぶの様子をお仰いし、計画を仲追出等をよって努めております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけではく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ	100%	0%	職員設が広部博用任者と席に話しをしており、情報共和でさせるります。		
	14	ているか。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	100%	0%	コミニケーションにて雑品外土で情報外科しております。		
	15	/ 本語の意义(2011 MRV MRX(MRX へいかい	83%	17%	常に構造をしております。		
28	-	報節しているか。 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「未入支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の	83%	17%	売的な機能を約っております。		
4	-	35い及び支援所容も請求えながら、こともの支援に必要な場合が設定され、その上で、具体的な支援所容が設定されているか。 38プログラムの立案をテームで行っているか。	100%	0%	②歌はチームで行っております。		
55 67 55	17						
9	10	活動プログラムが販支化しないよう工夫しているか 。	100%	0%	の場所が表現場合、所管を見自して安全点を扱み込むようとしております。 		
	19	こともの状況に応じて、個別活動と集団活動を適照部み合わせて児童発達を提計書を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	製団商は銀砂に組み合わせております。		
	20	支援開始部には職員間で必ず打会せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%	電に打ち合むして実施を行っております。		
	21	支援教子後には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた。点等を共有しているか。	75%	25%	電視性で拡 え合いをしております。SNS等も返用して機能共有をしております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改高につなけているか。	83%	17%	機能・改善をしております。		
	23	支期的にモニタリングを行い、児童保護支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	帯切に見象しております。		
	24	海害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した教が参画しているか。	100%	0%	理解している者が参加しております。		
	25	地域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を能えているか。	92%	8%	第二次所領域との連携性制を整文でおります。		
	26	相行項目や終了に向けた支援を行うなど。イングルージョン装置の構成が与支援を行っているか。また、その際、保育所や認定ことも際、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援外容等の情報共将と概立理解を図っているか。	100%	0%	東京所語がに対定さども関帯と情報共有しております。		
	27	裁学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との館で、支援小路等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	25%	まだ様行するお子さまがいらっしゃいませんが、就学に向けての案件や支援 は行って高いります。		
(S)	28	(28~30は、センターのみ関係)					
THE TO	:	地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の長の向上に資する取組等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)			
50 28 40	29	毎の向上を抑るため、植態的に専門薬や専門機関等から助置を受けたり、職員を外部回線に参加させているか。	(センターではないたの間等なし)				
خ د ن		地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや勃然等を受ける報会を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)			
9		(31は、事業所のみ関係)					
		地域の定盤発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助誘等を受ける報会を設けているか。	80%	20%	必要に応じて連携し、朝鮮にセル連めに参加しております。		
	32	保育所や뗙正ことも風、幼稚園等との交流や、物域の中で他のこともと活動する機会があるか。	33%	67%	毎月公園に行く機会を捌けております。佐衛所派がに認定ことも関との交流がございます。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの完建の状況や課題について共通性解を持っているか。	100%	0%	共通の理解を持つております。		
	34	家族の対応かの向上を掴る機合から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	ごちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発摘し、ご客庭での支援にご成用いただけるよう種かくお伝えしております。		
	35	運営規模、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	83%	17%	丁事に説明をしております。		
	36	光度発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考達の概点を請まえて、こどもや寒咳の寒吗を韓認する機会を設けているか。	100%	0%	お子さまや媒携者さまとの構築を行っております。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の明巻を得ているか。	100%	0%	保護者と述明でしております。		
9		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、関談や必要な助賞と支援を行っているか。	83%	17%	概念に表切に対応しております。 返過性にもお願を何っております。		
8	39	父母の命の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する場合を設ける等の支援をしているか、また、きょうだい同士で交流する場合 を設ける等の支援をしているか。	42%	58%	見期社の交流をしております。		
55 15	40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に創知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ激切に対応しているか。 か。	100%	0%	概念学があった場合は構造会長に共有し後やかに対応しております。		
95		芝期的に連領等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	発想しております。		
	42	個人情報の取扱いに十分能差しているか。	100%	0%	見分にしております。		
	43	海高のあることもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配差をしているか、	100%	0%	東に配慮しております。		
	44	事業所の行事に地域性民を紹介する等、地域に関かれた事業運営を図っているか。	100%	67%	ご要値に応じて、対応させていただいでおります。		
	45	事故所止マニュアル、緊急時対応マニュアル、移形マニュアル、移向症対応マニュアル得を策定し、鑑賞や事族等に附加するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか、	92%	8%	マニュアルがごさいます。		
	46	国務陽統計画 (GCP) を策定するとともに、并来災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	災害対域はしております。物質・火災等月200m消費を行っております。		
	47	事前に、振順や予例技種。 てんかん発作等のこどもの状況を機能しているか。	100%	0%	てんかんが起きた場合の特別さく解析されて解析されて確認しております。		
31	48	食物アルルギーのあることもについて、関係の指示器に基づく対応がされているか。	100%	0%	は年に100アルルギーこのいて保護されて内別権がしております。		
85	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を属じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	92%	8%	電温的社でも共有し、形態に対め、対応しております。		
or A		こどもの安全機能に関して、実施等との連携が振られるよう。安全計画に被づく影響内容について、事族等へ順知しているか。	92%	8%	際和しております。		
	51	とヤリハットを事業所がで共有し、再発防点に向けた万策について検討をしているか。	100%	0%	福用金貨に開切し改善している物材しております。		
	52	衛体を扮立するため、職員の研修機会を機能する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	潮がに対応しております。動業研修を行っております。		
	53	どのような場合にやむを得す身体内束を行うかについて、相違的に決定し、こどもや奴隷者に事材に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。 か	83%	17%	計画に現しております。		
		I		1	1		

事業所名 グローバルキッズメソッド083 西川田店(パーク) 公表日 2025年2月1日 改善目標、工夫している点など チェック項目 いいえ 友達阿士やレグで上手くいかない時に暴れられように物も置かずできているメソッド、の2部間に分かれております。 川用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 11% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 生活交換は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、非導所の設備等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の影楽 切になされているか。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 78% 0% 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 物をあまりおかないよう配慮しております。 毎週月曜日に職員会議を行い、反省点を話し合っております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 護衛向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 67% 33% 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 ファイルに丁寧に保存しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 100% 0% の職員でも分かるように、個々お子さまのファイルに記録しております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ こどもの支援に関わる職員同士で情報を共有し、日々検討しております。 利用時、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けております 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等によ 場際にアンスか 朝をしております。 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 100% 0% B定しております。 行っております。 レクリエーションは毎回工夫しております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 100% 0% 網数が異なることが多い為、常動職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時替も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 56% 44% **川坡育時の記録を取り、次回坡育内容を立てる際に活用しております。** 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 100% お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 100% 0% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション落連の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互受解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小束めに参加しております。 (育所や認定こども図、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 5らでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 100% 0% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 56% 44% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 月ごとに活動予定を発信しております。また、毎回幕日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 45 毎年2回の訓練を実施しております。 R経統計画(BCP)を策定するとともに、并常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 BCP能定あり→ 募務組続計画 (BCP) を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、募務組続計画 (BCP) の策定を検討いたします。 事前に、服薬や予防修種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 100% 0% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 0% 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 100% 0% 例集ではありませんが、 些細なことでも尼入をし、 事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。 また、 他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 前防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。 のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して 切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております 53

事業所名		名	グローバルキッズメソッド084 麗澤大学前店(パーク)			公表日 2025年2月1日
			チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点など
	T	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	92%	8%	機能支援のスペースと動能支援のスペースが分けております。要外にいるお子さまの人数や行動を考えて、活動に必要なものを機等に、出す、片付けるなどスペースを有効に落布できるように工夫しております。
		2	利用定員やこどもの状態等に対して、機関の配置数は適切であるか。	77%	23%	第二お子さまの記げや歌きが被害に入るように立ち位置を考えたり、プロアにいる職員数の施物を主失している選定で扱ける職員のことも考えたとで、プロアの職員の人員が不安しないように指揮者が延むやシフトを興奮しております。
		3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか、変た、事業所の設備等は、指書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適 切になされているか。	100%	0%	場所の名前や国家など、お子さまと此に開口して動名で述いがないように伝えることを工夫しております。名前間制に動物のイラストがあり、お子さま連にもわかりやすいように表示しております。 別・場所で展記か全ての場所にできるなど工夫しております。
		4	生活空間は、溶薬で、心地よく過ごせる環境になっているか、来た、ごども途の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	お子さまの動きに応じて場所を見えたり、物が落ちていたり内れているなど見つけたち、お子さまこその事象を伝えながら知らせる工夫をしております。 物品をす事務を行なっており、他、時からた場段などはすぐに外付か、お子さま選が安全にのはく名にせる可能になるようにもがけております。
	F	5	必要に応じて、こどもが個別の部間で場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個別の関連の表い方など、お子さまと共有する工夫をしております。関連整確されており、個別の副屋として使える状態です。
	T	6	業務改高を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く閲覧が参加しているか。	100%	0%	高し会いや気づきなど職員数で今日するよう声を設け合う工夫をしております。
	r	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を審接改議につなげているか、	100%	0%	保護者さまからの意向を共存できるようにしております。ご意見をいただいたことは、全体ですぐに拠知し、業務改善を行っております。
	#	8	職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を業務改高につなけているか。	92%	8%	期ロッインなどを通して、その場にいない機関とも共有できる工夫をしております。機関の機関で採用されたものは、すぐに振り入れて業務改善につなけております。
	۱	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改高につなけているか。	77%	23%	電理者等から伝えられている監査でご発展されたことに対し、改議策をすぐに話し合いを行いました。
	r	10	間間の資質の向上を開るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動脈の視聴による知識内上に力を入れております。
		11	潮切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	その態度機なてきる環境ができております。
	h	12	僧々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童院達支援計画を作成しているか。	100%	0%	南切に対応しております。日ぐのお子さを連の椰子や保護者さまとの痕跡などを通して、確切な計画を作成できております。
		13	児 建築発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる租間が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ でいるが、	100%	0%	お子さまや保護者と表の様子から、適切にされていると思う児童発達支援管理責任者だけでなく、お子さまの支援に関わる極高で情報が再布とまめに行っております。
	H	14	光章発達支援計画が職員際に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	その期度共有できるように拠切されている傾間等質や関節の限わりの中で、間標を連絡できるように支援しております。
	H	15	こともの地向け動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 確認しているか。	100%	0%	その物度剤知し機能できております。
		16	売業会を展開主席には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原的保守不得支援」の「本人支援」、「際販支援」、「際下支援」及び「地域支援・地域連携」の あらいなび支援が開や語言スながら、ごどもの支援に必要な場面は予想いこ記させれ、その上で、日外的な支援が指す形式されているか。	100%	0%	保護者をおからの希望などその態度用切しており、それに沿ったプログラムを譲渡えて良仲的に支援しております。
	-	17	潜動プログラムの資産をチームで行っているか。	100%	0%	1人で考えることなく観賞から広く考えを続けるようにしております。チームで放し合い、日々プログラムの企業を行なっております。
1	-	18	活動プログラムが搬変化しないよう工夫しているか。	92%	8%	レクリエーションの月間を定があり、固定をしないようにしております。 机上での活動に必要収費材や意識に準備しております。 活動が指が置かたなるように見障を向けております。 様々な活動に取り組めるように工夫しております。
1	` -	19	こどもの状況に応じて、個別活動と搬団活動を適宜服み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	全体と機制の活動をお子さぶの様子を見て限り分け支援をしております。支援計画に合わせて、支援を行なっております。
	H	20	支援開始部には韓国間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分別について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	92%	8%	職員間で内容を閲覧し分類できるように内容を具体的に説明できております。その日のリーヴーを守しに投資分割を決めて打ちてきておおります。
	H	21	支援終了後には、職員間で必ず打合社を行い、その日行われた支援の無り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	85%	15%	激動の気づきをその都要収え合い、無確なことでが簡単弁しております。
	H	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の神経・改善につなげているか。	100%	0%	クア記録などで、気づきを伝え職員可で共和しおります。
	H	23	芝類的にモニタリングを行い、児童保護支援計画の月周しの必要性を判断し、適切な見違しを行っているか。	100%	0%	要要点があればその検察期回しております。定期的にモニタリングを行っております。
		24	南南児和政支援事業所のサービス相当者会議や御将機関との会議に、そのこどもの状況をよく博解した数が野礁しているか。	92%	8%	密療机 自発性が参加しております。
	H	25	地域の保健、双筆(生治区や临力度等機関等)、障害指社、保育、教育等の原体機関と連携して支援を行う体部を整えているか。	85%	15%	 密理者だ発音が分類を整えて電真に周知しております。処理など記録を行い、情報共有しております。
	\vdash	26	例行利用や保行に向けた支援を行うなど、インクルーション搭進の観点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚	92%	8%	国際教育部が行なっております。適用部へ向いて行い、相互機能に関めております。
	H	27	高)等との館で、支援が指帯の情報共和と総互連解を設っているか。 後子時の移行の際には、小学校や物別支援学校(小学部)との値で、支援が指帯の情報共和と総互開発を図っているか。	92%	23%	旧理商院内部が行なっております。
			(28~30は、センターのが開発)			
4	١	28	地域の他の児童資達支援センターや特需児達所支援事業所等と連携を関り、地域全体の指の向上に育する取開等を行っているか。	(センターではない	いため回答なし)	
1	· -	29	第60向上を指るため、積極的に専門塞や専門機関等から動声を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではない	いため回答なし)	
	-	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーパイズや物温等を受ける場合を設けているか。	(センターでははいため間落なし)		
, i	. -		(31は、李華所のみ回答)			
		31	地域の児童発達支援センターとの連携を振り、必要に応じてスーパーバイズや軌筒等を思ける組合を設けているか。	77%	23%	密度素交換数が行なっております。
	H	32	(資用所や認定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する場合があるか。	46%	54%	他高端との点向や、地域の行車に参加している近面や波像のセンターで他のお子を高と欠席する機会がございます。
	H	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や構築について共通機能を持っているか。	100%	0%	- 送辺時や高額での送辺時に、保護者さまに様子を伝え、保護者さまの他いを提出共有しております。送辺時やhughで電話などの機能を達して、保護者さまとの情能共有を行っております。
	H		事該の対応力が向上を担る機点から、事該に対して事該支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や事該等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	69%	31%	こちらでの対応方法等を「本日の様子」として日の情報発信し、ご客庭での支援にご活用いただけるよう様かくお信えしております。
	+		湯思規度、支援プログラム、お子さを負担等について丁寧な認明を行っているか。	100%	0%	保護者を選が強にしていることや、お子を選ができてきていることなど似えております。
	\vdash		党皇発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先考虑の統兵を請求えて、こどもや家族の懲円を確認する機会を扱けてい	100%	0%	習機能発産が行なっております。
	\vdash	37	るか。 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の欧明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	十分な原明を作い、計画者とく扱んでいただいたとでサインをいただいでおります。
	\vdash		芝規的に、家族等からの子育ての指み等に対する相談に適切に応じ、国談や必要な物質と支援を行っているか、	100%	0%	国境務を発電が適時付むことがり戻す。
1	<u> </u>	39	※別の命の記憶を支援することか、保護者会等を指揮する等により、保護者所士で文流する場合を設ける等の支援をしているか、また、きょっだい時士で文流する場合を設ける等の支援をしているか。		54%	ご際端に応じて、対応させていただいております。
		40	を取げる等の火変をしているか。 こども竹葉機者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こども竹葉機者に原知し、根談や中入れがあった場合に迅速かつ機切に対応している	100%	0%	国際権民和的の規則され、対応しております。
	! -		か。 - 京都のに連携等を取行することや、HPPSMS等を活用することにより、活動概要や行事予念、連絡体制等の情報をごどもや保護者に対して発復しているか。	92%	8%	hugiこで指因のお子さぶの様子をお広えしております。毎日アメーパログで日々の活動を発揮しております。
	\vdash		個人情報の恵飲いに十分経費しているか。	100%	0%	入社所に集約項にて確認し、個人情報の複雑や認識所とこかを入れております。
	\vdash		関連のあるこどもや福蓮者との総密の経過や情報伝達のための配達をしているか。	100%	0%	優々の状況に応じて勧募を行っております。
	\vdash		「中国の心からにことも「中級者とい地を切い地域」「中級ない地域をとしていない。 李単所の対象に毛地位式を採用する等、地域に描かせた李華潔賞を振っているか。	100%	62%	ご整備に応じて、対点をせていただいております。
	+		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や承珠等に開始するとともに、発生を想定した訓練を実施して	100%	0%	毎年2回の回聴を実施しております。
	\vdash	40	いるか。 審務額経計画 (GCP) を博言するとともに、非常災害の発生に偏え、直溯的に直轄、救出その危必要な訓練を行っているか。	100%	0%	なで本語のでは、大田の人はジャル・ 名字
	\vdash		場合機能が打削(はより 宅用支するたぐむに、弁米次素の栄生に増え、定理的に、組集、加工そび他の夢な訓練を行っているか。 事前に、 原薬や子的授権: てんか人発作等のこともの状況を確認しているか。	100%	0%	ための できます。 ための できますが、 ためのできますが、 ためのできますが、 ためのできますが、 ためのできますが、 ためのできますが、 ためのできますが、 ためのできますが
,	. –		事態に、展演や予例情報、てんかん発作等のこととかな充を機能しているか。 食物アルルギーのあることもについて、関係の指示器に基づく外応がされているか。	100%	0%	間報などとかい、は知識的に思いり数性がいたがい、あります。 別の家 (予報報など まかつの)が報告と と可能しな (かります。 職員終土でも共和し、民間に対象。 が応じております。
1	-		質問アルルギーのあることもについて、関節の指示器に基づく対応がされているか。 安全計能を仲積し、安全管理に必要な時間で制度、その他の要な問題を採工ら等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	個個性になっています。 個個性になっています。 個個性でも同様し、短尾に関心、対応しております。
	-	50	安全計画を作成し、安全管理に必要以前体や関係、その他の異以前面を指しる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 こどもの安全機似に関して、薬薬等との連携が照られるよう、安全計画に基づて取締内等について、家族等へ離知しているか。	100%	0%	職場所上で上刊し、版理者とより原因とより定す。 職員所上で上刊し、版理者とより原因に、別のことがとます。
1	-		ことのの生産機能に関して、単純等との連邦が限られるよう。女主計画に着づく物理が終していて、単純等へ機能しているか。 ヒヤリシットを事業所的で共和に、再発的主に向けた方面について検討をしているか。	100%	0%	□ 回転打した (いけい) ・ 回転打した ・ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	\vdash		ヒサリハットを事業的のでお客し、両角販売に向けた方面について着針をしているか。 歯前を防止するため、電路の開始機会を機体する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	参加権にものが定が点が、空間を占くくで応いをし、参照的にしてかいがって発症されない。 ・ 一般のでは、これが、空間をしていたが、空間をしています。 ・ 一般のでは、これが、空間をしています。 ・ 一般のでは、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが
	\vdash		適用を約点するため、職員の研修機会を構成する等、適切が対応をしているか。 どのような場合にやりを得す身体内をを行うかについて、相違的に決定し、こともや複雑者に事用に十分に収明して解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	92%	8%	場所の「大学校・日本書」のことでし、大学のドルグ学のでは、場合のは上述のいるジとで、 「協議・・ 不付款性・・ 可能を書たしている場合とし、 毎件を完全行った場合には記載を行っております。また、 計画家で処理しております
		53	<i>t</i> / ₅	92%	876	

705	w=r ~		1					
事	業所名	グローバルキッズメソッド085 小針店(パーク)			公表日			
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など			
	1	利用定員が旁達支援翌等のスペースとの関係で剥引であるか。	86%	14%	温泉プロアに十分なぶさがあり港市です。			
環境	2	#何定費やごどもの状態等に対して、職員の配告試は適切であるか。	57%	43%	務員や保育主責務のある職員を必要して、人員継承を満たしております。			
(# (B)	3	生活空間は、ごどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の影楽が通 切になされているか。	86%	14%	活動プロアから高極率へと繋がる構造がおかりやすくなっております。			
報	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる場所になっているか。また、こども途の活動に会わせた空間となっているか。	86%	14%	毎日、高降を行っております。塩味放立に関しても小まめな話し会いを行っております。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の保護や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで開催を分ける等の対応をしております。			
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と無り返り)に、広く鑑賞が参画しているか。	71%	29%	定期的に会議を発揮して詰しかいを行っております。			
	7	保護者向け評価書により、保護者等の意向等を把握する機会を掛けており、その内容を果積改高につなけているか。	57%	43%	アンケート結果や、意味のコミュニケーションから保護者さまの松声を消滅し、改善できるように努めていきたいと思います。			
務改	8	職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を集務改画につなげているか。	86%	14%	職員との中の取りをしっかりと出来ていて、終礼でそれらを共称できております。			
a	9	東三衛による外部貯価を行い、貯価結果を業務改満につなけているか。	71%	29%	今後検討していきたいと思います。			
	10	職員の責任の向上を図るために、研修を受講する機会や法人の等で研修を開催する機会が確保されているか。	43%	57%	全体研修のほかに、研修動機の複数による短端内上に力を入れております。			
	11	選切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	放したいのと、活動プログラムを決定した者の正す。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したとで、児童発達支援計画を作成しているか。	86%	14%	アセスメント用紙だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお得いし、計画を作成記名もように努めております。			
	13	光重発達支援計画を作成する際には、光重発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通更解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	71%	29%	こどもの支援に関わる機能的対土で情報を共有し、日々検討しております。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	71%	29%	毎時間時、児童発達支援計画に沿った支援を心倒けており戻す。			
	15	こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 確認しているか。	71%	29%	他別等資料の記録を取り、次回等資料店を立てる際に活用しております。			
地切	16	、 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の提供する言支援」の「本人支援」、「等級支援」、「等行支援」及び「地域支援・地域連携」の ならい及び支援所用や翻塞えながら、こともの支援に参数な場合が電射に設定され、その上で、具体的な支援所指が設定されているか。	71%	29%	児童発達支援計画には、必要な場合が定差的でき、そのうえて、具体的な支援や確立修定されております。			
な支援	17	窓動プログラムの収案をチームで行っているか。	86%	14%	部し合いのと、効能プログラムを発定しております。			
の規	18	活動プログラムが固定化しないようエ夫しているか。	86%	14%	透過が必要以場合、内容を見難して安省信を総か込むようにしております。			
	19	こどもの状況に応じて、仮別活動と無阻活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さきの状況に応じて、個別改験と毎回記録を適宜配か合わせて児童発達支援計画を作成しております。			
	20	支援開始制には機関間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や夜割分削について種間し、チームで連携して支援を行っているか。	57%	43%	送師問題が異なることが多い頃、実際個員を中心に情報共和訟をあよう。記録や口頭によるコミュニケーション等で機能に努めております。			
	21	支援核子楽には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の帰り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%	透射物質も再感に異なることが多い場。 内側に実動機員を中心に情報共和巡告をよう。 記跡や口側によるコミュニケーション等で機関に努めております。			
	22	日々の支援に関して配貨をとることを徹底し、支援の検証・改高につなげているか、	71%	29%	銀物資料の記録を取り、近辺境内が終を立てる際に効用しております。			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切以昇直しを行っているか。	86%	14%	お子さきの状況や必要性に応じて被防攻発症しを行っております。			
	24	南西光和版支援事業所のサービス和当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	86%	14%	お子さ高の状況をより増殖している階級が参加性をよった別のでおります。			
	25	型域の保健、医療(生出医や協力度等機関等)、用高端は、保算、教育等の原体機関と連携して支援を行っ体制を整えているか。	71%	29%	の際に応じて復居連携しております。			
	26	例行列中で移行に向けた支援を行うなど、イングルージョン搭進の輸品から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定ごども際、幼稚園、特別支援学校(3種	71%	29%	※単二点して、適関する幼稚園や保育園の施設の方との情報計算を行なっており戻す。			
	27	部)等との間で、支援が高等の情報が具を施工を対しているか。 該学時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との意で、支援小路等の情報共和と相互等解を譲っているか。	71%	14%	例数する物理機等デイケービス事業との情報共和を認りながら、ご思望があれば学校との情報共和に繋げておいります。			
(A)	-	(28~30は、センターのが開発)						
保機関	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児者所支援事業所等と連携を指り、地域全体の長の向上に資する機関を行っているか。	(センターではないたの開発は)					
ヤタ	29	係の向上を振るため、積極的に寄門家で専門機関等から動意を受けたり、鑑賞を外部時候に参加させているか。	(センターではない					
報と	30	またのでは、1980年のように対しませた。 1980年の	(センターではない					
の連		(31は、事業所のみ間治)	(42.7 (44.0)					
	31	地域の児童祭練を提せンターとの連携を振り、必要に応じてスーパーパイズや効果等を受ける場合を扱けているか。	60%	40%	の際に応じて連携し、時間にかり率めに「効能しております。			
	32	(中国に大阪開発主張レンター)といか生物を添か、砂砂においくハーハーハーハーの目の考えている場合を示しいない。 (中国・日本の中では、中国・日本の中では、中国の中でものこともと活動する場合があるか。	43%	57%	ご意識に応じて、対応させていたがく思ります。			
	33	独身内が祖は上くて始。 (20世間からいたなど、 20世紀からできた。 20世紀からできた。 20世紀からできた。 20世紀からできたが、 20世紀が	100%	0%	巻子の連絡を用いたプラロ語の近付か、遊飲の申込者のにより広義を行って、共進策略を認めております。			
	-		29%	71%	を いんだけが (1975年) 人名からの (1975年			
	34	事該の対応力の向上を振る軽点から、事態に対して事態支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や事該等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。						
	35	複数規則、支援プログラム、お子さま負別等について丁寧な説明を行っているか。 ・ 児童発達支援計画を介成する際には、こともや複雑者の意思の尊重。こともの番系の利益の優先考慮の報点を加まえて、こともや意味の意味を機能する傾合を扱うすい。	100%	0%	ご関係に応じて、例応せていただいております。 ご関係に応じて、例応せていただいております。			
	36	8th .		0%				
	37	「児童保護支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	新基に切った「児童内養を設計機」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者で定から児童内養支援計画の明整を育ております。			
保護	38	定期的に、準限等からの子育での保み等に対する相談に激切に応じ、推談や必要な動衆と支援を行っているか。 公場の合の活動を支援することや、保護者会等を指揮する等により、保護者的士で交流する場合を設ける等の支援をしているか、また、赤ょっだい等士で交流する場合を 対策の合の活動を支援することや、保護者会等を指揮する等により、保護者的士で交流する場合を設ける等の支援をしているか、また、赤ょっだい等士で交流する場合を	100%	0%	ご問題に応じて、対応させていたがくためり戻す。			
^ 0	39	を設ける物の実施しているか。 こどもや保護者からの相談や中入れたついて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に施知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	14%	86%	ご物語に応じて、対応させていただいております。			
200 101 000	40	<i>t</i> r.	100%	0%	ご問題がありました際には、拒絶から書切に対応しています。			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を採用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとご前野子変を発像しております。また、物芸雑目にプログを作成し、高齢の様子をご確認いただける取り能みを行っております。			
	42	個人情報の取扱いに十分指意しているか。	100%	0%	入社等に振行業にて機可し、個人情報の構理や認識特別にこかを入れております。 			
	43	物害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための影響をしているか。	100%	0%	個々の状況に応じて勧誘を行っております。			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業運営を図っているか。	100%	71%	ご整盛に応じて、対応させていただいており戻す。			
	45	製造版士マニュアル、緊急時対のマニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を施定し、職員や寒珠等に発放するとともに、発生を思定した訓練を実施して いるか。	100%	0%	毎年2回の回聴を実施しております。			
	46	業務組続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	GC物定表の→ 単務線般計画 (GCP) を散定し、定期的は訓練を行っております。なし→ 定期的は訓練上放え、業務線級計画 (GCP) の能定を紛析いたします。			
	47	事前に、無辜や予防症機、てんかん飛作等のこどもの状況を機能しているか。	100%	0%	福朗財主でも共有し、把側に対めております。			
常期	48	食物アレルギーのあることもについて、医師の像示書に終づく対応がされているか。	100%	0%	職員対土でも共有し、肥富に別め、対心しております。			
89 O	49	安全計画を作成し、安全管理に必要公研除で訓練、その他必要公開をと関じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	機関性させ共称し、把側に対め、対応しております。			
功応	50	こともの安全権保に関して、家族等との連携が開与れるよう、安全計画に終づく影場内容について、家族等へ開始しているか。	86%	14%	福岡時亡でも共有し、保護者さ多への地位に関のております。			
	51	ヒヤリハットを事業所的で共有し、再業所法に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	参約者ではありませんが、売除なことでも起入をし、参算所でヒヤリバットを選択用しております。また、他参募所の犯理者とも共有する体制を拡大されます。			
	52	当待を形立するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	森側所に昇属合を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、益明所とに努めております。			
	53	どのような場合にやむを得す身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切合性・非代動性・一物性を満たしている場合とし、身体内支を行った場合には起酵を行っております。また、計画書にも反映しております			

号	業所名	グローバルキッズメソッド086 無谷店(パーク)			公表日 2025年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	非明定員が発達支援医等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	イスとテーブルを使用以外、類型に質賞しておりの要な時、出した際を適切なスペースが機能されております。
環境	2	利用定員やこともの状態等に対して、個員の配面数は適切であるか。	90%	10%	依頼や保育士政権のある福興を起連して、人員被害を激たしております。
*	3	・ 生活を開は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配産が適 切になされているか。	80%	20%	必要に応じて職間がフォローを行ねっております。
50 50	4	生活室間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか、また、こども途の活動に会わせた空間となっているか。	80%	10%	レクなどは他の考えて楽しく感ごしていただき、毎日充実していただけているとわわいます。 整理整理をして、安全に高ごせて高粱な場場に別めております。
	5	の要に応じて、こともが個別の保管で場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状态に応じてグループで顕微を分ける等の対応をしております。
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(四種較変と無り返り)に、広く電真が参加しているか。	80%	20%	実際的に企業を開催して話したいを行っております。
	7	仮議動向け評価表により、保護者等の懲円等を把握する組合を設けており、その内容を業務改画につなけているか、	80%	20%	アンケート協関や、意味のコミュニケーションから保護者さそのお声を消費し、改善できるように努めているたいと思います。
粉改	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を重務改高につなけているか。	80%	20%	志物のに企業を開催して扱いたいを行っております。
æ	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を維務改派につなげているか。	90%	10%	や機能していきたいと思います。
	10	職員の責任の向上を招るために、明修を受講する報合や法人内等で明修を禁催する報合が確保されているか。	90%	10%	会場所様のほかに、研修動画の視聴による喧嘩内上に力を入れております。
	11	適切に支援プログラムが作成、公敷されているか。	90%	10%	然したいのと、恐動プログラムを決定し公告しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと奴隷者のニーズや復讐を客談的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント開ビだけでなく、保護者さまからのご意見やお子さぶの様子をお仰いし、計画を作成出発さように関わております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	90%	10%	こどもの支援に関わる階級内土で情報を共称し、日々林材しております。
	14	光盤発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%	毎町周時、児童発達支援計画に沿った支援を心向けております。
	15	こともの施行物の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 複数しているか。	100%	0%	個別練育物の記録を取り、次国際海外辞を立てる際に活用しております。
切如	16	児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例する手支援」の「本人支援」、「寒医支援」、「寒医支援」、「豚行支援」及び「地域支援・地域連携」の は5い及び支援が得た間差えながら、こともの支援に必要な間口が選びに設定され、その上で、具体的な支援が得が設定されているか。	100%	0%	別意発達支援計画には、必要な項目が確切に選択され、そのうえて、具体的以支援外部が設定されております。
支援	17	活動プログラムの位案をテームで行っているか。	100%	0%	思したいのと、実験プログラムを決定しております。
仮供	18	活動プログラムが顕定化しないようエ夫しているか。	100%	0%	透漏が必要以場合、内容を見遠して改善点を紹か込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況に応じて、傾倒は動と機能は動を通信場合わせて児童保達支援計画を作成しております。
	20	支援関始制には機器間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分別について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	70%	30%	認動時間が異なることがかい頃、常物職員を中心に情報共和記号をよう。記録や記録によるコミュニケーション等で機能に努めております。
	21	支援核子楽には、職員間であず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	70%	30%	遊師類も同様に責なることが多い場。同様に架動機長を中心に情報共有出来るよう。記録や口様によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改満につなげているか。	100%	0%	個別機関等の記録を取り、次回機関内容を立てる際に活用しております。
	23	立期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切以月直しを行っているか。	100%	0%	お子で表の対抗や必要性に応じて確認な場合しを行っております。
	24	南吉児和談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより期報している機関が参加出来るように努めております。
	25	型域の保健、医療(生治医や協力医療機能等)、障害指征、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	90%	10%	必要になって表現を表しております。
	26	例行利用で移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の構成から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援外接等の情報共青と私互理解を振っているか。	90%	10%	必要に応じて、適需する必需素や保育器の機関の方との情報共有を行なっております。
	27	就学時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学報)との際で、支援小路等の情報共有と模型機能を誤っているか。	90%	30%	州設する股頭場等デイワービス事業との情報共有を限りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げて近いります。
(R)	28	(28~30は、センターのみ関係)			
(N)		地域の他の児童発達支援センターや降害児差所支援事業所等と連携を限り、地域全体の保の向上に育する取組等を行っているか。	(センターではない	9~ではいたの間等なし)	
提者	29	発の向上を図るため、積極的に専門家の専門権関等から動業を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではない	ため回答なし)	
と の 連	30	型域の児童発達支援センターとの連携を殴り、必要に応じてスーパーパイズや効果等を受ける場合を殴けているか。	(センターではない	いため回答なし)	
辨	31	(31は、事務所のみ間前)			
		市域の児童発達支援センターとの連携を限り、必要に応じてスーパーパイズや助高等を受ける組合を設けているか。	71%	29%	必要に応じて連貫し、研修にも小卓のに参加しております。
	32	個有所や昭定ことも題、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこともと活動する機会があるか。 	40%	60%	ご知識に応じて、別名させていたがくためり表す。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	寄すの連絡機を用いたケア記録の送付や、最終の中し戻りにより伝達を行って、共通機能を認めております。 -
	34	事族の対応がの向上を顕る動成から、事族に対して事族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や事族等の参加できる研修の検査や情報提供等を行っているか。	70%	30%	こちらての対応方法等を『本日の格子』として日々間解発者し、ご家庭での見様にご話高いただけるよう能かくお仮えしております。
	35	温度調度、変援プログラム、お子さま負別等について丁寧な説明を行っているか。 ・ 型盤発達支援計画を作成する際には、こともや保護者の想象の資金。こともの最高の利益の優先考慮の概点を指ええて、こともや家族の意向を模算する場合を設けてい	90%		ZWWICKOT, MACHTINEMIT.
	36	ক <i>া</i> -	90%	10%	THECOUT MOCHTINEST.
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の影明を行い、保護者から児童発達支援計画の問意を得ているか。	100%	0%	新雄に出った「代皇帝権を開計機」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者とよから党皇弟達支援計構の明確を得ております。
保護者	38	工期的に、新族等からの子育での紹み等に対する相談に適切に応じ、監獄や必要な動揺と支援を行っているか。 公局の命の遺動を支援することで、保護者会等を開催する等により、保護報明士で決済する場合を設ける等の支援をしているか、また、赤ょっだい明士で交流する場合	90%	10%	ご問題に応じて、村のさせていただっております。
^	39	を設ける等の支援をしているか。 こともや保護者からの程数や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こともや保護者に原収し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ港切に対応している	100%	30%	ご問題に応じて、対応させていただいております。 ご問題がありました際には、高速がご開切に対応しています。
250 107 109	41	か。	100%	0%	「一点のボック・ルン・ルールール」という。
	41	東部がLeiの時を採行することで、HPPSMO号を出用することにより、高額制度や行事する。連絡体制等が開発をこともで採用をよりしく発信しているか。 電人指数の関係いて→分解費しているか。	100%	0%	アルビル地域アメリカの人もアルカーの人が大きない。特別地域のプログラスでは、地域のマルバラルが、地域のアルバラルができます。 入社域に指摘さて専門、個人情報の複雑や機能的とこかとれております。
	43	第三のあることもや複雑なの様態の経過や情報伝達のための影響をしているか。	100%	0%	個々の世紀に応じて影響を行っております。
	44	事場所の行事に包括住民を紹介する等、地域に関かれた事場連盟を指っているか。	100%	30%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、移形マニュアル、移命症対応マニュアル等を策定し、鑑賞や家族等に関定するとともに、発生を想定した訓練を実施して	100%	0%	毎年200の開発実際しております。
	46	いるか。 - - - - - - - - - -	100%	0%	SC中変支持つ・単原線統計策(SCグ)を放支し、支那的は訓練を行っております。なし・・支那的は訓練に加え、業務線統計策(SCグ)の規定を続付いたします。
	47	事前に、振順や予防接種、てんかん発作等のこともの状況を機関しているか。	100%	0%	М ЛМУ-СЕНЯЦ. РМСУРОСВОЕТ.
#	48	食物アルルギーのあることもについて、関節の指示者に基づく対応がされているか。	100%	0%	関連的子でも特に、把握に対応、対応しております。
70. 15 19	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や関係。その他必要な問題を描じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	概念明さても科性し、把握に対心、対応しております。
対応	50	こともの安全機能に関して、液体等との連携が振られるよう。安全計画に繋づく影響内部について、液体や心臓知しているか。	90%	10%	職場所とても共和し、保護者ささへの際切に知らております。
	51	ヒヤリハットを事業所介で共有し、再発粉点に向けた万瀬について検討をしているか。	90%	10%	学的者ではありませんが、
	52	歯性を粉止するため、電具の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか、	90%	10%	虚明所止が自然を設置するとともに、実際的な全体研修を行ない、虚明所止に努めております。
	53	どのような場合にやむを得す身体的をを行うかについて、組織的に決定し、こともや保護者に参称に手がに説明して解を得た上で、児童発達支援計画に配載しているか。 か。	100%	0%	協議・平代動性・一時性を素たしている場合とし、身体内変を行った場合には起源を行っております。また、計画家でも放映しております

事	前名	グローバルキッズメソッド087 上尾店(パーク)	,		公表日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が保建支援要等のスペースとの関係で連切であるか。	88%	13%	用他に合わせたプロアをご用意しております。
環境	2	利用定員やこどもの対態等に対して、職員の秘密数は適切であるか。	50%	50%	物質や條件主資格のある機能を凝固して、人間基準を推定しております。
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	3	生活指数は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の設備等は、跨額の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配達が適 切になされているか。	75%	25%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
50 50	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。	75%	13%	毎日、清解を行っております。環境設定に関してセクネの体話しないを行い、 季節度が分かるようにするなど工夫しております。
	5	必要に応じて、こどもが解除の部屋で場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで設度を分ける等の対応をしております。
	6	単級改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と限り返り)に、広く福貢が伊斯しているか。	63%	38%	定期所に会議を開催して試したいを行っております。
	7	保護権向け持備表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を募集改議につなげているか。	75%	25%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお押を活動し、改善できるように努めているたいと思います。
務改	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を募務改高につなけているか。	88%	13%	実際的に会議を開催して話し合いを行っております。
26	9	第三者による分割貯価を行い、貯価結果を業務改善につなげているか。	88%	13%	今後続けていきたいと思います。
	10	構真の責任の向上を図るために、相信を受講する機合や法人内等で研修を開催する機合が確保されているか。	88%	13%	全体研修のほかに、研修施の視聴による知識向上に力を入れております。
	11	環切に支援プログラムが作成、公長されているか。	100%	0%	概義会議を行い、内容の共称と理解できる様に例を出しながら理解できる様に拠めております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを選切に行い、こどもと保護者のニーズや復居を名録的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	75%	25%	他の階級と良く話をしています。 祝藤市さぶからの意見を取り入れながら「今後」に着口し、行っております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共進理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ	50%	50%	他の機能と抱く払をしています。傾然支援計画器の小院と具体時を交えながら、新職員に共有と理解を使しております。
	14	ているか。 児童祭達支護計画が職員際に共有され、計画に沿った支護が行われているか。	75%	25%	語をして、エ先しております。全職政が保証支援計畫所を見ることができ、活論する時間を扱いております。
	15	へは一定などの他の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動検察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	75%	25%	UNICE、商く機能しております。特別的結婚の機能を維持を担けることの企業で構成しております。
38		報節しているか。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	100%	0%	第四年代 (京) (中央) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京
切な支	16	ねらい及び支援内容も請求えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		25%	を構成できません。 かいっかい はい はい はい ない かい かい かい たいかい かい
類の類	17	電動プログラムの位策をチームで行っているか。	75%		
gt	18	電動プログラムが開走化しないよう工夫しているか。	88%	13%	2カ月散からレク内限を延し合いを行っております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	88%	13%	補助のやり方成は子さまのその日の様子で判断し行っております。
	20	支援開始前には臨្間間で必ず打合せを行い、その目行われる支援の内容や役割分別について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	63%	38%	職務所士でよく話し合っております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	38%	63%	運動物域が適うためLNEで機関しております。活動の呼吸を行い、次間に繋げるように行っております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改画につなけているか。	88%	13%	銀物療育時の起源を抱り、次国療育が終を立てる際に次明しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切収見直しを行っているか。	88%	13%	お子さまの成長に合わせて送社の際にお加しを関手取り扱いております。
	24	海害児和政支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参重しているか。	75%	25%	資料を事前に作成し材砂しております。会議が円滑にかつより良い様に行っております。
	25	市場の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	日々、地域サービスや行政、保育票・幼様期・他社の障害能社サービス等と起したい行っております。
	26	例行列中で移行に向けた支援を行うなど、インクルーション接通の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援が指等の情報共有と相互理解を振っているか。	88%	13%	运設の際や日々の様子を電話にて共将・模互理解を行っております。
	27	就学時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支護外容等の情報共有と報互理解を狙っているか。	88%	50%	保護教会派を通じて共将を行っております。
体	28	(28~30は、センターのみ関係)			
間	20	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援参専所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取縮等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)	
保護	29	第の何上を倒るため、積極的に専門家や専門機関等から助素を受けたり、職員を外部研修に参加させているか、	(センターではない	いため回答なし)	
名 と の	30	地域の児童発達支援センターとの連携を握り、必要に応じてスーパーパイズや物度等を受ける場合を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)	
遊游	31	(31は、事業所のみ回答)			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや物言等を受ける報合を設けているか。	60%	40%	専門教会議と経済教会議、日々の情報共再の際に行っております。
	32	保育所や物変ごども展。幼稚園等との交流や、地域の中で他のごどもと活動する機会があるか。	38%	63%	ご要談に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や保憩について共通地解を持っているか。	88%	13%	毎日の延起で、食くお加ししております。保育所・幼稚園等からの共和学項から保護者さまと共通整務を行っております。
	34	事族の対応力の向上を図る観点から、事項に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	ご家庭でも近来るお子様への関いや市役所が開催される研修などはお伝えしております。
	35	適思規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	その態度、保護者とまには料理を説明しております。また、規則時以外でも料理をその態度なえてしております。
	36	党監察支援計画を作成する際には、ごどもや保護者の意思の意思、ごどもの最高の利益の優先考集の報点を請求えて、ごどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 るか。	100%	0%	現上 「今後」をデーマとして設定しつつ。 毎回を最後死亡の成しております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の明意を得ているか。	100%	0%	関上 サインをいただく際に説明を行い、同意をしていただいでおります。
保	38	支期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 国談や必要な効果と支援を行っているか。	100%	0%	別上 電話や液形の際に関節になび、必要になびて酸酸や電話等の学校で物意支援を行っております。
教	39	父用の合め添動を支援することや、保護者合等を開催する等により、保護者所士で交流する機会を設ける等の支援をしているか、また、きょっだい時士で交流する機会 を設ける等の支援をしているか、	50%	50%	ご要値に応じて、対応させていただいており来す。
о В	40	を取りらず保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に施知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ連切に対応しているか。 か、	100%	0%	ご類似に対して丁寧に政治しております。連絡をいただ点次端、対応をしております。また機能が外から際の対応も全機能に共和し、毎日、機能に応じております。
10	41	が、 定期的に透情等を発行することや、HPPSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、透明体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	現時的に、アメーバプログの小容を開係条柄に上始なります。
	42	個人情報の地貌いに十分態度しているか。	100%	0%	保護者とその開意をその制度いただいております。
	43	 南高のあることもや保護者との意思の改進や情報伝達のための記事をしているか。	100%	0%	NJOP日々の承見、傷態での電話や電話等で行っております。
	44	事業所の行事に毛延位党を招待する等、地域に関かれた事業高密を図っているか。	100%	63%	ご整備に応じて、対応させていただいております。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、防犯マニュアル 感染症対応マニュアル等を検定し、職員や家族等に関加するとともに、発生を想定した訓練を実施して	100%	0%	関節に行い、アメーバプログを返して様子を共和しております。また、延辺時から間に労働を共和しております。
	46	いるか。 単語機能性機 (GCP) を推定するとともに、拝架以影の発生に構え、定期的に直撃、粉出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	会議に指導期限と相似、有事の際に配けるように行っております。
	47	場合地部以間(ロイ)で表皮を与じてこせた。非外の原が内室に強化。 足様が、足様が、足様が、 単純に、筋薬や子が原理。 てんかん 条件等のことものなどを発揮しているか。	88%	13%	係人ファイルや知識者できたの情報共和により行っております。
#	47	事前に、原理や予約課種、てんかん条件等のこともの対立を確認しているか。 食物プレルギーのあることもについて、医療の搬売店に軽づく対応がされているか。	75%	25%	第四人グイルが中級者のほとない物のペリニとがはくためがあり、 食物アルドチーのお子を主がいらっしゃらないため、外交はしていないものの、マニュアル等を含めアルルチーの有能をおす確認しております。
70 10) 100			75%	25%	国際・小中子・心かけきをかいらうとからないため、別はなしくいないものの。マニュアル争を書めアンルギー・心中無をのが看知しくおります。 国際・特殊が登録という結婚を指して、日々改善に知ります。
の 対	49	安全計画を作成し、安全管理に参享収研修や訓練、その他の要収機器を構じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			調像・研修や金融とから影響を通じ、日々改善に残りております。 類的、日々の延迟の際に関係を共和しております。
15	50	こどもの安全権保に関して、家族等との連携が限られるより、安全計画に基づく販売内容について、家族等へ海知しているか。	100%	0%	
	51	ヒヤリハットを事業所的で共有し、再発励之に向けた方態について検討をしているか。	88%	13%	物別しかがつつております。その際、内部に金融資料等では、特点素を検討実行しております。
	52	歯肉を防止するため、職員の研修権会を物致する等、適切な対応をしているか。 どのような場合に下むを寄す合体内変を行うかについて、船間的に決定し、ごともや保護者に事事に十分に終明して新を際たまで、児童発達支援計画に配着している	75%	25%	福明所定券員の全設置するとともに、実際的な金融研修を行ない、最初所立に知っております。
	53	から	100%	0%	銀房支援計画書の内容治め、身体内家を行つ事業をお伝えしております。また、全職員にも共有を行っております。

3	事業所名	グローバルキッズメソッド088 大間々店(パーク)				
		T-v MED	toks .	=	公表日	
	1	チェック項目 料両直貨が発達支援等やなベースとの原稿で寄布であるか。	(はい	いいえ	以高口味、上大ししいの点がと 悪能なわけたフロアをご開催しております。	
	-	対明定員が、用産人は至立でなく、人、心の何明へ、彼が、ながか。 利用支援やこともの対象等に対して、職員の配置側は続けてあるか。	50%	50%	物理や解析主義権のから機関を配置して、人民被害を満たしております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の股揚等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配度が適	75%	25%	場示物は最終態にして子どもの字の部分が、場所に辿っております。	
1	-	切になされているか。 生活変数は、溶雑で、心地よく痛ごせる障碍になっているか、浮た、こども連の地獄に合わせた窓間となっているか。	75%	13%	毎日、高裕を行っております。 塩物放金に関してかりまめん話したいを行っております。	
1	5	正本が回転。 非常 い、 がちょうち レ ちゃねにな ソ いっかい また。 こって物がの動い みりがた 対してが起くな ブ いっかい の夢に応して、こともが解析の語言で場所を使用することが認められる場場になっているか。	100%	0%	クールグウンや検索を創除に適切に適切できております。	
	6	の夢に切りく、ことなり無効の場合で場所を使用することが認められる場所になっているか。 事務の選手を選かるための POCA サイクルは機能さと振り返りに、広く電影が参加しているか。	63%	38%	サログルのでは、100mmのようによります。 毎日の後の対プラーディングを作り、内容を全観度に共和しております。毎日クカのニーディングで観点の共和事項はその日のつちに共和しております。	
			75%	25%	************************************	
3	7	保護者向いが投票により、保護者等の意向等を把着する組合を設けており、その内容を審視改画につなげているか。			アンプード開発や、影響のレニューノーフェイルで知識的と思いたができます。 毎日 ミーティングを行なっております。	
ě	·	職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を審査改画につなけているか。	88%	13%		
	9	第三者による外部呼吸を行い、呼吸結果を集務改善につなげているか。	88%	13%	が自然していきたいと思います。	
	10	職員の責任の向上を指るために、研修を覚護する縁会や法人内等で研修を開催する場合が確保されているか。	88%	13%	全番目的のはかに、研修製造の複雑による知識向上に力を入れております。	
	11	謝切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	国に高いの上、海線プログラムを表定し公開しております。	
	12	個々のこともに対してアセスメントを適切に行い、こともと保護者のニーズや課題を客観的に分析したとて、児童発達支援計画を存成しているか。	75%	25%	アセスメント両部だけでなく、保護者さぎからのご意見やお子をお称りい。 計画を作成記をよって写めております。	
	13	「産業発表支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こともの支援に関わる機関が共通理解の下で、こともの最高の利益を判案した検針が行われているか。	50%	50%	こともの支援に関わる職員時亡で情報を共得し、日々勢がしております。	
	14	児童角連支援計画が観異期に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%	物物物は、光型発表技術部に沿った支援を心保けております。	
3	15	こともの場所可動か状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども合むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 種間しているか。	75%	25%	銀物等等的の記憶を載り、次回等等が存在立てる際に活用しております。	
t	16	理路発を開計画には、児童発達支援がドラインの「児童発達支援の原料すべき支援」の「本人支援」、「部本支援」、「将市支援」及び「地域支援・地域連携」の おちいなび支援内部を指導スながら、こともの支援に必要な場面が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	党権発表別計画には、必要必須は分割がに選択され、そのうスで、具体的な支援的信が設定されております。	
8	·	増加プログラムの立葉をチームで行っているか。	75%	25%	協し会いのと、改勝プログラムを改定しております。	
4	18	活動プログラムが限定化しないよう工夫しているか。	88%	13%	改集が必要が場合、内容を見難して安省点を総か込むようにしております。	
	19	こともの状況に応じて、個別活動と機団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	88%	13%	お子さまの状況に応じて、個別な動と機能な動を選択協力のけて児童発達見難計画を作成しております。	
	20	支援開始前には機関間であず打合せを行い、その日行われる支援の内容や控制分別について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	63%	38%	送物機が異なることが多い場。 宗物職員を中心に情報共和巡安るよう。 LINEによるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の服り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	38%	63%	会議に参加していない機関にも情報共有できるようにLIMEでミーティング内容を流しております。支援終す後は、振り返りミーティングで描し合いをしております。 終了時間前に、その日の収省会をしております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の特証・改善につなけているか。	88%	13%	銀物等身時の起送を抱り、次加等身内部を立てる際に活用しております。	
	23	芝類的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	88%	13%	お子さまの状況や必要性に応じて動物以発生しを行っております。	
	24	勝憲形閣談支援事業所のサービス担当者会議で関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した復が参属しているか。	75%	25%	お子さまの状況をより増殖している機関が参加出来るように努めております。	
	25	地域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害器は、保育、教育等の商係機関と連携して支援を行う体制を加えているか。	75%	25%	心際に応じて復居連携しております。	
	26	例行利用や終行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の総点から支援を行っているか、正た、その際、保育所や認定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚 部)等との間で、支援が指导の情報共有と概互理解を限っているか、	88%	13%	心薬に応じて、通電する幼稚園や放育園の相関の 5との情報共有を行なっております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学舗)との第で、支援外容等の情報共有と相互理解を誤っているか。	88%	50%	併設する放譲等等デイサービス事業との問題共再を図り以がら、ご製造があれば学校との情報共和に繋げて高いります。	
1	28	(28~30は、センターのみ関係)				
1		地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事場所等と連携を招り、地域全体の祭の向上に負する取組等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)		
な 29 新の身上を得るため、機能的に有性等や専門機関等がも固定を受けたり、職員を有限時間に参加されているか。 (センターではないたの間等なし)						
4	30	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動演等を受ける概念を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)		
1	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動演等を受ける概念を設けているか。	60%	40%	必要に応じて連携し、研修にも少まめに参加しております。	
	32	保育所や写定ことも風、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこともと活動する機会があるか。	38%	63%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
	33	日頃からこともの状況を保護者と伝え合い、こともの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	88%	13%	日やの様子についてパグ等での伝統は行っておりますが、お子さまの変化や物質内指についてもつタレこまのに共有できるよう別のたいと思います。	
	34	事項の対応力の向上を図る観点から、事項に対して事項支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や事項等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	ご物味の対応について傾倒でわれなえしております。	
	35	運営規模、支援プログラム、お子さま負担等について丁華な説明を行っているか。	100%	0%	ご整備に切りて、対応させていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先考率の結点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する場合を設けているか。	100%	0%	ご要能に応じて、対応させていただいております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか、	100%	0%	版事に知った「伊皇 別 達克護計画」を示しながら支援外部の説明を行い、保護者さまから茂皇別達克護計画の明章を何ております。	
4	38	定期的に、家族等からの子育ての協力等に対する相談に適切に応じ、国際や必要な動衆と支援を行っているか。	100%	0%	ご要能にのじて、対応させていただいております。	
4	39	父母の命の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者時士で交流する場合を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい時士で交流する場合 を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご物語に切じて、対応させていただいております。	
	40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	ご関節がありました際には、迅速かつ側切に対応しています。	
-		支援的に連携等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに落動予定を発情しております。また、物質専日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける歌り組みを行っております。	
	42	個人情報の現扱いに十分協意しているか。	100%	0%	入社博に毎的商にて確認し、個人情報の保護や認識防止にかを入れております。	
	43	商者のあることもヤ保護者との意思の改造や情報伝達のための配害をしているか。	100%	0%	傷やの状況に応じて勧減を行っております。	
	44	事場所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業連貫を回っているか。	100%	63%	ご要領に応じて、対応させていただいております。	
	45	製成所はマニュアル、製金時対応マニュアル、粉形マニュアル、粉刷を対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に削加するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか、	100%	0%	マニュアルに関しては少しずつ独倒しております。実際にシミュレーションしてみる場合を増やしていきたいと思います。	
	46	要長額総計画 (BCP) を原定するとともに、井本災害の発生に備え、定期的に直轄、仮出その他の要な訓練を行っているか。	100%	0%	のご何変あり〜 業務総材計画(pCO)を第支し、支援的な訓練を行っております。なし→ 支援的な訓練に加え、業務総材計画(pCO)の施支を材がいたします。	
	47	事品に、服業や予約接種、てんか人発作等のこどもの状況を確認しているか。	88%	13%	会職員で共通知識をむてるよう努のでおります。	
3	48	食物アレルギーのあることもについて、現務の傷示器に基づく対応がされているか。	75%	25%	アルルギー出際地しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や回線、その他必要は簡素を描しる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	周週 月上でセドラし、把側に対め、対応しております。	
3		こどもの安全権様に関して、家族等との連携が限られるよう。安全計画に集づく取扱内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	間周門士でも共有し、保護者さそへの間切に関わております。	
	51	ヒヤリハットを事業所作で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	88%	13%	学物像ではありませんが、無限なことでも記入をし、季等所でヒヤリハットを選出外有しております。また、他学業所の管理者とも以有する体制を整えております。	
	52	虚物を防止するため、機関の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	75%	25%	虚物防止委員会を設置するとともに、定期可な会保持を行ない、虚物防止に努めております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体何未を行うかについて、知識的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に投明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	切記性・肝代酸性・一時性を増たしている場合とし、身体物象を行った場合には記録を行っております。 また、計画者にも放映しております	
				1		

事業所名		グローバルキッズメソッド089 深谷店(パーク)			公表日 2025年2月1日		
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
	1	利用支責が発達支援空等のスペースとの関係で適切であるか。	88%	13%	用途に合わせたプロアをご用意しております。		
17		利用定員でごどもの状態等に対して、職員の配置数は謝切であるか。	100%	0%	日々甲辿の人運搬の人と欠代で出来ている面めの牌が、1件1で見た方がいい子には、職員がついております。		
6	3	生活回動は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配理が適 切になわれているか	75%	25%	たない個所にはしっかりとした対策をしております。		
5		生活空間は、清潔で、心地よく通ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に会わせた空間となっているか。	75%	0%	毎日、消降を行っております。 塩味放定に関しても小まかな部し合いを行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の前壁や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	関連関連が出来ております。		
	6	事務改議を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く機関が参加しているか。	100%	0%	実際的 に会議を特備して私心を行っております。		
	7		100%	0%	アンケート結果や、意味のコミュニケーションから保護者さまの効率を測解し、改善できるように努めているだいと思います。		
36 8 25		職員の意見等を把握する機合を設けており、その内容を業務改高につなげているか。	100%	0%	支那所に会議を開催して払いた行っております。 -		
a		第三衛による外部評価を行い、評価協業を要務改派につなげているか。	75%	25%	今後終けしていきたいと思います。		
	10	職員の責張の向上を捌るために、研修を受講する総合や法人内等で研修を開催する総合が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修施術の視眈による知識内上に力を入れております。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公案されているか。	100%	0%	あしたいのと、活動プログラムを交叉し込着しております。		
	12	個々のこともに対してアセスメントを選切に行い、こともと保護者のニーズや探聴を名談的に分析したとで、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント用紙だけではく、保護者を正からのご教見やか子を走の様子をお得いし、計画を各域記憶をよって努めております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ	100%	0%	こどもの支援に関わる階級対土で情報を共和し、日々林封しております。		
	14	ているか。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	100%	0%	それぞれの影響の状態に影響した対応やレクリエーションをしております。		
	15	/ 本語の意义(2011 MRV MRX(MRV トリア) いい 3 MRV トロ イルス(30 / 1) パイン・ジン・ こどもが適応引動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の打動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	100%	0%	(根別等等所の心間を削り、次回等等が呼を立て本部に満世しております。		
3	-	報節しているか。 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原明すべき支援」の「未入支援」、「常筋支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	労働権基項指揮には、必要な項目が運動で運動を行、そのつえて、資料的な運動や指字数字を打ており戻す。 ・		
t 2	-	ねらい及び支援内容も請求えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	型に合いのと、効果プログラムを記すしております。		
51 0	17	3数プログラムの位置をチームで行っているか。					
9	18	滋動プログラムが微変化しないよう工夫しているか。	100%	0%	レタリエーションを確々な閲覧で指しております。		
	19	こともの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	おする名の状況に応じて、銀際温泉と集団信仰を連貫線がみたけてで産業を表現計画を作成しております。		
	20	支援開始期には職員間で必ず打会せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出動物が対なることが多い項。 常動館員を中心に簡単共和出来をよう。 影響や口頭によるコミュニケーション等で機能に努めております。		
	21	支援教子後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	遺跡報告内積に異なることが多い場、同様に常動電員を中心に情報片料出来るよう。記録や口機によるコミュニケーション等で機能に努めております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改高についけているか。	100%	0%	銀物資料の配換を取り、次回等剤が終を立てる際に満用しております。		
	23	芝用的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切な月直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて破物の発慮しを行っております。		
	24	海害児樹族支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した教が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより薄頼している種類が参加が考えたと、禁めております。		
	25	地域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて衛星連携しており戻す。		
	26	相行項目や終了に向けた支援を行うなど、インクルージョン装置の構造が与支援を行っているか。また、その際、保育所や認定ことも際、幼園區、特別支援学校(幼園 部)等との間で、支援外容等の情報共将と衛立理解を譲っているか。	88%	13%	必要に応じて、通信する幼稚園や解園の問題の方との情報共年を行なっております。		
	27	裁学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学箱)との館で、支援小容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	例数する故障機等デイサービス事業との情報共再を担りながら、ご弊望があれば学校との情報共和に助けてよいります。		
9	28	(28~30は、センターのみ関係)					
r T		地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の長の向上に資する取組等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)			
2	29	毎の向上を抑るため、植植的に専門薬や専門稚師等から助変を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではないたの間等なし)				
0		地域の児童発達支援センターとの連携を握り、必要に応じてスーパーパイズや物高等を受ける機会を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)			
8		(31は、事業所のみ関係)					
		地域の定盤発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助高等を受ける報会を設けているか。	86%	14%	必要に応じて連携し、研修にも少率めに参加しております。		
	32	保育所や뗙正こども風、幼稚園等との交流や、物域の中で他のこどもと活動する場合があるか。	50%	50%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの完建の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の機能を応いたクプ犯罪の設計や、徹底の申し送りにより伝達を行って、共通機能を定めております。		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	88%	13%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発養し、ご家庭での支援にご活際いただけるよう極かくお仮えしております。		
	35	運思規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご整備に切じて、対応させていただいております。		
	36	光盤発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の使先考集の総点を加まれて、こどもや寒族の他内を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご物質に切じて、対応させていただいております。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内部の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか、	100%	0%	版事に知った「伊皇発達支援計画」を示しながら支援外容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の問意を得ております。		
9	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、関談や必要な動策と支援を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。		
4	39	父母の命の活動を支援することで、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか、また、きょうだい何士で交流する機会 を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要能に応じて、対応させていただいております。		
2 2	40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に開始し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 か。	100%	0%	ご類似がありました際には、洗池かつ側切に対切しています。		
9		芝期的に連領等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の清報をこどもや保護者に対して発復しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発情しております。また、物質単白にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける歌り組みを行っております。		
	42	個人情報の取扱いに十分能奪しているか。	100%	0%	入社時に延行着にて確認し、個人情報の保護や商売的によりを入れております。		
	43	海高のあることも中保護者との意思の疎通や情報伝達のための配達をしているか。	100%	0%	保々の状況に応じて勧請を行っております。		
	44	事業所の行事に地域性民を紹介する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	75%	ご事態に応じて、対応させていただいでおります。		
	45	事故所止マニュアル、緊急時対応マニュアル、移形マニュアル、移応定対応マニュアル得を策定し、鑑賞や豪族等に開始するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか、	100%	0%	毎年2回の部隊を実施しております。		
	46	国務陽統計画 (GCP) を策定するとともに、并来災害の発生に備え、定期的に避難、依出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	の公開定あり→ 暴発機能計画(BCO)を架定し、支限的な回線を行っております。なし→ 支限的な回線に加え、業務機能計画(BCO)の施定を検討いたします。		
	47	事前に、振順や予例技種。 てんかん発作等のこどもの状況を機能しているか。	100%	0%	電路的立ても共有し、把握に基めております。		
3	48	食物アルルギーのあることもについて、関節の指示器に基づく対応がされているか。	75%	25%	電温時立ても共有し、把意に努め、対応しております。		
9	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を構じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	88%	13%	風いところが呼音なお子さまが多いので、その点の影響を検討しております。		
9		こどもの安全機能に関して、等落等との連携が振られるよう。安全計画に被づく取組内容について、事務等へ周知しているか。	88%	13%	機関所式でも共和し、保護者ささへの間切に知らております。		
	51	とヤリハットを事業所がで共有し、再発防点に向けた万策について検討をしているか。	88%	13%	学的集ではありませんが、長期なごとでも記入もし、事業所でヒヤゾハットを連盟共和しております。また、告等業所の指揮者とも共有する体制を指えております。		
	52	衛作を形立するため、職員の研修機会を機能する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	歯が所述を異合を設置するとともに、支援的な金券等級を行ない、 歯符所とに対っております。		
	53	どのような場合にやむを得ず身体有来を行うかについて、相違的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に起棄している か。	100%	0%	切迹性・事件動性・一時性を推たしている場合とし、身体内をを行った場合とは記録を行っております。 走た、計画館で必要的しております		
		I			1		

事業所名		グローバルキッズメソッド091 袖ヶ浦店(パーク)			公表日 2025年2月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	1	利用定員が保建支援支等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	用紙に合わせたプロアをご用着しております。	
環境	2	利用支貨やこどもの状態等に対して、職員の配差数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士員報のある機員を配置して、人員秘事を確定しております。	
*	3	生活を開せ、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の影響が適切になされているか。	100%	0%	砂奈に応じて職員がフォローを行なっております。	
20 50 68	4	************************************	100%	0%	相日、清解を行っております。 塩味放生に関しても小体の心話したいを行っております。	
	5	必要に応じて、こともが個別の部間や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで能態を分ける特の対応をしており来す。	
		業務改善を進めるための POCA サイクル(口標設定と無り返り)に、広く福祉が参加しているか。	100%	0%	実際的に企業を開催して話したいを行っております。	
	7	保護者向け持備表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を募集改議につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、遺跡のコミュニケーションから処理を計画し、改善できるように努めていきないと思います。	
業務	8	「	100%	0%	芝物のた金銭を開催して関心から行っております。	
改善	9	第二者による外部物を行い、評価協業を暴発さ高につなけているか。	100%	0%	ウ機関リているたいと思います。	
			100%	0%	会場所のおかて、明朝整備の課題による処面向上に力を入れております。	
	10	職員の前員の向上を図るために、研修を覚護する機会や法人内等で研修を開催する機会が機能されているか。			よか可能のながた。 切り裏面のな数により配金がよしてものます。 然し合いのと、数数プログラムを完定し合致してもります。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公復されているか。	100%	0%	80-00-00元。48-01-02-02-03-03-03-03-03-03-03-03-03-03-03-03-03-	
	12	個々のこともに対してアセスメントを選切に行い、こともと復議者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 児童発達支援計画を介成する際には、児童発達支援管理任義だけでなく、こともの支援に関わる職員が法理解の下で、こともの最高の利益を考慮した検討が行われ	100%	0%		
	13	ているか.	100%	0%	こともの支援に関わる機関時亡で情報を共有し、日々特計しております。 -	
	14	児童宗達支援計画が職員際に共有され、計画に沿った支援が行むれているか。 こどもの適応行動の状況を、信事化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動域解収とも含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	100%	0%	号号等の 発電発送を対する (1997年) (1997年) (199774) (1997年) (199774) (199774) (199774) (199774) (199774) (19977	
18	15	確認しているか。	100%	0%	(銀物等角時の記録を取り、次間等等内容を立てる際に返用しております。	
切な	16	児童発展実践計画には、児童発展支援サイドラインの「児童発展支援の原例は不得支援」の「本人支援」、「確保支援」、「保行支援」及び「地域支援・地域連携」の おらい及び支援内容も高されながら、こともの支援に必要な同位が増加に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	党権機能支援計画には、必要必須口が適切に選択され、そのうスで、具体的な支援的信が設定されており高す。	
類の	17	活動プログラムの位案をチームで行っているか。	100%	0%	試し点いのと、効能プログラムを改定しております。	
供供	18	溶動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要以降点、内容を見重して政备点を認め込むようにしております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と無国活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況にないて、個別な数と機能な数を適別組み合わせて光盤発達支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には韓国間で必ず行会せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出物時間が異なることが多い場。 不動態員を中心に消除共和出来るよう。 記跡や口頭によるコミュニケーション等で構図に現めております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	港動物類も開修に買なることが多い場。同様に取物機関を中心に清勢共和出来るよう。記録や口頭によるコミュニケーションやで機関に努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改薬につなけているか。	100%	0%	他別等資料の起源を取り、次記等資料信を立て各際に活用しております。	
	23	支期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見慮しの必要性を判断し、適切な見慮しを行っているか。	100%	0%	お子さ書の状況や必要性に応して確切な規範しを行っております。	
	24	南吉児和談支援李専所のサービス担当者会議や招待機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が伊難しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより機関している職員が参加回収をよって努めております。	
	25	地域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて測定使用しております。	
	26	例行利用や紹介に向けた支援を行うなど、インクルーション構造の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や可定ごども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚 部)等との間で、支援が招称の間能共和と信用理解を添っているか。	100%	0%	必要に応じて、適需する必権温や資有限の機関の方との消骸共有を付なっております。	
	27	該字時の終行の際には、小字校で特別支援学校(小字幕)との間で、支援内容等の情報共有と報品理解を図っているか。	100%	0%	他設する飲飯業等デイサービス事業との情報共和を限りながら、ご事協があれば学校との情報共和に加すてまいります。	
国信		(28~30は、センターのみ関係)				
柳岡	28	地域の他の児童発達支援センターや際高児通所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の長の向上に貢する歌組等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)		
伊保護	29	英の向上を図るため、機能的に専門家や専門機関等から動意を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではないため回答なし)		ω	
者 と の	30	市場の児童実施支援センターとの連携を限り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける報会を扱けているか。	(センターではない	ため回答なし)		
連携		(31は、事業所のみ間前)				
	31	型域の児童発達支援センターとの連携を振り、必要に応じてスーパーパイズや助浪等を受ける場合を設けているか。	100%	0%	必要に応じて連携し、研修にも小家のに参加しております。	
	32	保育所や物定こども関、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	ご類似に応じて、対応させていただいでおります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の中心送りにより伝達を行って、共通機能を集めております。	
	34	事族の対応かの向上を指る概念から、事族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報教徒し、ご実在での支援にご法用いただけるよう様かくお伝えしております。	
	35	- 環際規則、支援プログラム、お子さま食肥等について丁寧な松明を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、ごどもや保護者の意思の尊重、ごどもの最高の利益の優先考集の観点を請まえて、ごどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご家庭に応じて、対応させていただいでおります。	
	37	るか。 「漢書発達支援計画」を示しながら支援が終の影明を行い、体質者から光響発達支援計画の明章を得ているか。	100%	0%	※単に沿った「児童教達支援計画」を示しながら支援が指の設備を行い、 保護者さまから児童教達支援計画の信息を使ております。	
	38	定期的に、承延等からの子育での悩み等に対する相談に適切に応じ、関談や必要な効果と支援を行っているか。	100%	0%	で物に広いて、対応させていただいております。	
保護者	38	父用の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者明士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい明士で交流する機会		0%	ご要素に応じて、対応させていただいをかます。	
^ 0		を設ける等の支援をしているか。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に原知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。			ご機能がありました際には、迅速から機能があります。	
100 109 109	40	p.	100%	0%		
	41	定期的に通信等を飛行することや、HPPSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとご加齢予定を発酵しております。また、物質器日にプログを介格し、加熱の様子をご確認いただける切り扱わを行っております。	
		個人情勢の取扱いに十分服意しているか。	100%	0%	入社内に届的商士で権収し、個人情報の確認や確認的企工かを入れております。 -	
	43	南高のあることもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための記事をしているか。	100%	0%	像やの状況に応じて勧停を行っております。	
	44	事場所の行事に地域社党を契約する等、地域に関かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	ご審査に応じて、対応させていただいでおります。	
	45	野松的広マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、防犯マニュアル等を検定し、職員や承済等に規定するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 いるか。	100%	0%	毎年2回の回聴を実施しております。	
	46	展務組続計画 (BCP) を測定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	区で策定あり→ 業務機能計画(BCD)を策定し、支援的公司機を行っております。なし→ 支援的公司機に加え、業務機能計画(BCD)の策定を検針いたします。	
	47	事務に、振奏や予防候種、てんかん発作等のこともの状況を構図しているか。	100%	0%	臨退時上でも共有し、民間に努めております。	
常用	48	食物アレルギーのあることもについて、医師の指示者に終づく対応がされているか。	100%	0%	電流対土でも共和し、民間に努め、対応しております。	
89 Ø	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を構じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職員時亡で包共身し、把郷に昇色、外切しております。	
功応	50	こともの安全機能に関して、薬店等との連携が振られるよう、安全計画に振づく影場内容について、薬店等へ周知しているか。	100%	0%	福島所上でも共利し、保護者さぶへの境犯に知めております。	
	51	ヒヤリハットを事業所介で共有し、再発防止に向けた方面について検討をしているか。	100%	0%	事例後ではありませんが、 無限なことでも犯入をし、 事業所でヒヤリハットを適宜共和しております。 また、 他事業所の指揮者とも共存する体制を狙えております。	
	52	虚荷を防止するため、職員の研修機会を機体する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虚物所止委員会を設置するとともに、支援的な金券等格を行ない、虚物所止に別めております。	
	53	どのような場合にやむを得ず毎体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明して解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	協議性・肝代射性・一時性を満たしている場合とし、身体的変を行った場合には起酵を行っております。また、計画者にも放映しております	

事業所名		グローバルキッズメソッド092 小鹿店(パーク)]					
		STATE OF THE PROPERTY OF THE P			公表日			
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など			
_	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	78%	22%	物が成型がた体を使った遊びでスペースを分けております。要件を開たしております。			
境	2	利用定員やごどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	44%	56%	前員や保育士商格のある閲覧を配置して、人員継承を満たしており戻す。			
体制整	3	生活型は、こともにかかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、潜蓋の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の影響が適 切になされているか。	89%	11%	動機が動きやすいように工夫しております。ホワイトボードに写真を結るなど、複類的にわかりやすくなるよう努めております。			
59	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか、また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。	89%	11%	開散がしやすく関散感のある作りです。溶動によってスペースを分がたり、危険が別はないよって工先しております。			
	5	必要に応じて、ごどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	福時、福賞でਿ政治等なが開発を視束がしております。福賞で連携しております。			
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く福貢が参画しているか。	89%	11%	得られた時間の中で機関共将をしております。			
*	7	保護者所は評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改高につなけているか。	89%	11%	塩銀と情報共有できるよう別のでおります。			
故	8	職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を業務改高につなけているか。	78%	22%	支側的に会議を開催して話し合いを行っております。管理者がよくお話(突流など)を開いてくれます。			
	9	第三者による外部呼吸を行い、呼吸拡展を業務改善につなけているか。	67%	33%	今後終化ていばたいと思います。			
	10	職員の責張の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	見やすいよう回移動機が開意されております。			
	11	選切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	分かりやすさを心酔けております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや復題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	ではる様りご修確に抱えるように作成しております。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	こともの支援に関わる機関明士で情報を共和し、日々効率化も適めて機がしております。			
	14	児童発達支援計画が機段間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎時時、 烈霊楽建英館計画に沿った支援を心倒けております。			
	15	こどもの施行性が対象を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 構図しているか。	89%	11%	銀物物資料の記録を取り、辺辺物資外部を立てる際に効用しております。			
细切	16	売業発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原何すべき支援」の「未人支援」、「家族支援」、「都有支援」及び「地域支援・地域連携」の おおいなび支援制御信息機工なながら、こど他の支援に必要な場面が増加に設定され、そのよで、具体的な支援的指が設定されているか。	100%	0%	児童角連支援計画には、必要な場取が選切に選択され、そのラスで、具体的以支援的信が設定されております。			
な支援	17	体が、他の実践が特も指定人もかか、ことで加え致い。必要を明確が関い、以来され、その上で、資料が4人実践が特が収えされているか。 活動プログラムの企業をチームで行っているか。	89%	11%	以上さい。 活動プログラムを決定しております。			
の機	18	活動プログラムが確定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	機能が小ろいろ薬をだし、改善を抱っており戻す。			
gt	19	ごどもの状況に応じて、個別活動と機能活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さその状況に応して、個別点動と機能な動を適宜能か合わけて伊盤発達を競技機を作成しております。			
	20	支援開始所には鹿島間での子打合せを行い、その目行われる支援の内容や役割分別について確認し、テームで連携して支援を行っているか。	56%	44%	近断機が増えることが多いは、実際監視を中心に情報が再返来るよう。 記録や口頭によるコミュニケーション等で機能に努めております。			
			67%	33%	透動精性内部に買なることが多い。同様に運動性影を中心に開始共和出来るよう。記録で口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。			
	21	支援物了像には、職員間で必ず打合せを行い、その目行われた支援の傷り遊りを行い、気付いた点等を共有しているか。						
	22	日々の支援に関して記録をとることを態性し、支援の機能・改善につなけているか、	100%	0%	保証等項的の記録を取り、次回等用が存在立てる際に出場しております。			
	23	定期的にモニタリングを行い、光重発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切な月直しを行っているか。	100%	0%	お子さ素の検索や必要性に応じて確認な発達しを行っております。			
	24	御書売税間交援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	78%	22%	お子さまの状況をより意味している機能が参加出来るように努めております。			
	25	型域の保健、医療(生治医や協力医浄機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	89%	11%	必要に応じて衛航機制しております。			
	26	例が実際である。 特別は国内を持て向けた支援を行うなど、イングルージョン接着の関係が与支援を行っているか。また、その際、保育所や認定ことも層、幼園園、特別支援学校(幼園 部)等との間で、支援が指等の情報共将と周立理所を譲っているか。	89%	11%	必要に応じて、適需する幼稚器や保育器の機能の方との情報共有を行なっております。			
	27	裁字時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と模型理解を図っているか。	89%	89% 22% 報収する設備条デイサービス事業との情報共再を誤りながら、ご覧望があれば学校との情報共和に加げておいります。				
係機	28	(28~30は、センターのみ関係)						
100 CT		地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を図り、地域全体の長の向上に資する型能等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)				
保護	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助査を受けたり、職員を外部特徴に参加させているか。	(センターではないたの間寄せ))					
8	30	市域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助高等を受ける報会を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)				
男	31	(31は、事業所のみ関係)						
		市域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助高等を受ける場合を設けているか。	56%	44%	必要に応じて連携し、研修にセク書かに学加しております。			
	32	保育所や認定こども隔。 幼稚園等との交流や、 地域の中で巻のこどもと活動する機会があるか。	56%	44%	公開保育の機能をいただいたら、例如するようにしております。			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝えない、こどもの完建の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡感を用いたケア記録の延付や、面接の申し送りにより伝達を行って、共選學師を集めております。			
	34	家族の対応力の向上を図る機点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	44%	56%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発情し、ご客度での支援にご活用いただけるよう様かくお伝えしております。			
	35	灌蒸局程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な探明を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応とせていただいております。			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の意識、こどもの場所の利益の優先考慮の報点を指定えて、こどもや家族の意向を構図する場合を設けているか。 るか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の設明を行い、 保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか、	100%	0%	※事に沿った「従業発達支援計画」を示しながら支援が同心説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の明章を何でおります。			
æ	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、国談や必要な動言と支援を行っているか。	100%	0%	ご養殖に応じて、対応させていただいております。			
被	39	父印の合の活動を支援することで、保護者合等を開催する等により、保護者所士で交流する機会を設ける等の支援をしているか、また、きょうだい時士で交流する機会 を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	ご要感に応じて、対応させていただいております。			
o R	40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に原知し、模談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	然力しており戻す。			
19	41	は、 定期的に透解等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連結体制等の情報をござむや複雑者に対して発信しているか。	100%	0%	ホームペーシにて佐えられるようにしております。プログで日々の活動について発想しております。			
	42	個人情報の地談いに十分信息しているか。	100%	0%	入記時に毎日帯にて確認し、個人情報の複雑や影響的売に力を入れております。			
	43	南高のあることも中保護者との意思の設備や情報伝達のための配差をしているか、	100%	0%	係々の状況に応じて勧誘を行っております。			
	43	・ 関係がありましても「地域自立が表示が表現であります。 ・ 事業所の行事に地域社長を招する等、地域に関かれた事業業所を関っているか。	100%	67%	ご整確になび、材をせていただいております。			
	45	李故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、移居マニュアル、移居マニュアル等を施定し、職員や家族等に関始するとともに、発生を想定した訓練を実施して	89%	11%	を変更がある。 「からなく いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん			
		Uidith.	89% 78%	22%	物や温度の開催と表現し、6.07まで。 静間は実際物域とのでと子で表のを分析に知ってよいります。			
	46	業務組結計機 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、依当その他必要な訓練を行っているか。						
25	47	事前に、脂薬や予防機器、てんか人発件等のこともの状況を確認しているか。	100%	0%	塩間はても共有し、肥原に移かております。			
77 76 89	48	食物アレルギーのあることもについて、医師の施予者に終づく対応がされているか。 	100%	0%	電銀列士では共有し、把意に対め、外切しております。			
99 の 対	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	89%	11%	職題時亡で此共に、授献に別め、対応しております。			
Æ	50	ごどもの安全情報に関して、家族等との連携が限られるよう。安全計画に基づく取扱内容について、豪族等へ周知しているか。	89%	11%	総周呼 士でも共有し、 保護者 セネへの機能に努めております。			
	51	ヒヤリハットを事業所介で共有し、再発的点に向けた方面について検討をしているか。	56%	44%	ヒヤゾハットは事故所立のためてできるだけ多く上げて安全の発を拠めるよう物のております。			
	52	虚符を防止するため、職員の研修機会を機宜する等、激切な対応をしているか。	89%	11%	高物所上委員会を設置するとともに、支限的な金領を得る行ない、塩物所企に努めております。			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している か。	89%	11%	が記性・昇代禁性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には起腺を行っております。また、計画書にも放映しております			

事業所名 グローバルキッズメソッド093 勿来店(パーク) 公表日 2025年2月1日 チェック項目 改善目標、工夫している点など いいえ 用途に合わせたフロアをご用意しております。 川用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 13% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 生活空間は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の股傷等は、降客の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の影楽 切になされているか スッキリとまとめられているので、わかりやすいです。スケジュール通りに朝夜声掛けをしております。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 88% 13% **導線を工夫しております。活動に応じて空間を広げております。** 活動や状況に合わせて利用できるように仕切っております。利用人数により小集団での活動にしております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 毎日行っており、出来る限り職員阿士で振り返りを行っております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 75% 25% R膜着向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 ウケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を消載し、改善できるように努めていきたいと思います。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 75% 25% 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 研修を受け勉強になっております。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 100% 話し合いの上、活動プログラムを決定し公表しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 88% 13% 機者さまのニーズに寄り添っているおります。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ こどもの支援に関わる職員同士で情報を共有し、日々検討しております。 自主的に個別支援計画を確認しております。 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動鏡際なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により WRIT Trists 別検育時の記録を取り、次回検育内容を立てる際に活用しております。 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 P. 整発達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 75% 25% 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 区分をわけてパランスよく配置しております。様々が活動を取り入れております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 0% お子さまに応じて様々な工夫をしております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 100% 0% 朝礼にて無り返りやその日の活動など話し合いをしております。 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 支援の振り返りをし次に繋げております。 100% 振り返りの記録をしております。 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 13% 関り事を中心に行っております。 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 100% 子さまと密に接している職員が行っております。 - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 25% 例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション落連の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互受解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため間答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小まめに参加しております。 (育所や認定こども図、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか 保護者からの質問等職員同士で把握しております。 55での対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 88% 13% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 保護者さまにご説明の上、同意していただいております。 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 63% 38% 親子活動をご提案し実施させていただきました。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 13% プログを通して活動紹介等しております。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適苦を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 避難訓練を行っております。 45 13% R経統計画(BCP)を策定するとともに、并常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 事前に、脳巣や予防修構、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 88% 13% 株員阿士把握しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 食物アレルギーのお子さまがいらっしゃる場合は韓具同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 25% 職員同士でも共有し、保護者さまへの周知に努めております。 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 88% 13% :ヤリハットの再発防止を議論しております。 ジュメの回覧をしております。研修がございます。 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して 切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております 53

		少表事業	所におけ	る自己評	価結果
事第	所名	グローバルキッズメソッド095 新東大宮店(パーク)			公表日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	用途に合わせたフロアをご用意しております。
環境	2	利用支責やこともの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	物質や解す血液のある機質を配面して、人具基準を視たしております。
*	3	生活支援は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の投稿等は、指書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝通等、環境上の影響が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
\$1 \$2 48		生活を開は、清潔で、心地よく場ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた容質となっているか。	100%	0%	毎日、清解を行っております。 環境設定に関しても今まめぬ話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こともが個別の部間や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで誤應を分ける特のが応をしており戻す。
		業務改善を進めるための PDCA サイクル(四様設定と振り戻り)に、広く施費が参加しているか。	100%	0%	コミュニケーションを増やせるよう界のております。
		保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する総合を設けており、その内容を審視改議につなけているか。	100%	0%	アンケート結果や、遊師のコミュニケーションから採集をさるのが声を搭載し、改賞できるように等のていきたいと思います。
棄務		国真の意見等を把握する場合を設けており、その内容を重務改高につなけているか。	100%	0%	支押的に合施を開催して私」の 14を行っております。
25			100%	0%	今歳材がしていきたいと思います。
		第三者による外部神像を作い、評価協業を業務改高につなけているか。			今番目的のはから、同意動動の複数による短期分とのを入れております。
		職員の貴族の向上を招るために、研修を受講する報会や法人的等で研修を開催する報会が確保されているか。	100%	0%	
		適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	製し点いのと、効能プログラムを表更し公舎しております。 ・
		個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと従業者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を存成しているか。	100%	0%	始勢 でなくより具体的に分析できるよう別のであいります。
	13	児童高速支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任権だけでなく、こともの支援に関わる職員が共通理解の下で、こともの最高の利益を考慮した検討が行われ ているか。	100%	0%	全職員との介蔵は移しいですが、明希に核ながらでも意見交換も恋に行っておいります。
	14	児童育建支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎期期、児童発達支援計画に沿った支援を心勢けております。
_	15	こどもの適の行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 構図しているか。	100%	0%	個別維育時の起題を取り、次国権用外務を立てる際に返用しております。
切な	16	児童房建支援計画には、児童房建支援ガイドラインの「児童房建支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「保行支援」及び「地域支援・地域連携」の ねらいなび支援内容も顕示えながら、こともの支援に必要な項目が選切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	児童発達支援計画には、必要な第四が選がに選択され、そのうえて、具体的な支援的指が設定されております。
支援の	17	活動プログラムの位案をチームで行っているか。	0%	100%	苗し合いのと、恐動プログラムを決定しております。
提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	今後も3カ門に1回くらいの頻度でプログラム薬を出し合いほとめて高いります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と無国活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況におして、傾倒活動と機能活動を通常部分合わせて死意発達支援計画を告視しております。
	20	支援開始前には鑑賞間で必ず打合せを行い、その目行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出動物域が異なることが多い為、高齢機関を中心に情報共和巡察るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で構築に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0%	100%	透動物域を何様に異なることが多い為、同様に凝動機関を中心に情報共有出来るよう。記録や口様によるコミュニケーション等で構能に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改高につなけているか。	0%	100%	銀別等等時心記録を取り、 3回等等外容を立てる際に効果しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切以月直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて確切以発面しを行っております。
	24	 南高光和談支援事場所のサービス担当者会議や原体傾倒との会議に、そのこどもの状況をよく理解した戦が参画しているか。	0%	100%	経験値のある機能の意見をより取り入れて高いります。
	25	地域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、教育等の原体機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	の際に応じて複数性別しており戻す。
	26	例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション推進の額点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼稚		100%	の際に応じて、適需する必需率の信頼ののたらの情報共和を行なっております。
		部)等との間で、支援が容等の情報共再と版互理解を振っているか。 該子時の時行の際には、小子校で特別支援学校(小学前)との間で、支援が指导の情報共有と相互関係を振っているか。	0%	100%	 物設する物域等等子(サービス等級との情報共和を限りながら、ご覧証があれば学校との情報共和に繋げて表いります。
pa)		(28~30は、センターのみ回答)			
係機関	28	地域の他の児童奈達支援センターや障害児途所支援事業所等と連携を関り、地域全体の長の向上に直する取録等を行っているか。	(センターではない	ため間答なし)	
伊保	29	第の向上を指るため、積極的に専門家や専門機関等から動意を受けたり、鑑賞を外部時間に参加させているか。	(センターではない	ため間答なし)	
報名と		地域の児童発達支援センターとの連携を振り、必要に応じてスーパーパイズや物質等を受ける場合を抜けているか。	(センターではない		
の 連 携		(314: 李華州の外間語)			
	31	(14.1.) 中間の(14.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	100%	0%	の際に応じて適利し、旧根にも小さめにか加しております。
		初端の元素発達を達せンターとの差別を能り、必要に応じ、人ーハーハイ人や南京等を受ける機能を設定しいらか。 程質所や認定ことも限。 お練業等との支流や、 排紙の中で他のこともと返客する最合があるか。	100%	0%	できたい。
		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通機解を持っているか。	100%	0%	電子の最初機を知いたケア記録の近付や、意飲の中し近りにより伝達を行って、共連機能は認めております。
		事族の対応力の向上を振る観点から、事族に対して事族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や事族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 	100%	0%	こちらてのが応防法等を 7年日の様子」として日々情報発信し、ご客庭での支援にご返売いただけるよう権がくお信えしております。
		潮思規能、交援プログラム、お子さま負担等について丁事な故略を行っているか。 -	100%	0%	ご際値に応じて、対応させていただいでおります。
		児童発達支援計画を作成する際には、こども中保護者の意思の尊重。 こどもの最新の利益の優先寿盛の報信を設定えて、こどもや等級の意向を確認する場合を設けているか。 のか	100%	0%	ご要感に応じて、対応させていただいております。
	37	「児童角達支援計画」を示しながら支援内部の説明を行い、保護者から児童角達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	第事に知った「欠業発表を践打側」を示しながら支援内容の放明を行い、保護者とよから児童発達支援打機の同意を得ております。
保護		定期的に、原族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、国談や必要は勃竟と支援を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。
* ^ o	39	2月の合めな動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者阿士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい阿士で交流する機会 を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご整確に切じて、対応させていただいております。
25 10	40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の仲制を整備するとともに、こどもや保護者に開始し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 か。	100%	0%	ご物がありました際には、迅速がつ適切に対応しています。
19	41	定期的に通信等を発行することや、HPセSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	力ごとに活動予定を発情しております。また、物質専旦にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける歌り組みを行っております。
	42	個人情報の歌吸いに十分振奪しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の複雑や電視時点とかを入れております。
	43	用高のあることもや保護者との意思の課題や情報伝達のための記事をしているか。	100%	0%	傷やの状況に応じて配導を行っております。
	44	事業所の行事に他延性党を招待する等、地域に関かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	ご確認に応じて、対応させていただいであります。
	45	李鼓的止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協品症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に飛起するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか。	100%	0%	毎年2回の部隊を実施しております。
	46	要務補給計画(BCP)を策定するとともに、井菜児素の発生に備え、定期的に退額、飲出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	GCが成定あり〜 暴発線設計値 (GCP) も常定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練と加え、暴発線設計値 (GCP) の教定を検討いたします。
	47	事柄に、振奏や予例保種、てんかん発作等のこどもの状況を構築しているか。	100%	0%	職期時上でも共称し、長間に別めております。
# #	48	食物アレルギーのあるこどもについて、関係の傷宗曹に基づく対応がされているか。	100%	0%	職間所士でも共有し、把側に関め、対応しております。
89 09	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職間所士でも共有し、把側に繋め、対応しております。
対応	50	こどもの安全機会に関して、憲法等との連携が開られるよう、安全計画に接づく影場内容について、薬法等へ勝知しているか。	100%	0%	間周時式でも共和し、保護者をおべの際犯に努めております。
	51	ヒセリハットを事業所与て共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	李物集ではありませんが、些階なことでも応えをし、事業所でヒヤツハットを適宜共和しております。また、前事業所の記憶者とも共有する仲却を信えております。
	52	虚符を防止するため、階級の研修機会を機能する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	森特所は萎縮含を投資するとともに、実際的な金銭原格を行びい、森特所上に努めております。
		どのような場合にやむを得ず身体内束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			THE SHALL SHARL TO THE SHALL SHARL SHARL SHARL THE TAXABLE TO THE

協性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体内変を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

ě	事業所名	グローバルキッズメソッド096 七北田店(パーク)			公表日 2025年2月1日		
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
	1	利用定員が発達支援空等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	用他に合わせたプロアをご用意しております。		
, z	2	利用支責やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	利潤で保育主貨格のある場間を配置して、人具基準を利比しております。		
	3	生活空間は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、幸場所の設備等は、跨客の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配差が適 切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
9	4	************************************	100%	0%	毎日、清算を行っております。専規定に関してセツまめは話し合いを行っております。		
	5	の要に応じて、こどもが報酬の報酬や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	 は民に応じてグループで認度を分ける帯の対応をしております。		
	6	専界改画を進めるための PDCA サイクル(日標設定と振り返り)に、広く電視が参加しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して似したいを行っております。		
	7		100%	0%	アンケート結果や、直体のコミュニケーションから保護者さるのが声を搭載し、改善できるように係めているたいと思います。		
3		磁膜の意見等を把握する場合を設けており、その内容を要集改画につなけているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して私し会社を行っております。		
á	×	第三者による外部呼吸を行い、呼吸延延を業務改演につなけているか。	100%	0%	今歳材化ていきたいと思います。		
			100%	0%	全場時間のはかに、併根数値の視聴による知識向上とか考えれております。		
	10	職員の資保の向上を捌るために、研修を覚護する機会で法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			型ではいめた。 本意が20プルを表すしたが、30プルイン・スタン・スタン・スタン・スタン・スタン・スタン・スタン・スタン・スタン・スタ		
	11	謝が正支援プログラムが作成、公教されているか。	100%	0%	####################################		
	12	個々のこともに対してアセスメントを選切に行い、こともと保護者のニーズで資源を客観的に分析した上で、児童保護支援計画を内信しているか。 児童保護支援計画を外端する際には、児童保護支援指導責任者だけではく、こともの支援に関わる機員が基準規修りて、こともの最高の利益を考慮した機材が行われ	100%	0%			
	13	TUSD.	100%	0%	こともの意識に関わる機能例えて機能を共有し、日々検討しております。		
	14	型盤発達支援計画が開具際に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 こともの適応行動が状況を、標準化されたゲールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	100%	0%	毎時時期、強敵発展到計画に沿った見種を必称すております。		
3	15	一般の表表を掛け高には、光電路線を振力イドラインの「光電路線を振の機能する再支援」の「本人支援」、「家族支援」、「保行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	銀物等等的の記録を取り、双端等所が最至立て必需に活用しております。		
	n 16	7に国内地域大陸計画には、大国内地域大陸が下ナッチンが、下国内地域域の設計すべき支援」、「中国大陸は、「中門大阪」が「中国大阪、中国地域別」が おらい及び支援中間を顕著えながら、こともの支援に必要な適宜が適切に設定され、その上で、具体的な支援中間が設定されているか。	100%	0%	党権条項制制には、必要収明日が確切に選択され、そのラスで、具体的収支機が指定されております。		
8	17	活動プログラムの位率をチームで行っているか。	100%	0%	版した。近畿プログラムを決定しております。 		
4	18	活動プログラムが鑑定化しないようエ夫しているか。	100%	0%	改善が参数が考点、内容を見直して収留がを包み込むようにしております。		
	19	こともの状況に応じて、個別活動と機団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況におじて、個常常数と無比別数を適苦能力合わせて光整発達支援計画を作成しております。		
	20	支援開始前には職員間であず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出動時間が異なることが多い項、常物鑑賞を中心に情報共和出来るよう。記録や口頭によるコミュニケーション等で機関に努めております。		
	21	支援終了後には、福興間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	遊師問題も同様に異なることが多い場。同様に常教職員を中心に開館共和出来るよう。記録や口頭によるコミュニケーション等で機関に努めております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の特殊・改高につなけているか。	100%	0%	個別等有特の起鍵を取り、次回等有外格を立てる際に活用しております。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて謝が以発慮しを行っております。		
	24	等害児樹族支援事務所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより増殖している職員が参加出をみよりに努めております。		
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う仲制を加えているか。	100%	0%	必要に応じて衛医療見しております。		
	26	例行利用や終行に向いた支援を行うなど、インクルージョン海道の組点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援が指等の情報共再と假互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、適面する幼稚園の保育器の機関の方との情報共有を行なっております。		
	27	数学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との版で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	情報する処理機等デイサービス事業との情報共和を担りながら、ご要望があれば学校との情報共和に加すてまいります。		
	1	(28~30は、センターのみ関係)					
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を限り、地域全体の長の内上に責する取組等を行っているか。	(センターではない	いため回答なし)			
4	29	等の向上を描るため、積極的に専門家や専門機関等から動言を受けたり、鑑賞を外部研修に参加させているか。	(センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし)				
4	30	型域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーバイズや動態等を受ける機会を設けているか。					
3		(31は、事業所のみ間筋)					
	31	型域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや勃然等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	必要に応じて連携し、根核にも介まめに参加しております。		
	32	毎月所や認定ことも間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこともと対象する場合があるか。	100%	0%	ご要領に応じて、対応させていただいております。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を際いたケア配縁の近付や、直接の中し送りにより伝達を行って、共通機能を認めております。		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	こからてのが応方法等を「昨日の様子」として日々情報発揮し、ご客店での支援にご活用いただけるよう様かく約在えしております。		
	35	運営規模、支援プログラム、お子さま負担等について丁華な説明を行っているか。	100%	0%	ご要値に応じて、対応させていただいております。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先考慮の概点を読まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 るか。	100%	0%	ご要強に応じて、対応させていただいでおります。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の股明を行い、保護者から児童発達支援計画の明整を得ているか。	100%	0%	第事に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援外部の原列を行い、保護者と定から児童発達支援計画の明章を得ております。		
,	38	支期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、幽談や必要な物質と支援を行っているか。	100%	0%	ご問題に応じて、対応させていただいております。		
3	1 39	父母の合の信頼を支援することや、保護者合等を開催する等により、保護者同士で欠高する機会を設ける等の支援をしているか、また、赤よっだい明士で交高する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ご要値に切じて、対応させていただいております。		
	8 40	こともP保護者からの相談や中入れについて、対応の体部を整備するとともに、こともP保護者に原知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ激切に対応している。	100%	0%	ご物助がありました際には、迅速かつ制切に対応しています。		
	9 41	が、 支援的に連携等を執行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連続体制等の情報をこどもや保護者に対して発便しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発情しております。また、物質毎日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける様の指わを行っております。		
	42	個人情報の取扱いに十分接着しているか。	100%	0%	入社的に監約第二で確認し、個人情格の機能や認識的にたわを入れております。		
	43	際高のあることもや保護者との意思の経過や情報伝達のための影響をしているか。	100%	0%	保々の状況に応じて記憶を行っております。		
	44	事場所の行事に切場仕民を紹介する等、地域に関かれた事場連携を扱っているか。	100%	0%	ご要項に応じて、対応させていただいております。		
	45	李成坊上マニュアル、緊急時対応マニュアル、移見マニュアル、移向症対応マニュアル等を策定し、環境や家族等に関定するとともに、発生を想定した訓練を実施して	100%	0%	を変更がある。 からしょくいっしょうか 5. 特々200の開発を実施しております。		
	45	いるか。 電系組制計画 (BCP) を策正するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に直轄、核出その他の要な試験を行っているか。	100%	0%	なっている。 ないでは、		
			100%	0%	のであんが)。 WebMichian (ログ) であんし、AmbioLander(17) (のジェ・ルケー AmbioLander(18) (ログ) のあんてがかいしたが、 種類的こでは有い、世間に対めております。		
1	47	事前に、原薬や予防収益、てんかん発作等のこともの状況を機能しているか。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			福岡県工では用い、把側に別かております。 福岡県士では用い、把側に別か、対応しております。		
2	,	発物アルルギーのあることもについて、関節の指示者に基づく対応がされているか。	100%	0%			
9	,	空全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を構じる等。安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	概念的ような共和に、把握に対象。が応じております。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
2	50	こともの安全機能に関して、事務等との連携が割られるよう、安全計画に着づく影響内容について、事務等へ開始しているか。	100%	0%	・ 関係できた。 のでは、 は、 は		
	51	ヒヤリハットを事業所有で共有し、再発的止亡向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事物権ではありませんが、影響なごとても起えをし、泰華所でヒヤゾリットを選択されております。また、他事業所の密理者とも共有する体験を整てされます。 -		
	52	・高神を防止するため、環境の研修機会を増落する等、適切な対応をしているか。 ・バトカトラの場合で、いいののである。 ・バトカトラの場合で、いいののである。 ・バトカトラの場合で、いいのである。 ・バトカトラの場合で、いいのである。 ・バトカトラの場合では、いいのである。 ・バトカトラの場合では、いいのである。 ・バトカトラの場合では、いいのである。 ・バトカトラの場合では、いいのである。	100%	0%	電荷所述券間会を設置するとともに、定期的な会体研修を行ない、電荷所定に努めております。		
	53	どのような場合にやむを得す身体内束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に配載しているか。	100%	0%	切役性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体内変を行った場合には起腺を行っております。また、計画書にも反映しております		

1	業所名	グローバルキッズメソッド097 高柳店(パーク)			公表日 2025年2月1日		
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
	1	利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。	88%	13%	用他に合わせたプロアをご用他しております。		
, z		利用支責やこどもの状態等に対して、職員の配面鉄は適切であるか。	38%	63%	前側で解算主角部のある階間を配置して、人具懸重を指定しております。		
4	3	・	63%	38%	運動をするには十分なスペースですが、私上の側の組みなどを行う際により集中出来るようにパーテーションなどで支援が分けたいと考えております。		
9	4	************************************	63%	25%	毎日、清解を行っております。 環境設定に関してセツまめぬ話し合いを行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが傾倒の痕迹や場所を使用することが認められる環境になっているか。	75%	25%	状況に応じてグループで誤應を分ける特のが応をしており戻す。		
	6	業務改済を進めるための POCA サイクル(は微数さと振り返り)に、広く電流が参加しているか。	88%	13%	東朝的 た高速を開催して話したいを行っております。		
	7	保護 他向け持備表により、保護者等の意向等を把握する場合を設けており、その内容を裏表改議につなけているか。	88%	13%	アンケート結果や、遊師のコミュニケーションから採集をさるのが声を搭載し、改賞できるように等のていきたいと思います。		
3		電質の意見等を担害する場合を設けており、その内容を裏配達につなけているか。	100%	0%	京朝的に会話を開催して話し合いを行っております。		
ě		第三和による外部が極を行い、評価協変を要務改議についているか。	63%	38%	今級時日でいきたいと思います。		
	-		100%	0%	全会研修の点から、研修整備の課題による知識向上に力を入れております。		
	10	職員の員長の向人を抱るために、研修を覚護する機会で法人内等で研修を開催する機会が確認されているか。			型が高いない。 一番を取りています。		
	11	選切に支援プログラムが作成、公賞されているか。	75%	25%	####################################		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや資源を名破的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援指導責任者だけではく、こどもの支援に関わる機員が基準操め下で、こどもの最高の利益を考慮した機材が行われ	100%	0%			
	13	ているか、	75%	25%	こともの支援に関わる職員所立て情報を共有し、日々特別しております。		
	14	東盤発達支援計畫が職具際に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動検察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により。	75%	25%	毎年時期、光盤発達支援計画におった支援を心酔けております。		
3	15	では、	100%	0%	銀物資料の配換を取り、次回等剤が終を立てる際に満用しております。		
t		ア高声地を交換計画には、元高中地を対象がイドラインの「元高中地と成の契約(マイロス版)」(中へス版)、「中のス版)、「中行文集)が「中の地文集(中地地別)の おらい及び支援内容も顕示えながら、こともの支援に必要は当はが通りに設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	党権権を開始的には、必要の場合が確認に避免され、そのクスで、具体的な支援的指が認定されております。		
8	17	港動プログラムの位準をチームで行っているか。	75%	25%	版した。		
4		3動プログラムが閲覧化しないようエテしているか。	88%	13%	改善が必要が考点、内容を見直して改善点を組み込むようにしております。		
	19	こともの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	お子さまの状況に応じて、領別活動と場間活動を通習組み合わせて児童発達支援計画を存成しております。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について権限し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	13%	近極時間が異なることが多い場。不能概義を中心に情能共有巡察るよう。記録や江湖によるコミュニケーション等で機関に努めております。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	遊動機器も同様に異ねることが多い場。同様に定数機関を中心に関係共和企をみよう。記録や口頭によるコミュニケーション等で機関に努めております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の特証・改高につなけているか。	100%	0%	個別等等時心起発を取り、次辺等影响符を立てる際に沈用しております。		
	23	芝用的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状状や必要性に応じて破功以発慮しを行っております。		
	24	薄害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した復が参画しているか。	88%	13%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出をるように努めております。		
	25	型域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を施えているか。	88%	13%	必要に応じて適宜連携しており戻す。		
	26	例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン海通の際点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援が将等の情報共有と似互理解を限っているか。	100%	0%	必要に応じて、適需する幼稚園や保育園の開発の方との情報共和を行なっております。		
	27	裁学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学箱)との館で、支援外路等の情報共有と報品機能を図っているか。	100%	25%	例数する故障機等デイサービス事業との情報共再を担りながら、ご覧望があれば学校との情報共和に加げて高いります。		
		(28~30は、センターのみ関係)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を限り、地域全体の長の向上に責する取組等を行っているか。	(センターではない	ため間折なし)			
4	29	毎の向上を抑るため、結婚的に専門家や専門機関等から助表を受けたり、職員を外部所修に参加させているか。	(センターではないため回答なし		## 1501/20mm 1		
4	30	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーバイズや物度等を受ける機会を扱けているか。	(センターではない	ため間答なし)			
3		(31は、事場所のみ回答)					
	31	型域の定盤発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助誘等を受ける報会を設けているか。	80%	20%	必要に応じて推測し、研修にも小本のに参加しております。		
	32	な育所や年まごとも題、幼稚園等との交流や、物域の中で他のこどもと活動する場合があるか。	25%	75%	ご要値に応じて、対応させていただいでおります。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの完建の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を率いたケア配線の延付や、直線の中し近りにより伝達を行って、共通機能を案のております。		
	34	家族の対応かの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	こりらての的な方法等を「AEDの部子」として日々情報発信し、ご常在での支援にご然用いただけるよう組かく的伝えしております。		
	35	運営規矩、支援プログラム、お子さま負担等について丁事な説明を行っているか。	88%	13%	ご養殖に応じて、対応させていただいております。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先考集の総合を加まれて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	88%	13%	ご物価に応じて、対応させていただいております。		
	37	マル・ 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の明整を得ているか。	100%	0%	第章に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の投稿を行い、保護者とほから児童発達支援計画の明章を何ております。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、閲談や必要な動策と支援を行っているか。	88%	13%	ご整備に応じて、対応させていただいております。		
3	39	公用の合の活動を支援することで、 保護者合等を開催する等により、 保護者附上で交流する場合を設ける等の支援をしているか。 また、 きょうだい等土で交流する場合 を設ける等の支援をしているか、	13%	88%	ご要値に応じて、対応させていただいております。		
		で扱いらかいた状をしていない。 ごどもや保護者からの似版や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、根談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	ご物部がありました際には、活動がつ場切に対応しています。		
		か。 芝類的「連携等を発行することや、HPPSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ガニとに活動予定を発信しております。 走た、物質者曰にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。		
	42	個人情報の影響いに十分修覧しているか。	100%	0%	入計物に届行器にて確認し、個人情報の複雑や遊覧的止こかを入れております。		
	43	第三のあることもや複雑なの様態の経過や情報伝達のための影響をしているか。	100%	0%	俗々の状況に応じて影響を行っております。		
	\vdash				ご意識に応じて、村成会せていただいております。		
	44	事業所の対象に他総社党を協称する等、地域に関かけた事業議策を譲っているか。 - - - - - - - - - -	100%	75%			
	45	いるか。	100%	0%	毎年200の開催を期除しております。		
	46	審務額続計畫 (BCP) を推定することもに、非常災害の発生に構え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	©の確定あり〜 幕原制統計画 (BOP) を推定し、支際的な回線を行っております。ない→ 支際的な回線に加え、幕原制統計画 (BOP) の施定を検的いたします。		
	47	事務に、振戦や予防接種、てんか人発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	塩島州上で北井切し、把郷に別めております。		
2	48	食物アレルギーのあることもについて、関係の指示者に基づく対応がされているか。	88%	13%	電視所士で共将し、見難に別め、対応しております。		
9		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や回線、その他必要な問意を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職題所士で此共り、授権に別め、対応しております。		
		こともの安全権保に関して、事務等との連携が限られるよう。安全計画に接づく取扱内容について、事務等へ周知しているか。	88%	13%	専用性大でも共和し、保護者を定べの機能に努かております。		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発的企に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	李物権ではありませんが、無限なごとても記入をし、李尊所でヒヤゾハットを選択的しております。また、他李尊所の祖徳者とセスキする体制を呈えております。		
	52	虚神を弥正するため、電鉄の研修機会を機能する等、謝切な対応をしているか。	100%	0%	森特所上発展会社設置するとともに、定期的な主角研修を行ない、森特所立に努めております。		
	53	どのような場合にやむを得す身体内未を行うかについて、相違的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迹性・肝代験性・一時性を満たしている場合とし、身体内をを行った場合には起節を行っております。また、計画器でも反映しております		

事業所名		事業所名 グローバルキッズメソッド099 大泉店(バーク)				
		T - LATED	toks .	=	公表日	
	1	チェック項目 対両定員が発達支援等等のスペースとの開催で適応であるか。	(はい	いいえ	以高口味、上入ししいの点がなど。 「中華、銀物業務を、競性的に心欲であります。十分な広さを有しております。	
12	-	利用定員でこどものが等等に対して、職員の配置数は割切であるか。	100%	0%	新典中保育士房務のある機関を配置して、人民秘事を進たしております。	
- H	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の股傷等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配達が適	100%	0%	ぬカードなども設置し、増殖を収すよう思り組んでおります。	
5	4	切になされているか。 生活空間は、背部で、心地よく第二世を専用になっているか、非た、ことも連の地跡に合わせた空間となっているか。	100%	0%	高期の情報が多すがいように展示物をなくすなどの工夫をしており戻す。	
	5	参事に応じて、こどもが個別の認識や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで開催を分ける等の対応をしております。	
	6	車柄改奏を進めるための POCA サイクル(日春設定と振り返り)に、広く電路が参加しているか。	100%	0%	機能的は何可能見交換を行う機関会議を実施し、そこで支援に対する課題なども共界、改議案を検討し、実施しております。	
	7		71%	29%	前項事業所のため保護者をあら野歌にこれから確認し、改善できるように努めているたいと思います。	
(5) (2)	8	間間の意見等を把握する機会を設けており、その外容を業務改員につなけているか。	100%	0%	実際の合意を発展して彼んか、を行っております。	
a	9	東三南による外部貯価を行い、貯価結果を業務改高につなげているか。	71%	29%	今後替けていきたいと思います。	
	10	職員の責任の向上を図るために、研修を受講する機合や法人が寄て研修を開催する機合が増放されているか。	86%	14%	全体研修のほかに、研修整備の複数による処理内上に力を入れております。	
	11	適切に支援プログラムが作品、公表されているか。	100%	0%	禁止合いのと、活動プログラムを決定し公告しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを選切に行い、こどもと保護者のニーズで復題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント所順だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお称いし、計画を作成出来るように努めております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる機関が共通理解の下で、こどもの最易の利益を有慮した検討が行われ ているか。	100%	0%	こどもの支援に関わる電視時式で情報を共有し、日々検討しております。	
	14	児童発達支援計画が観貨間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	物物等の、光散発表が終末に合った支援を心倒けております。	
	15	こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを抱いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 機能しているか。	100%	0%	個別等荷味の記録を取り、次回等荷外径を立てる際に活用しております。	
38 tr	16	ア電気速支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「未人支援」、「単族支援」、「単族支援」及び「地域支援・地域連携」の おらい及び支援所称を指定えながら、こぐもの支援に必要な項面が増加に設定され、そのよで、具体的な支援所指が設定されているか。	100%	0%	地域発達を対す側には、必要な場面が運動に選択され、そのうえて、具体的な支援外間が設定されております。	
5 5	17	活動プログラムの位案をテームで行っているか。	86%	14%	なしたいのと、効能プログラムを決定しております。	
σ. 15	18	活動プログラムが開変化しないようエネしているか。	100%	0%	改議が必要以降会、内容を見超して改省のを組み込むようにしております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動を場団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況に応じて、傾倒対象と集団対象を適宜組み合わせて严重発達支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分型について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	86%	14%	出物情だが何なることが多い頃、常物鑑賞を中心に情報片和出来るよう。 記録や口頭によるコミュニケーションやで確認に努めております。	
	21	支援教子楽には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	71%	29%	遺動物類や同様に異なることが多い為、同様に常動機長を中心に開始共和治をるよう。記録や口機によるコミュニケーション等で構成に努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを機能し、支援の検証・改善につなけているか。	86%	14%	個別等荷味の記録を取り、次回等荷外径を立てる際に活用しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を利能し、適切な月直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて確認な発産しを行っております。	
	24	商害児和設支援事業所のサービス担当者合議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参照しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより薄頼している種類が参加版をおよりに努めております。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、商務保祉、保算、教育等の関係機関と連携して支援を行う仲募を加えているか。	100%	0%	必要に応じて適能を想しております。	
	26	・ 特行利用や特行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の傾点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼稚 周)等との間で、支援が関等の情報4年と保証機能を扱っているか、	100%	0%	必要に応じて、適需する妨害器や保育器の機関の方との情報共有を行なっております。	
	27	## 2000年11日 (1997年11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日	100%	0%	例設する放課機等デイサービス事業との情報共再を担りながら、ご要望があれば学校との情報共和に加げて求いります。	
THE		(28~30は、センターのみ販売)				
60	28	市場の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を限り、地域全体の長の向上に負する取扱等を行っているか。	(センターではないため開発なし)			
T 55	29	第の向上を図るため、結婚的に専門家や専門機関等から助素を受けたり、職員を外部回復に参加させているか。	557. (センターではないため回答なし)			
8	30	市場の児童製建支援センターとの連携を開り、必要に応じてスーパーパイズや物用等を受ける報合を設けているか。	(センターではないため間寄存し)			
38		(31は、事業所のみ四階)				
	31	地域の貯盤発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや効果等を受ける機会を設けているか。	86%	14%	必要に応じて連携し、研修にも小家めに参加しております。	
	32	保育所で昭定ことも間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこともと活動する機会があるか。	57%	43%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や複雑について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連続機を用いたケア記録の延付や、電影の中し送りにより伝達を行って、共通管験を認めております。	
	34	家族の対応力か向上を図る観点から、家原に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の炒拡てさる研修の様合や情報提供等を行っているか。	86%	14%	ごちちでのが応防器等を19日の様子」として日々情報発信し、ご客談での支援にご認用いただけるより報行くお伝えしております。	
	35	適思規程、支援プログラム、お子さを負別等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要感に応じて、対応させていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先与導の統合を請求えて、こどもや家族の他内を確認する機会を設けてい スか。	100%	0%	ご要感に応じて、対応させていただいております。	
	37	「児童和達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	様事に知った「 / 党重 発 達支援計画」を示しながら支援が指の説明を行い、保護者さまから党重発達支援計画の明意を何ております。	
-	38	支期的に、策集等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、国談や必要な助賞と支援を行っているか。	100%	0%	ご要値に切じて、対応させていただいております。	
25	39	2月の合の活動を支援することで、保護者会等を開催する等により、保護者所主で欠消する機会を設ける等の支援をしているか、果た、きょうだい所主で欠消する機会を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい所主で欠消する機会を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい所主で欠消する機会 を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい所主で欠消する機会 を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい所主で欠消する機会 を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい所主で欠消する機会 を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい所主で欠消する機会 を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい所主で欠消する場合 を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい所主で欠消する場合 を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい所主で欠消する場合 を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい所主で欠消する場合 を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい所主で欠消する場合 を認ける等の支援をしているか。 また、きょうだい所主で欠消する場合 を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい所主で欠消する場合 を認ける場合 を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい所主で欠消する場合 を認ける等の支援をしているか。 また、きょうだい所主で欠消する場合 を認ける場合 を認ける を認ける場合 を認ける場合 を認ける を認ける を認ける を認ける を認ける を認ける を認ける を認ける	29%	71%	ご要感に応じて、対応させていただいております。	
o.	40	3000 のかかんがなっしいかい。 こども中保護者から和談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こども中保護者に開始し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	ご機能がありました際には、迅速かつ機能に対応しています。	
10	41	プン 芝規的に連続等を発行することや、HPやSMS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか、	100%	0%	月ごとに対象が変を発視しております。また、物質単日にプログを内域し、活動の様子をご確認いただける後の後かを行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分解意しているか。	100%	0%	人社時に誓行機にて確認し、個人情報の機体能達的成功に力を入れております。	
	43	海裏のあることもや保護者との意思の政連や情報伝達のための配差をしているか。	100%	0%	像々の状況に応じて勧爆を行っております。	
	44	事業所の行事に包括住民を紹介する等、地域に関かれた事業連携を図っているか。	100%	71%	ご意識に応じて、対応させていただいでおります。	
	45	李虚防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施して	100%	0%	梅草温の明確を実施しております。	
	46	いるか。 	100%	0%	GC等定あり→ 暴発機計画 (GCF) を模定し、支援的公認機を行っております。GL→ 支援的公認機に加え、暴発機計画 (GCF) の模定を検討小たします。	
	47	事柄に、販菓や予所が増、てんかん及作等のこどもの対欠を機能しているか。	100%	0%	塩却付上でも共和し、把握に別めております。	
31	48	参称と、原際ドプの物性、じんげんが打字のとことがあれて環境しているか。 食物アレルギーのあることもについて、関係の指示者に基づく対応がされているか。	100%	0%	周周時亡で也界利に、把握に対め、対応しております。	
77 87 88	49	(本格)アンルー・ロッカローこのに、メリ、、歌歌の歌歌歌・楽・人別のかったい、かかい。 安全計画を作成し、安全管理に必要な時報や関係。その他を収収面を描える等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	南森明士で七井利し、把側に移め、対応しております。	
σ. 30	50	第五日間電打な払い、安全数学への労働・公司数・公司数・でいるの学報・公司を担い合う、安全数学がプライルにやして扱い打けれているか。 こともの安全管像に関して、事務等との連携が振られるよう、安全計画に基づく取扱り等について、事務等へ振知しているか。	100%	0%	福岡時亡で仕昇し、保護者だ否への原収に努めております。	
R	51	ことの次文主権強い続けて、可能的な必要が明めて10点 ハ、文主計 間下 悪 ハ 印刷が得る に、可能的ではしたいのか。 ヒヤリハットを事業所的で共和に、再発的主に向けた万葉について替針をしているか。	86%	14%	市の検ではありませんが、色度なことでも応えをし、事業所でヒヤリハットを選択共和しております。また、必要等所の密理者とセ共有する体制を整立ております。	
	51	Cヤツバットを事権的では有し、再別的に上向プロジョルに会対をしているか。 歯肉を指定するため、職員の研修権会を養保する等、適切な好応をしているか。	100%		が対象とあるとので、三面を上していたしない。 一面のとしていく 「これのではない」という。 また、 のではいったがません しかわす なっかがになったという。 「これのではなったがった。 「これのではなったがった。 「これのではなったがった。 「これのではなったがった。 「これのではなったがった。」 「これのではなったがった。 「これのではなったがった。」 「これのではなったがったがったがったがったがったがったがったがったがったがったがったがったがっ	
	52	国向を密止するため、職員の研修場合を確保する等、測句な対応をしているか。 どのような場合にからを得す身体内束を行うかについて、相議的に決定し、こともや保護剤に事前に十分に説明し了解を得たよで、児童発達支援計画に起転している	100%	0%	場が出た。実践を登録者でもことに、大阪のいる大学的なできない。場合の上上がり、おとます。 「協議・ 不代替せ・・同性を推定している場合とし、身体的をを行った場合には起源を行っております。また、計画家でも効果しております。	
	53	<i>b</i> '.	10046	076		

事業所名		グローバルキッズメソッド100 市川大野店(パーク)			公表日 2025年2月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	1	利用定員が保建支援支等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	用紙に合わせたプロアをご用着しております。	
環境	2	利用支貨やこどもの状態等に対して、職員の配差数は適切であるか。	0%	100%	教員や保育士員報のある機員を配置して、人員秘事を確定しております。	
*	3	生活を開せ、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の影響が適切になされているか。	100%	0%	砂奈に応じて職員がフォローを行なっております。	
20 50 68	4	************************************	100%	100%	相日、清解を行っております。 塩味放生に関しても小体の心話したいを行っております。	
	5	必要に応じて、こともが個別の部間や場所を使用することが認められる環境になっているか。	50%	50%	状況に応じてグループで能態を分ける特の対応をしており来す。	
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(四様設定と振り戻り)に、広く施費が参加しているか。	0%	100%	実際的に応援を特権して試し点いを行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する総合を設けており、その内容を審視改議につなけているか。	0%	100%	アンケート結果や、遺跡のコミュニケーションから処理を計画し、改善できるように努めていきないと思います。	
箱	8	福貞の意見等を把算する場合を設けており、その内容を維充改賞につなけているか。	100%	0%	#	
改善	9	第三者による外部呼吸を行い、呼吸延縮を維持改満につなけているか。	0%	100%	ウ機関けていきたいと思います。	
			50%	50%	会場所のおかて、明朝整備の課題による処面向上に力を入れております。	
	10	職員の前員の向上を図るために、研修を覚護する機会や法人内等で研修を開催する機会が機能されているか。			思いません。 ************************************	
	11	適切に支援プログラムが仲級、公園されているか。	50%	50%	ボール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	12	個々のこともに対してアセスメントを選切に行い、こともと復議者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 児童発達支援計画を介成する際には、児童発達支援管理任義だけでなく、こともの支援に関わる職員が法理解の下で、こともの最高の利益を考慮した検討が行われ	50%	50%		
	13	ているか.	100%	0%	部たら後するしているものに類し、情報共和に別のでおります。 -	
	14	児童宗達支援計画が職員物に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 こともの途形才動の状況を、信事化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動域解なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する時により	50%	50%	号号等の 発電発送を対する (1997年 日本の 1997年 日	
18	15	確認しているか。	50%	50%	(銀物等角時の記録を取り、次間等等内容を立てる際に返用しております。	
切な	16	児童発展実践計画には、児童発展支援サイドラインの「児童発展支援の原例は不得支援」の「本人支援」、「確保支援」、「保行支援」及び「地域支援・地域連携」の おらい及び支援内容も高されながら、こともの支援に必要な同位が増加に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	50%	50%	党権教養支援計画には、必要な認証分割が正確的され、そのうスで、具体的な支援外間が設定されております。	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	17	活動プログラムの位案をチームで行っているか。	50%	50%	試し点いのと、効能プログラムを改定しております。	
供供	18	溶動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要以降点、内容を見重して政备点を認め込むようにしております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と無国活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	0%	100%	お子さまの状況にないて、個別な数と機能な数を適別組み合わせて光盤発達支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には韓国間で必ず行会せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50%	50%	出物時間が異なることが多い場。 不動態員を中心に消除共和出来るよう。 記跡や口頭によるコミュニケーション等で構図に現めております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%	港動物類も開修に買なることが多い場。同様に取物機関を中心に消勢共和出来るよう。記録や口頭によるコミュニケーションやで機関に努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改薬につなけているか。	50%	50%	他別等資料の起源を取り、次記等資料信を立て各際に活用しております。	
	23	支期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見慮しの必要性を判断し、適切な見慮しを行っているか。	50%	50%	お子さ書の状況や必要性に応して確切な規範しを行っております。	
	24	南吉児和談支援李専所のサービス担当者会議や招待機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が伊難しているか。	0%	100%	お子さまの状況をより機関している職員が参加回収をよって努めております。	
	25	地域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0%	100%	必要に応じて測定使見しております。	
	26	例行利用や紹介に向けた支援を行うなど、インクルーション構造の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や可定ごども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚 部)等との間で、支援が招称の間能共和と信用理解を添っているか。	50%	50%	必要に応じて、適需する必権温や資料器の機能の方との消骸共有を付なっております。	
	27	該字時の終行の際には、小字校で特別支援学校(小字幕)との間で、支援内容等の情報共有と報品理解を図っているか。	50%	100%	他設する飲飯業等デイサービス事業との情報共和を限りながら、ご事協があれば学校との情報共和に加すてまいります。	
国信		(28~30は、センターのみ関係)				
柳岡	28	地域の他の児童発達支援センターや際高児通所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の長の向上に貢する歌組等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)		
伊保護	29	英の向上を図るため、機能的に専門家や専門機関等から動意を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではないため間首なし)		ear)	
# E	30	市場の児童実施支援センターとの連携を限り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける報会を扱けているか。	(センターではない	ため回答なし)	\$C)	
連携		(31は、事業所のみ間前)				
	31	型域の児童発達支援センターとの連携を振り、必要に応じてスーパーパイズや助浪等を受ける場合を設けているか。	0%	100%	必要に応じて連携し、研修にも小家のに参加しております。	
	32	保育所や物定こども関、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	ご類似に応じて、対応させていただいでおります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の中心送りにより伝達を行って、共通機能を集めております。	
	34	事族の対応かの向上を指る概念から、事族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報教徒し、ご実在での支援にご法用いただけるよう様かくお伝えしております。	
	35	- 環際規則、支援プログラム、お子さま食肥等について丁寧な松明を行っているか。	50%	50%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、ごどもや保護者の意思の尊重、ごどもの最高の利益の優先考集の観点を請まえて、ごどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	50%	50%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。	
	37	るか。 「漢書発達支援計画」を示しながら支援が終の影明を行い、体質者から光響発達支援計画の明章を得ているか。	50%	50%	※単に沿った「児童教達支援計画」を示しながら支援が指の設備を行い、 保護者さまから児童教達支援計画の信息を使ております。	
	38	定期的に、承延等からの子育での悩み等に対する相談に適切に応じ、関談や必要な効果と支援を行っているか。	100%	0%	で物に広いて、対応させていただいております。	
保護者		父用の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者明士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい明士で交流する機会		100%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
^ 6	39	を設ける等の支援をしているか。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に原知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	0.0		ご機能がありました際には、迅速から機能があります。	
100 100 109	40	p.	100%	0%		
	41	定期的に通信等を飛行することや、HPPSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとご加齢予定を容倒しております。また、物質器日にプログを介格し、加熱の様子をご確認いただける切り扱わを行っております。	
		個人情勢の取扱いに十分服意しているか。	100%	0%	入社内に届的商士で権収し、個人情報の確認や確認的企工かを入れております。 -	
	43	南高のあることもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための記事をしているか。	100%	0%	像やの状況に応じて勧停を行っております。	
	44	事場所の行事に地域社党を契約する等、地域に関かれた事業運営を図っているか。	100%	100%	ご審査に応じて、対応させていただいでおります。	
	45	野松的広マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、防犯マニュアル等を検定し、職員や承済等に飛知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 いるか。	100%	0%	毎年2回の回聴を実施しております。	
	46	展務組続計画 (BCP) を測定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	区で策定あり→ 業務機能計画(BCD)を策定し、支援的公前機を行っております。なし→ 支援的公前機に加え、業務機能計画(BCD)の策定を検針いたします。	
	47	事務に、振奏や予防候種、てんかん発作等のこともの状況を構図しているか。	100%	0%	臨退時上でも共有し、民間に努めております。	
常用	48	食物アレルギーのあることもについて、医師の指示者に終づく対応がされているか。	50%	50%	電流対土でも共和し、民間に努め、対応しております。	
89 Ø	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を構じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	50%	50%	職員時亡で包共身し、把郷に昇色、外切しております。	
功応	50	こともの安全機能に関して、薬店等との連携が振られるよう、安全計画に振づく影場内容について、薬店等へ周知しているか。	50%	50%	福島所上でも共和し、保護者さおへの境犯に知めております。	
	51	ヒヤリハットを事業所介で共有し、再発防止に向けた方面について検討をしているか。	100%	0%	事例後ではありませんが、 無限なことでも犯入をし、 事業所でヒヤリハットを適宜共和しております。 また、 他事業所の指揮者とも共存する体制を狙えております。	
	52	虚荷を防止するため、職員の研修機会を機体する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虚物所止委員会を設置するとともに、支援的な金券等格を行ない、虚物所止に別めております。	
	53	どのような場合にやむを得ず毎体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明して解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	50%	50%	協能性・肝代動性・一時性を満たしている場合とし、身体的変を行った場合には起酵を行っております。また、計画者にも放映しております	

事業所名		グローバルキッズメソッド101 前橋大利根店(パーク)			公表日 2025年2月1日		
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
	i	利用定義が発達支援宣等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	レクリエーション、他別等音を行う指導。千種の温度、クールグウンの温度などお子さまたから状態や特性に応じて、直接応支払が成が月底です。 回数がいくつかに仕切られていることで無知や機制機動など用途に合かせて返用することができます。定義プロアが大きく分けて設備差め、十分はスペースが機能されております。		
環境	2	利用定員やこどもの状態等に対して、機関の影響数は剥切であるか。	100%	0%	常動と将常物の機関のパワンスがよく、お子を承達と何き合った機能ができております。現的な機能を誘くされております。		
· 休 別	3	生活空間は、ごどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、参募所の股価等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配度が適 切になされているか。	100%	0%	放送がなく、身格等事を持っているお子さまも利用が可能です。小さなお子さまもいるので転倒が施にプロアマットが引いており、 収蓄効果もあります。 段差がなく、お子さまが活動しやすい芸術になっております。		
50 58	4	生活活開は、清潔で、心地よく適ごせる場所になっているか、また、こども途の活動に合わせた活躍となっているか。	100%	0%	移放や海阜などに発を払い、不要なものは簡単して付付すためります。また民境などの配着を安全と開催して据えるようの例けております。 毎日前側し、返こしかすい環境と単になっていて、また、お子を走が搭動しかすい環境となっております。		
	5	必要に応じて、こどもが解除の領害や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	自由設分から勝れた必恵で継がの返費がおり、他の特徴などが報点されます。气管が必要なそもいるので判断率に影楽しながら、特別に使えるより複数側で拡し合っております。 气管の運営や解析等度(解析支援)の高度など、出的に応じた場合づくりがされております。		
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と無り送り)に、広く機関が参加しているか。	100%	0%	機関的士で称す。機能する機合を日本の必能で自然と行えております。新人機関には明確な目標を投票し、無り返り支期的に行っております。前分の伝書事情や実になったことなどを出し点えております。 自然と行えていて影響がないです。 時間をとるように悪寒時間指布で悪味けるゆの中し返り、グループラインの活用などにより、広く参照できております。		
	7	位置者向は評価表により、位置者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改議につなけているか。	100%	0%	日々の連絡は国家かごことができない保護者とまとは、電話や405年別へて参介や意見、実際の機能を行っております。 jbugic とから海絡を使けた事をすぐに共有できたり他、夕の保護者との対策時に参与を 伝えられることもあるので、全体に放映できております。 影響者が保護者とおの間向を取りまとか、職員全体で外容を疑切した上で改善に取り組んでおります。		
粉改	8	間間の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職員の条件の変化を授て、職員によっては管理者から声を扱い話す場所を物やしております。相談、意見を出いすいよう。日ごかからコミュエケーションを担っております。 物かの伝表を制や気になることがある時は実際に概念できる労働性があるので飲いと思います。高等時間や需要終す場。グループラインなどで場合が場所に扱けております。		
a	9	東三衛による外部評価を行い、評価結果を車務改議につなげているか。	60%	40%	評価の結果、改議点などを閲覧で共有し、根談を行っております。他の事業所や保育機関などと情報の交換や関係を受けたりできる環境にあるので募集に放映していけると思われます。		
	10	職員の角質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	80%	20%	支援的公務所、市などの研修や概認会に参加し、内容を開除共和しております。月一回の研修や外部研修を受ける場合を向けてよかったです。専門性を務めていけると呼びます。 毎月、全体研修を受賞するなど、場合が開発されている。		
	11	選切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	銀列交通計画を作成、周切を行っております。高級が製理されていて利益を見つけて開発することができております。管理者及び作成部高者がプログラムを作成し、適切に公表されております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを選切に行い、こどもと奴族称のニーズや模型を名詞的に分析したとて、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	他的支持計画外系第二アセスメントを行い、支援計画の月息しや外点を行っております。職員的士で職員を支持する部分自然と出来れ、他・セスロ・エンで着った見方だならないと思じております。 も々な経験をされている方がいるので思いを話したの特殊を大切にしたいです。支援計画は主に管理能が得近しております。仲成時にはニーズや課題などを客僚がこ分析し、仲成にあたっております。		
	13	光盤発達支援計画を作成する際には、光盤発達支援管理長任者だけでなく、こともの支援に関わる職員が共選理解の下で、こともの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	日ごろから終子さ来たりの変化、気になる何など日ごろから話し合いを行っております。 毎日、毎々の範責が必能で致し、部治を変えながら流たることでいろいろな句変から終子さ来の様子を変えることができていると思います。 毎職員の意見などを無利し、共通機関もしっかりなされております。		
	14	党皇発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	部札巾ご利用状が寄せ場。 職員間で保証支援計能が紹布を実施的に振り返りを行っております。計画書に当を適したり伝達したり写る字で共有され生かされていると思います。 実践計能が入っている後期ファイルなどを開発して、しっかり共存されております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 確認しているか。	100%	0%	私総党権スケールを平式こと行い、専門的支援の計画、評価も同様に半年に1度の発産しをしております。職員施せがはこのようするところに置かれているので機関しかすいです。hogh日々の専門的支援の実施開催への紀入・開発 などで機関しております。		
切が	16	光態発達支援計画には、光盤発達支援カイドラインの「栄量発達支援の原例する音支援」の「永人支援」、「雑馬支援」、「将用支援」。 ならいなび支援外容を開業さながら、こともの支援に必要な傾回が乗切に設定され、その上で、具体的な支援外容が設定されているか。	100%	0%	用体的に支援が指などを閲覧が把償できる場があるので感じ取りやすく、設定できていると思います。支援計画作成は具体的な支援が指が設定されております。		
支援	17	活動プログラムの位案をチームで行っているか。	100%	0%	本色、非常色、指揮者、お子さ来発達質難可養日後、誰かの意見だけでは動かず、すべての重数の意見を聞き、支援をデームで行っております。 割り無りをした上で形容が規重したものを他の電数と意見交換しながら決定していける容別批があります。 職員間で意見を出しるつなど、立事をデームで行われおります。		
の機	18	激動プログラムが固定化しないようエ夫しているか、	100%	0%	毎日、異なったレクリエーションを設定しております。運動、無線、機能運動、感覚致など皆々なレクを思り入れております。機材研究しながら色々なプログラムを機成しております。レクのテーマを毎日良え、固定をしない活動プログラムとなっております。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と樂団活動を適宜組み合わけて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別等有の日を設定、実施しております。全体の時間と扱っが向血に扱い時間との用方を大切にしお子さまの様子を認か得って次に生かせるエ大を考えております。お子さまのその時の状況に合わせた支援計画の作成や、支援がなされております。		
	20	支援開始所には魏្朝西で必ず打会せを行い、その日行われる支援の内容や役割分配について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼を毎日的い、注意事項、情報所有を行っております。 伝達事項をしっかり降き分から似いことはその確ですぐに質問するような場がございます。 またが応が必要なことが起こうた時も虚ぐに解示に向かっ対処ができていると思われます。 毎日、 支援 期助析に申し返りを行なって、 支援にあたっております。		
	21	支援終了後には、電間間での予打会せを行い、その目行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	東になる点、改善点の部したいを行っております。ちょっとしたことでも実づきを拡えたい中有できていると思います。高速しの他、関係があります。無り返りを行い、次の利用時の対応の仕方はどを共有しております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の機証・改高につなけているか。	100%	0%	保護者と選がらの実質や機能の意見を受け、記録外数など機計し変更を行っております。機能ファイルや負分なりの変づきを置き始めるようにしております。hugh 機能の専門的支援の実施開始の犯入を分担して記録をとり、支援の検証・改派につなけております。 おります。		
	23	芝類的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切収昇直しを行っているか。	100%	0%	電影機からの発成。 英葉軟の意見、支頭に関わっている機能の意見を開き、改善を行っております。 計画的にモニタリングを入れていてパウンスがよいです。 保々の機能費を紹ってモニタリングを定期的に行い、支援計画の見直しなどを選択がなっております。 ります。		
	24	間害形型談支援事業所のサービス原当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく規模した数が影響しているか。	100%	0%	お子さま発達支援管理発性者が出来し、参称に電景からも超き取りを行いべモを持参しております。自我からお子さま連の様子や外切について話しているので共通情報して持むてきていると思います。主に指揮者が参楽しております。		
	25	地域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	型の原体者にグロー/Usの活動の相手を見写していただいております。要望がおけば、グロー/Usの見字を設定しております。お子さまや家族が関わっている機関からの清極を適宜知ることができているのでそれをどう取扱していけるか外切しております。名意思特別やお子さまが違っている国などとか混合けりなど、連携体験が整っております。		
	26	例行利用や符行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の組成から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援が対等の情報共和と指互関係を限っているか。	100%	0%	率へ通話した即の電話などで、国や信事業所と情報共有を行える体験を整えております。 延辺時や直接物理者への連絡などから情報を得てどうがなしたら良いや電貨で試し合っております。 遊切な支援を行い、届との情報共有も合成(体し合い)を批け で情報共有が切られております。		
	27	数学等の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学等)との禁で、支援小容等の情報共有と相互理解を限っているか。	100%	20%	再年の12月に開州したため、正だ今年改得との情報交換の場が開かれていない。保護者や報路費から実証があった際には、情報交換を行う体制は築えております。子校や保護者からの機能を受けないと分かりかなる所も正直ある。通り公情報共有・保 記機能なされていると思われます。		
何		(28~30は、センターのみ回答)					
桐	28	型域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の採の向上に育する取能等を行っているか。	(センターではない北色期間なん)				
保護	29	第の向上を調るため、積極的に専門薬や専門機関等から動変を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではおい北地間落ない)				
名 と の	30	型域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや物質等を受ける場合を設けているか。	(CL-9-TEMEN COMMINGLY)				
連携		(31は、事業所のみ回答)					
	31	型域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや物質等を受ける場合を設けているか。	100%	0%	市への研修で情報で集める場(ことも紹介)に対抗し、交換について始末を受けております。 保証できる機能の情報をもつすこししりたいところもあるが関わりのある開発とは連携できていると思われます。		
	32	保育所で認定こども展、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	80%	20%	外出レクで物域の子と一緒に意ぶ場合を放けております。外出レク (公園に行って常数するなど) こおいて物域内の他のお子さまとぶれる5場合がございます。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や課題について共通連携を持っているか。	100%	0%	HACP中間、別型など保護者とまた合わせた問題ができる場別変を行っております。送税の利、利・塩の気づきや成長を伝え共産しあっております。送別等や保護者がお迎えたきた時などに、保護者とまからの途を継続するなどをし共通機能につなげ ております。		
	34	事項の対応かの向上を倒る範向から、事項に対して事項支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や事項等の参加できる研修の場合や情報提供等を行っているか。	60%	40%	等質で行っている声楽がの方法など、享収でも思り入れやすい方法をお払えしております。そういつ場の工夫はこれからの課題だと思います。		
	35	適思規能、支援プログラム、お子さま負担等について丁幸な政権を行っているか。	100%	0%	計画時に管理数から必然物の最級にサインを消息、1部はご自宅保留、1部は事業所保留(個人ファイル保留)を行っております。管理数が丁寧に対応に指定り他の機関も参考にしております。管理数を中心に、高機関も他のて丁寧な説明を行なっております。 ます。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの場所の利益の優先考達の報点を請求えて、こどもや家族の意向を確認する場合を設けているか。	100%	0%	保護者とあるご覧見と、ご利用別とも希望を開き(「限びたい」「限たい」など)計画部に記載、作成を行っている。保護者とよの様子や特別などにも必要して行えていると思います。品種の見学時などにおいて、影響教がお子をまやご家族の無利を増 官する場合を扱いております。		
	37	「児童院幸支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童院達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	地差発達支援部項目性的から銀別支援計画の外部の欧明を作い、最後にサインをいただいております。様正があった際には作成し直しを行っております。声かけをし丁寧に説明しております。支援計画を提示し、サインをもらうことにより同意を得ております。 ります。		
保護	38	定期的に、草族等からの子育ての悩み等に対する傾似に適切に応じ、国談や必要な動衆と支援を行っているか。	100%	0%	HAIGPW電話、対数など保護者が報題しやすい方法を選択できております。表情や合誌から朝し毎を扱けながらが応しております。選託、概数に応じて必要は物情や支援を行なっております。		
**	39	父母の命の活動を支援することで、保護者命等を開催する等により、保護者明士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょっだい明士で交流する機会 を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	発達の特性上、報役と異なる事業所の変化が不安、ストレスとなるご利用売への配差や、1日間所しているため、別の場所で父母会などを育く際に必要な機能が欠りないなどが課題となっております。 今後、故吏に何けて検討しておいります。		
の説	40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ激切に対応しているか。 か、	100%	0%	概念を受けた職員が全員に開発しております。管理者から保護者さそへ関係、政情報系の場合は本部に報告を行っております。職員が報路に受けたが状の工夫をしております。根故や母人れがあった場合は、必ず管理者に伝えて必速から対応しております。 ております。		
99	41	芝類的に連携等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや複雑和に対して発信しているか。	100%	0%	物目プログで活動が密を発信しております。レクの様子や個々の成長の気づきを分かりやすく発信するよう影響しております。 http://doc.org/ ht		
	42	倒人情報の電影いに十分値載しているか。	100%	0%	個人情報の持ち出しや着り扱いについて、脱棄規則や指引者に記載しております。入社的に説明を記憶者から行っております。個人情報思考などが一切無いように十分報意しております。		
	43	関系のあることもヤ保護者との意思の経過や情報伝達のための記事をしているか。	100%	0%	保護者とある時性に合わせて、文章で記録を執しております。対策で話すなど工夫を行っております。分かりやすい情報、教情で対応し帰々に応じた記録をしております。傷々の時性をしっかり覚えて、配面につなけております。		
	44	事業所の行事に総結住民を紹祚する等、地域に限かれた事業連黙を誤っているか。	100%	80%	地域色質との交流の場を設けることができておりませんが、今後、強寒に入れて特対情報としております。		
	45	季世所止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、ශみ症対応マニュアル等を策定し、職員や寒瀉等に周旋するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか。	100%	0%	職員には支際的に研修を行い、選問回線などを行った際には4050岁コダニを繰しております。大地県発生の可能性があった際には、遅軽等所、迅速中止など指紙を作成し起布を行っております。選問の手間や内容、影像など職員時士で話した。特別した上で対応にあたっております。十分無知し、発生性に避けるが成びするようにしております。		
	46	業務額結計集 (BCP) を策定するとともに、井菜災害の発生に備え、定期的に退額、依出その他必要な認識を行っているか。	100%	0%	5月と1:月に高雄で高雄雄縁を行っ安全権処の確認を行っております。計画に重り込んでおります。BCPを集支し、高雄雄様を支援的に行なっております。		
	47	事前に、原業や予防保穫、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	アレルギーの特殊の場合的、高額投入を契約時に行い、体調の変化など、当日の様子を保護者に増加をしております。遊忆なが広がてきるよう能かく行ち合わせしております。見予時、契約時に保護者さまから増加しております。利用開始後も第に指 指導権が整われております。		
非常	48	食物アレルギーのあることもについて、関節の施平器に終づく対応がされているか。	100%	0%	アルイー・機能基の階級のコピーミッとだき、おわつが接食を持ずするなどの危険いをしております。食物アルイーに対する情報が状态について発現するよう使しております。アルイー食物を、そのお子さまが立にしないよう経食時・おわつ間に 機能が必要性なっております。		
89 Ø	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を描じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	5月、11月に週間開発を作い、全体研修や行っております。遂始仕が大切なので安全権体について払したい何応についてシュミレーションしております。研修を受け、安全指揮を十分された中で支援にあたっております。		
20 15	50	こともの安全機関に関して、薬薬等との連携が開られるより、安全計画に繋づく取組所得について、薬薬等へ開始しているか。	100%	0%	毎が時に直接場所等の機能を行い、直接経路の書館を作成、主義しをしております。及いの思いにずれがないよう共通情報に見めております。実施等への総址が十分にされております。		
	51	ヒヤリハットを事業所的で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	生分。定義的がその母で高端電視、影響をに関節、指摘、検討を行っております。 参加 と思ったことに対してすぐに対抗し色味が思が起こらい。よう声を向け立っております。 法人内の他のヒヤリハット等時もしっかり共有し、再発しないように対 かております。		
	52	歯許を防止するため、職員の研修組会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	等月、下発的的にデェックリスト)の機能にサインをいただいております(高数、非常数)。虐称社会の研修を行っており、全種責が受けている。虐待と思われることが知こらいよう声を設け合ったり目を抱ったりしております。全体研修を発見し、 初めよれにこつはれております。		
	53	どのような場合にやむを得す身体的来を行うかについて、相違的に決定し、こどもや保護者に事材に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 か、	100%	0%	部的同に「安全、命名守る際にや心を寄す身体疾患を行う可能性がある」指は解的同に説明を行っております。まだそこまでの事例はないですが根差が発生しないように問題り発起りをしております。		

事業所名 グローバルキッズメソッド102 せんげん台店(パーク) 公表日 2025年2月1日 改善目標、工夫している点など いいえ チェック項目 用途に合わせたフロアをご用意しております。 利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 100% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 生活を設定。こともにわかりやすく構造化された準明になっているか、また、参導所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、準理上の起達 切になされているか。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 100% 0% 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 状況に応じてグループで部屋を分ける等の対応をしております。 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 100% アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を消載し、改善できるように努めていきたいと思います。 取業者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 100% 0% 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 禁し合いの上、活動プログラムを決定し公舎しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 100% 0% セスメント用紙だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ こどもの支援に関わる職員阿士で情報を共有し、日々検討しております。 利用時、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けております 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動鏡際なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により WRIT Trists 別僚育時の記録を取り、次回僚育内容を立てる際に活用しております 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 100% 0% P. 盤発達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 改善が必要な場合、内容を見直して反省点を組み込むようにしております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 病質が異なることが多い為、常動性員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 100% 0% 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時替も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 100% 0% **川坡育時の記録を取り、次回坡育内容を立てる際に活用しております。** 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 100% お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 100% 0% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション落連の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互受解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小束めに参加しております。 宮育所や認定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 5らでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 100% 0% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 75% 25% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 月ごとに活動予定を発信しております。また、毎回幕日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 毎年2回の訓練を実施しております。 45 BCP第定あり→ 業務極続計画 (BCP) を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、業務極続計画 (BCP) の策定を検討いたします。 実務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 事前に、脳巣や予防修構、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 100% 0% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 職員阿士でも共有し、把握に努め、対応しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 100% 0% 例集ではありませんが、 些細なことでも尼入をし、 事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。 また、 他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 **首待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。** のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して 切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております

ā	業所名	グローバルキッズメソッド103 新上大久保店(バーク)				
H	1		(+)	1112	公表日	
	1	チェック項目 対応直針角線を授奪等のスペースとの原格で適応であるか。	(はい	いいえ	以高口味、上大ししいの点がと 悪能なわけたフロアをご開催しております。	
15		************************************	100%	0%	製造や保存上機能のある機具を配置して、人具整準を満たしております。また、1対1のサポートが必要なお子さまが居る場合は数DAY複異が協力をしております。	
18 -	3	999年と同じよこないがあから対した、場所の家園がは対けくめのか。 生活支配は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、李陽所の投稿等は、海高の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配差が適	100%	0%	然らのは、中りなって問題ごさせい。ほけん、今後、多い下のか子さまを受け入れるようなことも可能です。	
8	4	切に収せれているか。 生活定際は、溶液で、心地よく派ごせる程明になっているか。また、ごとも連心活動に合わせた范围となっているか。	100%	0%	毎日の消除や海南などの道具をそろえております。	
9	5	正の表別は、非単く、いのよう第二とり99年よりくいかが、また。ことで使が必要によりが上型でよりくいわか。 必要に応じて、こともが解析の影響や場所を使用することが認められる場場になっているか。	100%	0%	温度高度が付けております。	
	6	の学上的した、こともか協議的場面で場所を飲用することが認められる場面になっているか。 電視送信を進かるための PDCA サイクルは機能学と振り返りに、広く電路が参加しているか。	100%		から、	
	-		100%	0%	3. 「私ののの人が出来するとなった」というという。 物理机べんですっており、機能には具体的な指定として行われております。	
70 85	7	保護者向け評価値により、保護者等の意向等を把握する報会を設けており、その内容を業務改議につなげているか。			思想が少いとけてよのが、職体には内性的が態度としてけれているがます。 問題や原剤があればの情報(都要行われております。	
a		職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を業務改高につなけているか。	100%	0%		
	9	第三教による外部評価を行い、評価結果を業務改集につなけているか。	88%	13%	物物ルベルではけわれており、職員には用待的 最深として行われております。	
	10	職員の責務の向上を招名ために、研修を受講する機会や法人内等で研修を誘催する機会が確保されているか。	100%	0%	中間側が割削されております。	
	11	瀬切に支援プログラムが作成、公覧されているか。	100%	0%	モニタリンクなどにより作成されております。	
	12	個々のこともに対してアセスメントを選切に行い、こともと保護者のニーズや課題を客観的に分析したとて、児童発達支援計画を存成しているか。	100%	0%	hupC計画器がUPやれているので、職員値々が必要に応じて報覧しております。	
	13	児童保険支援計画を作成する際には、児童保護支援管理責任者だけでなく、こともの支援に関わる場員が共通理解の下で、こともの最高の利益を考慮した検討が行われているか。 ているか。	100%	0%	お子さ多の特性にあわなた課題を想定してサポートを行っております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	hugにDPやれている計画を機能し日常的な場合やレクリエーションに放映させております。	
38	15	こともの適応す動の状況を、標準化されたツールを抑いたフォーマルはアセスメントや、日々の行動観察なども会むインフォーマルはアセスメントを使用する等により 種類しているか。	100%	0%	毎日の遺動投除に値々人の様子を報前しております。	
t	16	光盤発発支軽計画には、光盤発発支援がイドラインの「光盤発発支援の原料すべき支援」の「赤人支援」、「等末支援」、「等末支援」、「等す支援」及び「電域支援・地域連携」の おちいなび支援が降や翻译式ながら、こともの支援に必要な場面が増加、設定され、その上で、具体的な支援が指が設定されているか。	100%	0%	Ra並成に合わせた支援を提修。 男に支援所容でも目標版定を保ぐ人にあわせております。	
8	17	想動プログラムの食業をチームで行っているか。	100%	0%	レクリエーション等で点集し機能しております。	
9	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか、	100%	0%	お子さまの成長の様子を確認しながら実際しております。	
	19	こともの状況に応じて、個別活動と無同活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	自動感がや世界でのレクリエーション活動で目的を分けて計画しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打会せを行い、その日行われる支援の内容や役割分別について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	第日の指導者が活動内容がわかるようにホワイトボードなどにスクジュールと説明を収書しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	東郷村子後走たは都像女巧いたことや対像を話しっております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の特殊・改高につなけているか。	100%	0%	hugでもお子さその広酷起酵を物店しております。	
	23	芝類的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	責任者が職員からあがっている場所をもとにモニタリングをしております。	
	24	等害児脳族支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した教が参議しているか。	100%	0%	全体を把握している経験商品な責任者が代表として貯蔵しております。	
	25	地域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害器は、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を加えているか。	100%	0%	行政や学校等、年度始終りなど事前に連携ができるように連絡を取り合っております。	
	26	例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン構造の敵点から支援を行っているか、また、その際、保育所や昭定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との相で、支援外容等の情報共有と復互理解を限っているか。	100%	0%	情報交換の合会への参加、お子さまの引き或しての申し返りなどで確認しております。	
	27	就学時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学報)との際で、支援小路等の情報共有と模型機能を誤っているか。	100%	0%	別題が資料等での確認しております。	
69	28	(28~30は、センターのみ関係)				
ER TO		地域の他の児童発達支援センターや商者児達所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	(センターではないため間落なし)			
25	29	質の向上を指るため、緩慢的に専門家や専門機関等から助素を受けたり、職員を外部所修に参加させているか。	(センターではない	(センターでは低いたが顕著し)		
8	30	型域の貯蔵発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助高等を受ける報合を設けているか。	(センターではない	小ため回答なし)		
9	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を振り、必要に応じてスーパーパイズや動用等を受ける場合を設けているか。	83%	17%	心際に応じて連携し、研修にも小家のに参加しております。	
	32	保育所や如志ことも隔。 幼稚園等との文流や、地域の中で他のこともと活動する機会があるか。	75%	25%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの完建の状況や課題について共通性解を持っているか。	100%	0%	hugでの活動物店や複雑物さまからのコメントを活用しております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での克根にご認知、Vにだけるより継かくお伝えしております。	
	35	運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	見学会やモニタリングで行われております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先考集の結点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する場合を設けているか。	100%	0%	モニタリングなどで行われております。。 撃盗があればかはや延辺時で保護者でまと情報交換などをしております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の影明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	モニタリング後に計画部が作成され、保護者さまに同意を募るをいただいでおります。	
s	38	芝期的に、寮族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、国談や必要な動衆と支援を行っているか、	100%	0%	支援的なモニタリングも場合、額束の相談はhughで複雑すで表けております。	
8	39	公用の合の活動を支援することで、保護者会等を開催する等により、保護者阿士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい阿士で交流する機会 を設ける等の支援をしているか。	75%	25%	保護者とま合の開催は行えていませんが、兄弟昨亡の交流ということでは、見学はお吹けしており、体験的に参加していただくことがございます。	
55 15	40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 か、	100%	0%	港が収集が分割機能からある場合や、関帯は実現しべいのことであれば難算像で対応ができております。	
99	41	定期的に連携等を発行することで、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連接体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	hugの活用により保護者さまとの連携ができております。	
	42	個人情報の取扱いに十分細意しているか。	100%	0%	入社時に振的悪にて確認し、個人情報の複雑や影響的正とかを入れております。	
	43	薄着のあることもや保護者との意思の経過や情報伝達のための配導をしているか。	100%	0%	発掘が手務なお子さまにはゆっくりと話して築かせたり、文字に載いたりするなど特性にあった子法をとっております。	
	44	事業所の行事に地域社民を招待する等、地域に関かれた事業連貫を譲っているか。	100%	38%	ご養殖に応じて、対応させていただいております。	
	45	申請性がしてニュアル、緊急傾対のマニュアル、防犯マニュアル、誘急度対応マニュアル等を策定し、職員や事法等に廃犯するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	13%	わかりやすい場所に勧りだしをしております。	
	46	本務組結計画 (BCP) を策定するとともに、芬思災害の発生に構え、定期的に避難、抑出その他必要な訓練を行っているか。	75%	25%	年に職員やお子さまに対して二回的以際連合物書をしております。	
	47	事柄に、 版書や予約課種、 てんかん飛作等のこともの状況を構図しているか。	100%	0%	Na/英での報告や医療機能からの認識者を占くに把握し、お子さ者領別のプロフィールで機能ができます。	
31	48	食物アレルギーのあることもについて、双原の像示器に基づく外切がされているか。	100%	0%	hup等での暗音や医療機関からの診察者をもとに控撃し、お子さき結婚のプロフィールで構成ができます。	
20 20 20	49	安全計画を作成し、安全管理に必要は時間や関係、その他必要は簡素を描しる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	かたの年間計画による研修を支援しております。	
or A	50	こどもの安全権保に関して、実践等との連携が限られるよう。安全計画に基づく取扱内容について、実践等へ振知しているか。	100%	0%	必要に応じて需要等でか拡大しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所介で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	その場や物館が落ち晒いてからなど状気にあわけて共和をしております。	
	52	歯内を形止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	入原門にチェックを毛切用しております。	
	53	場合で記念し、61:20%、 株式とび付款を受けて取れす 69%、 初の以外別のもしくいらいが、 どのような場合にかむを得す身体内未を行うかについて、相違的に決定し、こともか保護者に事格に十分に説明し了解を得たよで、児童鬼達支援計画に記載している	100%	0%	が設性・平性性性・平性を描述している場合とし、身体的をを行った場合には起席を行っております。また、計画家にも効果しております	
	1	th.				

事業所名		グローバルキッズメソッド104 与野店(パーク)			公表日 2025年2月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの順信で適切であるか。	100%	0%	ロジ行き届く 2 部屋を掲げませた使用しております。	
環境	2	利用定員やこともの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	トイレや午機校どしっかり対応できるお子さまの状況に応じて職員数で適時務功で搭極的な単的けがなされております。	
*	3	生活空間は、ごどもにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の設備等は、降害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配準が適 切になされているか。	100%	0%	結本やわもちゃ等の場所が決められている動能がよく活動のメリハリが付きやすいです。身体を動かせるスペースと似上学習を主に実施するスペースをわかりやすく反応っております。情報伝達もSMSを用いて迅速分類能伝達がなされております。	
50 50 60	4	生活密度は、清潔で、心地よく過ごせる場所になっているか、来た、ことも途の活動に会わせた密度となっているか。	100%	0%	物成で搭載が行き振いております。ディッシュペーパーや物態シートが適切は場所に設置されており、お子さま連の活動に対応できております。	
	5	必要に応じて、こどもが銀粉の密度で場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	機能物等が発見られが多り扱うが、場面で使用できるように基本的に近けております。 第二級物理機能されております。	
	6	単語改画を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く機関が伊南しているか。	80%	20%	実際的に会議を開催して話し会いを行っております。	
	7	保護権向け持備表により、保護教等の意向等を把握する機会を抱けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	アンケート結果や、遊飲のコミュニケーションから解集者さまさまのお声を消耗し、改善できるように努めていきたいと思います。	
務改	8	職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を業務改画につなけているか。	100%	0%	月に護職関MTGが参り、誰せる意態が作られております。	
m	9	第三者による外部貯価を行い、貯価結果を業務改満につなげているか。	60%	40%	今後替けていきたいと思います。	
	10	環境の資質の向上を招るために、研修を受講する場合や法人内等で研修を開催する場合が確保されているか。	100%	0%	会検研修のほかに、研修影響の視聴による知識内とに力を入れております。	
	11	環切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	56で活施な込動がなわております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを選切に行い、こどもと保護者のニーズで模型を客観的に分析したよと、児童保達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント用紙だけではく、保護者さまさまからのご意見やお子さまの様子をお抑べし、計画を作成出来るように努めております。	
	13	、 児童発達支援計画を介成する際には、児童発達支援管理長任者だけでなく、こどもの支援に関わる福貢が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているが。	100%	0%	お子さるの支援に関わる機関時式で情報を共和し、日々続封しております。	
	14	(いめか) 大学の	100%	0%	参り即時、児童発達支援計画に沿った支援を心動けており戻す。	
	15	ごどもの遊ぶ行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	100%	0%	協調等前的心臓を抱り、双端等前特を在てる際に流用しております。	
油切	16	機能しているか。 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「木人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	児童発達支援計画には、必要な場合が通常が正差的され、そのうえで、具体的な支援が指定されております。	
な支	17	ならいなび支援外籍や語彙えながら、こともの支援に必要な場面が選切に設定され、その上で、具体的な支援外籍が設定されているか。 本部プログラムの音楽をチームで行っているか。	100%	0%		
仮の提	-	活動プログラムが簡単化しないようエネしているか	100%	0%	参応を分け寄り食べ物間り入れたり、前後の活動が搭のパウンスを見て活動しております。	
gt	19	### ことととは MRC(U)のからないようない。 ことものが沢に応じて、 仮図活動と 機関活動を 適別組み合わせて児童発達支援計画を作成し、 支援が行われているか。	100%	0%	お子さ老の状況に応じて、個別支急を集団返免を適宜扱力のロセで発動発達支援計画を作成しております。	
	-	を受けない。 Ministration Ministration の	100%	0%	出版時間が異なることがも、項、常能機能を中心く情報共和率をおか、記録や口頭によるコミュニケーション等で利取に努っております。	
	20				があった。 がある。 がる。 がる。 がる。 がる。 がる。 がる。 がる。 が	
	21	支援終了像には、職員間で必ず打合せを行い、その目行われた支援の服り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	7) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の特証・改善につなけているか。	80%	20%		
	23	実際的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切以見直しを行っているか。	100%	0%	お子を表の状況や必要性になりて確認は発達しを行っております。	
	24	南吉沢昭設支援事業所のサービス担当者会議や関係傾向との会議に、そのこどもの状況をよく理解した教が参画しているか。 ■ 「「「「「「」」」 ■ 「「」」	100%	0%	お子さまの状況をより機能している機能が参加に来るように努めております。	
	25	市場の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保算、核算等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に必じて衛航機制であります。	
	26	例付利用で解写に向いた支援を行うなど、インクルージョン構造の組成から支援を行っているか。また、その際、保育所や指定ごとも際、幼稚園、特別支援学校(幼稚 部)等との間で、支援が指等の情報共和と相互機解を削っているか。	80%	20%	必要に応じて、適需する幼稚園や信仰機能の方との情報共再を行なっております。	
	27	以学等の解行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との館で、支援外容等の情報共有と報互理解を図っているか。	80%	20%	何設下る放掘等ディサービス事業との情報具件を扱りながら、ご覧望があれば学校との情報具有に勤けて高いります。	
係機	28	(28~30は、センターのみ間第)				
17		市場の他の児童発達支援センターや障害児易所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の何の向上に貢する取組等を行っているか。	(センターではないため回答なし)			
技者	29	第の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助案を受けたり、職員を外部時様に参加させているか。	(センターではない	ため間答なし)	高年()	
との連	30	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや物画等を受ける機合を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)		
辨	31	(31は、事業所のみ間首)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや衛言等を受ける組合を設けているか。	100%	0%	必要に応じて連携し、研修にも今まめた参加しております。	
	32	保育所や歴史ことも関。幼稚園等との交流や、地域の中で参のこともとな動する機会があるか。	60%	40%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	保護者とまためかいした際には参議者での様子をお信えする様にしております。	
	34	事態の対応力の向上を図る観点から、事態に対して実施支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の概念や情報提供等を行っているか。	80%	20%	ごらちての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご法用いただけるよう機かくお伝えしております。	
	35	湯恩規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考集の機点を請求えて、こどもや原族の意向を確認する機会を設けているか。 るか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援外部の影明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか、	100%	0%	悪軍に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援外部の説明を行い、保護者さまさまから児童発達支援計画の同意を得ております。	
保護	38	定期的に、家族等からの子育ての協み等に対する相談に適切に応じ、国族や必要な動居と支援を行っているか。	100%	0%	ご整理に応じて、対応させていただいております。	
*	39	父用の命の盗動を支援することで、保護者合等を開催する等により、保護者用士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい何士で交流する機会 を設ける等の支援をしているか、	40%	60%	ご整確に応じて、対応させていただいております。	
20 20 98	40	ごどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を監備するとともに、ごどもや保護者に開知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 か、	100%	0%	ご物館がありました際には、迅速がつ減切に対応しています。	
19	41	支期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに高齢予定を発倒しております。また、物質薬目にプログを作成し、高齢の様子をご確認いただける歌り能みを行っております。	
	42	個人情報の意図いに十分指意しているか。	100%	0%	入社時に版的書にて確認し、個人情報の保護や需視所法にかを入れております。	
	43	南高のあることもや保護者との意思の経過や情報伝達のための影響をしているか。	100%	0%	傷々の状況に応じて配準を行っております。	
	44	事場所の打事に地域位置を招待する等、地域に関かれた事業運営を図っているか。	100%	40%	ご物感に応じて、対応させていただいております。	
	45	事故的止てニュアル、緊急時対なマニュアル、防犯マニュアル、協迫使対なマニュアル等を推定し、職員や事族等に関加するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	毎年2回の開発を開発しております。	
	46	果務理能計画 (BCP) を開定するとともに、非常収集の発生に偏え、定期的に選集、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	ICで発文あり→ 業務機能計画(ICO)を発文し、支限的な調味を行っております。なし→ 支限的な調味に加え、業務機能計画(ICO)の発文を検討いたします。	
	47	事所に、施薬や予防症様、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	職間時亡で出発し、把側に対めております。	
非常	48	食物アルルギーのあるこどもについて、皮肤の他労害に基づく対応がされているか。	100%	0%	間周時士でも共和し、把握に対め、対応しております。	
89 99 (C)	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な標準を描しる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	臨周時士でも共称し、把握に別め、対応しております。	
対応	50	こどもの安全確保に関して、実践等との連携が関与れるよう。安全計画に基づく取組内容について、事践等へ周知しているか。	80%	20%	福岡時亡でも共和し、保護者とよる条への機能に知めております。	
	51	ヒヤリハットを事業所可で共有し、再発防止に向けた方面について検討をしているか。	100%	0%	李術教ではありませんが、密報なことでも犯入をし、李幕所でヒヤリハットを選択片利しております。また、他事業所の密理者とも共有する体制を整えております。	
	52	虚符を防止するため、職員の研修機会を機能する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虚明的に登録会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虚例的上に努めております。	
	53	どのような場合にかむを得す身体発売を行うかについて、組織的に決定し、こともか保護者に事項に十分に説明して解を得た上で、児童身後支援計画に記載しているか。 か、	60%	40%	協議性・非代動性・一時性を素たしている場合とし、身体的変を行った場合には起題を行っております。また、計画者にも放映しております	

事	業所名	グローバルキッズメソッド106 いわき平店(パーク)			公表日 2025年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	 		100%	0%	成品目示。エスプレいのボウム 用能に合わせたプロアをご用能しております。
100	1	利用定員が発達支援要等のスペースとの関係で適切であるか。			
境	2	利用定員やこともの状態等に対して、電真の配置的は剥削であるか。 ・ 生活型数は、こともにわかりやすく構造化された電場になっているか、また、需要所の砂油等は、溶素の材料に応じ、パリアフリー化や機能伝達等、環境上が影響が高され	100%	0%	製具や保育主義係のある機能を配慮して、人員継承を満たしております。
体制	3	生活が固は、こともにカガリヤイく構造にされた場所になっているか。また、事務的の故語等は、障害の特性に応じ、パリアノリー化や情報伝達等、場所上の配達力増 切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
59	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか、また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、高្保を行っております。 専規設に関しても今まめは割し合いを行っております。
	5	必要に応じて、ごどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで開墾を分ける等の対応をしております。
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く観賞が参画しているか。	100%	0%	支期的に会議を禁備して払いを行っております。
=	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を募集改画につなけているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を消耗し、改善できるように努めていきたいと思います。
務改	8	職員の意見等を把握する機合を設けており、その内容を業務改画につなげているか。	100%	0%	定期的に介護を開催して訪し合いを行っております。
×	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなけているか。	100%	0%	中級検討していきたいと思います。
	10	取員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が機体されているか。	100%	0%	全無明めの役かで、研修動館の複雑でよる知識向上で力を入れております。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	部し合いのと、活動プログラムを決定し公告リネマ。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや問題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を持续しているか。	100%	0%	アセスメント両部だけでなく、保護者を定からのご意見やお子さ去の様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共進理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ	100%	0%	こともの支援に関わる職員時亡で情報を共和し、日々時がしております。
	14	ているか. 大型電子変換性機が電貨物に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	梅利物語、児童発達支援計画に沿った支援を心的けております。
		へ組みがある。	100%	0%	銀頭等前めた脚を削り、辺辺等内容を立てる際に出現しております。
in	15	機能しているか。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			東京の日本の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の
切なっ	16	ねらい及び支援内容を請求えながら、こどもの支援に必要な項目が確切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	
類の	17	活動プログラムの位案をチームで行っているか。	100%	0%	部し合いの上、活動プログラムを決定しております。
供供	18	溶動プログラムが微定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	3高が必要な考点、内容を見直して収益点を配か込むようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と専団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さ来の状況に応じて、領別活動を適宜協か合わせて児童発達支援対策を作成しております。
	20	支援開始前には韓興間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出動時間が異なることが多い為、常動職員を中心に情報共和出来るよう。 紀暦や口頭によるコミュニケーション等で機関に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	遺物解禁し病様に異なることが多い為、内側に実験機関を中心に情報共和当をよう。記録や口頭によるコミュニケーション等で機関に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改順につなげているか。	100%	0%	銀別等資料の記録を取り、返回等資外搭を立てる際に活用しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて謝切な現底しを行っております。
	24	即善児間談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が舒振しているか。	100%	0%	お子さ云の状況をより理解している個質が参加出来るように努めております。
	25	型域の体験、医療(生治医や協力医療機関等)、障害福祉、保算、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を加えているか。	100%	0%	必要に応じて衛医療制しております。
	26	●行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション構造の組成から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との信で、支援が指等の情報共和と起互関策を振っているか。 即等との信で、支援が指等の情報共和と起互関策を振っているか。	100%	0%	必要に応じて、適需する幼稚園や経済間の職員の方との情報共和を行なっております。
	27	(1977年) (197	100%	0%	 根数する放理機等デイサービス事業との情報共和を割りながら、ご繁盛があれば学校との情報共和に割けておいります。
[4]		(28~30は、センターのみ回答)			
係機関	28	物域の他の形態発達支援センターや降電形態所支援事業所等と連携を関り、物域全体の長の向上に貢する取組等を行っているか。	(センターではない	17-WINESER21.)	
伊保	29	係の向上を振るため、積極的に寄門家や専門機関等から動意を受けたり、鑑賞を外部階値に参加させているか。	(センターではない		
異者と			(センターではない		
の連	30	市域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動成等を受ける組合を設けているか。	(EJ9-Cuar	(CROMANIACO)	
携	31	(31は、事業所のみ回答)			
		市場の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや物意等を受ける報会を設けているか。	100%	0%	必要になじて差別し、研修にセルタかにかがしております。
	32	保育所や昭定こども隠、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する場合があるか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を用いたケア記録の延付や、重接の中し送りにより伝達を行って、共通機能を認めております。
	34	事態の対応かか向上を図る観点から、準額に対して実施支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や実践等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	こちらての対応方法等を [昨日の様子] として日々情報発熱し、ご業度での支援にご活用いただけるよう様かくお伝えしております。
	35	適高規能、支援プログラム、お子さま発性等について丁率な説明を行っているか。	100%	0%	ご事論に応じて、対応させていただいております。
	36	児童発達支援計議を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの場所の利益の優先考慮の戦所を禁まえて、こどもや家族の意向を確認する場合を設けているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対称させていただいであります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の影明を行い、保護者から児童発達支援計画の明意を得ているか。	100%	0%	豪事に沿った [伊皇衛連支援計画] を示しながら支援内容の原明を行い、 保護者と志から伊皇衛連を接対側の同僚を得ております。
保	38	定期的に、準務等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、鑑談や必要な効果と支援を行っているか。	100%	0%	ご要項に応じて、対応させていただいております。
模者へ	39	父母の命の結婚を支援することで、保護者会等を開催する等により、保護者附上で交流する場合を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい所士で交流する場合を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ご歌窟に応じて、対応させていただいております。
0 18	40	こともや保護者からの相談や中入れこといて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 か、	100%	0%	ご機能がありました際には、初週かつ機切に対応しています。
10	41	で期的に透微等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連結体制等の情報をござむや媒携者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに効動学定を発情しております。また、物質毎日にプログを作成し、効動の様子もご確認いただける指り組みを行っております。
	42	個人情報の地扱いに十分信息しているか。	100%	0%	入社内に届行商にて確認し、個人情能の推進や思想的点にかを入れております。
	43	南高の与るこども竹保証者との推想の課題で信頼伝達のための配准をしているか。	100%	0%	傷々の状況に応じて勧爆を行っております。
	-		100%	0%	ご幸盛に応じて、対応させていただいております。
	44	事業所の付寄に物紀社長を招待する等、地域に関かれた事業連携を到っているか。 事態的はマニュアル、緊急的対応マニュアル、防防マニュアル、係る確対広マニュアル等を撤支し、機関や実践等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施して			と意味られて、対応ではないにないです。 特々200の開発を実施しております。
	45	Uidith.	100.0	0%	
	46	業務組結計画 (GCP) を規定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、核出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	6Cが第2条ク→ 暴発解析計画 (GOF) を推定し、支際的な訓練を行っております。ない→ 支際的な訓練に加え、暴務解析計画 (GOF) の施支を検がいたします。
	47	事前に、無薬や予防療権、てんか人発作等のこどもの状況を構図しているか。	100%	0%	職期性士で共将し、規模に別のております。
常期	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医験の保守書に基づく対応がされているか。	100%	0%	職間所士で払利は、把握に別め、対応しており至す。
99 00	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で倒線、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	機関性さでは特心、肥度に関め、対応しております。
功応	50	こどもの安全権保に関して、実践等との連携が限られるよう、安全計画に基づく取扱内容について、家族等へ規矩しているか。	100%	0%	職員所式でも共利し、保護者を老へ必須切に別めております。
	51	ヒヤリハットを事実所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例権ではありませんが、些様なことでも起入をし、事業所でヒヤツハットを選択中心でおります。また、他事業所の選集者とセ共有する仲間を置えております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する時、激切な対応をしているか。	100%	0%	南側所止委員会を設置するとともに、定期的な会員等値を行ない、南側所立に別めております。
	53	どのような場合にかむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	切迹性・呼性を構たしている場合とし、身体内変を行った場合には起腺を行っております。また、計画直にも反映しております

事業所名		グローバルキッズメソッド109 大田原店(パーク)			公表日 2025年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	お明定員が発達支援更等のスペースとの関係で適切であるか。	60%	40%	応能に合わせたプロアをご開催しております。
環境	2	利用定員でごどもの状態等に対して、職員の配置数は謝切であるか。	60%	40%	物質や解析主義を必要という。
*	3	生活支配は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配差が適 所になわれているか。	100%	0%	の事に応じて職員がフォローを行なっております。
\$1 \$2 58	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか、また、こども途の活動に会わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、湯解を行っております。塩味放定に関しても小まめな話し点いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の保護や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで副産を分ける等の対応をしております。
	6	専務改善を進めるための PDCA サイクル(日標設定と振り返り)に、広く間間が参画しているか。	60%	40%	実際 的な高級を開催して話したいを行っております。
	7		80%	20%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。
施物	8	閲覧の意見等を把握する場合を設けており、その内容を業務改画につなげているか。	80%	20%	実際的に会議を開催して話したいを行っております。
26	9	第三章による外部評価を行い、評価結果を業務改画につなげているか。	40%	60%	今後替けてい場たいと思います。
	10	職員の肩頂の向上を掴るために、研修を受講する総合や法人内等で研修を開催する総合が爆放されているか。	100%	0%	全角研修のほかに、研修施術の複態による対路内上に力を入れております。
	11	適切に支援プログラムが中級、公表されているか。	100%	0%	思し合いのと、活動プログラムを改変し公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを選切に行い、こどもと似席者のニーズで探聴を客観的に分析したよで、児童保険支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント階級だけではく、保護者をおからご意見やか子さまの様子をお明いし、計画を各成出来るように知ることがある。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけではく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ	80%	20%	こだもの支援に関わる職務時上で情報を共和し、日々検討しております。
	14	ているか。 型盤発音を耐計能が開発部に共有され、計画に沿ったを開が行われているか。	60%	40%	特別期間、児童院権支援計画に沿った支援を心向けております。
	15	こどもの施芯行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	80%	20%	協力を持ちたほと思り、次回等用が存在立てる際に次申しております。
38 UT	16	機能しているか。 水虚丸体支援計画には、光虚丸体支援サイドラインの「光虚丸体支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移攻支援」及び「地域支援・地域連携」の	80%	20%	児童発達支援計画には、必要以端紅が増加に選択され、そのうスで、発体的以支援的指が設定されております。
な支	17	26い及び支援内容を請求るながら、ごどもの支援に必要な適宜が責切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 効象プログラムの立案をテームで行っているか。	100%		以心かのた。常をプログラムを含ましております。
類の程		が新プログラムが近途をデームくけっているか。 連挙プログラムが選手化よないようエテしているか。	100%	0%	造成が必要な場合、内部を見直して収留点を認め込むようにしております。
gt	18		100%	0%	からできるの状況に応じて、機能が動きを実施的を対象を実施が高されております。 からそれるの状況に応じて、機能が動きを実施がある対象を支援が高そればしております。
		こともの状況に応じて、銀別活動と無信活動を適宜場か合わけて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		が、このからからなって、
	20	支援側始新には職員間で必ず打合せを行い、その目行われる支援の内容や役割分類について機能し、チームで差別して支援を行っているか。		0%	温度的ながからない。
	21	支援教子家には、職員副で必ず打合せを行い、その目行われた支援の無り寄りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	20%	信節等等時心起発を切り、次回等別が終を立てそ際に活用しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切な月直しを行っているか。 	100%	0%	お守さ素の結果や多質性に応じて適切な発掘しを行っております。
	24	潜害形成数支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。 	100%	0%	お子さまの状況をより理解している間間が参加出来るように努めております。
	25	地域の経緯、原策(生治致や協力振弊機関等)、陶務等品は、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う外部を整えているか。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	60%	40%	必要に応じて衝撃連携しております。
	26	部)等との情で、支援が指導の情報共有と假互理解を振っているか。	60%	40%	の際に応じて、適需する必帰属や資料室の機関の方との情報片料を行むっております。
	27	銀子時の終刊の際には、小子校で特別支援学校(小子前)との際で、支援小指等の情報共有と規工機能を図っているか。	60%	40%	州総官であた城海や等デイサービス事業との情報共称を別りながら、ご覧望があれば学校との情報共和に施りておいります。
係機	28	(28~30は、センターのみ回答)			
(A)		地域の他の児童発達支援センターや商書児連所支援事業所等と連携を図り、地域全体の何の内上に資する取組等を行っているか。 	(センターではない	ため回答なし)	
被	29	第の向上を描るため、植植的に専門家や専門機関等から助素を受けたり、職員を外部特殊に参加させているか。	(センターではない		
の連	30	市域の児童発達支援センターとの連携を限り、必要に応じてスーパーパイズや助高等を受ける組合を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)	
596	31	(31は、事務所のみ間前)			
		型域の児童発達支援センターとの連携を殴り、必要に応じてスーパーパイズや効果等を受ける報合を殴けているか。	40%	60%	の際にもして連続し、研修にも小卓的にからます。
	32	保育所や昭定ことも届、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこともと活動する機会があるか。	60%	40%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。
	33	日頃からこともの状況を保護者と伝え合い、こともの発達の状況や課題について共通地解を持っているか。	100%	0%	電子の連続機を用いたケア配線の近付や、直接の中し近りにより伝達を行って、共通管験を認めております。
	34	事態の対応力の向上を図る観点から、楽器に対して事族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や事務等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	40%	60%	こちちでの対応方法等を 7年日の様子』として日々情報発信し、ご客談での支援にご結局いただけるよう機かくお伝えしております。
	35	運営規修、支援プログラム、お子さま負担等について丁幸な説明を行っているか。	100%	0%	ご養殖に応じて、対応させていただいであり来す。
	36	思慮発達支援計画を外流する際には、こども中保護権の意思の根据。こどもの最高の特益の優先考慮の報信を指求えて、こどもや等級の懲円を確認する検査を設けているか。 あか、	100%	0%	ご養殖に応じて、対応させていただいており来す。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	※事に知った「労業党後支援計劃」を示しながら支援内容の収明を行い、保護者とよから労業党を支援計画の明整を得ております。
保護	38	定期的に、東漢等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、国談や必要な動賞と支援を行っているか。	100%	0%	ご養盛に応じて、対応させていただいております。
* ^ o	39	2月の命の効果を必要することや、保護者会等を開催する等により、保護者阿士で交流する場合を設ける等の支援をしているか。また、きょっだい阿士で交流する場合 を設ける等の支援をしているか。	20%	80%	ご要感に応じて、対応させていただいております。
200 100	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、ごどもや保護者に同知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 か。	80%	20%	ご機がありました際には、迅速かつ時切に対応しています。
99	41	定期的に通信等を発行することや、HPPSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに対象が充を発倒しております。また、物質単日にプログを作成し、対象の様子をご確認いただける娘り組みを行っております。
	42	個人情報の取扱いに十分能意しているか。	100%	0%	入社時に監約道にて韓ロし、個人情報の保護や総党防止に力を入れております。
	43	薄高のあるこども中保護者との意思の政連や情報伝達のための配募をしているか。	100%	0%	傷々の状況に応じて勧誘を行っております。
	44	事業所の行事に他域社民を協修する等、地域に関か付北事業連貫を卸っているか。	100%	80%	ご整備に応じて、対応させていただいております。
	45	等政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染度対応マニュアル等を施定し、職員や家族等に用知するとともに、発生を思定した訓練を実施して いるか。	60%	40%	毎年200の回便を実施しております。
	46	国務組続計画(SCP)を第定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の事な訓練を行っているか。	60%	40%	の変素をひ→ 暴務機能計画(GC9)を放定し、支売的な訓練を行っております。なし→ 支売的な訓練に加え、集務機能計画(GC9)の確定を検討いたします。
	47	事前に、振楽や予防技権、てんかん発作等のごどもの状況を権証しているか。	80%	20%	職員時亡で社共り、授養に努めております。
非常	48	食物アレルギーのあることもについて、医験の傷宗薬に基づく対応がされているか。	80%	20%	機能所立では共作し、授權に対応、対応しております。
99 Ø	49	安全計画を仲成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	80%	20%	南庭時立では将の、列原に移め、列応しております。
38 16	50	こともの安全機能に関して、等該等との連携が振られるよう。安全計画に終づく影励内容について、等該等へ開始しているか。	60%	40%	株園科上でも共和し、保護者ささへの開発に別めております。
	51	とヤリハットを事業所がで共有し、再発防点に向けた万策について検討をしているか。	60%	40%	事的集ではありませんが、形態なことでも起入をし、事業所でヒヤゾバットを適宜共和しております。また、他事業所の認理者とも共有する情報を整えております。
	52	個体を粉止するため、職員の研修機会を機体する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	卓相所に長期のを設置するとともに、支援的な企業等を行ない、卓相所企工等のであります。
	53	どのような場合にやむを得す身体内束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事捐に十分に投明し了解を得た上で、児童発達支援計画に発験しているか。	100%	0%	切合性・研究を構たしている場合とし、身体内変を行った場合には記録を行っております。また、計画器でも放映しております

事業所名 グローバルキッズメソッド110 我孫子店(パーク) 公表日 2025年2月1日 チェック項目 改善目標、工夫している点など いいえ 利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。 設されている放揮後デイサービスの施設を監機応変に利用しております。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 30% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員懸準を満たしております。 生活を設定。こともにわかりやすく構造化された準明になっているか、また、参導所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、準理上の起達 切になされているか。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 100% 20% 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 状況に応じてグループで部屋を分ける等の対応をしております。 INEで情報共有を行なっております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 Pンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。 取業者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 100% 0% 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 禁し合いの上、活動プログラムを決定し公舎しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 100% 0% セスメント用紙だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ こどもの支援に関わる職員同士で情報を共有し、日々検討しております。 利用時、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けております 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等によ 場際にアンスか 別僚育時の記録を取り、次回僚育内容を立てる際に活用しております 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 90% 10% P. 盤発達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 改善が必要な場合、内容を見直して反省点を組み込むようにしております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 病質が異なることが多い為、常動性員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 80% 20% 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時替も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 40% **川坡育時の記録を取り、次回坡育内容を立てる際に活用しております。** 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 100% 0% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション落連の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互受解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小束めに参加しております。 (育所や認定こども図、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 5らでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 100% 0% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 40% 60% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 月ごとに活動予定を発信しております。また、毎回幕日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 毎年2回の訓練を実施しております。 45 BCP第定あり→ 業務極続計画 (BCP) を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、業務極続計画 (BCP) の策定を検討いたします。 R経統計画(BCP)を策定するとともに、并常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 事前に、脳巣や予防修構、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 100% 0% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 100% 0% 例集ではありませんが、 些細なことでも尼入をし、 事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。 また、 他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 **首待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。** のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して 切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております 53

事業所名		Man (Files of A) (Files of S) (Million of F)	1				
7	R//I1	グローバルキッズメソッド111 富士松岡店(バーク)			公表日		
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	用機に合わせたプロアをご用機しております。		
境	2	利用支責やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	務員や解育主義総のある職員を配置して、人員懸事を満たしております。		
体制整	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された場別になっているか。また、事業所の投稿等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適 切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっており戻す。		
56	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる喧鳴になっているか。また、ごども途の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清解を行っております。竜鳴紋立に関しても小承の心話し合いを行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが銀粉の保護や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状態に応じてグループで副変を分ける等の対応をしております。		
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く福貫が参楽しているか。	100%	0%	定期所に会議を開催して話しぬいを行っております。		
*	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなけているか。	100%	0%	アンケート結果や、遊飲のコミュニケーションから解棄者さまのお声を測載し、改善できるように努めていきたいと思います。		
数	8	職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を業務改画につなけているか。	100%	0%	職務会議などで関い合っております。		
	9	第三者による外部呼吸を行い、 評価結果を業務改議につなけているか。	0%	100%	今後検討していきたいと思います。		
	10	職員の責任の向上を図るために、研修を受講する機会や法人の等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動機の複数による短端内上に力を入れております。		
	11	潜切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	レクカレヤブログで公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや復題を各級的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント用紙だけでなく。保護者さまからのご復見やお子さまの様子をお抑いし、計画を作成出来るように見めております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	職員会議で他々以張名の旅づきを担し合っております。		
	14	児童発達支援計画が機段間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	特別時間、児童発達支援計画に沿った支援を心倒けております。		
	15	こともの遊び行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 様似しているか。	100%	0%	銀門等海外の記録を取り、次回等海外将を立てる際に効用しております。		
细切	16	売業発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原何すべき支援」の「未人支援」、「家族支援」、「都有支援」及び「地域支援・地域連携」の おおいなび支援制御信息機会ながら、こど他の支援に必要な場合が出りませた。 よめらいなび支援制御信息機会ながら、こど他の支援に必要な場合が出りませた。	100%	0%	党権発達支援計画には、必要な領はが選択され、そのラスで、具体的な支援的部分設定されております。		
な支援	17	体が、他の実践が特も指定人もかか、こともの実践に参考を明確が高い、最大され、その上で、資料が4人実践が特が表えられていなか。 活動プログラムの企業をチームで行っているか。	100%	0%	思しかいのと、活動プログラムを決定しております。		
の機	18	活動プログラムが確定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	お子さまー人に対して客額の複数がついて他々な場点から見るようにしております。		
gt	19	ごどもの状況に応じて、個別活動と美国活動を適宜組み合わせて死患発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子ささの状況に応じて、個別活動と機団活動を適宜組分合わけて児童発達支援計画を作成しております。		
	20	「受験関始的には職員間であず打合なを行い、その日行われる支援の内容や部分物について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	送動物型が押心さことが多い場。 茶動館具を中心に「無能対策を表よう。 死跡で2回によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
			100%		透動物質も内閣に買なることが多い。 内閣に実動機器を中心に関係材料にあるよう。 記録や口間によるコミュニケーション等で構図に関めております。		
	21	支援物了像には、職員間で必ず打合せを行い、その目行われた支援の傷り遊りを行い、気付いた点等を共有しているか。		0%			
	22	日々の支援に関して記録をとることを観想し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	総理権権的の記録を表り、恣理権所領を立てる際に活用しております。		
	23	定期的にモニタリングを行い、光重発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切な月直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの地名や多葉性になって確認は発達しを行っております。		
	24	脚裏形型設定援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した教が弊風しているか。 -	100%	0%	お子さまの状況をより意味している機能が参加出来るように努めております。		
	25	型域の保健、医療(生効度や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて関節連制しております。		
	26	例打場中等打に向けた支援を行うなど、イングルージョン指導の関係が与支援を行っているか。また、その際、保育所や認定ことも際、幼園園、特別支援学校(幼園 部)等との間で、支援が指等の情報共将と相互理解を削っているか。	100%	0%	必要に応じて、適需する幼稚園や信仰機能の方との情報共再を行なっております。		
	27	裁学時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との館で、支援内容等の情報共再と模型準務を誤っているか。	100%	0%	州設する松田線等デイサービス事業との情報共有を限りながら、ご要望があれば学校との情報共有に加けておいります。		
係機	28	(28~30は、センターのみ回答)					
III Cr		地域の他の児童発達支援センターや陶蓄児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に負する取組等を行っているか。	(センターではない	- TUMOV ID-BM開発なし)			
保護者	29	我の向上を図るため、結婚的に専門家や専門機関等から助素を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではないたが開発なし)				
ک 0	30	市場の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや物意等を受ける報会を続けているか。	(センターではない	ため回答なし)			
#	31	(3は、事場所のみ関係)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや物志等を受ける報会を設けているか。	100%	0%	必要に応じて推携し、研修にも小法かに参加しております。		
	32	保育所で哲定こども属、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	ご整理に応じて、対応させていただいであります。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を抑いたクプ投資の設計や、遺跡の申し減りにより伝達を行って、共通理解を定めております。		
	34	事項の対応力の向上を図る観点から、事項に対して事項支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や事項等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発権し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう組かくお伝えしております。		
	35	瀬西境性、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご審査に応じて、対応させていただいております。		
	36	光盤発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先考集の結点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 あか。	100%	0%	ご物質に応じて、対応させていただいております。		
	37	「児童院建支援計画」を示しらがら支援内容の診明を行い、保護者から児童院建支援計画の同意を得ているか。	100%	0%			
保	38	定期的に、準務等からの子育での悩み等に対する相談に適切に応じ、鑑談や必要な効果と支援を行っているか。	100%	0%	ご整副に応じて、対応させていただいであります。		
模者へ	39	父母の合の活動を支援することで、保護者会等を開催する等により、保護者内士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい何士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご際国に応じて、対応させていただいており来す。		
o R	40	こどもや保護者からの指旋や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に開知し、指旋や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している か、	100%	0%	ご始終がありました際には、迅速かつ剥削に対応しています。		
109	41	定期的に連携等を発行することで、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとと活動を支を発機しております。また、物医療日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り能力を行っております。		
	42	個人情報の取扱いに十分回意しているか。	100%	0%	入社時に質的高にて確認し、個人情能の複雑や認然指にかを入れております。		
	43	用高のあることもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配達をしているか。	100%	0%	個々の状況に応じて影響を行っております。		
	44	事場所の行事に他域性無を招待する等、地域に限かれた事業連携を削っているか。	100%	100%	ご雰囲に応じて、対応させていただいております。		
	45	李故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、移居マニュアル、移居マニュアル等を施定し、職員や家族等に関始するとともに、発生を想定した訓練を実施して	100%	0%	研究や領域計画が与院で展落されており、定期的に関係も実施出をております。		
	46	いるか。 電路組織計画 (BCP) を施定するとともに、开売災害の発生に偏え、定期的に選集、仮出その他を要な訓練を行っているか。	100%	0%	6C学家支おり→ 無務総計博 (6CP) を販支し、支際的公訓練を行っております。なし→ 支際的公訓練に加え、業務機能計画 (6CP) の販支を検がいたします。		
	47	無効性のは、	100%	0%	福朗州土でも共和し、把郷工別のでおります。		
#	48	(事態) 、 期間アナが取職、くんが人が作者のよことが立て大を開起しているが、 食物アレルギーのあることもについて、復額の限労而に基づく外心がされているか。	100%	0%	個別人で任何化、例では、からいからいからい。 ・		
200 809 800			100%	0%	「		
の 対	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で開練、その他の要な問題を構立る等、安全管理サイラされた中で支援が行われているか。			福岡江で在内は、伊郎・努の、7のしくおります。 福政時亡では内は、保護者と本への機能に知っております。		
15	50	こどもの安全権保に関して、家族等との連携が関与れるよう、安全計画に整づく販売内容について、事族等へ開始しているか。	100%	0%			
	51	ヒヤリハットを事業所的で共有し、再発防止に向けた方面について荷封をしているか。	100%	0%	他の行う会かけ機能などとセツハットなどはすぐに共和しております。 ************************************		
	52	国際を形立するため、職業の研修機会を物質する等、適切は対応をしているか。 どのような場合にやむを寄す資料的来を行うかについて、制理的に決定し、こともや保護者に事前に十分に説明して解を得た上で、児童発達支援計画に配載している。	100%	0%	計画のに実施・参加品をております。		
	53	か	100%	0%	切迫性・手代敵性・一時性を選たしている場合とし、身体内束を行った場合には起豚を行っております。また、計画書にも放映しております		

事業所名		グローバルキッズメソッド114 栃木蔵の街店(パーク)				
					公表日 2025年2月1日	
	1	チェック項目 ド阿耳森が発達支援を等のスペースとの場合で満分であるが、	(はい	いいえ	改善目標、工夫している点など 和紙に合わせたプロアをご用意しております。	
100			88%		例のでは、	
填	2	利用定責やこともの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 生活空間は、こともにわかりやすく構造化された電場になっているか、また、季業所の設備等は、発素の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、電視上が影響が高 を		13%	別は「2番」上内型の中央はで変更し、入場を受け出こしとうとす。 必要になりて開発ガラルーを行なっております。	
製製	3	切になされているが、	75%	25%		
59	4	生活空間は、背面で、心地よく感ごせる場所になっているか、正た、ことも途の活動に会わせた空間となっているか。	75%	25%	毎日、高裕を行っております。環境設定に関しても少まかな然し合いを行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の範匿や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に必じてグループで報酬を分ける等の的応をしております。	
	6	要務改高を進めるための PDCA サイクル(目標設定と限り返り)に、広く電費が参画しているか。	88%	13%	京棚市に会議を帰催して組し合いを行っております。	
*	7	保護和別は評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を暴発改進につなけているか。	88%	13%	アンケート結果や、意味のコミュニケーションから保護者とその知年引護し、改善できるように努めていきたいと思います。	
改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を暴露改画につなけているか。	88%	13%	実際的に会議を開催して献し合いを行っております。	
	9	第三者による外部呼信を行い、 評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	今後付けていきたいと思います。	
	10	職員の責任の向上を図るために、研修を関請する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修整備の複数による知識向上に力を入れております。	
	11	港切に支援プログラムが作成、公寮されているか。	100%	0%	思し合いの上、活動プログラムを決定し公廃しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを選切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント用級だけでなく、保護者とおからのご意見やお子さぶの様子をお得いし、計画を作成出来るように努めております。	
	13	児童房建支援計画を作成する際には、児童房達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通 便 務の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ ているか。	88%	13%	こどもの支援に関わる機能向け上で情報を共有し、日々検討しております。	
	14	光盤発達支援計画が機具間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎時時、光整楽建美観計画に沿った支援を心倒けております。	
	15	ごどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 機能しているか。	100%	0%	他別等資料の起源を取り、次記等資外値を立て各際に活用しております。	
遊切な	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「未人支援」、「家族支援」、「将行支援」及び「児域支援・地域連携」の ねらい及び支援内容も翻译えながら、こともの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内部が設定されているか。	88%	13%	児童発達支援計能には、必要な場址が遵切に連択され、そのうえて、具体的な支援的指が設定されております。	
支援	17	溶動プログラムの位家をチームで行っているか。	88%	13%	故したいのと、恐動力ログラムを決定しております。	
類似	18	活動プログラムが開定化しないよう工夫しているか、	88%	13%	西側が必要が考点、内容を見違して改善点を能力込むようにしております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	88%	13%	お子さまの状況に応じて、傾倒活動と推回活動を適回協力会わせて光像発達支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には鑑賞間での子打合せを行い、その目行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出始的類が質なることが多い頃、果物価質を中心に清朝共和正をるよう。 紀録や口頭によるコミュニケーション等で機能に別めております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の無り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	88%	13%	送動物類も前様に異なることが多い為、同様に高齢機関を中心に消骸共有症をみよう。記録や口様によるコミュニケーション等で機関に別めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改高につなけているか。	100%	0%	個別等資料の記録を取り、次辺等資外資を立てる際に発用しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月底しの必要性を判断し、適切収昇直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの付款や必要性に応じて確切な規能しを行っております。	
	24	南高児和政支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が伊سしているか。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している階級が参加性をおよっに努めております。	
	25	地域の体験、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	必要に応じて測定機能しております。	
	26	例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の組合から支援を行っているか、また、その際、保育所や昭定ことも際、幼稚園、特別支援学校(幼稚	88%	13%	必要に応じて、適需する必解器や保育器の機関の方との活動共再を行なっており戻す。	
	27	部)等との間で、支援が容等の情報共有と概互理解を振っているか。 該子時の特別の際には、小子名で特別支援学名(小学等)との間で、支援が指導の情報共有と相互関係を誤っているか。	88%	13%	一般記する飲食業等デイサービス事業との情報共和を誤りながら、ご事望があれば学校との情報共和に指すておいります。	
[4]		(28~30は、センターのみ回答)				
保機関	28	地域の他の地震発達を滅せンターや障害地域所を護事事所等と連携を限り、地域全体の長の向上に資する範疇等を行っているか。	(センターではないたを開発ない)			
が保	29	では、				
報者と		第20mil.を制めため、機能的にかけまいやけて解制的なごの組合を支いたり、機能を打ち回前地に下面となっているが、 地域の児童発達支援センターとの連携を振り、必要になりてスーパーパイズや物質等を受ける場合を抜けているか。	(センターではない			
の連	30	(8年) (14年)	(2) (44)	TESSAM (C)		
10	31		83%	17%	必要に近じて週間し、耐能にも小さまのに参加しております。	
		物域の児童発達支援センターとの連携を振り、必要に応じてスーパーパイズや物震等を受ける組合を設けているか。			できた。	
	32	保育所や確定ことも間、幼稚園等との交流や、物域の中で他のこともと返勤する報告があるか。	50%	50%		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や課題について共選権解を持っているか。 -	75%	25%	電子の連絡機を指いたグア記録の近付や、直接の中し通りにより伝達を行って、共通機能を指いております。	
	34	事談の対応力が向上を図る観点から、承覧に対して事談支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や事談等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	63%	38%	こちらての対応が活等を「14日の様子」として日々情報発謝し、ご客覧での支援にご追称いただけるよう種かくおਿな人しております。	
	35	- 高思規程、交援プログラム、お子さま負担等について丁事な政務を行っているか。 	88%	13%	ご実施に応じて、対応させていただいであります。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こども中保護者の想志の尊重。こどもの最高の利益の優先考慮の報点を顕まえて、こどもや家族の意向を確認する検索を設けているか。 なか	88%	13%	ご整備に応じて、対象をせていただいであります。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の影明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか、	88%	13%	基準に沿った(児童発達支援計画) モデルセガラ支援内部の説明を行い、保護者さまから児童常達支援計画の何意を何ております。	
保護	38	定期的に、準限等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、鑑談や必要な動賞と支援を行っているか、	88%	13%	ご物質に応じて、対応させていただいております。	
*	39	公司の会の改動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい何士で交流する機会 を設ける等の支援をしているか。	63%	38%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
100 100 100	40	こともや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こともや保護者に原知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 か、	88%	13%	ご始級がありました際には、迅速がつ適切に対応しています。	
19	41	支期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに高齢予定を発倒しております。また、物質毎日にプログを作成し、高齢の様子をご確認いただける歌り組みを行っております。	
	42	個人情報の電波いに十分振聴しているか。	100%	0%	入社時に匿的悪工で構可し、個人情報の保護や高度粉止にかを入れております。	
	43	際高のあることもや保護者との意思の政道や情報伝達のための記事をしているか。	100%	0%	傷やの状況に応じて勧進を行っております。	
	44	事業所の行事に包城住民を招待する等。 地域に開かれた事業連盟を担っているか。	100%	38%	ご物間に切じて、対応させていただいております。	
	45	季他所止マニュアル、製金等対応マニュアル、防犯マニュアル、協助使対応マニュアル等を策定し、職員や事務等に削加するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか。	88%	13%	毎年2回の開発を実施しております。	
	46	業務機能計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	88%	13%	GC/東京あり→ 果原原統計庫 (GCP) を東京し、支際的公訓練を行っております。なし→ 支際的公訓練に加え、果原線統計庫 (GCP) の原文を検討小たします。	
	47	事柄に、原薬や予約接種。 てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	88%	13%	職員例上でも共有し、授権に別めております。	
#	48	食物アレルギーのあることもについて、医師の指示者に接づく対応がされているか。	88%	13%	電風明立ても共有し、児間に努め、対応しております。	
89 99	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問意を描しる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	88%	13%	職員時亡でも共行し、把側に努め、外切しております。	
対応	-	こどもの安全情報に関して、東珠等との連携が開られるよう。安全計画に基づく期間内容について、東珠等へ開発しているか。	88%	13%	職員所式でも共和し、保護者とよへの際犯に努めております。	
	51	ヒヤリハットを事業所与で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	88%	13%	学的教ではおりませんが、 振展なごとでも記入をし、 学事所でヒヤツハットを被害共有しております。 また、 物学業所の指導者とも共有する体制を整えております。	
	52	虚消を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか、	88%	13%	虚明所に募捐会を設置するとともに、定期的な全殊研修で行ない、虚問所止に努めております。	
	52	国内を15元まるため、職民の計算機会を増加する場合。初の次列ルをしているか、 どのような場合につむを得了身体内変を行うかについて、相違的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に発養している	88%	13%	####################################	
	53	th.	88%	1.5%		

事	業所名	グローバルキッズメソッド115 筑西店ブラス(バーク)			公表日 2025年2月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	.	アエッジ・9日 利用定員が発達支援医療のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	用紙に合わせたプログをご用をしております。	
10	2	利用支貨やこともの状態等に対して、機関の配置数は剥引であるか。	86%	14%	根的や解析上自称のある複数を配置して、人員整準を満たしております。	
増・		利用は同じことが収集等に対して、福興の配金製は減りできるか。 ・ 生活な製は、こともにわかりやすく構造化された電視になっているか。また、無辜利の計構等は、精素の計析に応じ、パリアフリー化や情報を達得、環境上の影響が発 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			のはては対しまれているのでは、 利益とは特の部分ではからしないよう工夫しております。	
製製	3	切になされているが、	71%	29%		
59	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる喧嘩になっているか、また、ことも途の活動に会わせた空間となっているか。	71%	29%	毎日、高厚を行っております。 環境設定に関しても小正の以底し合いを行っております。 他のスペースなど、お子さまたがか、ほいほと適ごせる場所がごさいます。	
	5	必要に応じて、こどもが機関の高度や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状態に応じてグループで調整を分ける等の対応をしております。	
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と無り返り)に、広く機関が参画しているか。	86%	14%	支限的に企業を利催して訪し合いを行っております。	
*	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改画につなけているか。	86%	14%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さぶの起声を頂視し、改賞できるように努めていきたいと思います。	
数数	8	職員の意見得を把握する概会を設けており、その内容を集務改画についけているか。	86%	14%	何かちった時に、根獄や改善するべほことなど意見が無える場別だございます。	
_	9	第三者による外部呼吸を行い、呼吸拡栗を業務改善につなげているか。	86%	14%	他協ての近常率などを共和しております。	
	10	職員の責任の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	必要だった場合に応じて、研修等の知らせを受けております。	
	11	潜切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	放し合いのと、活動プログラムを改支し必要しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを選切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を苦破的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント周続だけでなく、仮算者さまからのご意見やお子さまの様子をお抑いし、計画を作成出来るように努めております。	
	13	、 売盤発達支援計画を作成する際には、光盤発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した特別が行われているか。 でいるか、	86%	14%	こともの支援に関わる職員所士で情報を共有し、日々検討しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	LIMERととて、生後の情報など共有しております。	
	15	こどもの地域行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 構図しているか、	100%	0%	銀物物資料の起鍵を取り、次型物剤内容を立てる際に流用しております。	
抽切	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「稼行支援」及び「地域支援・地域連携」の	86%	14%	児童院選支援計画には、必要な場はが選切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されております。	
な支	17	ねらいなび支援所容を請求えながら、こどもの支援この妻な項目が表切に設定され、その上で、具体的な支援所容が設定されているか。 本着プログラムの音楽を子ームで行っているか。	86%	14%	製し合いの上、活動プログラムを発定しております。	
類の際			86%	14%	透案が必要な場合、所容を見直して改善点を組み込むようにしております。	
gt	18	窓動プログラムが開変化しないよう工夫しているか。			の間ができなが、 アロヤ で発達しくな自然であった。 トル・しらいとす。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	19	こともの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜服み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	86%	14%		
	20	支援開始前には職員間でのず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分指について帰郷し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出物解析が異なることが多い頃、素物鑑賞を中心に情報共和出来るよう。 記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	21	支援教育保には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の無り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%	活売で忙しく、終了のミーティングをしている時間がない中でも、何かあれば職員前で情報共将をしております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改画につなけているか。	100%	0%	朝物権対称の起源を取り、次国権的対策を立て必称に次明しております。	
	23	定期的にモニタリングを作い、児童栄達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さ素の状況や必要性に応じて動が以外意しを行っております。	
	24	障害 形型放支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのごどもの状況をよく理解した教が参園しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより増削している職員が参加出来るように努めております。	
	25	地域の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う仲間を整えているか。	86%	14%	必要に応じて適飲産機しております。	
	26	例行列町や存行に向けた支援を行うなど、インクルージョン構造の機点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援外容等の情報共有と假互理解を殴っているか。	86%	14%	必要に応じて、適面する幼稚園や何有間の間質の方との情報共有を行なっております。	
	27	該字時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学路)との館で、支援外路等の情報共有と相互理解を開っているか。	86%	14%	情報する故障機等デイサービス事業との情報共和を担りながら、ご興望があれば学校との情報共和に助けて高いります。	
网络		(28~30は、センターのみ関係)				
相同	28	地域の他の児童発達支援センターや階高児達所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の質の向上に貸する歌組等を行っているか。	(センターではない	ため回答なし)		
保護	29	質の向上を踏るため、積極的に専門家や専門機関等から動意を受けたり、職員を外部所修に参加させているか。	(センターではない	ため回答なし)		
# 2	30	市域の児童発達支援センターとの連携を振り、必要に応じてスーパーパイズや物質等を受ける機会を扱けているか。	(センターではないたの開発なし)			
連携		(31は、事業所のみ間語)				
	31	型域の児童発達支援センターとの連携を限り、必要に応じてスーパーパイズや衛吉等を受ける機会を扱けているか。	80%	20%	必要に応じて連携し、明修にセクモめた例如しております。	
	32	保育所で認定ことも周、幼稚園時との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	57%	43%	ご要値におじて、対応させていただいております。	
	33	日道からこともの状況を保護者と伝え会い、こともの表達の状況や確認について共選事務を持っているか。	71%	29%	電子の連絡機を用いたケア形態の延行や、直接の中し送りにより伝導を行って、共通機能を加くたります。	
	34	事該の対応力の向上を担る機合から、事談に対して業該支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や電話等の参加できる研修の機合や情報提供等を行っているか。	71%	29%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発展し、ご覧官での正規にご送売いただけるよう機かくお佐えしております。	
		湯原原性、支援プログラム、お子さま前担等Cついて丁華な技術を行っているか。	86%		ご要項に応じて、対応させていただいております。	
	35	「薬房知明、支援プログラム、お子さま発起等について丁寧な姿勢を行っているか。 「売売を持った」といる。 「売売を持った」というでは、こともか保証者の世形の措施。こともの保証の利益の使え考慮の総点を請求えて、こどもか専派の他所を推算する核会を設けている。	86%	14%	こを強いらいし、対応させないただいであります。 ご物質に応じて、対応させていただいております。	
	36	5th.		14%	ご協議に応じて、対応させていただいであります。 最近に行った(行動を発送室材作制) も示しながら支援内容の名明を行い、 保護者とよから定義を基本技計画の利能を存ております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の何息を得ているか。	86%	14%		
保護	38	定期的に、家族等からの子育での保み等に対する相談に適切に応じ、自談や必要な動産と支援を行っているか。 公場の合の活動を支援することや、保護者会等を指揮する等により、保護者的士で立定する場合を設ける等の支援をしているか、また、ほよっだい何士で立定する場合を 2000年の活動を支援することや、保護者会等を指揮する等により、保護者的士で立定する場合を設ける等の支援をしているか、また、ほよっだい何士で立定する特合を	86%	14%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
名 へ の	39	を設ける等の支援をしているか、	71%	29%	ご整備に応じて、対応させていただいであります。	
200 100	40	こともや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こともや保護者に期回し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	86%	14%	ご類がありました際には、恋思がつ前切に対なしています。	
19	41	定期的に通信等を発行することや、HPPSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発微しております。また、物態要目にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分能奪しているか。	100%	0%	入社場に振的選にて確認し、個人情報の保護や認識的点にかを入れております。	
	43	物裏のあることもや保護者との概要の終題や情報伝達のための影響をしているか。	100%	0%	傷やの状況に応じて勧進を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を誤っているか。	100%	29%	ご要強にあじて、対応させていただっております。	
	45	事態的止マニュアル、緊急時対応マニュアル、終犯マニュアル、係必能対応マニュアル等を撤支し、職員や事族等に廃始するとともに、発生を想支した訓練を実施し いるか。	86%	14%	毎年2回の開発を実施しております。	
	46	業務機能計画 (BCP) を策定することもに、非常災害の発生に備え、定期的に退職、按出その他必要な訓練を行っているか。	86%	14%	827株丈あり→ 幕島総統計書(827)を果定し、支期的以別練を行っております。以し→ 支期的以別線に加え、幕島総計書(827)の策定を検討いたします。	
	47	事系に、原理や子所修理、てんかん発作等のこともの状況を確認しているか。	86%	14%	概義明さでも共有し、把握に関めております。	
# #	48	食物アレルギーのあることもについて、医師の他示書に基づく対応がされているか。	86%	14%	福政時亡でも共和し、把握に努め、対応しております。	
19 19	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を構じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	86%	14%	電温時亡でも共和し、把側に対め、対応しております。	
対応	50	ごどもの安全権保に関して、家族等との連携が開られるよう。安全計画に接づく取扱内容について、家族等へ周知しているか。	86%	14%	国員所士でも共和し、保護者さぶへの規則に努めております。	
	51	ビヤリハットを事業所介で共有し、再発防止に向けた方端について検討をしているか。	86%	14%	学術家ではありませんが、無限なことでも記えをし、事業所でヒヤゾバットを選択有しております。また、他事業所の指揮者とセスキする体制を包含くております。	
	52	虚符を防止するため、職員の階級機会を機能する等、適切な対応をしているか。	86%	14%	電荷防止券員会を設置するとともに、芝用的な金貨用機を行むい、電荷防止に努めております。	
	53	どのような場合にやむを得す身体内をを行うかについて、組織的に改定し、こどもや保護者に事前に十分に放明し了解を得た上で、児童発達支援計画に配載している		14%	切出性・一時性を選応している場合とし、自体物策を行った場合とは記載を行っております。 また、計画家でも放映しております	

事業所名 グローバルキッズメソッド117 八千代高津店(パーク) 公表日 2025年2月1日 改善目標、工夫している点など チェック項目 いいえ 小部屋など用途に合わせたフロアをご用意しております。 利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 100% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 生活を設定。こともにわかりやすく構造化された準明になっているか、また、参導所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、準理上の起達 切になされているか。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 100% 50% 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 状況に応じてグループで部屋を分ける等の対応をしております。 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 100% アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を消載し、改善できるように努めていきたいと思います。 取業者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 100% 0% 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 禁し合いの上、活動プログラムを決定し公舎しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 100% 0% セスメント用紙だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ こどもの支援に関わる職員阿士で情報を共有し、日々検討しております。 利用時、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けております 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動鏡際なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により WRIT Tricks 別僚育時の記録を取り、次回僚育内容を立てる際に活用しております 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 100% 0% P. 盤発達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 改善が必要な場合、内容を見直して反省点を組み込むようにしております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 病質が異なることが多い為、常動性員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 100% 0% 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時替も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 0% 別検育時の記録を取り、次回検育内容を立てる際に活用しております。 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 100% 0% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション落連の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互受解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小束めに参加しております。 100% (育所や認定こども図、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 5らでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 100% 0% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 0% 100% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 月ごとに活動予定を発信しております。また、毎回幕日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 毎年2回の訓練を実施しております。 45 BCP第定あり→ 業務極続計画 (BCP) を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、業務極続計画 (BCP) の策定を検討いたします。 実務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 事前に、服薬や予防修種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 100% 0% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 職員阿士でも共有し、把握に努め、対応しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 0% 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 50% 50% **- 例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。** 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 虚待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。 のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して 切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております 53

事業所における自己評価結果

事業所名 グローバルキッズメソッド118 ひたちなか店(パーク) 公表日 2025年2月1日 改善目標、工夫している点など いいえ チェック項目 用途に合わせたフロアをご用意しております。 利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 33% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 生活空間は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の股傷等は、降客の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の影楽 切になされているか 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 50% 17% 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 状況に応じてグループで部屋を分ける等の対応をしております。 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めていきたいと思います。 取業者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 33% 67% |1回の機員三一ティングと日々の情報共有を行っております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 33% 話し合いのよ、活動プログラムを決定し公舎しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 67% 33% セスメント用紙だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ こどもの支援に関わる職員同士で情報を共有し、日々検討しております。 利用時、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けております 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等によ 場際にアンスか 別僚育時の記録を取り、次回僚育内容を立てる際に活用しております 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 P. 整発達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 50% 50% 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 毎月色々な活動を取り入れております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 50% 網数が異なることが多い為、常動職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時替も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 33% 67% **川坡育時の記録を取り、次回坡育内容を立てる際に活用しております。** 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 33% お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 67% 33% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 33% 例行列車や紹行に向けた支援を行うなど、インクルージョン構造の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定ことも属、幼稚園、特別支援学校(1 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互理解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小束めに参加しております。 宮育所や認定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 5らでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 33% ご要望に応じて、対応させていただいております。 67% 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 33% 67% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 月ごとに活動予定を発信しております。また、毎回幕日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 17% 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 まず用品偏晶など揃っていない、あってもすぐ取り出せない 45 BCP第定あり→ 業務極続計画 (BCP) を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、業務極続計画 (BCP) の策定を検討いたします。 実務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 事前に、脳巣や予防修構、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 83% 17% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 事前にアレルギーの有類や対応方法など、確認しております。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 33% ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 33% 67% **- 例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。** 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 虚待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。 のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して 切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております

33%

事業所における自己評価結果

事業所名 グローバルキッズメソッド119 新潟青山店(パーク) 公表日 2025年2月1日 改善目標、工夫している点など チェック項目 いいえ 用途に合わせたフロアをご用意しております。 利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 100% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 生活を設定。こともにわかりやすく構造化された準明になっているか、また、参導所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、準理上の起達 切になされているか。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 100% 0% 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しても小まめな話し合いを行っております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 状況に応じてグループで部屋を分ける等の対応をしております。 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 100% アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を消載し、改善できるように努めていきたいと思います。 取業者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 100% 0% 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 禁し合いの上、活動プログラムを決定し公舎しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 100% 0% セスメント用紙だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ こどもの支援に関わる職員阿士で情報を共有し、日々検討しております。 利用時、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けております 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動鏡際なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により WRIT Tricks 別僚育時の記録を取り、次回僚育内容を立てる際に活用しております 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 100% 0% P. 盤発達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 改善が必要な場合、内容を見直して反省点を組み込むようにしております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 病質が異なることが多い為、常動性員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 100% 0% 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時替も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 100% 0% **川坡育時の記録を取り、次回坡育内容を立てる際に活用しております。** 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 100% お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 100% 0% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーション落連の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども際、幼稚園、特別支援学校(幼 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互受解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) 弘の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を関り、地域全体の質の向上に貢する取組等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小束めに参加しております。 100% 宮育所や認定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 5らでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 100% 0% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 100% 0% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 月ごとに活動予定を発信しております。また、毎回幕日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 45 毎年2回の訓練を実施しております。 BCP能定あり→ 募務組続計画 (BCP) を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、募務組続計画 (BCP) の策定を検討いたします。 実務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 事前に、脳巣や予防修構、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 100% 0% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 職員阿士でも共有し、把握に努め、対応しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 0% ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 100% 0% 例集ではありませんが、 些細なことでも尼入をし、 事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。 また、 他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 **首待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。** のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して

切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております

53

事業所名 グローバルキッズメソッド123 作新台店(パーク) 公表日 2025年2月1日 チェック項目 改善目標、工夫している点など いいえ 大部屋、小部屋と人数によって使い分けて活動を行っております。 川用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配面数は適切であるか。 33% 教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 生活を設定。こともにわかりやすく構造化された準明になっているか、また、参導所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、準理上の起達 切になされているか。 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。 100% 0% 毎日清掃を行っております。また定期的に玩具の消毒も行っております。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 状況に応じてグループで部屋を分ける等の対応をしております。 月に2回株員会議、毎朝三一ティングで語の場を設けております。 業務改善を進めるための PDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、広く株員が参画しているか。 67% 33% アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を消載し、改善できるように努めていきたいと思います。 取業者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 50% 50% 意見を把握する機会は設けております。 今後検討していきたいと思います。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。 職員の責質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 話し合いのよ、活動プログラムを決定し公舎しております。 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 100% 0% セスメント用紙だけでなく、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお何いし、計画を作成出来るように努めております。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮したれ こどもの支援に関わる職員同士で情報を共有し、日々検討しております。 利用時、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けております 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか. 33% こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等によ 場際にアンスか |練育時の記録を取り、次回検育内容を立てる際に活用しております 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の原例すべき支援」の「本人支援」、「寒疾支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 ねらい及び支援内容も指定えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 100% 0% ・監察達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、そのうえて、具体的な支援内容が設定されております。 話し合いの上、活動プログラムを決定しております。 改善が必要な場合、内容を見直して反省点を組み込むようにしております。 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 17% お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。 病質が異なることが多い為、常動性員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 100% 0% 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 設計時替も同様に異なることが多い為、同様に常計職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。 67% 33% **川坡育時の記録を取り、次回坡育内容を立てる際に活用しております。** 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。 8子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております. 審害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 67% 33% - 域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 必要に応じて適宜連携しております。 50% 例行列車や紹行に向けた支援を行うなど、インクルージョン構造の組点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定ことも属、幼稚園、特別支援学校(1 部)等との間で、支援内容等の情報共有と假互理解を振っているか。 必要に応じて、適関する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。 就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 例設する故理後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げてまいります。 (28~30は、センターのみ回答) Gの他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取相等を行っているか。 (センターではないため回答なし) (センターではないため回答なし) **毎の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか** (センターではないため回答なし) (31は、事業所のみ回答) 域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける機会を設けているか。 必要に応じて連携し、研修にも小正めに参加しております。 (育所や認定こども図、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 電子の連絡機を用いたケア記録の送付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通理解を深めております。 5らでの対応方法等を『本日の様子』として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか 35 適苦規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。 100% 0% ご要望に応じて、対応させていただいております。 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の級点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設け スか・ **基準に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の同意を得ております。** 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか 17% 83% ご要望に応じて、対応させていただいております。 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応してい ご相談がありました際には、迅速かつ適切に対応しています。 月ごとに活動予定を発信しております。また、毎回幕日にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 物害のあるこどもや保護者との意思の政道や情報伝達のための配慮をしているか。 100% 0% 個々の状況に応じて配慮を行っております。 ご要望に応じて、対応させていただいております 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業適常を図っているか。 幸政防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協急度対応マニュアル等を確定し、職員や家族等に測知するとともに、発生を想定した訓練を実施 いるか。 45 毎年2回の訓練を実施しております。 BCP第定あり→ 業務極続計画 (BCP) を策定し、定期的な訓練を行っております。なし→ 定期的な訓練に加え、業務極続計画 (BCP) の策定を検討いたします。 等線統計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか. 事前に、服薬や予防修種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 83% 17% 職員同士でも共有し、把握に努めております。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 職員同士でも共有し、把握に努め、対応しております。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修で訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、 17% 51 ヤリハットを事業所内で共有し、再業防止に向けた方面について検討をしているか。 83% 17% **- 例集ではありませんが、些細なことでも記入をし、事業所でヒヤリハットを適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。** 書待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 虚待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めております。 のような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して 切迫性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております 53

	事業所名		グローバルキッズメソッド127 園生町店(パーク)			公表日 2025年2月1日		
Ī			チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
	T	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	太潔徳、小塚徳、極分化された部僚が与り間仰りが工夫されております。		
	環境	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	93%	7%	電視分類されていております。仕事が指や日々の業務が連続して程度されている正社県の方を中心に返還されております。		
	*	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の設備等は、指書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適 切になされているか。	100%	0%	その解席、メールでの連絡交換をしております。各部度にマークを設定してあるため、お子さまにも分かりやすくなっております。。 解題の夕松・喧鳴にしている、大器像、小器像、部分化された器像があり指述によって使い分けられるようエ大しております。		
	50 50 50	4	生活空間は、清潔で、心地よく適ごせる場所になっているか。また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。	100%	13%	海海界、物面行っております。 森富版があります。 ごまかに開除しております。 樹林不向曲をとセなつお子さま用のイス・テーブル、 芝富さとつを作成しております。 用途によって使い付けられるようエネしております。		
	f	5	必要に応じて、こどもが個別の部間で場所を使用することが認められる環境になっているか。	93%	7%	トイレが重なる時があるので、名お子さまのトイレタイムの民間を要するモニター更を活用している。用途によって(我・分けられるので工夫されていると思う		
	1	6	業務改高を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く閲覧が参加しているか。	67%	33%	日毎の割ったことはLINEや直接扱して確認するようにしております。マニュアルを作成しております。、職員明古、情報共和したり助け合わっとする意思がございます。		
	ı	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を幕務改善につなげているか。	100%	0%	■ ボープンしたはかりて保護者が至からの辞儀がむからりませんが、HMGシステムにより、お子さ家(保護者でき)の高が協議的でて良いと思います。		
8	第 数	8	職員の意見等を把握する概念を設けており、その内容を募集改画につなけているか。	87%	13%	メールス換やごまめなUNEで共有できております。管理軌跡の、職員間で話しやすい情報が大きております。		
	*	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改高につなけているか。	67%	33%	ウ境制化でいきたいと思います。		
	ŀ	10	職員の員務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人列等で研修を開催する機会が機像されているか。	100%	0%	ないた時間に研修の為の声がたをするなど複胞行っております。		
	\top	11	潮切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%	0%	/パランスよく係々なプログラムが配置されております。保護者のニーズ、または必要と思われる長期外、規則的自信されぞれを、金銭買が把置できるよう別のでおります。		
	ı	12	個々のこどもに対してアセスメントを選切に行い、こどもと保護者のニーズを課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を存成しているか。	93%	7%	お子さまに合わせたアセスメントバッテリーを、桁む対応をしております。保護者さまのニーズ、または必要と思われる機関的、短期的回療それぞれを、全職員が完成しております。		
	ŀ	13	児 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	87%	13%	こどもの支援に関わる電視時式で情報を共有し、日々検討しております。		
	ŀ	14	光意発達支援計画が開島間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	93%	7%	保護者を表のニーズ、または必要と思われる機能が、短期的回標それぞれを、全国政が記憶できるよう努めます。また、短期口機については解除電路で貼し合って、必要なが根正していけるよう努めておいります。		
	ŀ	15	こともの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 機能しているか。	87%	13%	銀物物資料の記録を取り、辺辺物資外部を立てる際に効用しております。		
	適切	16	光度発達英雄計画には、光度発達支援カイトラインの「光度発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「際販支援」、「移門支援」及び「地域支援・地域差別」の はちらなび支援外域や結晶素又ながら、ごどもの支援に必要な場面が実施した変され、その上で、具体的な支援外指が設定されているか。	93%	7%	児童発達支援計画には、必要な際はが確認に選択され、そのうえで、具体的な支援的信が設定されております。		
	な支援	17	溶動プログラムの音楽をチームで行っているか。	80%	20%	原油南一人に任せてしまっているので、今後は、チームで乗り扱んていきたいと思います。本意はその日のお子を来の際だれをみて、(適切な内容の)意味プログラムを決めていけるよう努めます。		
	の 提	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	93%	7%	情報収集を行い、パリエーションを増やしております。毎日内容を見えて、午前午後でも一新したが招は素明らしいと思います。		
	* -	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	銀物な動と機能な動を計画的に振り分けて行っております。。多板にわたる内容のレクが企業されていて業務与しいと思います。		
	ŀ	20	支援開始前には鑑賞間であず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分割について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	67%	33%	出物制度が異なることが多い場。 実物機長を中心に情報共和当をおよう。 記録や口頭によるコミュニケーション等で機能に努めております。		
	ŀ	21	支援物子条には、職員間で必ず打合せを行い、その目行われた支援の無り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	共有日間などを仲組して共和化をはかって高いります。遺動問題や阿様に異なることが多い場。阿様に完動概要を中心に情報共和出来るよう。 記録や口機によるコニュニケーション等で機能に努めております。		
	ŀ	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改議につなけているか。	87%	13%	書式に日々残しております。写真やHUGA力が記録がわりになっております。		
	ŀ	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切な月直しを行っているか。	80%	20%	お子さまの状況や必要性に応じて務め以発血しを行っております。		
	\forall	24	関連表別数支援事業所のサービス担当者会議や商品組織との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	87%	13%	お子さまには全ての機関がかかわるので、様々な立場・観点からの意見(状況)の吸い上げをした上で会議にのぞめるよう努めて高いります。		
	ŀ	25	型塩の保健、茂奈 (生治皮や協力度等機関等) 、跨高架社、保算、教育等の原体機関と連携して支援を行う体部を整えているか。	73%	27%	ごけから推携しているだいと思います。暗高度の度行・動向情報などは必要なので、あってよかったと思います。		
	ŀ	26	何行利和で移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン搭進の組点から支援を行っているか、また、その際、保育所や拡変ことも展、幼稚園、特別支援学校(36種 高)等くの数で、支援が指導の信頼3月を企び更終を扱っているか。	73%	27%	必要に応じて、適需する近極器や疫育器の階級の方との情報共有を行なっております。		
	ŀ	27	Mary Transis Community C	73%	27%	物設する放棄物デイサービス事業との情報共有を回りながら、ご覧望があれば学校との情報共和に繋げておいります。		
	[4]		(28~30は、センターのみ両落)					
	極間	28	地域の他の光重発達支援センターや降害光感所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の長の向上に負する歌組等を行っているか。	(センターではないため関係なし)				
	タ 保護	29	第50向上を探るため、機能的に専門家や専門織商等から助求を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではない	ため回答なし)			
	者 と の	30	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや効素等を受ける概念を認けているか。	(センターではないため間等ない)				
	連携		(31は、李幕板のみ間落)					
		31	地域の児童発達支援センターとの連携を調り、必要に応じてスーパーパイズや物景等を受ける概念を設けているか。	20%	80%	透照に結構面や解析があるので交流していけるようにしたいこれから、交流を、深めるよう努めて高いります。		
	ŀ	32	保育所や昭定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこともと活動する場合があるか。	100%	0%	毎回の使用日の様子等、連続区数メールがなされているその感覚、記録を伝えております。、急遽や大事な点については、情報共称されております。		
	ı	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	53%	47%	ウル、行っていきたいです。個人による情報提供ではなく、正社員の方だけでも職員全無指数の上での情報提供ができるよう男のであいります。		
	f	34	事務の対応力の向上を図る観点から、事務に対して事務支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や事務等の参加できる時格の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	潮切な資料を、まとめております。利用予定の5への放射の際、同样のお子さまが近い生活を体験できるのは良いと思います。		
	1	35	運器規程・支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	十分に二-ズを開き取っております。		
	t	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の得重、こどもの最高の利益の優先考達の観点を請まえて、こどもや家族の意内を確認する権会を設けているか。	100%	0%	角料をまとめ、活用しております。		
	t	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	適臣、行っております。 - 英族等からの子育ての協かや、それに対する助食や支援等、職員全費で共布できると間に良いと思います。		
	g	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、国談や必要な物面と支援を行っているか。	40%	60%	ご整備に応じて、対応させていただいております。		
	報名	39	公司の合の活動を支援することで、保護者会等を開催する等により、保護者的士で欠消する場合を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい何士で交流する機会 を設ける等の支援をしているか、	93%	7%	その態度対応しております。簡やかなことでもその態度、物徴協所をおける点は職員間の意識づけにわなりさちんとしていると思います。		
	o 18	40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している か。	93%	7%	SNSなどを通じて、行っております。、プログのアップは高等らいと思います。		
	19	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連続体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	87%	13%	電調機が連絡に個人LINEが使われております。幕にタブルチェックを行っております。		
	ŀ	42	個人情報の取扱いに十分修復しているか。	100%	0%	気力りやすい物がの資料を、作成しております。		
	ı	43	海害のあることもや保護者との意思の政連や情報伝達のための記事をしているか。	33%	67%	傷令の状況に応じて影響を行っております。		
	ŀ	44	事業所の行事に物域住民を紹修する等、地域に開かれた事事運器を関っているか。	33%	20%	機制行っております。ご整備に応じて、対応させていただいております。		
	1	45	事故的にマニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協論症対応マニュアル等を検定し、機員や療政等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	87%	13%	支援的に行っている。避難場所の確認は訓練においてしたが、お子さま達には落く、もっと近場に欠渉できるとよいと思います。		
	ı	46	等務機能計画 (BCP) を策定するとともに、井京災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	その制度、機関しております。機関した上で実際どう対応すべきかの具体無を検討して高いります。		
	ŀ	47	事格に、施薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を嫌疑しているか。	93%	7%	現在食物プレルギーのお子さまさんがいらっしゃる場合は職員所式でも共有し、把板工房のでおります。		
	# #	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の物子書に修つく対応がされているか。	93%	7%	機利計画器を介成して、行っております。, 安全管理に必要な時間で開発す、他の点話の事件も参考してそろよう知めておいります。		
	15 15	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を描じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	87%	13%	者近を作成し、周知しております。		
	対応	50	こともの安全機能に関して、事務等との連携が弱られるよう。安全計画に基づく影響内容について、事務等へ周知しているか。	80%	20%	ヒヤリハットに実づいた電気が発信できる場があると、ヒヤリハットに気がいていない電気の複数が広がると思うのできば工夫が必要だと思します。その解席、共用しております。 事故報告書を報放を気に得り、飛知しております。		
	-	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発的企に向けた方策について検討をしているか。	87%	13%	マニュアルを介成し、具有化をはかっております。		
	-	52	虚的を約立するため、職員の組修組合を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	マニュアルを作成し、対応しております。		
	-	53	どのような場合にやむを得す各体的素を行うかについて、組織的に決定し、こともや保護者に事前に十分に説明して解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	マニュアルを作成し、対応しております。		
	_					1		

事	業所名	グローバルキッズメソッド128 沼津店(パーク)			0.00		
	1	7		=	公表日		
	1	チェック項目 ド阿耳森が発達支援を等のスペースとの場合で満分であるが、	はい	いいえ			
12	2	利用支貨やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	33%	67%	例如や解析上前総のある結晶を配置して、人間極事を満たしております。		
- 体	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。 正た、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配表が適	50%	50%	必要に応じて職員がフォローを行せっております。		
\$1 \$2	4	切になされているか。 生活空間は、清潔で、心格よく過ごせる喧噪になっているか、また、こども途の活動に合わせた空間となっているか。	50%	17%	毎日、用降を行っております。 毒物放金に関しても少さめん話したいを行っております。		
58	5	AMERICA が悪化しかがない。 Work vote はかかかった プレッカン・カルル こしんかかかれたません であれたません である ないません ないまた ないまた ないまた ないまた ないまた ないまた しょうしゅう はいまた いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん	50%	50%	は次に広じてグループで需要を分ける等のが応えしております。		
	6	の学において、ことも3年間がJRMSは「他的で収回することが2000/211 (10年間によって、いわいで、 単純改善を進めるための PDCA サイクル(日標設定と振り返り)に、「にく職員が参加しているか。	17%	83%	定期的に企成を発揮して扱いた。を行っております。		
			67%	33%	なのいこれは心理なく思いない。 アンケート基準や、書館のコミュエケーションから保護者とその記声を搭載し、改進できるように知めていきたいと思います。		
棄務	7	保護権向け持續表により、保護者等の意向等を把握する場合を設けており、その内容を維持改善につなけているか。			プラブ (物語) 場合のよう (地域では、かんか) が成れている。 (地域ではなった方がくいせんにしなっなり) 「大田田 (中国 はんか) を行っております。		
25	8	職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を審務改画につなけているか。	83%	17%			
	9	第三番による外部評価を行い、評価協業を審算改進につなげているか。	33%	67%	や機材していきたいと思います。		
	10	職員の責質の向上を振るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を禁催する機会が確保されているか。	83%	17%	職員自分が特徴問題などが、江大して支媒スキルアップをする場合がございます。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	83%	17%	はしたいの上、効能プログラムを決定し公告しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を吝録的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	83%	17%	アセスメント両板だけではく、保護者さまからのご意見やお子をお得りい。 計画を作成出来るように努めております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こともの支援に関わる職員が共通理練の下で、こともの暴展の利益を考慮した機材が行われている。	67%	33%	こともの支援に関わる間間列士で情報を共有し、日々特別しております。		
	14	児童房建支援計画が機関間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 	100%	0%	毎時期は、光監察権支援計画に沿った支援を心倒けております。		
28	15	こともの間の7時から状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観測なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 種間しているか。	83%	17%	総物物資料の配給を取り、次回物剤が存在立てる際に活用しております。		
切な	16	児童高速支援計画には、児童角金支援カイドラインの「児童高速支援の原則すべる支援」の「各人支援」、「原料支援」、「将刊支援」及び「地域支援・地域連携」の おらい及び支援所格や請率スながら、こどもの支援に必要な項目が選切に設定され、その上で、具体的な支援的指が設定されているか。	100%	0%	党機関連要請請には、必要必須は分替切に選択され、そのうえて、具体的な支援的信が設定されており高す。		
単の	17	溶動プログラムの位家をチームで行っているか。	83%	17%	思したいのと、活動プログラムを改定しております。		
供供	18	活動プログラムが開変化しないよう工夫しているか、	100%	0%	潜航に行った支援をふりかえり、多方面からいろいろな支援、被物ができるような計画を考えております。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況に応じて、個別活動と推出活動を通用組み合わせて光整発達を避け間を作成しております。		
	20	支援開始前には鑑賞間で必ず打合せを行い、その目行われる支援の内容や後割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50%	50%	総防交通対策をたてているので、ファイル内や口笛での機能ができます。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	33%	67%	保護者とまのニーズにだけ合わせて入所内容を決めるのではなくお子さま一人一人に合った計画と見違しができる時間をとれるよう別のて求いります。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改高につなけているか。	100%	0%	銀門交通計画、単位支援計画、銀幣記録表を作成しているので、支援の様子は職員間でシェアしております。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を判断し、適切収昇直しを行っているか。	50%	50%	お子さまの代気や必要性に応じて確切な利息しを行っております。		
	24	南高売和談支援事業所のサービス担当者会議や開修機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	67%	33%	お子さまの状況をより理解している階級が参加型をよっに努めております。		
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を加えているか。	83%	17%	必要に応じて撤回連携しております。		
	26	例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン構造の機点から支援を行っているか、また、その際、保育所や昭定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚 部)等との際で、支援が招等の開始共和と相互理解を測っているか、	83%	17%	必要に応じて、適需する必種器や保育器の機能の方との活動共有を行なっております。		
	27	該字時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学幕)との際で、支援外容等の情報共有と相互理解を誤っているか。	83%	67%	例設する飲飯碗等デイサービス事業との情報共有を誤りながら、ご事協があれば学校との情報共和に指すてさいります。		
[II] (S		(28~30は、センターのみ関係)					
相同	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児害所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の質の向上に貪する歌組等を行っているか。	(センターではないたの間等なし)				
伊保護	29	英の向上を図るため、機能的に専門家や専門機関等から動意を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではない	ため回答なし)			
者 と の	30	地域の児童発達支援センターとの連携を振り、必要に応じてスーパーパイズや物高等を受ける報会を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)			
連携		(31は、事業所のみ国第)					
	31	市域の児童発達支援センターとの連携を振り、必要に応じてスーパーパイズや物言等を受ける機会を設けているか。	75%	25%	の際に応じて連携し、研修にも今まめた例如しております。		
	32	保育所や昭定こども隠。幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	ご療能に応じて、対応させていただいでおります。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共憲理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡等を思いたケアを認め込付や、直接の中し送りにより伝達を行って、共通機能を認めております。		
	34	事族の対応かの向上を図る概点から、事族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	こちらてのが切ぶ法等を「本日の様子」として日々情報発情し、ご客庭での更終にご法用いただけるよう極かくが伝えしております。		
	35		67%	33%	ご意識に応じて、対応させていただいております。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先考集の戦点を踏まれて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けてい	83%	17%	ご整確に応じて、対応させていただいております。		
	37	るか。 「児童院達支援計画」を示しながら支援内容の故明を行い、保護者から児童院達支援計画の問意を得ているか。	83%	17%	認物は特にしておらず、遠して読んでもらいサインをもらっている。		
	38	室期的に、施路等からの子育ての組み等に対する相談に適切に応じ、億路や必要は前限と支援を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいでおります。		
保護者	39	父用の余の活動を支援することや、保護教会等を開催する等により、保護教育工で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、さょうだい何士で交流する機会	50%	50%	ご物品に応じて、対点させていただいております。		
へ の 既	40	を設ける等の支援をしているか、 こともや複雑者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こともや複雑者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	83%	17%	ご問題がありました際には、迅速かつ時間に対応しています。		
10 10 10		tr.	100%	0%	プログを発走し、インスのグラムを増入することを振舞したい。		
	-	実際的に通信等を発行することや、HPPSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、通信体制等の信能をこどもや保護者に対して発信しているか。					
	42	個人情報の取扱いに十分協能しているか。	100%	0%	入社内に届け着して確認し、個人機能の確認や確認的止亡かを入れております。 -		
	43	南高のあることも中保護者との意思の疎通や情報伝達のための配導をしているか。	100%	0%	現が、必要変により整理上が会定となる場面が物像できる児童は受け入れないではしい		
	44	事業所の行事に地域住民を紹介する等、地域に関かれた事務連盟を扱っているか。 	100%	83%	東京総教でい場せん東京始終さったはかり切りで		
	45	事故的にマニュアル、緊急時対のマニュアル、防犯マニュアル、防犯マニュアル等を加定し、職員や事務等に廃物するとともに、発生を想定した訓練を判論して いるか。	67%	33%	調整が支支式開輸は実施していない、これから実施予定。		
	46	業務組結計画(BCP)を規定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その恋必要な訓練を行っているか。	33%	67%	今後を支 あり正式類様は実際していない。これから実施予定。		
	47	事柄に、無薬や予労修復、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	50%	50%	職間時亡でも共有し、把側に別めております。		
常期	48	食物アレルギーのあることもについて、夜豚の像宗書に基づく対応がされているか。	33%	67%	周期性士七共将心、把側に対心、対応しております。		
89	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を描じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	67%	33%	福朗財主でも共有し、把側に対め、対応しております。		
15	50	こどもの安全権保に関して、東海等との連携が限られるよう、安全計画に基づく取組内容について、東海等へ開始しているか。	50%	50%	福岡町士でも共将し、保護者さ多への開始に努めております。		
	51	ヒヤリハットを事業所りて共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	50%	50%	参約集ではありませんが、形臓なごとても応入をし、等等何でヒヤソハットを返放共有しております。また、参事場所の能理者とも共有する体制を整えております。		
	52	虐待を防止するため、職員の明修機会を機保する等、適切な対応をしているか。	67%	33%	森納所に委員会を設置するとともに、定期的な全体的様を行ない、森特所とに努めております。		
	53	どのような場合にやむを得ず身体何をを行うかについて、相違的に決定し、こどもや保護者に事柄に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	83%	17%	切記性・事代執性・一時性を推たしている場合とし、身体将変を行った場合には起源を行っております。また、計画書にも放発しております		

#	# REAT				
争身	所名	グローバルキッズメソッド129 船橋夏見店(パーク)			公表日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が発達支援医等のスペースとの関係で適切であるか。	50%	50%	用途に合わせたフロアをご用意しております。
環境	2	利用定責やこともの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	物質や保育主資格のある職員を設置して、人員被害を得たしております。
(本 別	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、背害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配薬が透 切になされているか。	92%	8%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
盤鋼	4	生活変徴は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども適の活動に合わせた妄想となっているか。	92%	17%	毎日、清掃を行っております。 専規設定に関しても小をお位話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こともが個別の間壁や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで設置を分ける等の対応をしております。
	6	事務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り送り)に、広く機関が参楽しているか。	100%	0%	管理者を中心に三ーティングやLINEを使って周知に務めております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する組合を設けており、その内容を審視改画につなげているか。	92%	8%	アンケートは実や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を摂威し、改賞できるように努めていきたいと思います。
務改	8	職員の意見序を把握する機会を設けており、その内容を業務改高につなけているか。	100%	0%	芝棚所に会議を開催して結し合いを行っております。
æ	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改画につなげているか。	67%	33%	今後終がしていきたいと思います。
	10	福夏の資質の向上を招るために、研修を受講する機合や法人内等で研修を開催する機合が機能されているか。	100%	0%	YouTube機能等はよいと思います。
	11	潮切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	92%	8%	関し合いのと、活動プログラムを決定し公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を持续しているか。	100%	0%	アセスメント両紙だけでなく、保護者で高からのご意見やお子で正の様子をお呼いし、計画を中枢出来るように現めております。
	13	児童院全度経計画を作成する際には、児童院達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる概責が共通機能の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	日南の海背南場の中心とで洗剤に可なされります。そんな容数を分大切にと思います。
	14	にいめい。 形成泉海支援計画が機員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83%	17%	改高の念物はありますが、受見の閲覧は限、お子さんが大好きで迫長を脆い吐がら関わり、支援していると感じられます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	100%	0%	アセスメントシートだけでは、お子さんの全体像が捉えられないので、電気からみた様々な行動物像が進撃だと感じている。それを共有できるように努めて扱いり戻す。
適切	16	機能しているか。 光盤発達支援計画には、児盤発達支援ガイドラインの「児盤発達支援の提供すべ品支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	労産発達支援計画には、必要な項目が素切に選択され、そのラスで、資料的な支援外籍が設定されております。
な支援	17	ねらい辺び支援内容を請求えながら、こどもの支援に必要な項目が選切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 添加プログラムの位置を子一ムで行っているか。	100%	0%	思しかいのと、地勢ブログラムを決定しております。
類の類	18	海動プログラムが確定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	自由制度がマンネリルのいように、独立で終め時期、他の特別をつくり返動しております。
gt	19	こともの状況に応じて、個別活動と複談活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	信用等目や単出等質がリンクしてお払いに扱い中等できるように関わることをもがけたいです。
	20	支援開始前には韓国暦で必ず打合はを行い、その日行われる支援の内容や後部分別について韓雄し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	近断性が増えることが多い項。 実際機長を中心に関係す程はあるよう。 記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に対めております。
	21	支援終するには、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の無り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	退船域を列格に責なることが多い場。同様に定給職員を中心に情報共和巡察るよう。記録や口様によるコミュニケーション等で構設に努めております。
	22	日々の支援に関して犯罪をとることを確認し、支援の検証・改賞につなげているか。	100%	0%	信効果有料の記録を取り、2020業務が得を立てる際に活用しております。
	23	芝規的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の月直しの必要性を押除し、適切な月直しを行っているか。	100%	0%	お子せきの状況や多輩性に応じて確認に発達しを行っております。
	24	南南京郊原文建事業所のサービス担当者会議や南領機関との合議に、そのこどもの状況をよく理解した地が弊難しているか。	100%	0%	お子さるの状況をより増加している問題が参加拡発るように努めております。
	25	地域の保健、政策(主治医や協力医療機関等)、国務指征、保育、教育等の認得機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%	の際に応じて複数理像しております。
	26	例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン構造の観点から支援を行っているか、正た、その際、保育所や認定ことも際、幼稚園、特別支援学校(幼稚	92%	8%	○夢に応じて、適度する必解薬や検察器の環境の方との情報共有を行ねっております。
	27	部)等との間で、支援が指導の情報は非人権互理解を限っているか。 該手等の終行の際には、小学校や特別支援学校(小学館)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を限っているか。	92%	25%	例似する他は麻痺ディケービス事業との情報共和を回り出がら、ご覧望があれば学校との情報共和に加げて扱いり戻す。
pa)		(28-30は、センターのが開発)			
係機関	28	地域の他の形態緊痛支援センターや障害形態所支援事業所等と連携を限り、地域全体の採の向上に含する取開等を行っているか。	(センターではない	小ため間答なし)	
ヤ保護	29	答の向上を振るため、結構的に専門客や専門機能等から動産を受けたり、職器を外部研修に参加させているか。	(センターではない	いため回答なし)	
名 と	30	地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーパイズや物度等を受ける概念を回けているか。	(センターではない	小ため回答なし)	
の連携		(31は、泰幕所のみ回答)			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を振り、必要に応じてスーパーパイズや軌筒等を受ける機会を抜けているか。	70%	30%	必要に応じて連携し、研修にセル連めに参加しております。
	32	保育所や認定こども限、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%	が感の治菌で能が使わります。今後、光素機関所着性などでの活動に広げて行けたらと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	迅売の際に分子さんの様子をお伝えしたり、保護者の協力を結婚するようこしております。
	34	第該の村の力の向上を指さ載点から、第該に対して単族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や単語等の単語できる研修の概念や情報提供等を行っているか。	75%	25%	こちらての対応が活帯を [春日の椰子] として日々開報発達し、ご家庭での支援にご放開いただけるよう場かくが伝えしております。
	35	高茂県原、支援プログラム、お子さま会信等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご意識に応じて、対応さけていただいております。
	36	児童育連支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先为等の傾后を選まえて、こどもや実派の意向を確認する場合を設けているか。	100%	0%	ご要素に応じて、対応させていただいております。
	37	のが、 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の明章を得ているか。	100%	0%	第章に沿った「児童発達及財計画」を示しながら支援内容の原明を作い、保護者さまから児童発達支援計画の明章を得ております。
ė.	38	実際的に、非貨物からの子育での指み等に対する相談に適切に応じ、国談や必要な動産と支援を行っているか。	100%	0%	ご要素に応じて、材料をせていただいております。
現有	39	□ 公司の企の返勤を支援することで、保護者合等を開催する等により、保護者向土で欠変する場合を設ける等の支援をしているか、また、きょうだい両土で欠変する場合を設ける等の支援をしているか。	42%	58%	根項品質であり現的官ではそこまでできていないが、やくやくはそういった活動も思り入れるべきと考えております。 ぜか様理者会を明る、脳や経过も得合などを検討したいと思います。
о В	40	を放ける者が必要をしているか、 こともや理議者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こともや複議者に既知し、相談や中入れが多った場合に迅速かつ項切に対応している か。	100%	0%	ご問題がありました際には、迅速かつ確切に対なしています。
17) 95	41	か。 芝類的に連携等を発行することや、HPやSMS等を返用することにより、活動概要や行事予定、連続体制等の指数をござむや保護者に対して発施しているか。	100%	0%	プログビと表現がみないので残念とのご意見をいただいたことがございます。お子さまの部件物の一貫として、温動物お子さまの肌・吸が写真を入れた部件をしていくことも勢が、なします。
	42	個人情報の取扱いエー分泌療しているか、	92%	8%	入社時に質的際にて模型し、個人情俗の健康や認識的とこかを入れております。
	43	用着のあるこどもや探護者との意思の疎通や情報伝達のための配着をしているか 。	100%	0%	写成カードやサイン、タイムタイマーなど開発発信ごとめておりますが、外国和の指揮を主に付して、hugや連絡物にんどを終る。ローマ字で描写するなどの記載を続けしたおります。
	44	事業所の対象に地域性死を招待する等、地域に廃かれた事業連貫を回っているか。	100%	42%	ご要素に応じて、対応させていただいております。
	45	■ 単純的にマニュアル、緊急等対応マニュアル、防犯マニュアル、協急使対応マニュアル等を順定し、職員や家族等に飛加するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	毎年2回の前継を実施しております。
	46	いロバ・ 事務機器計画 (BCP) を施定するとともに、昇帯災害の角生に備え、定期的に避難、飲出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	DCが販売与ラー 暴祭期税計画 (BCが) を販定し、支期的な訓練を行っております。なし→ 支期的な訓練に加え、業務期税計画 (BCが) の販支を検がいたします。
	47	事格に、原果や予防接種。てんかん角件等のこともの状況を機能しているか。	100%	0%	関節的大でも共有し、把握に対めております。
非常	48	食物アルルギーのあることもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	アルルチーなどの一覧表を物成、事務所がに発示しております。
85 05	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を譲じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	電温例えても共有し、把電に努め、対応しております。
対応	50	こどもの安全情報に関して、意味等との連携が限られるよう。安全計画に基づく取組内容について、東珠等へ周知しているか。	92%	8%	電源所立ても共和し、保護者ささへの際句に知らております。
	51	ヒヤリハットを事業所ので共有し、再発的止に向けた方策について検討をしているか。	92%	8%	すべこ角有するようにしております。
	52	南待を防止するため、職員の研修機会を物保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	環境が必要点を管置するとともに、実際的企会解除を行ない、最初的企工的のでおります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、相機的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	92%	8%	切函性・評代植性・一時性を測たしている場合とし、身体物変を行った場合には起源を行っており戻す。また、計画家にも反映しております

ij	業所名	グローバルキッズメソッド130 甲斐店(パーク)			公表日 2025年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	用他に合わせたプロアをご用他しております。
環境	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教践で解析主角核のある機関を配置して、人員秘事を指定しております。
*	3	生活活動は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の設備等は、跨高の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配準が適 切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
\$1 50 58	4		100%	0%	毎日、清解を行っております。 環境設定に関してセツまめぬ話し合いを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが傾倒の指揮や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで誤應を分ける特のが応をしており戻す。
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(日標設定と振り返り)に、広く福貢が参画しているか。	100%	0%	東那 的に会議を特権して試し点いを行っております。
	7		0%	100%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者とそのが声を強奪し、改善できるように努めているだいと思います。
18	-	個員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を重整改善につなけているか。	0%	100%	透明的に会議を開催して話し合いを行っております。
at as	9	第三者による外部評価を行い、評価延延を要用改議につなげているか。	0%	100%	今後移行していきたいと思います。
	10	国質の資料の向上を図るために、研修を受講する機会や法人外等で研修を開催する機会が機体されているか。	0%	100%	全体研修の治かに、研修整備の課題による短期向上に力を入れております。
	11	選切に支援プログラムが存成。公司されているか。	100%	0%	思したいのと、活動プログラムを交叉し沿着しております。
	-		100%	0%	アセスメント用紙だけではく、保護者をおからのご覧見やか子さおの様子をお得い。 ・ 計画を存成がある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを選切に行い、こどもと関係的ロースで課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任報告けてなく、こどもの支援に関わる概真が決選挙終わてで、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ	100%		ことの支援に取りる機能性になっています。 ことの支援に取りる機能性になっています。
	13	ているか、		0%	したの心が原生。別から取扱のは、以前を不可い、日で何いしたります。 参与同用、労働を基金制作員に沿った支援を心的できわります。
	14	型盤製造支援計画が振具際に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを開いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	100%		切り物が、光度の表生活動に関いては、光度を切けたしなります。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
28	15	機能しているか。 児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	
切な	-	20らい及び支援内容を請求えながら、こともの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	党権権を受け加工は、必要な場合が通び工程がされ、そのうえて、発体的な支援が指定が設定されております。
類の	17	滋飲プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	協したいのと、効能プログラムを決定しており戻す。
gt		電動プログラムが確定化しないようエ夫しているか。	100%	0%	高額が必要な場合、内容を見録して改善点を認か込むようにしております。
	19	こともの状況に応じて、個別活動と専団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さ多の状況に応じて、領院活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しております。
	20	支援開始前には韓国間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分割について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	※助物性が有なることが多い項、系物鑑賞を中心に情報并和出来るよう。配算や口頭によるコミュニケーション中で確認に努めております。
	21	支援終了条には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	遺跡報告内閣に異るることが多い頃、同様に常動職員を中心に情報片有近要をよう、記録や口様によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改高につなけているか。	100%	0%	銀物療育時の記録を取り、次認療剤内容を立て必得に次明しております。
	23	支期的にモニタリングを行い、児童保護支援計画の月直しの必要性を判断し、適切な月直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの対応や必要性に応じて機効以降止を行っております。
	24	局害児配談支援事業所のサービス担当者合議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さ素の状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	25	地域の保健、医療(生治度や協力医療機関等)、障害福祉、保育、復育等の原体機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0%	100%	必要に応じて適宜連携しております。
	26	例行利用や終行に向けた支援を行うなど、インクルーション振進の戦点から支援を行っているか。また、その際、保育所や昭定ことも順、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援が将等の情報共有と相互理解を誤っているか。	100%	0%	必要に応じて、適度する必修器や体育器の信仰の方との情報共有を行なっております。
	27	記学時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学器)との間で、支援小容等の情報共有と相互地解を関っているか。	100%	0%	例数する放露維持デイサービス事業との情報共再を図りながら、ご弊端があれば学校との情報共和に助けてまいります。
(A) (A)	28	(28~30は、センターのみ関係)			
(E)		地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を図り、地域全体の長の向上に資する原始等を行っているか。	(センターではないため間落なし) (センターではないため間落なし)		
保護者	29	第の内上を図るため、植植的に専門薬や専門雑類等から助策を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			COMPLET COLOR
ර ග	30	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや物度等を受ける報点を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)	
绣	31	(31は、事業所のみ関係)			
		地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや勃度等を受ける機会を設けているか。	0%	100%	必要に応じて連携し、研修にセクネめに参加しております。
	32	保育所や物変こども腐、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	ご要請に応じて、対応させていただいております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	0%	100%	電子の連絡機を用いたケアを謎の深付や、直接の申し送りにより伝達を行って、共通機能を認めております。
	34	事族の対応力の向上を指る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等) や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発儀し、ご家庭での支援にご活際いただけるよう様かくお佐えしております。
	35	適苦現程、交種プログラム、お子さま負担等について丁幸な説明を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの凝凝の利益の優先考慮の概点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご整備に切じて、対応させていただいております。
	37	「児童知道支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護数から児童知道支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	■単元日った「元素発達支援計画」を示しながら支援が徐心俊権を行い、保護者と言から元素発達支援計画の関係を存ております。
保	38	定期的に、準係等からの子育ての信み等に対する相談に適切に応じ、幽談や必要な動賞と支援を行っているか。	100%	0%	ご確認に応じて、対応させていただいであります。
有	39	父母の命の活動を支援することで、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、ほ _そ っだい時士で交流する機会 を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ご要値に応じて、対応させていただいております。
の 類 明	40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に開始し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 か。	100%	0%	ご物がありました際には、迅速かつ機切に対切しています。
19	41	定期的に連携等を発行することで、HPPSNS等を返用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の消耗をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに対象が支を発情しております。また、物質毎日にプログを作成し、対象の様子をご開迎いただける前り組みを行っております。
	42	個人情報の取扱いに十分能費しているか。	100%	0%	入社時に毎的悪にて確認し、個人情報の保護や認識所正に力を入れております。
	43	関係のあることもや保護者との意思の政連や情報伝達のための配準をしているか。	100%	0%	保々の状況に応じて勧請を行っております。
	44	事業所の行事に地域性民を協作する等、地域に関かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	ご事態に応じて、対応させていただいでおります。
	45	■ 野政防にマニュアル、緊急時対応マニュアル、防死マニュアル、防死マニュアルがを策定し、職員や家族等に廃放するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか	100%	0%	毎年2回の開発を実施しております。
	46	服務機能計画 (BCP) を策定するとともに、井菜災害の発生に備え、定期的に避難、依出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	CO物変あり 〜 業務総材計画 (CO) を果立し、支那的な訓練を行っております。なし → 支那的な訓練に加え、業務総材計画 (CO) の教変を検がいたします。
	47	事前に、原業や予防接種、てんかん発作等のこともの状況を確認しているか。	100%	0%	電温所式でも共和し、児間に別のております。
# #	48	食物アレルギーのあることもについて、関節の物労者に基づく対応がされているか。	100%	0%	電温時上でも共和し、児間に別め、対応しております。
19	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を描しる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	電視時亡でも共和し、授順に別め、対応しております。
対応		こともの安全情報に関して、事務等との連携が開られるよう。安全計画に基づく取録内容について、事務等へ開始しているか。	100%	0%	戦闘所士でも共和し、保護者でよべの機能に努かております。
	51	ヒヤリハットを事場所介で共有し、再発防止に向けた方面について検討をしているか。	100%	0%	李列権ではありませんが、長期なことでも犯入をし、李華州でヒヤリハットを選出共和しております。また、他李華州の指揮者とも共有する体制を担えております。
	52	虚符を指述するため、職員の時格組会を機宜する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	衛門所止委員会を設置するととした。 周期内立会保持を行ない、 衛門所立に努めております。
	53	どのような場合にやむを得す身体列走を行うかについて、船艦的に決定し、こどもや保護者に参与に十分に誘列して解を得た上で、光重発達支援計画に形象しているか。	100%	0%	切込他・肝代酸性・一時性を素だしている場合とし、身体疾変を行った場合には起源を行っております。また、計画家でも放発しております

1	事業所名	グローバルキッズメソッド131 新潟空港通り店(バーク)			公表日 2025年2月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	1	利用定員が発達支援を等のスペースとの関係で適付であるか。	100%	0%	用途に合わせたプロアをご用意しております。	
	2	利用定義やこどもの状態等に対して、職員の配置数は謝むであるか。	100%	0%	物質や解育主義秘のある機関を配置して、人質秘事を確定しております。	
,	3	生活空間は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配理が適 切になわれているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
	4	生活変数は、清潔で、心地よく過ごせる場場になっているか、また、こども途の活動に会わせた変質となっているか。	100%	0%	毎日、消降を行っております。 塩味放定に関しても小まかな部し合いを行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の前間や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで高速を分ける等の対応をしております。	
	6	専務改善を進めるための POCA サイクル(包標設定と振り返り)に、広く機関が参照しているか。	100%	0%	実際的 に会議を特備して私心を行っております。	
	7		100%	0%	アンケート結果や、意味のコミュニケーションから保護者さまの効率を測解し、改善できるように努めているだいと思います。	
		臨員の意見等を把算する場合を設けており、その内容を軍務改画につなけているか。	100%	0%	支那所に会議を開催して払いた行っております。 -	
ě		第三者による外部評価を行い、評価拡展を業務改領につなげているか。	100%	0%	今後終けしていきたいと思います。	
	10	職員の責任の向上を招るために、研修を受講する報合や法人内等で研修を開催する報合が確保されているか。	100%	0%	全体所能の行かに、所収整備の関係による知識内上に力を入れております。	
	11	瀬切に支援プログラムが作成。公寓されているか。	100%	0%	あしたいのと、活動プログラムを表定した着しております。	
	12	個々のこともに対してアセスメントを通切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を名談的に分析したとで、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント用紙だけではく、保護者を正からのご教見やか子を走の様子をお得いし、計画を各域記憶をよって努めております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけではく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われ	100%	0%	こどもの支援に関わる階級対土で情報を共和し、日々林封しております。	
	14	ているか。 光電発達支援計画が隔着間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	参与同時、光整発達支援計画におった支援を心向けております。	
	15	/ Amandax. Application - Mandax - Amandax -	100%	0%	(根別等目的の記録を用り、次回等用が呼を立て本面に満世しております。	
i	.	報節しているか。 光電発達支援計画には、光電発達支援ガイドラインの「光電発達支援の提供すべき支援」の「未入支援」、「常族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	労働権基項指揮には、必要な項目が運動で運動を行、そのつえて、資料的な運動や指字数字を打ており戻す。 ・	
	-	ねらい及び支援内容も請求えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	型に合いのと、効果プログラムを記すしております。	
	17	活動プログラムの立葉をテームで行っているか。				
	18	激動プログラムが確定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	の部が必要な場合、所有を見意して取得点を認み込むとことしております。 おするまの状況に応じて、機能が起きる実施を含まれます。 おするまの状況に応じて、機能が起きる実施をみ合わせて代差的表示を指揮を介格しております。	
	19	ごさもの状況に応じて、個別協動と集団協動を適照部み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず行会せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出動物が対なることが多い項。 常動館員を中心に簡単共和出来をよう。 影響や口頭によるコミュニケーション等で機能に努めております。	
	21	支援物子等には、福具間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	適節が関心内側に関なることが多い場。 阿僧に常動電員を中心に情報片料出来るよう。 記録や口機によるコミュニケーション等で機能に努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改高につなけているか。	100%	0%	銀物資料の配換を取り、次回等剤が終を立てる際に満用しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて破物の発慮しを行っております。	
	24	市吉児松阪支援事業所のサービス担当者合議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した教が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより薄頼している種類が参加が考えたと、禁めております。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を能えているか。	100%	0%	必要に応じて衛星連携しており戻す。	
	26	朝行利用や終行に向けた支援を行うなど、イングルージョン装置の構成が与支援を行っているか。また、その際、保育所や認定ことも際、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との物で、支援外部等の情報共将と模型機を振っているか。	100%	0%	必要に応じて、通信する幼稚園や解園の問題の方との情報共年を行なっております。	
	27	就学時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学部)との館で、支援小路等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	例数する故障機等デイサービス事業との情報共再を担りながら、ご弊望があれば学校との情報共和に助けてよいります。	
		(28~30は、センターのみ関係)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を限り、地域全体の長の向上に貢する歌館等を行っているか。	(センターではないため間落なし)			
1		祭の向上を捌るため、積極的に専門家や専門機関等から助素を受けたり、電真を外部所様に参加させているか。	(センターではない	ため回答なし)		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動声等を受ける機会を設けているか。	(センターではない	- THEOLIE AMERICAL		
	31	(31は、事業所のみ間落)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや動意等を受ける報会を設けているか。	100%	0%	必要に応じて連携し、研修にセクネめに参加しております。	
	32	な育所や総定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連携機を取りたクア記録の試付や、直接の中し送りにより伝達を行って、共通機能を定めております。	
	34	家族の対応力の向上を顕る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発便し、ご家庭での支援にご念事いただけるよう極かくお告えしております。	
	35	瀬西琳煌、支援プログラム、お子さを負担等について丁事な説明を行っているか。	100%	0%	ご要請に応じて、対応させていただいでおります。	
	36	党童発達支援計画を作成する際には、こどもや複雑数の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先有達の概点を詰まえて、こどもや原派の意向を確認する機会を扱けているか。 なか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の阿泰を得ているか、	100%	0%	高事に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援外部の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画の明意を得ております。	
	38	芝規的に、東族等からの子育ての協分等に対する相談に遊切に応じ、 面談や必要な動産と支援を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
	39	父明の命の活動を支援することで、保護者会等を開催する等により、保護者附土で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい明土で交流する機会 を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
		こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の外部を整備するとともに、こどもや保護者に原知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している か。	100%	0%	ご物味があり楽した際には、迅速かつ敵切に対応しています。	
	41	定期的に確保等を発行することで、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発強しているか。	100%	0%		
	42	個人情報の取扱いに十分態態しているか。	100%	0%	入社内に誓約書にて確認し、個人情報の推議や認識所定にかを入れております。	
	43	商高のあることも中保護者との意思の政道や情報伝達のための配達をしているか。	100%	0%	個々の状況に応じて動権を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を紹介する等、地域に関かれた事業連携を図っているか。	100%	0%	ご要能に応じて、対応させていただいております。	
	45	幸越防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協助症対応マニュアル等を策定し、職員や事務等に開始するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか。	100%	0%	毎年2回の保護を実施しております。	
	46	業務組織計画 (DCP) を策定するとともに、非常災害の発生に偏え、定期的に混雑、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCが発工あり→ 業務期税計画 (BCが) も常工し、定期的は到時を行っております。なし→ 定期的は到時に加え、業務期税計画 (BCが)の指定を続かいたします。	
	47	事柄に、履業や予約修種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	職員時士でも共和し、把籍に知めております。	
1	48	食物アレルギーのあるこどもについて、関節の施示器に基づく対応がされているか。	100%	0%	職間時亡でも共有し、把握に努め、対応しております。	
	9 49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を構じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	商品財立でも共有し、把握に努め、対応しております。	
3		こどもの安全機能に関して、寒豚等との連携が振られるよう、安全計画に振うく取扱外容について、寒豚等へ感知しているか。	100%	0%	職員時亡でも共利し、保護者ささへの機能に努めております。	
	51	ヒヤリハットを事場所りて共和し、両角防止に向けた万瀬について特計をしているか。	100%	0%	事例象ではありませんが、担催なごとでも起入をし、事業何でヒヤリバットを選択共和しております。また、他事業所が困难者とセ共有する体制を整えております。	
	52	南待を防止するため、職員の時態機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	衛門所止券属合を設置するとともに、定期的な金銭料理を行ない、衛門所止に努めております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体内象を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事務に十分に設明し了解を得た上で、児童発達支援計画に起棄している か、	100%	0%	切合性・肝代動性・一時性を満たしている場合とし、身体物象を行った場合には記録を行っております。また、計画裏でも放映しております	
					1	

	事業所名	グローバルキッズメソッド132 南沼上店(パーク)			公表日 2025年2月1日
Ē		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が発達支援空等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	用他に合わせたプロアをご用他しております。
	E 2	利用支責やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	前側で解算主角部のある階間を配置して、人具懸重を指定しております。
,	* 3	生活空間は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、幸場所の設備等は、跨客の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配差が適 切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
1	11 12 16 4	************************************	100%	0%	毎日、清解を行っております。 環境設定に関してセツまめぬ話し合いを行っております。
	5	の要に応じて、こどもが報酬の報酬や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてグループで誤應を分ける特のが応をしており戻す。
	6	専界改画を進めるための PDCA サイクル(日標設定と振り返り)に、広く電視が参加しているか。	100%	0%	東那 的に会議を特権して試し点いを行っております。
	7		100%	0%	アンケート結果や、遊師のコミュニケーションから採集をさるのが声を搭載し、改賞できるように等のていきたいと思います。
	9 .	磁膜の意見等を把握する場合を設けており、その内容を要集改画につなけているか。	100%	0%	支援的に会議を開催して私し会いを行っております。
	\$ 0 6 9	第三者による外部呼吸を行い、呼吸延延を業務改派につなげているか。	100%	0%	今後替けていきたいと思います。
	-		100%	0%	全会研修の点から、研修整備の課題による知識向上に力を入れております。
	10	職員の資保の向上を捌るために、研修を覚護する機会で法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			当が明からまた。 中海銀町の2001年、5つ3000円また。1年の11年の11年の11年の11年の11年の11年の11年の11年の11年の
	11	謝が正支援プログラムが作成、公教されているか。	100%	0%	####################################
	12	個々のこともに対してアセスメントを選切に行い、こともと保護者のニーズで資源を客観的に分析した上で、児童保護支援計画を内信しているか。 児童保護支援計画を外端する際には、児童保護支援指導責任者だけではく、こともの支援に関わる機員が基準規修りて、こともの最高の利益を考慮した機材が行われ	100%	0%	
	13	TUSD.	100%	0%	こともの支援に関わる職員所立て情報を共有し、日々特別しております。
	14	型盤発達支援計画が開具際に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 こともの適応行動が状況を、標準化されたゲールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	100%	0%	毎年時期、光盤発達支援計画におった支援を心酔けております。
,	15	一般の表表を掛け高には、光準路線を振力イドラインの「光差路線を振の機合すべき支援」の「永久支援」、「家族支援」、「保行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	機関連時の配接を取り、次回等的内部を立てる際に活用しております。
	л 16 2	ねらい及び支援内容も顕示えながら、こともの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	党権権を支援性値には、必要必須は対策的に選択され、そのクスで、具体的な支援的指が指定されております。
1	17	活動プログラムの企業をチームで行っているか。	100%	0%	旅したいのと、効能プログラムを決定しております。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	18	透動プログラムが概定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改集が必要が場合、内容を見難して安省点を総か込むようにしております。
	19	こともの状況に応じて、個別活動と機団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況に応じて、個別活動と単位活動を適用組み合わせて光整発達見難計画を作成しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分別について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	※診断機が異なることが多い場。系物機員を中心に情報共有出来るよう。配算や口頭によるコミュニケーション等で機能に努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の無り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	運動開発・内閣に異なることが多い場。内閣に実際機関を中心に開始共和出来るよう。尼藤や口頭によるコミュニケーション等で機関に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の特証・改高につなげているか。	100%	0%	銀物等身時の起送を取り、次加等身内容を立てる際に次用しております。
	23	東朝的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切以見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況やお野性に応じて親切以間にを行っております。
	24	等害児和談支援事場所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参議しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより増殖している職員が参加出来るように努めております。
	25	型塩の保健、医療(生治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う仲制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適能を使しております。
	26	例行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン構造の総点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども間、幼相間、特別支援学校(幼権 高)等との間で、支援外路等の情報共有と概互理解を関っているか、	100%	0%	心等に応じて、適需する幼稚園や何有間の閲覧の方との情報共和を行なっております。
	27	就学時の移行の際には、小学校で特別支援学校(小学語)との館で、支援外容等の情報共有と相互理解を問っているか。	100%	0%	物設する処理条等デイサービス事業との情報共和を関りながら、ご要望があれば学校との情報共和に加けて高いります。
	R 28	(28~30は、センターのみ関係)			
	R	地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の長の向上に負する取組等を行っているか。	(センターではないため関係なし) (センターではないため関係なし)		
	¥ 29	質の向上を描るため、機能的に専門家や専門機関等から助混を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			 福化)
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや効果等を受ける機会を設けているか。	(センターではない	いため回答なし)	
1	# 31	(31は、事業所のみ回済)			
	"	世域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや効果等を受ける概念を設けているか。	100%	0%	必要に応じて連携し、明修にも小正めたが加しております。
	32	個 育所や認定こども間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	ご整盤に応じて、対応させていただいております。
	33	日油からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や構造について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡機を指いたケア記録の延付や、直接の中し送りにより伝達を行って、共選連携を定めております。
	34	家族の対応力の向上を顕る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の概念や情報提供等を行っているか。	100%	0%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発情し、ご家庭での支援にご志思いただけるよう様かくか伝えしております。
	35	適苦規模、支援プログラム、お子さま負担等について丁事な説明を行っているか。	100%	0%	ご要領に応じて、対応させていただいております。
	36	プロ 労働発達支援計画を作成する際には、こともや保護者の意思の尊重、こともの最高の特益の優先考慮の疑点を踏まれて、こともや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご整菌に応じて、対応させていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら交通内容の影明を行い、保護者から児童発達支援計画の明意を得ているか。	100%	0%	
	¥ 38	芝規的に、奈原等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、復談や必要な効果と支援を行っているか。	100%	0%	ご整理に応じて、対応させていただいております。
	11 39		100%	0%	ご参照に応じて、対応させていただいでおります。
	R 40	こどもや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に原知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ退切に対応している か、	100%	0%	ご機能がありました際には、迅速かつ激化が採りしています。
	F 41	定期的に破損等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発情しているか。	100%	0%	月ごとに効動予定を発情しております。また、物医薬日にプログを作成し、効動の様子をご確認いただける思り組みを行っております。
	42	個人情報の取扱いに十分協意しているか。	100%	0%	入社時に質的語にて確認し、個人情能の確認や認識所法に力を入れております。
	43	際高のあるこども中保護者との意思の疎通や情報伝達のための配達をしているか。	100%	0%	個々の状況に応じて動産を行っております。
	44	事場所の行事に地域社長を紹介する等、地域に関かれた事業連携を担っているか。	100%	0%	ご際値に切じて、対応させていただいております。
	45	型鉄所はマニュアル、製金料がGマニュアル、形形マニュアル、係品度がGマニュアル等を策定し、職員や審議等に同知するとともに、発生を想定した訓練を実施して いるか。	100%	0%	物学200の開発を開発しております。
	46	いるか。 - 本務領総計画 (BCP) を策定するとともに、井京沢高の発生に構え、定期的に道轄、鉄出その他の安な訓練を行っているか。	100%	0%	BCP能定あり→ 暴発機計画 (BCP) を能定し、定期的公開練を行っております。なし→ 定期的公開機に加え、業務機制計画 (BCP) の能定を検討したします。
	47	事柄に、販菓や予所が増、てんかん及作等のこどもの対欠を機能しているか。	100%	0%	福森明士でも共和し、把郷に知めております。
	F 48	会物アレルギーのあることもだつより、「GRO 物宗書に基づく村広がされているか。	100%	0%	周周明之でも共和し、把側に努め、対応しております。
1	# 49	安全計画を作成し、安全管理に必要以降等で開催、その他必要以間面を描しる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、	100%	0%	周周明之でも共和し、把側に努め、対応しております。
3	5 50	3. 生活が高いため、火生を立てが突めらからます。 したのグラウンは、 こともの安全権保に関して、事務等との連携が陥られるよう。安全計画に終づく取扱内容について、事務等へ原知しているか。	100%	0%	福岡時亡で七井利し、保護者をさんの機能に努めております。
,	51	ことの企業を構成して、そのからいの意からから、大王川田一思して、400mでは、から、 中級で であるしていかり 。 ヒヤリハットを事業所行で共和し、再発的点に向けた万瀬について替封をしているか。	100%	0%	市内装ではありませんが、色細なごとでも応えをし、事業所でヒヤリハットを選択分れております。また、母事場所の指揮者とも共有する体制を整立ております。
	52	は、	100%	0%	虚物所止器積合を設置するとともに、定期的企業時間を行せい、 虚情所止に努めております。
	53	(場合)を示成し、90に20、 編集(20年)を指するものも、対のはお知めをしていた。 どのような場合にからを得す条件的変を行っかたついて、組織的に決定し、こともや保護者に事格に十分に説明して解を得たよで、児童発達支援計画に発動している。	100%	0%	協会性・研究権性・一時性を推定している場合とし、自体物理を行った場合とは記録を行っております。 また、計画家でも効果しております
Т	33	<i>b</i> *.	100.70	U.0	

100	業所名	MODEL STATE OF THE]				
7	東川石	グローバルキッズメソッド133 厚木及川店(バーク)			公表日		
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
	1	利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	形態に合わせたプロアをご用意しております。		
境	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	表質や保育士貞秘のある問責を必要して、人員基準を測たしております。 -		
(# 8)	3	生活空間は、ごどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、跨書の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の影響が通 切になされているか。	100%	0%	必要に応じて関数がフォローを行なっております。		
盤	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる場所になっているか。また、ことも途の活動に会わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、菊柳を行っております。塩味放生に関しても小そめな話し合いを行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが機関の保護で場所を使得することが認められる環境になっているか。	100%	0%	は処に応じてグループで観覚を分ける等の何応をしております。		
	6	業務改善を進めるための POCA サイクル(目標設定と無り返り)に、広く構真が参加しているか。	100%	0%	定期的に会議を発揮して話し会いを行っております。		
	7	保護者向は評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改画につなげているか、	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を誘揮し、改善できるように努めていきたいと思います。		
務改	8	職員の意見等を把握する場合を設けており、その内容を集務改画につなげているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話したいを行っております。		
×	9	第三衛による外部評価を行い、評価結果を業務改議につなけているか。	100%	0%	や場検討しているたいと思います。		
	10	職員の責貨の向上を招るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	会場研修のほかに、研修製施の視察による知識内上に力を入れております。		
	11	環切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	部し合いのと、活動プログラムを発定し込痕しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したよで、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメント市局だけでなく、保護者とまからのご意見やお子さまの様子をお称いし、計画を作成正常るように見かております。		
	13	・ 売監発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる機関が共通受験の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。 でいるか、	100%	0%	こともの支援に関わる機関明士で情報を共有し、日々検討しております。		
	14	児童発達支援計画が職員際に共称され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎年四時、児童監査支援計画に沿った支援を心的けており戻す。		
	15	こどもの地域行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により 構図しているか、	100%	0%	銀河等資料の記録を取り、次以等資外的を立てる際に効用しております。		
油切	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「稼行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	児童発達支援計画には、必要な項目が表現に選択され、そのラスで、具体的な支援が指が設定されております。		
な支	17	25い及び支援所得も翻訳スながら、ごどもの支援に必要な場口が選切に設定され、その上で、具体的な支援所指が設定されているか。 25/20/20/20/20/20/20/20/20/20/20/20/20/20/	100%	0%	然したいのと、地勢プログラムを決定しております。		
仮の提	18	活動プログラムが固定化しないようエ夫しているか、	100%	0%	透慮が必要な場合、内容を見直して改造点を能か込むたいにしております。		
gt	19	************************************	100%	0%	お子さその状況にぶして、個別点動と他们点動を選択的か合わけて受験の妻子健計動を介成しております。		
			100%	0%	出動物性が押心をことがから、実際機具を中心へ活動は再催棄をよう。 把握りで調によるコミュニケーション等で機能に努めております。		
	20	支援開始制には韓国間でのず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			品面的同談が明らたことが、44、ARMANEでもし、物質APM立をよう。た高いに加えるウェデュニン・ジョグで、電報とかりとうとす。 退動物質と呼吸に見なることが多い頃、内側に定数性間を守むこで簡素に再設を含える。 記録では話によるコニュニケーショグで確認に知ることがある。		
	21	支援教育後には、職員間で必ず打会せを行い、その目行われた支援の服り適りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の物経・改議につなけているか。	100%	0%	銀物等資料の配給を取り、次回等等外格を立てる際に活用しております。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お学さまの状況や必要性に応じて確切な場面しを行っております。		
	24	関書が掲載支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さ来の状況をより理解している職員が参加出来るように別のております。		
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。		
	26	例行列車や終行に向けた支援を行うなど、インクルージョン接通の場点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定ごども層、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援が容等の情報共有と保証理解を誤っているか。	100%	0%	必要に応じて、適需する幼稚園や傾耳機の間間の方との情報共移を行なっております。		
	27	該学時の終行の際には、小学校で特別支援学校(小学語)との館で、支援小路等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	物数する技術機等デイサービス事業との情報共称を限りながら、ご要請があれば学校との情報共称に勤けてまいります。		
係	28	(28~30は、センターのみ関係)					
EII C		地域の他の児童発達支援センターや階高児達所支援事業所等と連携を誤り、地域全体の質の向上に資する歌組等を行っているか。	(センターではないたの原務をし)				
保護者	29	第の向上を倒るため、極極的に専門薬や専門維御等から助査を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではないため期等ない)				
0	30	市域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや前席等を受ける報会を設けているか。	(センターではない	ため回答なし)			
携	31	(31は、事場所のみ回路)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助演等を受ける報会を設けているか。	100%	0%	必要に応じて注意し、研修にも少率のに参加しております。		
	32	保育所で認定こども隠、幼稚園等との交流や、物域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や課題について共選連解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡等を仰いたケア記録の延付や、徹底の中し送りにより伝達を行って、共通機能を深めております。		
	34	事項の対応力の向上を図る観点から、事項に対して事該支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や事該等の参加できる研修の概合や情報提供等を行っているか。	100%	0%	ごらその対応方法等を『本日の様子』として日々情報発情し、ご家庭での更終にご法用いただけるよう極かくお伝えしております。		
	35	瀬西境後、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご整盤に応じて、対応させていただいております。		
	36	光盤発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先考集の統点を請まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 るか。	100%	0%	ご物質に応じて、対応させていただいております。		
	37	「児童院達支援計画」を示しながら支援外部の影明を行い、保護者から児童院達支援計画の同意を得ているか、	100%	0%	悪事に沿った「児童発達支援計画」を示しながら支援外部の設備を行い、保護者さまから児童発達支援計画の問意を得ております。		
保	38	定期的に、豪族等からの子育ての保み等に対する相談に適切に応じ、国際や必要な動衆と支援を行っているか。	100%	0%	ご際国に応じて、対応させていただいており来す。		
複名	39		100%	0%	ご物語に応じて、対応させていただいでおります。		
Ø 18	40	こともや保護者からの相談や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に原知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している か、	100%	0%	ご問題がありました際には、迅速かつ機切に対応しています。		
10	41	工期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとと効能が支を発情しております。また、物医薬日にプログを作成し、効能の様子をご確認いただける思り組みを行っております。		
	42	個人情報の複数 いに十分細意しているか。	100%	0%	入社時に匿的画にて機関し、個人情報の確認や認識知识にかを入れております。		
	43	用高のあることもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配達をしているか。	100%	0%	個々の状況に応じて影響を行っております。		
	44	事業所の行事に地域住民を紹介する等、地域に関かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	ご物間に応じて、対応させていただいております。		
	45	李故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、協能性応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施して	100%	0%	特本国の開発を開発しております。		
	46	いるか。 電路組織計画 (BCP) を施定するとともに、井高災害の発生に悩え、定期的に消極、仮出その他の妻な訓練を行っているか。	100%	0%	SC中度工会ラー 単原機能計画 (BCF) を放定し、定期的な訓練を行っております。なしー 定期的な訓練に加え、業務機能計画 (BCF) の規定を持付いたします。		
	47	事系に、原理や予系技権、てんかん発作等のこともの状況を確認しているか。	100%	0%	福岡内上でも片利し、把側に別めております。		
#	48	☆ では、	100%	0%	福森明士でも共和し、把頭に別め、対応しております。		
時時	49	安全計画を作成し、安全領導に必要公研部で領域、その他の要以版を構える等、安全領導が十分された中で支援が行われているか、	100%	0%	福岡時上で中共利し、授献に別の、対応しております。		
o st	50	安主打商化作成し、安主選等しの安な時間で別報、その他の契以前権を指しら考、安主管理が十分なびに少く支援が付けれていらか。 こともの安全権権に関して、実施等との連携が限られるよう、安全計画に基づく影響が得じないて、業議等へ周抜しているか。	100%	0%	個のでは、していてい、ためにしている。 ・		
15			100%	0%	「新聞され」といわれた。 AMERTUA ** *** *** *** *** *** *** *** *** **		
	51	ヒヤリハットを事場内内で共有し、再発的企工向けた方面について検討をしているか。	100%	0%	まが歌、山思が足が広が、正常山上して記たさせ、事物がしたアグバラでを取れれてものがあった。 本的が比が異点を設置するとともに、実際的な合格が優先行ない、最初的よど知るでおります。		
	52	国際を防止するため、職業の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 どのような場合にやむを寄す身体的来を行うかについて、制備的に決定し、こともや保護者に挙用に十分に終明して解を得た上で、児童発達を護計画にお載している。			場所に多数大を返答するとことに、実際が正常体性を行ない。場合的によりのとおります。 ・		
	53	th,	100%	0%	- 100mm 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		

ě	事業所名	グローバルキッズメソッド135 篠ノ井店(パーク)			公表日 2025年2月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	1	利用定員が発達支援空等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	福度が分かれていて場合で認知ができます。	
		利用支責やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教養や保育主義総のある階間を設置して、人見秘事を考えしております。	
	3	生活空間は、こともにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、幸場所の設備等は、跨客の特性に応じ、パリアフリー化や情報伝達等、環境上の配差が適 切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
9	4	************************************	100%	0%	毎日、清算を行っております。専規定に関してセツまめは話し合いを行っております。	
	5	の要に応じて、こどもが報酬の報酬や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	 は民に応じてグループで認度を分ける帯の対応をしております。	
	6	専界改画を進めるための PDCA サイクル(日標設定と振り返り)に、広く電視が参加しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して似したいを行っております。	
	7		100%	0%	アンケート結果や、直体のコミュニケーションから保護者さるのが声を搭載し、改善できるように係めているたいと思います。	
3		磁膜の意見等を把握する場合を設けており、その内容を要集改画につなけているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して私し会社を行っております。	
25:	١.	第三者による外部呼吸を行い、呼吸延延を業務改派につなげているか。	100%	0%	今歳材化ていきたいと思います。	
	-		100%	0%	全場時間のはかに、併根数値の視聴による知識向上とか考えれております。	
	10	職員の資保の向上を捌るために、研修を覚護する機会で法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			当か年間のにはた、 **町家園のの間によりの場合」と、「そんれくかります。 製し合いのと、名意プログラムを定せん冷楽しております。	
	11	謝が正支援プログラムが作成、公教されているか。	100%	0%	####################################	
	12	個々のこともに対してアセスメントを選切に行い、こともと保護者のニーズで資源を客観的に分析した上で、児童保護支援計画を内信しているか。 児童保護支援計画を外端する際には、児童保護支援指導責任者だけではく、こともの支援に関わる機員が基準規修りて、こともの最高の利益を考慮した機材が行われ	100%	0%		
	13	TUSD.	100%	0%	こともの意識に関わる機能例えて機能を共有し、日々検討しております。	
	14	型盤発達支援計画が開発際に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 こともの適応行動が状況を、標準化されたゲールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動検察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により	100%	0%	毎時時期、強敵発展到計画に沿った見種を必称すております。	
3	15	一般の表表を掛け高には、光準路線を振力イドラインの「光差路線を振の機合すべき支援」の「永久支援」、「家族支援」、「保行支援」及び「地域支援・地域連携」の	100%	0%	銀物等等的の記録を取り、双端等所が最至立て必需に活用しております。	
t		7に国内地域大陸計画には、大国内地域大陸が下ナッチンが、下国内地域域の設計すべき支援」、「中国大陸は、「中門大阪」が「中国大阪、中国地域別」が おらい及び支援中間を顕著えながら、こともの支援に必要な適宜が適切に設定され、その上で、具体的な支援中間が設定されているか。	100%	0%	党権発展支援計画には、必要収明日が確切に選択され、そのラスで、具体的収支機が指定されております。	
8	17	活動プログラムの位率をチームで行っているか。	100%	0%	版した。近畿プログラムを決定しております。 	
4		活動プログラムが鑑定化しないようエ夫しているか。	100%	0%	改善が参数が考点、内容を見直して収留がを包み込むようにしております。	
	19	こともの状況に応じて、個別活動と機団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さまの状況におじて、個常常数と無比別数を適苦能力合わせて光整発達支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間であず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出動時間が異なることが多い項、常物鑑賞を中心に情報共和出来るよう。記録や口頭によるコミュニケーション等で機関に努めております。	
	21	支援終了後には、福興間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	遊師問題も同様に異なることが多い場。同様に常教職員を中心に開館共和出来るよう。記録や口頭によるコミュニケーション等で機関に努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の特殊・改高につなけているか。	100%	0%	個別等有特の起鍵を取り、次回等有外格を立てる際に活用しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて謝が以発慮しを行っております。	
	24	等害児樹族支援事務所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	お子さまの状況をより増殖している職員が参加出をみよりに努めております。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害指征、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う仲制を加えているか。	100%	0%	必要に応じて衛医療見しております。	
	26	例行利用や終行に向いた支援を行うなど、インクルージョン海道の組点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども間、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援が指等の情報共再と假互理解を削っているか。	100%	0%	必要に応じて、適面する幼稚園の保育器の機関の方との情報共有を行なっております。	
	27	数学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との版で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	情報する処理機等デイサービス事業との情報共和を担りながら、ご要望があれば学校との情報共和に加すてまいります。	
		(28~30は、センターのみ関係)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児達所支援事業所等と連携を限り、地域全体の長の内上に責する取組等を行っているか。	(センターではないため個客なし (センターではないため個客なし (センターではないため個客なし			
4	29	等の向上を描るため、積極的に専門家や専門機関等から動言を受けたり、鑑賞を外部研修に参加させているか。				
4	30	型域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーバイズや動態等を受ける機会を設けているか。				
3		(31は、事業所のみ間能)				
	31	型域の児童発達支援センターとの連携を誤り、必要に応じてスーパーパイズや助高等を受ける報会を設けているか。	100%	0%	必要に応じて連携し、特殊に色介表めた参加しております。	
	32	保育所や認定ことも間、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこともと活動する機会があるか。	100%	0%	ご要値に応じて、対応させていただいでおります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの指達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子の連絡感を用いたケア配路の近付や、直接の中し送りにより伝達を行って、共通機能を定めております。	
	34	家族の対応力の向上を振る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	こちらての対応方法等を「本日の様子」として日々情報発摘し、ご考察での支援にご採用いただけるよう種かくお伝えしております。	
	35	適思規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁草な説明を行っているか。	100%	0%	ご要値に応じて、対応させていただいております。	
	36	・ 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重。こどもの最高の利益の優先与導の統名を請求えて、こどもや家族の他号を確認する機会を設けているか。 なか。	100%	0%	ご要値に切じて、対応させていただいております。	
	37	eur。 「児童発達支援計画」を示しながら支援が終の説明を行い、保護教から児童発達支援計画の明意を得ているか。	100%	0%	要率に沿った「伊雷発達定財計画」を示しながら支援的信の説明を行い、保護者とおから伊雷発達支援計画の明要を得ております。	
	38	定期的に、液族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、閲談や必要な指索と支援を行っているか。	100%	0%	ご整備に応じて、対応させていただいております。	
3	39	父母の合の信頼を支援することや、保護者合等を開催する等により、保護者同士で欠高する機会を設ける等の支援をしているか、また、赤よっだい明士で交高する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ご要値に切じて、対応させていただいております。	
		で成功の中が必定性でしていない。 こともや保護者からの関係や中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こともや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	ご物がありました際には、迅速かつ激切に対応しています。	
	·	か。 支援的に連続等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連続体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	パンとに活動予定を発信しております。 また、物質専用にプログを作成し、活動の様子をご確認いただける限り組みを行っております。	
	42	個人情報の指数に十分細数しているか。	100%	0%	入技術に届け際正て存取日、個人情報の推議や選択的立てかを入れております。	
	43	第一次の対象の(本) / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	100%	0%	像やの状況になって影響を行っております。	
					ご要認に応じて、対応させていただいております。	
	44	事業所の対象に地域社更を認得する等、地域に関かれた事業運動を到っているか。 - 単地防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、係品を対応マニュアル等を策定し、職員や事実等に同知するとともに、発生を想定した訓練を業務して	100%	0%		
	45	uab.	100%	0%	毎年2回の開催を期除しております。	
	46	専務組織計画 (BCP) を施定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の契心訓練を行っているか。	100%	0%	GCが成立あう〜 専用組織計画 (GCが) を推定し、支際的な訓練を行っております。なし→ 支際的な訓練に加え、集務組結計画 (BCが) の概定を検がいたします。	
	47	事前に、 原業や予約技能。 てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	福期性士で共将し、規能に知めております。	
2	48	食物アレルギーのあるこどもについて、関係の指示者に基づく対応がされているか。	100%	0%	電視性士で共有し、把握に別の、対応しております。	
9	. —	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な問題を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職員所士で此有り、把握に別か、対応しており至す。	
		こともの安全権保に関して、事務等との連携が扱られるよう、安全計画に接づく税組内容について、事務等へ周知しているか。	100%	0%	職員所式でも共和し、復議者とあべの機能に努めております。	
	51	ヒヤリハットを事業所的で共有し、再発的企に向けた方葉について検討をしているか。	100%	0%	学問集ではありませんが、※単なことでも犯入をし、事業所でヒヤリハットを選択用しております。また、他事業所の理像とセル件する体制を担えております。	
	52	虚得を弥正するため、種类の特殊値会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	衛門氏を発信するとともに、定期的な金典研修行はい、衛門院上に別のております。	
	53	どのような場合にやむを得す身体的束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に配載している か。	100%	0%	切论性・非代謝性・一時性を得たしている場合とし、身体内実を行った場合には起源を行っております。また、計画書にも双発しております	